別記様式第２号（その１の１）

基　本　計　画　書

基　本　計　画											
事　項		記　入　欄									備考
計画の区分		学部の学科の設置									
フリガナ 設置者		ガッコウホウジン チバコウギョウダイガク 学校法人　千葉工業大学									
フリガナ 大学の名称		チバコウギョウダイガク 千葉工業大学									
大学本部の位置		千葉県習志野市津田沼２丁目１７番１号									
大学の目的		本学は、教育基本法に則り学校教育法の定める大学として、科学技術の理論と応用を教授研究するとともに、豊かな教養を備え人類福祉のため進んで協力する意欲と識見をもつ人材を養成することを目的とする。									
新設学部等の目的		宇宙・半導体工学科では、先進的な宇宙機、半導体デバイス、メカトロニクス機器に関わる機械工学と電子工学の基礎的な知識と技術を基盤として、それらを適切かつ効果的に活用できる実践的な能力を身に着け、それら先進機器に関連する機械・電気電子工学技術を科学的・実証的に考究し、その成果を同技術分野の進展に活かすことのできる人材を養成する。									
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地		
	工学部 [Faculty of Engineering] 宇宙・半導体工学科 [Department of Space,Semiconductor and Mechatronics Engineering] 計	年 4	人 110	年次 人 －	人 440	学士 （工学） 【Bachelor of Engineering】	工学関係	年　月 第　年次 令和7年4月 第1年次	第1・2年次 新習志野校舎 千葉県習志野市芝園2丁目1番1号 第3・4年次 津田沼校舎 千葉県習志野市津田沼2丁目17番1号		
同一設置者内における変更状況（定員の移行，名称の変更等）		工学部　機械電子創成工学科（廃止）　（△110） ※令和7年4月学生募集停止									
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数					
		講義	演習	実験・実習	計						
	工学部　宇宙・半導体工学科	70科目	39科目	6科目	115科目	124単位					

学部等の名称		基幹教員					助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
		教授	准教授	講師	助教	計			
新設分	工学部　宇宙・半導体工学科	人 8 (8)	人 1 (1)	人 0 (0)	人 0 (0)	人 9 (9)	人 0 (0)	人 128 (128)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	8 (8)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	9 (9)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　7人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	8 (8)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	9 (9)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	8 (8)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	9 (9)			
	計	8 (8)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	－ (－)	

既	工学部　機械工学科	6 (6)	6 (6)	0 (0)	3 (3)	15 (15)	0 (0)	132 (132)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	6 (6)	6 (6)	0 (0)	3 (3)	15 (15)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　8人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（ａ～ｂ）	6 (6)	6 (6)	0 (0)	3 (3)	15 (15)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（ａ～ｄ）	6 (6)	6 (6)	0 (0)	3 (3)	15 (15)			
	工学部　先端材料工学科	8 (8)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	128 (128)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	8 (8)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	11 (11)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　7人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（ａ～ｂ）	8 (8)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	11 (11)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（ａ～ｄ）	8 (8)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	11 (11)			
設	工学部　電気電子工学科	10 (10)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	14 (14)	0 (0)	132 (132)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	10 (10)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	14 (14)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　8人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（ａ～ｂ）	10 (10)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	14 (14)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（ａ～ｄ）	10 (10)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	14 (14)			
	工学部　情報通信システム工学科	9 (9)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	11 (11)	0 (0)	129 (129)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	9 (9)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	11 (11)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　7人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（ａ～ｂ）	9 (9)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	11 (11)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
分	計（ａ～ｄ）	9 (9)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	11 (11)			

既設分									
工学部　応用化学科	7 (7)	3 (3)	0 (0)	2 (2)	12 (12)	0 (0)	133 (133)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	7 (7)	3 (3)	0 (0)	2 (2)	12 (12)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　7人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（ａ～ｂ）	7 (7)	3 (3)	0 (0)	2 (2)	12 (12)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（ａ～ｄ）	7 (7)	3 (3)	0 (0)	2 (2)	12 (12)			
創造工学部　建築学科	12 (12)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	80 (80)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	12 (12)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	14 (14)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　8人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（ａ～ｂ）	12 (12)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	14 (14)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（ａ～ｄ）	12 (12)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	14 (14)			
創造工学部　都市環境工学科	11 (11)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	12 (12)	0 (0)	75 (75)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	11 (11)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	12 (12)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　7人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（ａ～ｂ）	11 (11)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	12 (12)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（ａ～ｄ）	11 (11)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	12 (12)			
創造工学部　デザイン科学科	8 (8)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	72 (72)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	8 (8)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	12 (12)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　8人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（ａ～ｂ）	8 (8)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	12 (12)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（ａ～ｄ）	8 (8)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	12 (12)			

既設分									
先進工学部　未来ロボティクス学科	11 (11)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	74 (74)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	11 (11)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	12 (12)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　8人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（ａ～ｂ）	11 (11)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	12 (12)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（ａ～ｄ）	11 (11)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	12 (12)			
先進工学部　生命科学科	8 (8)	2 (2)	0 (0)	1 (1)	11 (11)	0 (0)	71 (71)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	8 (8)	2 (2)	0 (0)	1 (1)	11 (11)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　7人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（ａ～ｂ）	8 (8)	2 (2)	0 (0)	1 (1)	11 (11)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（ａ～ｄ）	8 (8)	2 (2)	0 (0)	1 (1)	11 (11)			
先進工学部　知能メディア工学科	7 (7)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	74 (74)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	7 (7)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	10 (10)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　7人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（ａ～ｂ）	7 (7)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	10 (10)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（ａ～ｄ）	7 (7)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	10 (10)			
情報変革科学部　情報工学科	6 (6)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	10 (10)	0 (0)	58 (58)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	6 (6)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	10 (10)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　8人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（ａ～ｂ）	6 (6)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	10 (10)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（ａ～ｄ）	6 (6)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	10 (10)			

既設分	情報変革科学部　認知情報科学科	7 (7)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	11 (11)	0 (0)	58 (58)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	7 (7)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	11 (11)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　8人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（ａ～ｂ）	7 (7)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	11 (11)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（ａ～ｄ）	7 (7)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	11 (11)			
	情報変革科学部　高度応用情報科学科	7 (7)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	11 (11)	0 (0)	58 (58)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	7 (7)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	11 (11)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　8人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（ａ～ｂ）	7 (7)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	11 (11)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（ａ～ｄ）	7 (7)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	11 (11)			
	未来変革科学部　デジタル変革科学科	8 (8)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	10 (10)	0 (0)	54 (54)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	8 (8)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	10 (10)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　7人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（ａ～ｂ）	8 (8)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	10 (10)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（ａ～ｄ）	8 (8)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	10 (10)			
	未来変革科学部　経営デザイン科学科	9 (9)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	54 (54)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	9 (9)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	10 (10)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　7人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（ａ～ｂ）	9 (9)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	10 (10)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（ａ～ｄ）	9 (9)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	10 (10)			

既設分	教育センター	42 (42)	16 (16)	0 (0)	10 (10)	68 (68)	0 (0)	142 (142)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			－
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（ａ～ｂ）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	42 (42)	16 (16)	0 (0)	10 (10)	68 (68)			
	計（ａ～ｄ）	42 (42)	16 (16)	0 (0)	10 (10)	68 (68)			
	計	176 (176)	54 (54)	0 (0)	24 (24)	254 (254)	0 (0)	－ (－)	
合計		184 (184)	55 (55)	0 (0)	24 (24)	263 (263)	0 (0)	－ (－)	

職種	専属	その他	計
事務職員	115人 (115)	50人 (50)	165人 (165)
技術職員	11 (11)	5 (5)	16 (16)
図書館職員	2 (2)	0 (0)	2 (2)
その他の職員	32 (32)	5 (5)	37 (37)
指導補助者	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計	160 (160)	60 (60)	220 (220)

校地等 区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計
校舎敷地	409,900㎡	0㎡	0㎡	409,900㎡
その他	78,100㎡	0㎡	0㎡	78,100㎡
合計	488,000㎡	0㎡	0㎡	488,000㎡

校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計
	186,258㎡ (186,258㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	186,258㎡ (186,258㎡)

教室・教員研究室					備考
	教室	438室	教員研究室	12室	教室は大学全体の数

図書・設備 新設学部等の名称	図書〔うち外国書〕 冊	電子図書〔うち外国書〕	学術雑誌〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル〔うち外国書〕	機械・器具 点	標本 点	備考
工学部 宇宙・半導体工学科	244,790〔22,619〕 (262,491〔27,619〕)	3,804〔626〕 (3,804〔626〕)	5,420〔4,548〕 (5,420〔4,548〕)	4,436〔4,421〕 (4,436〔4,421〕)	0 (0)	0 (0)	学部単位での特定不能なため、大学全体の数
計	244,790〔22,619〕 (262,491〔27,619〕)	3,804〔626〕 (3,804〔626〕)	5,420〔4,548〕 (5,420〔4,548〕)	4,436〔4,421〕 (4,436〔4,421〕)	0 (0)	0 (0)	

スポーツ施設等	スポーツ施設	講堂	厚生補導施設	備考
	6,736㎡	0㎡	19,290㎡	大学全体

経費の見積り及び維持方法の概要 区分	開設前年度	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次	備考
経費の見積り 教員１人当り研究費等		3,700千円	3,700千円	3,700千円	3,700千円	－	－	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。
共同研究費等		1,200千円	1,200千円	1,200千円	1,200千円	－	－	
図書購入費	45,700千円	45,700千円	45,700千円	45,700千円	45,700千円	－	－	
設備購入費	5,900千円	5,900千円	5,900千円	5,900千円	5,900千円	－	－	
学生１人当り納付金		第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次	
		1,640千円	1,440千円	1,490千円	1,540千円	－	－	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入等により維持する。						

既設大学等の状況

大学等の名称	千葉工業大学								
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍		第1・2年次 新習志野校舎 千葉県習志野市芝園2丁目1番1号 第3・4年次 津田沼校舎 千葉県習志野市津田沼2丁目17番1号	
工学部									
機械工学科	4	140	－	560	学士（工学）	1.23 ≪1.19≫	平成28年度		
機械電子創成工学科	4	110	－	440	学士（工学）	1.25 ≪1.21≫	平成28年度		
先端材料工学科	4	110	－	440	学士（工学）	1.18 ≪1.16≫	平成28年度		
電気電子工学科	4	140	－	560	学士（工学）	1.24 ≪1.21≫	平成28年度		
情報通信システム工学科	4	110	－	440	学士（工学）	1.20 ≪1.17≫	平成28年度		
応用化学科	4	110	－	440	学士（工学）	1.17 ≪1.15≫	平成28年度		
創造工学部									
建築学科	4	140	－	560	学士（工学）	1.19 ≪1.17≫	平成28年度		
都市環境工学科	4	110	－	440	学士（工学）	1.18 ≪1.17≫	平成28年度		
デザイン科学科	4	120	－	480	学士（工学）	1.17 ≪1.15≫	平成28年度		
先進工学部									
未来ロボティクス学科	4	120	－	480	学士（工学）	1.22 ≪1.16≫	平成28年度		
生命科学科	4	110	－	440	学士（工学）	1.19 ≪1.18≫	平成28年度		
知能メディア工学科	4	110	－	440	学士（工学）	1.22 ≪1.18≫	平成28年度		
情報科学部									
情報工学科	4	－	－	－	学士（工学）	－	平成13年度		※令和６年度より学生募集停止（情報科学部）
情報ネットワーク学科	4	－	－	－	学士（工学）	－	平成13年度		
社会システム科学部									
経営情報科学科	4	－	－	－	学士（工学）	－	平成13年度		※令和６年度より学生募集停止（社会システム科学部）
ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学科	4	－	－	－	学士（工学）	－	平成13年度		
金融・経営リスク科学科	4	－	－	－	学士（工学）	－	平成21年度		
情報変革科学部									
情報工学科	4	120	－	120	学士（工学）	1.21	令和６年度		
認知情報科学科	4	120	－	120	学士（工学）	1.11	令和６年度		
高度応用情報科学科	4	120	－	120	学士（工学）	1.16	令和６年度		
未来変革科学部									
デジタル変革科学科	4	100	－	100	学士（工学）	1.08	令和６年度		
経営デザイン科学科	4	100	－	100	学士（工学）	1.27	令和６年度		
工学研究科									
機械工学専攻（博士前期課程）	2	22	－	44	修士（工学）	1.50	令和2年度		
機械電子創成工学専攻（博士前期課程）	2	32	－	64	修士（工学）	1.00	令和2年度		
先端材料工学専攻（博士前期課程）	2	22	－	44	修士（工学）	1.34	令和2年度		
電子電子工学専攻（博士前期課程）	2	22	－	44	修士（工学）	1.68	令和2年度		
情報通信システム工学専攻（博士前期課程）	2	22	－	44	修士（工学）	0.90	令和2年度		
応用化学専攻（博士前期課程）	2	32	－	64	修士（工学）	1.67	令和2年度		
工学専攻（博士後期課程）	3	24	－	72	博士（工学）	0.47	令和2年度		
創造工学研究科									
建築学専攻（修士課程）	2	32	－	64	修士（工学）	0.90	令和2年度		
都市環境工学専攻（修士課程）	2	22	－	44	修士（工学）	1.02	令和2年度		
デザイン科学専攻（修士課程）	2	22	－	44	修士（工学）	0.95	令和2年度		
先進工学研究科									
未来ロボティクス専攻（修士課程）	2	32	－	64	修士（工学）	1.48	令和2年度		
生命科学専攻（修士課程）	2	22	－	44	修士（工学）	0.86	令和2年度		
知能メディア工学専攻（修士課程）	2	22	－	44	修士（工学）	1.11	令和2年度		
情報科学研究科									
情報科学専攻（博士前期課程）	2	70	－	140	修士（工学）	0.55	平成16年度		
情報科学専攻（博士後期課程）	3	4	－	12	博士（工学）	0.58	平成16年度		
社会システム科学研究科									
マネジメント工学専攻（博士前期課程）	2	40	－	80	修士（工学）	0.33	平成16年度		
マネジメント工学専攻（博士後期課程）	3	2	－	6	博士（工学）	1.00	平成16年度		

附属施設の概要	名称：千葉工業大学附属研究所 目的：知識の総合化・融合化を図るとともに，研究倫理を確立し，以って基盤的研究と時代に先駆する課題の学理とその応用に関する研究の推進を通し，学術文化の発展・充実に寄与することを目的とする。 所在地：千葉県習志野市津田沼2丁目17番1号 設置年月：平成16年4月 規模等：1,436.22 ㎡ 名称：千葉工業大学未来ロボット技術研究センター 目的：ロボットに関する先進的な研究を行い，本学，産業界及び社会の発展と充実に貢献することを目的とする。 所在地：千葉県習志野市津田沼2丁目17番1号 設置年月：平成15年4月 規模等：2,026.62 ㎡ 名称：千葉工業大学惑星探査研究センター 目的：宇宙及び惑星に関する先進的な研究を行い，本学，産業界及び社会の発展と充実に貢献することを目的とする。 所在地：千葉県習志野市津田沼2丁目17番1号 設置年月：平成21年4月 規模等：1,170.72 ㎡ 名称：千葉工業大学人工知能・ソフトウェア技術研究センター 目的：ステアラボは，人工知能及びソフトウェア技術に関する先進的な研究を行い，本学，産業界及び社会の発展と充実に貢献することを目的とする。 所在地：千葉県習志野市津田沼2丁目17番1号 設置年月：平成27年4月 規模等：340.04 ㎡ 名称：次世代海洋資源研究センター 目的：海洋資源研は、海洋資源に関する先進的な研究を行い、本学、産業界及び社会の発展と充実に貢献することを目的とする。 所在地：千葉県習志野市津田沼2丁目17番1号 設置年月：平成29年9月 規模等：555.33㎡ 名称：地球学研究センター 目的：地球研は、文明のデザインに関する先進的な研究を行い、本学、産業界及び社会の発展と充実に貢献することを目的とする。 所在地：千葉県習志野市津田沼2丁目17番1号 設置年月：令和2年4月 規模等：112.95㎡ 名称：数理工学研究センター 目的：数理工学研究の我が国の中心拠点を千葉工業大学に構築し、多様な複雑系を対象にして数理工学に基づく科学技術研究開発を世界レベルで先導して強力に推進する。 所在地：千葉県習志野市津田沼2丁目17番1号 設置年月：令和3年5月 規模等：41.26㎡ 名称：変革センター 目的：社会のあらゆる分野の研究者、技術と文化の両方の分野の研究者が集まり、今起きている根本的な変化を通して社会を助けるための技術的なプラットフォームや文化的なアウトプットを想像し、デザインし、設計し、構築することを目的とする。 所在地：千葉県習志野市津田沼2丁目17番1号 設置年月：令和3年11月 規模等：231.32㎡ 名称：次世代ペプチド開発研究センター 目的：ペプチド合成の研究を実施し、中分子創薬を進展させることを目的とする。 所在地：千葉県習志野市津田沼2丁目17番1号 設置年月：令和6年4月 規模等：126.56㎡ 名称：天文学研究センター 目的：系外惑星の観測と月・惑星探査が連携して、太陽系と宇宙に存在する夥しい数の惑星の形成と進化について知り、もって宇宙と地球の過去を知り未来を探り、人類にとっての新たな世界を切り開くことを目標とする。 所在地：千葉県習志野市津田沼2丁目17番1号 設置年月：令和6年4月 規模等：63.58㎡	

（注）

1　共同学科の認可の申請及び届出の場合，「計画の区分」，「新設学部等の目的」，「新設学部等の概要」，「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
2　「新設分」及び「既設分」の備考の「大学設置基準別表第一イ」については、専門職大学にあっては「専門職大学設置基準別表第一イ」、短期大学にあっては「短期大学設置基準別表第一イ」，専門職短期大学にあっては「専門職短期大学設置基準別表第一イ」にそれぞれ読み替えて作成すること。
3「既設分」については，共同学科等に係る数を除いたものとすること。
4　私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「教室・教員研究室」，「図書・設備」及び「スポーツ施設等」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
5　大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「校地等」，「校舎」，「教室・教員研究室」，「図書・設備」，「スポーツ施設等」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
6　「教育課程」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
7　空欄には，「－」又は「該当なし」と記入すること。

学校法人千葉工業大学　設置認可等に関わる組織の移行表

令和6年度	入学定員	編入学定員	収容定員	→	令和7年度	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
千葉工業大学				→	千葉工業大学				
工学部　機械工学科	140	－	560		工学部　機械工学科	140	－	560	
工学部　機械電子創成工学科	110	－	440		工学部　宇宙・半導体工学科	110	－	440	学科の設置（届出）
工学部　先端材料工学科	110	－	440		工学部　先端材料工学科	110	－	440	
工学部　電気電子工学科	140	－	560		工学部　電気電子工学科	140	－	560	
工学部　情報通信システム工学科	110	－	440		工学部　情報通信システム工学科	110	－	440	
工学部　応用化学科	110	－	440		工学部　応用化学科	110	－	440	
創造工学部　建築学科	140	－	560		創造工学部　建築学科	140	－	560	
創造工学部　都市環境工学科	110	－	440		創造工学部　都市環境工学科	110	－	440	
創造工学部　デザイン科学科	120	－	480		創造工学部　デザイン科学科	120	－	480	
先進工学部　未来ロボティクス学科	120	－	480		先進工学部　未来ロボティクス学科	120	－	480	
先進工学部　生命科学科	110	－	440		先進工学部　生命科学科	110	－	440	
先進工学部　知能メディア工学科	110	－	440		先進工学部　知能メディア工学科	110	－	440	
情報変革科学部　情報工学科	120	－	480		情報変革科学部　情報工学科	120	－	480	
情報変革科学部　認知情報科学科	120	－	480		情報変革科学部　認知情報科学科	120	－	480	
情報変革科学部　高度応用情報科学科	120	－	480		情報変革科学部　高度応用情報科学科	120	－	480	
未来変革科学部　デジタル変革科学科	100	－	400		未来変革科学部　デジタル変革科学科	100	－	400	
未来変革科学部　経営デザイン科学科	100	－	400		未来変革科学部　経営デザイン科学科	100	－	400	
計	1,990	－	7,960		計	1,990	－	7,960	
千葉工業大学大学院					千葉工業大学大学院				
工学研究科　機械工学専攻（M）	22	－	44		工学研究科　機械工学専攻（M）	22	－	44	
工学研究科　機械電子創成工学専攻（M）	32	－	64		工学研究科　機械電子創成工学専攻（M）	32	－	64	
工学研究科　先端材料工学専攻（M）	22	－	44		工学研究科　先端材料工学専攻（M）	22	－	44	
工学研究科　電気電子工学専攻（M）	22	－	44		工学研究科　電気電子工学専攻（M）	22	－	44	
工学研究科　情報通信システム工学専攻（M）	22	－	44		工学研究科　情報通信システム工学専攻（M）	22	－	44	
工学研究科　応用化学専攻（M）	32	－	64		工学研究科　応用化学専攻（M）	32	－	64	
工学研究科　工学専攻（D）	24	－	72		工学研究科　工学専攻（D）	24	－	72	
創造工学研究科　建築学専攻　（M）	32	－	64		創造工学研究科　建築学専攻　（M）	32	－	64	
創造工学研究科　都市環境工学専攻　（M）	22	－	44		創造工学研究科　都市環境工学専攻　（M）	22	－	44	
創造工学研究科　デザイン科学専攻　（M）	22	－	44		創造工学研究科　デザイン科学専攻　（M）	22	－	44	
先進工学研究科　未来ロボティクス専攻（M）	32	－	64		先進工学研究科　未来ロボティクス専攻（M）	32	－	64	
先進工学研究科　生命科学専攻（M）	22	－	44		先進工学研究科　生命科学専攻（M）	22	－	44	
先進工学研究科　知能メディア工学専攻（M）	22	－	44		先進工学研究科　知能メディア工学専攻（M）	22	－	44	
情報科学研究科　情報科学専攻（M）	70	－	140		情報科学研究科　情報科学専攻（M）	70	－	140	
情報科学研究科　情報科学専攻（D）	4	－	12		情報科学研究科　情報科学専攻（D）	4	－	12	
社会システム科学研究科　マネジメント工学専攻（M）	40	－	80		社会システム科学研究科　マネジメント工学専攻（M）	40	－	80	
社会システム科学研究科　マネジメント工学専攻（D）	2	－	6		社会システム科学研究科　マネジメント工学専攻（D）	2	－	6	
計	444	－	918		計	444	－	918	

別記様式第２号・別添１

設置の前後における学位等及び基幹教員の所属の状況

届出時における状況						新設学部等の学年進行終了時における状況					
学部等の名称	授与する学位等		異動先	基幹教員		学部等の名称	授与する学位等		異動元	基幹教員	
	学位又は称号	学位又は学科の分野		助教以上	うち教授		学位又は称号	学位又は学科の分野		助教以上	うち教授
工学部 機械電子創成工学科(廃止)	学士 (工学)	工学	工学部 宇宙･半導体工学科	9	8	工学部 宇宙･半導体工学科	学士 (工学)	工学	工学部 機械電子創成工学科	9	8
			機械電子創成工学科	2	1						
			退職	1	1						
			計	12	10				計	9	8

別記様式第２号・別添２

基 礎 と な る 学 部 等 の 改 編 状 況

開設又は改編時期	改　編　内　容　等	学位又は学科の分野	手続きの区分
昭和25年4月	工学部第一部　機械工学科　設置	工学	学部設置(設置認可)
	工学部第一部　金属工学科　設置		
	工学部第一部　工業経営学科　設置		
	工学部第二部　機械工学科　設置		
	工学部第二部　金属工学科　設置		
	工学部第二部　工業経営学科　設置		
昭和28年4月	工学部第一部　電気工学科　設置	工学	学科設置(設置認可)
昭和30年4月	工学部第二部　電気工学科　設置	工学	学科設置(設置認可)
昭和36年4月	工学部第一部　電子工学科　設置	工学	学科設置(設置認可)
	工学部第一部　工業化学科　設置		
昭和38年4月	工学部第一部　土木工学科　設置	工学	学科設置(設置認可)
	工学部第一部　建築学科　設置		
昭和41年4月	工学部第一部　精密機械工学科　設置	工学	学科設置(設置認可)
	工学部第一部既設学科の定員を増加	－	学則変更
昭和61年4月	工学部第一部既設学科(工業経営学科を除く)の定員を増加	－	学則変更
昭和63年4月	工学部第一部　情報工学科　設置	工学	学科設置(設置認可)
	工学部第一部　工業デザイン学科　設置		
	工学部第一部金属工学科及び工業化学科の定員を減少	－	学則変更
平成2年4月	工学部第二部　電子工学科　設置	工学	学科設置(設置認可)
	工学部第二部　建築学科　設置		
	工学部第二部　情報工学科　設置		
	工学部第二部の修業年限を5年から4年に変更	－	学則変更
	工学部第二部金属工学科及び工業経営学科の定員を減少		
平成3年4月	工学部第一部既設学科(金属工学科を除く)の臨時的定員増加	－	学則変更
平成9年4月	工学部第一部　情報ネットワーク学科　設置	工学	学科設置(設置認可)
	工学部第一部　プロジェクトマネジメント学科　設置		
	工学部第一部工業経営学科及び情報工学科の定員を減少	－	学則変更
平成11年4月	工学部第二部の学生募集停止	－	学生募集停止(学部)
	工学部第一部に昼夜開講制を導入	－	学則変更
	工学部第一部を工学部に名称変更	－	名称変更(届出)
平成12年4月	臨時的定員を平成16年度まで延長	－	学則変更
平成13年4月	工学部　工業経営学科　募集停止	－	学生募集停止(学科)
	工学部　情報工学科　募集停止		
	工学部　情報ネットワーク学科　募集停止		
	工学部　プロジェクトマネジメント学科　募集停止		
	臨時的定員を一部恒常化し、臨時定員の延長計画を変更	－	学則変更
平成15年4月	工学部　機械サイエンス学科　設置	工学	学科設置(設置認可)
	工学部　電気電子情報工学科　設置		
	工学部　生命環境科学科　設置		
	工学部　建築都市環境学科　設置		
	工学部　デザイン科学科　設置		
	平成16年度まで延長可能な臨時的定員の内，恒常化可能分を恒常化し，臨時的定員を終了	－	学則変更
	工学部　機械工学科　募集停止	－	学生募集停止(学科)
	工学部　金属工学科　募集停止		
	工学部　電気工学科　募集停止		
	工学部　電子工学科　募集停止		
	工学部　工業化学科　募集停止		
	工学部　土木工学科　募集停止		
	工学部　建築学科　募集停止		
	工学部　精密機械工学科　募集停止		
	工学部　工業デザイン学科　募集停止		
平成18年4月	工学部　未来ロボティクス学科　設置	工学	設置届出(学科)
平成19年3月	工学部　情報ネットワーク学科　廃止	－	学則変更
	工学部　プロジェクトマネジメント学科　廃止		
平成20年3月	工学部　情報工学科　廃止	－	学則変更
	工学部　工業経営学科　廃止		
平成20年4月	昼夜開講制を廃止	－	学則変更
平成21年3月	工学部　金属工学科　廃止	－	学則変更
	工学部　工業化学科　廃止		
	工学部　土木工学科　廃止		
	工学部　建築学科　廃止		
	工学部　工業デザイン学科　廃止		
平成22年3月	工学部　電子工学科　廃止	－	学則変更
	工学部　精密機械工学科　廃止		
平成23年3月	工学部　機械工学科　廃止	－	学則変更
	工学部　電気工学科　廃止		
平成28年4月	工学部　機械工学科　設置	工学	設置届出(学科)
	工学部　機械電子創成工学科　設置		
	工学部　先端材料工学科　設置		
	工学部　電気電子工学科　設置		
	工学部　情報通信システム工学科　設置		
	工学部　応用化学科　設置		
	工学部　機械サイエンス学科　募集停止	－	学生募集停止(学科)
	工学部　電気電子情報工学科　募集停止		
	工学部　生命環境科学科　募集停止		
	工学部　建築都市環境学科　募集停止		
	工学部　デザイン科学科　募集停止		
	工学部　未来ロボティクス学科　募集停止		
令和2年4月	工学部の教養科目カリキュラム変更	工学	学則変更
	工学部　機械電子創成工学科の専門科目カリキュラム変更		
令和3年3月	工学部　デザイン科学科　廃止	－	学則変更
令和4年3月	工学部　機械サイエンス学科　廃止	－	学則変更
	工学部　生命環境科学科　廃止		
	工学部　建築都市環境学科　廃止		
	工学部　未来ロボティクス学科　廃止		
令和5年4月	工学部　機械電子創成工学科の専門科目カリキュラム変更	工学	学則変更
令和6年3月	工学部　電気電子情報工学科　廃止	－	学則変更
令和6年4月	工学部の教養科目カリキュラム変更	工学	学則変更
	工学部　機械電子創成工学科の専門科目カリキュラム変更		
令和7年4月	工学部　宇宙・半導体工学科　設置	工学	設置届出(学科)
	工学部　機械電子創成工学科の学生募集停止	－	学生募集停止(学科)

教育課程等の概要

（工学部　宇宙・半導体工学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
教養科目	教養基礎科目	コミュニケーションスキル	英語理解基礎１	1前			1			○							2	
			英語表現基礎１	1前			1			○							2	
			英語理解基礎２	1後			1			○							2	
			英語表現基礎２	1後			1			○							2	
			英語理解基礎３	2～3			1			○							2	
			英語表現基礎３	2～3			1			○							2	
			英語理解基礎４	2～3			1			○							2	
			英語表現基礎４	2～3			1			○							2	
			英語理解１	1前			1			○							7	
			英語表現１	1前			1			○							6	
			英語理解２	1後			1			○							3	
			英語表現２	1後			1			○							6	
			英語理解３	2～3			1			○							4	
			英語表現３	2～3			1			○							5	
			英語理解４	2～3			1			○							3	
			英語表現４	2～3			1			○							5	
			英語理解発展１	1前			1			○							1	
			英語表現発展１	1前			1			○							1	
			英語理解発展２	1後			1			○							1	
			英語表現発展２	1後			1			○							1	
			英語理解発展３	2～3			1			○							1	
			英語表現発展３	2～3			1			○							1	
			英語理解発展４	2～3			1			○							1	
			英語表現発展４	2～3			1			○							1	
			資格試験英語Ａ	2前・後			1			○							4	
			資格試験英語Ｂ	2前・後			1			○							3	
			日本語表現法	1前	○	1				○							3	
		情報リテラシー	数理・データサイエンス・AI入門	1前・後，2前	○	1				○							1	
			AI・プログラミング基礎演習	1～2			1			○							1	
		人間力養成	スポーツ科学	1前・後	○	2			○								9	
			初年次教育	1前	○	1			○								1	
			キャリアデザイン１	1後	○	1			○								1	
			キャリアデザイン２	2前	○	1			○								1	
			キャリアデザイン３	3前	○	1			○								1	
			小計（34科目）	－	－	8	27	0				0	0	0	0		45	
	教養共通科目	国際理解	異文化理解	1前・後，2前	○	2			○								4	
			言語と文化１	1前・後，2前	○	2			○								3	
			言語と文化２	1前・後，2前	○	2			○								4	
			グローバル時代の法	3前・後，4前			2		○								2	
			国際社会論	3前・後，4前			2		○								2	
		人間・社会・自然の理解	哲学	1前・後，2前			2		○								2	
			倫理学	1前・後，2前			2		○								2	
			文学と芸術	1前・後，2前			2		○								3	
			歴史と人間	1前・後，2前			2		○								2	
			心理学	1前・後，2前			2		○								4	
			身体と健康の科学	1前・後，2前			2		○								7	
			憲法と社会	1前・後，2前			2		○								2	
			政治と社会	3前・後，4前			2		○								2	
			経済学	3前・後，4前			2		○								2	
			現代社会論	1前・後，2前			2		○								3	
			科学技術史	1前・後，2前			2		○								2	
			環境科学概論	1前・後，2前			2		○								3	
			生命科学	3前・後，4前			2		○								2	
			地球科学	3前・後，4前			2		○								2	
			物理の世界と先端技術	3前・後，4前			2		○								1	
			物質科学	3前・後，4前			2		○								2	
		総合	課題探究セミナー	2後			2		○								11	
			総合学際科目	2後			2		○								5	
			小計（23科目）	－	－	6	40	0	－			0	0	0	0		53	－

教養科目	教養特別科目	イングリッシュアクティブラーニング１	3前			1			○						2	
		イングリッシュアクティブラーニング２	3後			1			○						2	
		イングリッシュアクティブラーニング３	3前・後，4前・後			1			○						1	集中
		日本語アクティブラーニング	3前・後，4前・後			1			○						1	
		スポーツアクティブラーニング	3前・後，4前・後			2		○							15	集中
		ソーシャルアクティブラーニング	1・2・3・4			1				○					1	
		国際インターン	1・2・3・4			1				○					1	
		国内インターン	1・2・3・4			1				○					1	
		ボランティア	1・2・3・4			1				○					1	
		キャリアアップラーニング	1・2・3・4			1				○					1	
		総合科学特論	3前・後,4前・後			2		○							21	
		小計（11科目）	－	－	0	13	0	－			0	0	0	0	33	－
専門科目	専門基礎科目	数学基礎	1前	○	2			○							3	
		微分積分	1後	○	2			○							3	
		微分方程式	2前			2		○							2	
		応用数学	2後			2		○							2	
		線形代数基礎	1前	○	2			○							3	
		線形代数応用	1後			2		○							2	
		基礎統計学	2前			2		○							2	
		物理学基礎	1前	○	2			○							2	
		物理学実験	1後			2				○					7	
		化学基礎	2前			2		○							2	
		小計（10科目）	－	－	8	12	0	－			0	0	0	0	23	－
	専門基幹科目	機械電子工学概論	1前	○	2			○			8	1			2	オムニバス
		デジタルものづくり	1前			2		○							1	
		力学	1後			2		○			1					
		材料力学	1後			2		○			1					
		電気磁気学	1後			2		○			1					
		電気回路	2前			2		○			1					
		半導体デバイス	2前			2		○			1					
		工業熱力学	2前			2		○			1					
		機械設計製図学	2後			2		○			1					
		材料加工	2後			2		○				1				
		プログラミング言語	2後			2		○				1				
		アナログ回路	2後			2		○			1					
		小計（12科目）	－	－	2	22	0	－			8	1	0	0	2	－
	専門展開科目	宇宙理工学概論	1後			2		○			1				1	共同
		半導体工学概論	1後			2		○			1					
		機械力学	3前			2		○			1					
		トライボロジー	3前			2		○			1					
		流体工学	3前			2		○			1					
		デジタル回路	3前			2		○			1					
		情報通信工学	3前			2		○			1					
		システム制御理論	3前			2		○			1					
		センサ工学	3前			2		○							1	
		精密加工	3後			2		○							1	
		電気機器学	3後			2		○							1	
		組込みシステム	3後			2		○			1					
		システム制御工学	3後			2		○			1					
		計測工学	3後			2		○			1					
		宇宙理工学発展講義	4前			2		○			1					
		半導体工学発展講義	4前			2		○							1	
		技術者倫理	4前			2		○				1				
		宇宙・半導体・メカトロニクス総合講義演習１	2前	○	2			○			3					※実験
		宇宙・半導体・メカトロニクス総合講義演習２	2後	○	2			○			4					※実験
		アドバンストラーニング１	3前	○	2				○		8	1			1	
		アドバンストラーニング２	3後	○	2				○		8	1			1	
		設計製図講義演習	3前	○	4				○		1	1			3	共同 ※講義
		ゼミナール１	4前	○	2				○		8	1				
		ゼミナール２	4後	○	2				○		8	1				
		卒業研究	4通	○	5				○		8	1				
		小計（25科目）	－	－	21	34	0	－			8	1	0	0	7	－
合計（115科目）			－	－	45	148	0	－			8	1	0	0	128	－

学位又は称号	学士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
以下の条件を満たし、総単位１２４単位以上修得すること。 （教養科目） 必修科目１４単位を含み、３５単位以上 （専門科目） 必修科目３１単位を含み、専門基礎科目１８単位以上、専門基幹科目２２単位、専門展開科目４９単位以上を修得し，専門科目８９単位以上 （履修科目の登録の上限：４０単位（年間））	１学年の学期区分	２学期
	１学期の授業期間	１３週
	１時限の授業時間	１２０分

教育課程等の概要

新習志野キャンパス

（工学部　宇宙・半導体工学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
教養科目	教養基礎科目	コミュニケーションスキル	英語理解基礎１	1前			1			○							2	
			英語表現基礎１	1前			1			○							2	
			英語理解基礎２	1後			1			○							2	
			英語表現基礎２	1後			1			○							2	
			英語理解基礎３	2～3			1			○							2	
			英語表現基礎３	2～3			1			○							2	
			英語理解基礎４	2～3			1			○							2	
			英語表現基礎４	2～3			1			○							2	
			英語理解１	1前			1			○							7	
			英語表現１	1前			1			○							6	
			英語理解２	1後			1			○							3	
			英語表現２	1後			1			○							6	
			英語理解３	2～3			1			○							4	
			英語表現３	2～3			1			○							5	
			英語理解４	2～3			1			○							3	
			英語表現４	2～3			1			○							5	
			英語理解発展１	1前			1			○							1	
			英語表現発展１	1前			1			○							1	
			英語理解発展２	1後			1			○							1	
			英語表現発展２	1後			1			○							1	
			英語理解発展３	2～3			1			○							1	
			英語表現発展３	2～3			1			○							1	
			英語理解発展４	2～3			1			○							1	
			英語表現発展４	2～3			1			○							1	
			資格試験英語Ａ	2前・後			1			○							4	
			資格試験英語Ｂ	2前・後			1			○							3	
			日本語表現法	1前	○	1				○							3	
		情報リテラシー	数理・データサイエンス・AI入門	1前・後，2前	○	1				○							1	
			AI・プログラミング基礎演習	1～2			1			○							1	
		人間力養成	スポーツ科学	1前・後	○	2			○								9	
			初年次教育	1前	○	1			○								1	
			キャリアデザイン１	1後	○	1			○								1	
			キャリアデザイン２	2前	○	1			○								1	
			小計（33科目）	－	－	7	27	0				0	0	0	0		45	
	教養共通科目	国際理解	異文化理解	1前・後，2前	○	2			○								4	
			言語と文化１	1前・後，2前	○	2			○								3	
			言語と文化２	1前・後，2前	○	2			○								4	
		人間・社会・自然の理解	哲学	1前・後，2前			2		○								2	
			倫理学	1前・後，2前			2		○								2	
			文学と芸術	1前・後，2前			2		○								3	
			歴史と人間	1前・後，2前			2		○								2	
			心理学	1前・後，2前			2		○								4	
			身体と健康の科学	1前・後，2前			2		○								7	
			憲法と社会	1前・後，2前			2		○								2	
			現代社会論	1前・後，2前			2		○								3	
			科学技術史	1前・後，2前			2		○								2	
			環境科学概論	1前・後，2前			2		○								3	
		総合	課題探究セミナー	2後			2		○								11	
			総合学際科目	2後			2		○								5	
			小計（15科目）	－	－	6	24	0	－			0	0	0	0		43	－

教養科目	教養特別科目	ソーシャルアクティブラーニング	1・2・3・4			1			○						1	
		国際インターン	1・2・3・4			1			○						1	
		国内インターン	1・2・3・4			1			○						1	
		ボランティア	1・2・3・4			1			○						1	
		キャリアアップラーニング	1・2・3・4			1			○						1	
		小計（5科目）	－	－	0	5	0	－		0	0	0	0		4	－
専門科目	専門基礎科目	数学基礎	1前	○	2			○							3	
		微分積分	1後	○	2			○							3	
		微分方程式	2前			2		○							2	
		応用数学	2後			2		○							2	
		線形代数基礎	1前	○	2			○							3	
		線形代数応用	1後			2		○							2	
		基礎統計学	2前			2		○							2	
		物理学基礎	1前	○	2			○							2	
		物理学実験	1後			2			○						7	
		化学基礎	2前			2		○							2	
		小計（10科目）	－	－	8	12	0	－		0	0	0	0		23	－
	専門基幹科目	機械電子工学概論	1前	○	2			○		8	1				2	オムニバス
		デジタルものづくり	1前			2		○							1	
		力学	1後			2		○		1						
		材料力学	1後			2		○		1						
		電気磁気学	1後			2		○		1						
		電気回路	2前			2		○		1						
		半導体デバイス	2前			2		○		1						
		工業熱力学	2前			2		○		1						
		機械設計製図学	2後			2		○		1						
		材料加工	2後			2		○			1					
		プログラミング言語	2後			2		○			1					
		アナログ回路	2後			2		○		1						
		小計（12科目）	－	－	2	22	0	－		8	1	0	0		2	－
	専門展開科目	宇宙理工学概論	1後			2		○		1					1	共同
		半導体工学概論	1後			2		○		1						
		宇宙・半導体・メカトロニクス総合講義演習１	2前	○	2			○		3						※実験
		宇宙・半導体・メカトロニクス総合講義演習２	2後	○	2			○		4						※実験
		小計（4科目）	－	－	4	4	0	－		7	0	0	0		1	－
合計（79科目）			－	－	27	94	0	－		8	1	0	0		109	－

学位又は称号	学士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
以下の条件を満たし、総単位１２４単位以上修得すること。 （教養科目） 必修科目１４単位を含み、３５単位以上 （専門科目） 必修科目３１単位を含み、専門基礎科目１８単位以上、専門基幹科目２２単位、専門展開科目４９単位以上を修得し，専門科目８９単位以上 （履修科目の登録の上限：４０単位（年間）） （履修科目の登録の上限：４０単位（年間）） （履修科目の登録の上限：４０単位（年間）） （履修科目の登録の上限：４０単位（年間）） （履修科目の登録の上限：４０単位（年間）） （履修科目の登録の上限：４０単位（年間）） （履修科目の登録の上限：４０単位（年間）） （履修科目の登録の上限：４０単位（年間））	１学年の学期区分	２学期
	１学期の授業期間	１３週
	１時限の授業時間	１２０分

教 育 課 程 等 の 概 要

津田沼キャンパス

（工学部　宇宙・半導体工学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
教養科目	教養基礎科目	コミュニケーションスキル	英語理解基礎３	2～3			1			○							2	
			英語表現基礎３	2～3			1			○							2	
			英語理解基礎４	2～3			1			○							2	
			英語表現基礎４	2～3			1			○							2	
			英語理解３	2～3			1			○							4	
			英語表現３	2～3			1			○							5	
			英語理解４	2～3			1			○							3	
			英語表現４	2～3			1			○							5	
			英語理解発展３	2～3			1			○							1	
			英語表現発展３	2～3			1			○							1	
			英語理解発展４	2～3			1			○							1	
			英語表現発展４	2～3			1			○							1	
		情報リテラシー																
		人間力養成	キャリアデザイン３	3前	○	1			○								1	
			小計（13科目）	－	－	1	12	0				0	0	0	0		18	
	教養共通科目	国際理解	グローバル時代の法	3前・後，4前			2		○								2	
			国際社会論	3前・後，4前			2		○								2	
		人間・社会・自然の理解	政治と社会	3前・後，4前			2		○								2	
			経済学	3前・後，4前			2		○								2	
			生命科学	3前・後，4前			2		○								2	
			地球科学	3前・後，4前			2		○								2	
			物理の世界と先端技術	3前・後，4前			2		○								1	
			物質科学	3前・後，4前			2		○								2	
		総合																
			小計（8科目）	－	－	0	16	0	－			0	0	0	0		15	－

教養科目	教養特別科目	イングリッシュアクティブラーニング１	3前			1			○						2	
		イングリッシュアクティブラーニング２	3後			1			○						2	
		イングリッシュアクティブラーニング３	3前・後，4前・後			1			○						1	集中
		日本語アクティブラーニング	3前・後，4前・後			1			○						1	
		スポーツアクティブラーニング	3前・後，4前・後			2		○							15	集中
		ソーシャルアクティブラーニング	1・2・3・4			1				○					1	
		国際インターン	1・2・3・4			1				○					1	
		国内インターン	1・2・3・4			1				○					1	
		ボランティア	1・2・3・4			1				○					1	
		キャリアアップラーニング	1・2・3・4			1				○					1	
		総合科学特論	3前・後,4前・後			2		○							21	
		小計（11科目）	－	－	0	13	0	－			0	0	0	0	33	－
専門科目	専門基礎科目															
		小計（0科目）	－	－	0	0	0	－			0	0	0	0	0	－
	専門基幹科目															
		小計（0科目）	－	－	0	0	0	－			0	0	0	0	0	－
	専門展開科目	機械力学	3前			2		○			1					
		トライボロジー	3前			2		○			1					
		流体工学	3前			2		○			1					
		デジタル回路	3前			2		○			1					
		情報通信工学	3前			2		○			1					
		システム制御理論	3前			2		○			1					
		センサ工学	3前			2		○							1	
		精密加工	3後			2		○							1	
		電気機器学	3後			2		○							1	
		組込みシステム	3後			2		○			1					
		システム制御工学	3後			2		○			1					
		計測工学	3後			2		○			1					
		宇宙理工学発展講義	4前			2		○			1					
		半導体工学発展講義	4前			2		○							1	
		技術者倫理	4前			2		○				1				
		アドバンストラーニング１	3前	○	2				○		8	1			1	
		アドバンストラーニング２	3後	○	2				○		8	1			1	
		設計製図講義演習	3前	○	4				○		1	1			3	共同 ※講義
		ゼミナール１	4前	○	2				○		8	1				
		ゼミナール２	4後	○	2				○		8	1				
		卒業研究	4通	○	5				○		8	1				
		小計（21科目）	－	－	17	30	0	－			8	1	0	0	6	－
合計（53科目）			－	－	18	71	0	－			8	1	0	0	65	－

学位又は称号	学士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
以下の条件を満たし、総単位１２４単位以上修得すること。 （教養科目） 必修科目１４単位を含み、３５単位以上 （専門科目） 必修科目３１単位を含み、専門基礎科目１８単位以上、専門基幹科目２２単位、専門展開科目４９単位以上を修得し，専門科目８９単位以上 （履修科目の登録の上限：４０単位（年間）） （履修科目の登録の上限：４０単位（年間）） （履修科目の登録の上限：４０単位（年間）） （履修科目の登録の上限：４０単位（年間）） （履修科目の登録の上限：４０単位（年間）） （履修科目の登録の上限：４０単位（年間）） （履修科目の登録の上限：４０単位（年間）） （履修科目の登録の上限：４０単位（年間）） （履修科目の登録の上限：４０単位（年間）） （履修科目の登録の上限：４０単位（年間））	１学年の学期区分	２学期
	１学期の授業期間	１３週
	１時限の授業時間	１２０分

教育課程等の概要

（工学部　機械電子創成工学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
教養科目	教養基礎科目	コミュニケーションスキル	英語理解基礎１	1前			1			○							2	
			英語表現基礎１	1前			1			○							2	
			英語理解基礎２	1後			1			○							2	
			英語表現基礎２	1後			1			○							2	
			英語理解基礎３	2～3			1			○							2	
			英語表現基礎３	2～3			1			○							2	
			英語理解基礎４	2～3			1			○							2	
			英語表現基礎４	2～3			1			○							2	
			英語理解１	1前			1			○							7	
			英語表現１	1前			1			○							7	
			英語理解２	1後			1			○							3	
			英語表現２	1後			1			○							6	
			英語理解３	2～3			1			○							4	
			英語表現３	2～3			1			○							5	
			英語理解４	2～3			1			○							3	
			英語表現４	2～3			1			○							6	
			英語理解発展１	1前			1			○							1	
			英語表現発展１	1前			1			○							1	
			英語理解発展２	1後			1			○							1	
			英語表現発展２	1後			1			○							1	
			英語理解発展３	2～3			1			○							1	
			英語表現発展３	2～3			1			○							1	
			英語理解発展４	2～3			1			○							1	
			英語表現発展４	2～3			1			○							1	
			資格試験英語Ａ	2前・後			1			○							4	
			資格試験英語Ｂ	2前・後			1			○							3	
			日本語表現法	1前	○	1				○							3	
		情報リテラシー	数理・データサイエンス・AI入門	1前・後，2前	○	1				○							1	
			AI・プログラミング基礎演習	1～2			1			○							1	
		人間力養成	スポーツ科学	1前・後	○	2			○								9	
			初年次教育	1前	○	1			○								1	
			キャリアデザイン１	1後	○	1			○								1	
			キャリアデザイン２	2前	○	1			○								1	
			キャリアデザイン３	3前	○	1			○								1	
			小計（34科目）	－	－	8	27	0				0	0	0	0		46	
	教養共通科目	国際理解	異文化理解	1前・後，2前	○	2			○								4	
			言語と文化１	1前・後，2前	○	2			○								3	
			言語と文化２	1前・後，2前	○	2			○								3	
			グローバル時代の法	3前・後，4前			2		○								2	
			国際社会論	3前・後，4前			2		○								2	
		人間・社会・自然の理解	哲学	1前・後，2前			2		○								2	
			倫理学	1前・後，2前			2		○								2	
			文学と芸術	1前・後，2前			2		○								3	
			歴史と人間	1前・後，2前			2		○								2	
			心理学	1前・後，2前			2		○								4	
			身体と健康の科学	1前・後，2前			2		○								8	
			憲法と社会	1前・後，2前			2		○								3	
			政治と社会	3前・後，4前			2		○								2	
			経済学	3前・後，4前			2		○								2	
			現代社会論	1前・後，2前			2		○								3	
			科学技術史	1前・後，2前			2		○								2	
			環境科学概論	1前・後，2前			2		○								3	
			生命科学	3前・後，4前			2		○								2	
			地球科学	3前・後，4前			2		○								3	
			物理の世界と先端技術	3前・後，4前			2		○								2	
			物質科学	3前・後，4前			2		○								2	
		総合	課題探究セミナー	2後			2		○								11	
			総合学際科目	2後			2		○								5	
			小計（23科目）	－	－	6	40	0	－			0	0	0	0		57	－

教養科目	教養特別科目	イングリッシュアクティブラーニング１	3前			1			○						3	
		イングリッシュアクティブラーニング２	3後			1			○						2	
		イングリッシュアクティブラーニング３	3前・後，4前・後			1			○						1	集中
		日本語アクティブラーニング	3前・後，4前・後			1			○						1	
		スポーツアクティブラーニング	3前・後，4前・後			2		○							15	集中
		ソーシャルアクティブラーニング	1・2・3・4			1				○					1	
		国際インターン	1・2・3・4			1				○					1	
		国内インターン	1・2・3・4			1				○					1	
		ボランティア	1・2・3・4			1				○					1	
		キャリアアップラーニング	1・2・3・4			1				○					1	
		総合科学特論	3前・後,4前・後			2		○							19	
		小計（11科目）	－	－	0	13	0	－			0	0	0	0	32	－
専門科目	専門基礎科目	数学基礎	1前	○	2			○							2	
		微分積分	1後	○	2			○							2	
		微分方程式	2前			2		○							2	
		応用数学	2後			2		○							2	
		線形代数基礎	1前	○	2			○							2	
		線形代数応用	1後			2		○							2	
		基礎統計学	2前			2		○							2	
		物理学基礎	1前	○	2			○							2	
		物理学実験	1後			2				○					7	
		化学基礎	2前			2		○							2	
		小計（10科目）	－	－	8	12	0	－			0	0	0	0	21	－
	専門基幹科目	デジタルものづくり	1前			2		○				1				
		力学	1後			2		○			1					
		材料力学	1後			2		○			1					
		電気磁気学	1後			2		○			1					
		電気回路	2前			2		○			1					
		電子デバイス	2前			2		○			1					
		機械電子創成概論	1前	○	2			○			10	2				オムニバス
		機械電子創成基礎講義演習	2前	○	4			○			10	2				※実験
		小計（8科目）	－	－	6	12	0	－			10	2	0	0	0	－
	専門展開科目	機械設計製図学	2後			2		○			1					
		機械力学	3前			2		○			1					
		材料加工	2後			2		○			1					
		シミュレーション工学	4前			2		○			1					
		トライボロジー	3前			2		○			1					
		工業熱力学	2前			2		○			1					
		流体工学	3前			2		○			1					
		精密加工	3後			2		○			1					
		アナログ回路	2後			2		○			1					
		デジタル回路	3前			2		○			1					
		電気機器学	3後			2		○			1					
		プログラミング言語	2後			2		○				1				
		組込みシステム	3後			2		○			1					
		情報通信工学	3前			2		○			1					
		システム制御理論	3前			2		○			1					
		センサ工学	3前			2		○				1				
		システム制御工学	3後			2		○			1					
		計測工学	3後			2		○			1					
		機械電子創成アドバンスドラーニングⅠ	3前	○	2				○		10	2				
		機械電子創成アドバンスドラーニングⅡ	3後	○	2				○		10	2				
		機械電子創成アドバンスドラーニングⅢ	4前			2			○		10	2				
		技術者倫理	4前			2		○				1				
		機械電子創成応用講義演習	2後	○	4			○			10	2				※実験
		設計製図講義演習	3前	○	4				○		2				3	共同 ※講義
		ゼミナール１	4前	○	2				○		10	2				
		ゼミナール２	4後	○	2				○		10	2				
		卒業研究	4通	○	5				○		10	2				
		小計（27科目）	－	－	21	40	0	－			10	2	0	0	3	－
合計（113科目）			－	－	49	144	0	－			10	2	0	0	124	－

学位又は称号	学士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
以下の条件を満たし、総単位１２４単位以上修得すること。 （教養科目） 必修科目１４単位を含み、３５単位以上 （専門科目） 必修科目３５単位を含み、専門科目８９単位以上 （履修科目の登録の上限：４０単位（年間）） １学年の学期区分：２学期 １学期の授業期間：１３週 １時限の授業時間：１２０分		

授　業　科　目　の　概　要

（工学部　宇宙・半導体工学科）

科目区分			授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
教養科目	教養基礎科目	コミュニケーションスキル	英語理解基礎1		本授業では聞く、話す、読む、書くという基礎的な言語活動を通して高校における語彙や文法を十分に定着させ、4技能の基礎的な英語運用能力を養成する。主に基礎的な英文のインプットを繰り返すことにより英語の最低限のルールを習得する。4技能の言語活動をバランスよく計画的・系統的に取り入れることで、基礎的な語彙や文法事項をさまざまな言語活動のなかで繰り返し練習し、実際の場面で使える「能動語彙」や使える「文法力」の習得を目指す。	
			英語表現基礎1		本授業では、高校までに学習してきた語意や文法を用いて、基礎的な英語運用能力の習得に必要な土台作りを目指す。スピーキングでは1対1の会話で相手の主張を理解して要約したり、平易な表現を用いて相手の質問に簡潔に答えたりといったペア・ワーク、またライティングでは英文和訳や自由英作文などで基礎的な文法事項を確認するなど演習形式の授業を通じてコミュニケーションの基礎力の養成を行う。また積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲の養成も目指す。	
			英語理解基礎2		本授業ではコミュニケーションのコアとなる英文法の習得を目指す。多様な例文のインプットに加えて、話す、書くというアウトプットを多量に行なうことで断片的になりがちな文法知識を有機的に関連させる。4技能の言語活動をバランスよく計画的・系統的に取り入れることで、基礎的な語彙や文法事項をさまざまな言語活動のなかで繰り返し練習し、知識としてだけではなく、実際の場面で使える「能動語彙」や使える「文法力」の習得を目指す。	
			英語表現基礎2		本授業では、基礎的な英語運用能力と積極的にコミュニケーションと取ろうとする意欲の習得に向けた演習中心の授業を行う。1対1のスピーキングでは基礎的な内容に加えてさまざまな話題についてのやりとりができるように演習形式の授業を行う。また相手の主張を要約する演習を通じて語彙力の強化も行う。ライティングでは英文和訳や自由英作文などで基礎的な文法事項を確認するなど演習形式の授業を通じてコミュニケーションの基礎力の養成を行う。	
			英語理解基礎3		本授業ではリスニングとリーディングを中心に、英語で発信された情報や考えなどを的確に理解する能力を伸ばすことを主眼とする。題材としては、基礎的な英文で書かれた読み物を用い、まず、音読などを通じて英語の正しい発音を確認するとともに、英語の自然な流れやスピードにも慣れ親しむ機会を設ける。次に、その読み物を精読し、その過程の中で、単に一つ一つの英文を正確に深く理解するだけでなく、文と文とのつながりや内容の展開などにも目を配り、文章全体を把握する能力を養成する。	
			英語表現基礎3		本授業では、会話や作文だけでなく読解や聴解など4技能を複合的に使いながら標準的な英語コミュニケーション力の習得を目指す。2－3名のグループワークを中心にした授業運営を行い、会話やインタビューなど多様なスタイルを活用することで確固とした英語運用能力を定着させる。たとえば他人の意見をパラフレーズして説明することで語彙のネットワークを広げるなど。ライティングでは既習文法事項と新たな語彙を使いながら、より豊かな英語表現のための基礎力の養成を行う。	
			英語理解基礎4		本授業ではリスニングとリーディングを中心に、英語で発信された情報や考えなどを的確に理解する能力を伸ばすことを主眼とする。題材としては、基礎的な英文で書かれた読み物を用い、まず、音読やディクテーションなどを通じて英語の正しい発音を確認するとともに、英語の自然な流れやスピードにも慣れ親しむ機会を設ける。次に、その読み物を精読し、その過程の中で、単に一つ一つの英文を正確に深く理解するだけでなく、文と文とのつながりや内容の展開などにも目を配り、文章全体を把握する力を養成する。更には、その読んだ内容を平易な自分の言葉でまとめる演習を行う。	
			英語表現基礎4		本授業では、4技能（読解、聴解、会話、作文）を複合的に使いながら標準的な英語運用能力の習得を目指す。スピーキングでは2－3名のペア・ワークで一般的な内容に基づいてインタビューする演習を行う。ライティングではより豊かな英語表現のための基礎力の養成をめざして、具体的な状況や話題（大学生活や学習内容）についての作文を行う。また、学生同士でのピア・レビューを通じて、より正確で洗練された英語表現を目指す。	
			英語理解1		長い文を含む文章を読む場合、文の構造を理解する能力が不可欠である。本授業の目的は、文構造を把握するテクニックを身に着け、それを駆使しながら実際に文章を読むことにある。また文構造を把握するテクニックを習得するために、前置詞、動名詞、分詞などの文を長くする原因となる様々な文法事項の復習も行う。	
			英語表現1		本授業では、高校までに学習した内容に加えて新たに語彙力の強化を行いながら、標準的な英語運用能力の習得に必要な土台作りを目指す。スピーキングでは2－3名のグループ内で互いにインタビューをしたり、他人の意見をパラフレーズして説明したりするなどのグループ・ワーク、またライティングでは高校までの既習文法事項と新たな語彙を使いながら、より豊かな英語表現のための基礎力の養成を行う。また積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲の養成も目指す。	

教養科目	教養基礎科目	コミュニケーションスキル	英語理解2		長い文を含む文章を読む場合、文の構造を理解する能力が不可欠である。本授業の目的は、文構造を把握するテクニックを身に着け、それを駆使しながら実際に文章を読むことにある。また文構造を把握するテクニックを習得するために、不定詞、同格、等位接続詞、従属節などの文を長くする原因となる様々な文法事項の復習も行う。	
			英語表現2		本授業では、標準的な英語運用能力と積極的にコミュニケーションと取ろうとする意欲の習得に向けた演習中心の授業を行う。2－3名のスピーキングではより複雑な構文や難度の高い語彙を用いて互いにインタビューする演習を行う。ライティングではより豊かな英語表現のための基礎力の養成をめざして、具体的な状況や話題（大学生活や学習内容）についての作文を行う。また、学生同士でのピア・レビューを通じて、より正確で洗練された英語表現を目指す。	
			英語理解3		本授業ではリスニングとリーディングを中心に、英語で発信された情報や考えなどを的確に理解する能力を伸ばすことを主眼とする。題材としては、標準的な英文で書かれた読み物を用い、まず、音読やディクテーションなどを通じて英語の正しい発音を確認するとともに、英語の自然な流れやスピードにも慣れ親しむ機会を設ける。次に、その読み物を精読し、その過程の中で、単に一つ一つの英文を正確に深く理解するだけでなく、文と文とのつながりや内容の展開などにも目を配りつつ、文章全体を把握し、最終的には、読んだ内容を自分の言葉でまとめられるようになることを目指す。	
			英語表現3		本授業では、会話や作文だけでなく読解や聴解など4技能を複合的に使いながら実践的な英語運用能力の習得を目指す。5-6名のグループワークを中心とした授業運営を行う。教員対学生だけではなく、学生同士のアクティビティを積極的に取り入れることで、自発的な英語運用能力を定着させる。スピーキングでは学生生活などの身近なテーマに基づいて30秒程度のスピーチを作成し、互いに発表し内容をまとめる演習を繰り返し行う。またライティングでは50語程度の自由作文を使って学生同士の添削（peer-review）など、より正確で洗練された英語表現を目指した演習形式の授業を行う。	
			英語理解4		本授業ではリスニングとリーディングを中心に、英語で発信された情報や考えなどを的確に理解する能力を伸ばすことを主眼とする。題材としては、標準的な英文で書かれた読み物を用い、まず、音読やディクテーションなどを通じて英語の正しい発音を確認するとともに、英語の自然な流れやスピードにも慣れ親しむ機会を設ける。次に、その読み物を精読し、その過程の中で、単に一つ一つの英文を正確に深く理解するだけでなく、文と文とのつながりや内容の展開などにも目を配りつつ、文章全体を把握し、最終的には、読んだ内容を自分の言葉でまとめられるようになることを目指す。更には、その内容に対する自分の意見を構築し、発表する演習を行う。	
			英語表現4		本授業では、技能（読解、聴解、会話、作文）を複合的に使いながら実践的な英語運用能力の習得を目指す。スピーキングでは一般的な話題だけではなく、社会問題などについて自分の意見を表現するまとまったスピーチを作成し、互いに発表し内容をまとめる演習を繰り返し行う。またライティングでも自分の意見を論理的に展開する100語程度の自由作文を作成するなど、より正確で洗練された英語表現を目指した演習形式の授業を行う。	
			英語理解発展1		本授業ではリスニングとリーディングを中心に、英語で発信された情報や考えなどを的確に理解する能力を伸ばすことを主眼とする。題材としては、社会問題や時事問題等を扱った読み物を用い、まず、音読などを通じて英語の正しい発音を確認するとともに、英語の自然な流れやスピードにも慣れ親しむ機会を設ける。次に、その読み物を精読し、その過程の中で、単に一つ一つの英文を正確に深く理解するだけでなく、文と文とのつながりや内容の展開などにも目を配りつつ文章全体を把握し、更には、その読んだ内容を自分の言葉でまとめる能力を養成する。	
			英語表現発展1		本授業では、実践的な英語運用能力の習得のための語彙の強化や構文の確認といったコミュニケーション能力の土台作りを目指す。それと同時に積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲の養成も目指す。スピーキングでは学生生活などの身近なテーマに基づいて30秒程度のスピーチを作成し、互いに発表し内容をまとめる演習を繰り返し行う。またライティングでは50語程度の自由作文を使って学生同士でのピア・レビューなど、より正確で洗練された英語表現を目指した演習形式の授業を行う。	
			英語理解発展2		本授業ではリスニングとリーディングを中心に、英語で発信された情報や考えなどを的確に理解する能力を伸ばすことを主眼とする。題材としては、社会問題や時事問題等を扱った読み物を用い、まず、音読やディクテーションなどを通じて英語の正しい発音を確認するとともに、英語の自然な流れやスピードにも慣れ親しむ機会を設ける。次に、その読み物を精読し、その過程の中で、単に一つ一つの英文を正確に深く理解するだけでなく、文と文とのつながりや内容の展開などにも目を配りつつ文章全体を把握する能力を養成する。更には、その読んだ内容を自分の言葉でまとめ、その内容に対する自分の意見を構築し、発表する演習を行う。	
			英語表現発展2		本授業では、実践的な英語運用能力と積極的にコミュニケーションと取ろうとする意欲の習得に向けた演習中心の授業を行う。スピーキングでは社会問題や科学的な話題などの複雑なテーマに基づいて1分程度のスピーチを作成し、互いに発表し内容をまとめる演習を繰り返し行う。またライティングでは100語程度の自由作文を使って学生同士でのピア・レビューなど、より正確で洗練された英語表現を目指した演習形式の授業を行う。	

教養科目	教養基礎科目	コミュニケーションスキル	英語理解発展3		本授業ではリスニングとリーディングを中心に、英語で発信された情報や考えなどを的確に理解し、それらに対する自らの考えや意見をより深める能力を伸ばすことを主眼とする。題材としては、主に特定の社会問題などを扱った読み物や新聞・雑誌記事などを複数用い、様々な角度から一つの事柄を理解し、その内容を自らの言葉でまとめられるような力を養う。読む方法としても「精読」だけに留まらず、必要な情報や考えをスピーディに探しだすのに有効な「速読」などにも挑戦する。また、音読やディクテーションに加え、内容に関する英語の質疑応答などを通じて、聴いている内容の展開やポイントを的確に押さえる能力の養成を目指す。更には、その内容に対する自分の意見を構築し、発表する演習を行う。	
			英語表現発展3		本授業では、会話や作文だけでなく読解や聴解など4技能を複合的に使いながら高度な英語運用能力の習得を目指す。グループ内だけでなく教員やグループ間での双方向的な活動を取り入れた授業運営を行う。スピーキングでは複雑な話題に基づく一分程度のスピーチに対して質疑応答を行ったり、ライティングでは論理的に内容を展開するパラグラフ・ライティングなどを行ったりするなど、より正確で洗練された英語表現を目指した演習形式の授業を行う。	
			英語理解発展4		本授業ではリスニングとリーディングを中心に、英語で発信された情報や考えなどを的確に理解し、それらに対する自らの考えや意見をより深める能力を伸ばすことを主眼とする。題材としては、主に特定の社会問題などを扱った読み物や新聞・雑誌記事などを複数用い、様々な角度から一つの事柄を理解し、その内容を自らの言葉でまとめられるような力を養う。読む方法としても「精読」だけに留まらず、必要な情報や考えをスピーディに探しだすのに有効な「速読」などにも挑戦する。また、音読やディクテーション等に加え、内容に関する英語の質疑応答などを通じて、聴いている内容の展開やポイントを的確に押さえる能力の養成を目指す。更には、その内容に対する自分の意見を構築・発表し、授業内で英語での意見交換をする演習を行う。	
			英語表現発展4		本授業では、4技能（読解、聴解、会話、作文）を複合的に使いながら高度な英語運用能力の習得を目指す。一般的な話題だけではなく、社会問題など複雑な話題に基づいて自分の意見や考えを論理的に展開するスピーチやパラグラフ・ライティングを作成するだけでなく、相手の主張を要約したりそれに対して自分の意見を述べるなど、コミュニケーションを続ける技術の養成も目標とする。またあるトピックに基づいてリサーチを行い、それをまとめて発表するなどの演習も行う。	
			資格試験英語A		本授業では、リスニングを中心にした、TOEIC対策に特化した授業を展開し、効率よくTOEICスコアを向上させることを目的とする。 基本的には、講師によるPart別（リスニング中心）のレクチャーと対策、学習方法を身に付けさせ、自身での授業外学習（eラーニングでの問題演習）を併用して、授業初回に設定した各自の目標スコアを達成させる。また、TOEIC対策に特化した学習法を身に付けることで、授業終了後も効果的な自習ができるようになる。	
			資格試験英語B		本授業では、発展的なリスニングを中心にした、TOEIC対策に特化した授業を展開し、一層、TOEICスコアを向上させることを目的とする。 基本的には、講師による発展的なPart別（リスニング中心）のレクチャーと対策、学習方法を身に付けさせ、自身での授業外学習（eラーニングでの問題演習）を併用して、授業初回に設定した各自の目標スコアを達成させる。また、TOEIC対策に特化した学習法を身に付けることで、授業終了後も効果的な自習ができるようになる。	
			日本語表現法	○	日本語の特徴をふまえ、文章を読解し分析する能力、的確な表現による文章作成の能力を養うことを目的とする。文章には、情報伝達や記録報告などの客観的な文章と、自分の感情や思想を表出する主観的な文章とがあるが、読解や作文のためにはそれぞれの文章の特徴を理解する必要がある。また、言葉の意味、主述の関係などの文の構造、三段構成などの文章の構成といった基本的な知識や技術も習得させたい。様々な文章に触れながら、日本語の基礎力の養成を目指す。	
		情報リテラシー	数理・データサイエンス・AI入門	○	高度情報化が進む中で、社会生活や大学での調査・研究を進めるためには、学問領域を問わず、数理・データサイエンス・AIに関する基礎的な知識や活用の能力が不可欠となっている。このため、情報・知識を複眼的かつ論理的に捉えることができる能力及び情報を防御し、適切に扱うためのセキュリティに関する知識の習得を基盤として、AIの仕組みや汎用性・活用事例、基本データによる統計処理、実際のデータを取得・活用する手法、得られた知見を伝達し共有する手法を身に付けさせる。	
			AI・プログラミング基礎演習		基礎的な数理・データサイエンス・AI入門の後続として、本科目では、AIの機械学習・深層学習を実際に演習することで、AIに対する理解を深め、専門分野での利活用を考察させる。また、プログラミングの基礎演習では、前提となる論理的思考の習得を基盤として、実際に各自でプログラムを作成し動作確認をしながら、プログラムの基本、プログラミング技法、計算機プログラミングの基本を身に付けさせ、専門教育でも応用的に活用できるようにする。	
		人間力養成	スポーツ科学	○	本科目は、他者とのグループワークとディスカッションを通じてスポーツの技術面や戦術面などにおける課題を見出し、いかにその課題を解決するかを考え、実践する能力の育成を目的とする。スポーツ活動では、積極的な言語的、非言語的コミュニケーションを必要とする場面が多く、さらに身体動作における感覚や技術理論など議論の対象となるテーマが豊富に含まれている。したがって、単に与えられた実技課題をこなすのではなく、さまざまなレベルの受講者が個人のレベルに応じた課題を共に克服し、かつ安全に楽しく取り組むために、受講者自身が積極的に授業参画することにより主体性、課題解決力、チームワーク（協調性）の獲得を目指す。	
			初年次教育	○	初年次教育は、高校教育から大学教育への円滑な移行と大学での学びの方法の習得や専門を学んでいくための動機づけを担う科目である。 授業内容として、履修方法・図書館の利用方法・心と体の健康・高校と大学の学びの違い・レポートの書き方・愛校教育・安全と防災教育および専門科目への動機づけ等を行う。入学直後のガイダンスから学科オリエンテーションも利用し、早い段階で実施する。	

教養科目	教養基礎科目	人間力養成	キャリアデザイン1	○	大学あるいは大学院を卒業後、社会で活躍するためにはどのような能力を学生時代に身に着けておくべきか？ 大学での学習効果を向上させるための基本的な作法を習得した上で、自分の足りない部分を把握し、自分の目標を明確にするとともに、授業を通じて人とのコミュニケーション（話す能力・聴く能力・情報を収集して伝える能力）の楽しさを知ることにより、社会で必須となるコミュニケーション能力を高めつつ、目標を持って有意義な大学生活を送り、自らのキャリアデザインを描けるようになることを目的とする。	
			キャリアデザイン2	○	キャリアデザイン1で描いたキャリアデザインを意識しつつ、日本の社会構造および経済構造を学ぶとともに、企業が陥った過去の失敗例などを教訓にして、自分自身の将来と目標を再確認し、再度大学で何を成し遂げるかについて検討する。 また、企業が行っている経済活動や関連する法律について理解することで、目標を達成するために必要な基礎知識を得ることを目的とする。 さらに、本科目では、学生参加型で実施することにより、社会が求める要素の1つである主体性の獲得を目指す。	
			キャリアデザイン3	○	キャリアデザイン1・2で習得したキャリアデザインについて、振り返り、目標設定の進捗について、まずは検証を行う。検証した結果、目標の見直しが必要な学生については、要因等について、分析を行い、再設定をする。 また、進路について、学科毎に特性が偏る時期であることから、学科の分野を考慮した上で、卒業生に協力いただき、業界についての知識を深める（違いを知る）ことにより、学生が目指すキャリアデザインが達成するためのイメージを獲得することを目的とする。	
	教養共通科目	国際理解	異文化理解	○	本科目では、外国及び時空を異にする自国の文化、具体的には、その音楽、美術などの芸術、言語、思想、歴史、民族、社会、芸能、風俗、習慣等をいくつか取り上げ、先ず学生に紹介し、問題提起をし、意見を求め、自分の考えをまとめさせる。それから、それを自国の文化をも含めいろいろな文化と比較・検討し、必要ならば自分の考えを修正させる。そのことを通して、ものごとを多角的且つ客観的に見る、いわゆる複眼思考を養うと共に、結果として自国の文化を見つめ直し、より深く理解してもらう。	
			言語と文化1	○	本科目では、日常会話が自然と口から出てくることを目標に、日本語など他の言語との比較をも考慮しながら、英語以外の言語の基礎を発音から一つ一つ丁寧に学ぶ。また、その文化圏の人々の考え方を理解するために、積極的に人々の生活や文化、社会にも触れていく。以上のことを通して、多角的且つ客観的に日本及び日本文化を見つめ直し、理解を深めると同時に、日本が国際社会においてどのように見られ、評価されているのか、我が国の国際社会における立ち位置を確認したい。	
			言語と文化2	○	本科目は，「言語と文化1」の続編をなすもので，さらに「言語と文化1」で学んだ外国語及び文化・社会についての理解を深めて行くことを目的とする。語学一辺倒ではなく，その地域の文化・歴史・社会等をさまざまな角度からとりあげる。その際，文学や音楽等の文化的側面及び日本とその国との歴史的つながりばかりではなく，最近の日本をとりまく国際情勢や社会情勢などにも積極的に触れていきたい。以上の学習をとおして，ものごとをいろいろな角度・立場から眺め直す「複眼」を身に付けさせたい。	
			グローバル時代の法		そもそも法とは何であり、現代のグローバル社会において法の存在はいかなる意味を有しているのか。法というものの定義から始まり、法全体にわたる基本的な知識を習得することがこの授業の目的である。まずは法の概念や法の分類といった一般的な問題について検討した上で、財産と家族について定める民事法と、犯罪と刑罰について定める刑事法について学習し、さらに、グローバル時代においてますます重要性を増す国際法についても学習する。	
			国際社会論		国際社会の中に生きる人間として必要な知識と思考力とを養うため、世界の政治経済、言語、文化、歴史、人の移動、環境や食糧問題、平和に関する問題などについて多角的に学んでいく。その際単に個別の知識を並列的に得るだけではなく、それぞれのテーマを関連づけて理解することで、国際社会の現状に対する包括的な認識を獲得することを目指す。そして将来においても、世界の中で日々生まれてくる諸問題に対し自ら学び、積極的に取り組む態度を身につけることが目標である。	
		人間・社会・自然の理解	哲学		哲学を学ぶことを通じて、人間とは何か、また人間は世界といかに関わっているかという事柄について考え理解するための観点や思考方法を身につけることを目的とする。これまで展開されてきた哲学史の中でなされてきた議論の要点を参考にしながら、人間と世界のあり方を考察するための様々な問題設定の方法や論理的な思考方法を学ぶ。その上で、知識、行為、価値、存在、自由、自我、他者といった事象をめぐる諸問題について理解し、それについて自ら考える力を養い、さらに新たな問題を発見する態度を身につけることを目標とする。	
			倫理学		「倫理学」では、現代文明が直面する倫理的問題のなかでもいわゆる「応用倫理」と呼ばれるものをとりあげる。まずそれらが現代の科学技術によってつくりだされていることを確認したうえで、問題を解決しつつ問題発生を防止するためには、われわれ人間はこうした科学技術をいかに管理してゆくか、また、そのときに技術者の役割と責任はどのように考えるべきか、13回の講義をとおして事例などを紹介しつつ、考える力を養成することを狙いとする。	

教養科目	教養共通科目	人間・社会・自然の理解	文学と芸術		文学作品や芸術作品の鑑賞や批評を通じて、人間への洞察を深め、ものの見方、感じ方、考え方を広げることを目的とする。また、それぞれの作品が生み出された時代や社会の背景を理解する。人間の感情および思想の表象原理、作品の主題、その歴史的社会的意義を明らかにしながら、人生の目的や価値について考え、よりよく生きることの意味を探り、豊かな感受性を育む。さらに作品受容に関して、批評とはどのようなことかを検討し、批評主体の確立についても考察を深めたい。	
			歴史と人間		過去から現在に至る人類の歩みについて、政治・経済・社会・宗教といった幅広い観点から理解するための基本的な視座を提供する。日本史や世界史の基礎的な知識をあたえるだけでなく、それぞれの地域の歴史がもつ独自性と世界史的な普遍性の両面に光をあてることで、過去の事象を世界規模の時系列的な因果関係のなかに位置づける能力を養う。他日、国際社会に出た学生が、独善に陥ることなく自国の置かれた立場を理解し、客観的に自らの立脚点を説明することに耐えられる資質を育てる。	
			心理学		本講義では、心のメカニズムについて科学的手法により解明された知見とその応用を解説する。具体的には、人の認知・思考、感情、行動のそれぞれの特徴、関連の仕方、発達的変容に関する理論を取り扱う。さらに、そういった心理学の知見や理論が社会の様々な場面で活用されていることを紹介し、グループワーク等も実施する。本講義のねらいは、学生が自分自身や他者に対する理解をより一層深めること、心理学の知識を生活に応用し役立てることができるようになることである。	
			身体と健康の科学		本科目は、単にヒトの「身体」や「健康」についての知識を獲得するのではなく、専門分野の枠を超えて人文科学，社会科学，自然科学などの様々な学問分野との関連を踏まえながら共通に求められる知識や思考法の獲得を目指す。特に、超少子高齢社会に突入した我が国では、人々が健康で豊かに過ごす時間を延伸することは非常に重要な課題となっている。それと同時に、ヒトの「身体」や「健康」とは何かについて考え直す時期にも来ている。社会構造の急激な変化や科学技術の進展に伴う人間の価値観の多様性を踏まえながら、「身体」や「健康」について考察する。	
			憲法と社会		そもそも憲法とは何であり、人間社会にとって憲法の存在はいかなる意味を有しているのか。憲法というものの定義から始まり、憲法全体にわたる基本的な知識を習得することがこの授業の目的である。古今東西の様々な憲法に共通する憲法の基本原理を学んだ上で、とくに日本国憲法についての理解を深める。日本国憲法は統治機構と権利章典という大きく二つの部分から構成されているが、この両者についてできるだけ正確な知識を身に付けることをめざす。	
			政治と社会		そもそも政治とは何であり、人間社会にとって政治というものの存在はいかなる意味を有しているのか。政治というものの定義から始まり、政治全体にわたる基本的な知識を習得することがこの授業の目的である。まずは政治の中心となる権力の概念や様々な政治思想について学んだ上で、とくに国家的な政治現象に焦点を合わせ、具体的な事例を取り上げつつ、地方自治を含む国内政治と、近年ますます重要性を増す国際政治をめぐる諸問題について考察する。	
			経済学		当科目では、ミクロ経済学およびマクロ経済学の基本的な考え方や分析手法を習得するとともに、現代経済の各場面にそれらを応用し、経済学的に思考することや、それを通して社会を考察することの意義に気づくことができるようにする。価格機構／市場原理の理論やその社会的意味などを多面的に考察したのち、経済主体、金融、財政、社会保障などの分野に言及する。授業では、教員による講義のほか、演習問題などを通じて簡単な理論や数式を用いた分析を受講生自身に取り組ませる。	
			現代社会論		現代の日本社会、及び国際社会における諸問題について具体的に考察をしながら、現代社会のありかたについて認識を深めていくことを目的とする。とりわけ、労働問題、教育・青少年問題、国際的な公害・環境問題、戦争と平和をめぐる問題、家族や子育ての問題、福祉や社会保障の問題、情報環境の変化をめぐる問題等をとりあげながら、考察を深めていく。そして、授業を通じて、現代社会に生きる市民として、幅広い視野とグローバルな視点をもって自ら主体的に考え、行動することができる教養・態度・能力を身につけることを目標とする。	
			科学技術史		本科目では、科学と技術の展開をそれらの相互関係を含めて歴史的に検討することを目的とする。科学の歴史としては、ニュートン力学を中心とした近代科学の成立過程を含めて、当時の自然哲学者・科学者たちが対峙した困難を当時の文脈から検討し、それらの科学的意義を理解していく。技術の歴史としては、イギリス産業革命における綿工業の展開や蒸気機関の発展などを理解するとともに、19世紀以降の科学と技術の接近とそれらの共進化的展開および社会との関係なども分析する。	
			環境科学概論		本講義は、科学技術の進歩に伴う地球規模での環境変化を事例に挙げ、広範で複雑な環境問題の現状を、物質を中心とした視点から把握すると同時に、科学的解決法の糸口を探ることを目的とする。特に温暖化、オゾンホール、酸性雨、生物多様性の喪失、食糧、砂漠化、原子力、廃棄物等の事例について詳細に解説し、これらの問題を解決するために開発された新技術や新素材による将来像を展望して、材料科学の観点からも環境科学を学ぶ。また、未来へと繋ぐ環境の姿を考察し、現代に生きる人間としての規範をも考える。	

教養科目	教養共通科目	人間・社会・自然の理解	生命科学		本講義では、生命の神秘、多様性、遺伝子支配の重要性についての理解を深め、人類が直面する資源、環境、エネルギー問題へと関心を高めさせることを目的とし、まず生物の生命の基本となる、細胞の理解に始まり、その構造と機能、細胞を構成する物質の理解、細胞の増殖・分化・老化・代謝（解糖系・呼吸・光合成・窒素同化）、細胞間相互作用等について学ぶ。さらに、多細胞生物に特有な発生・形態形成のメカニズムに触れ、遺伝子の本体、伴性遺伝、欠失、突然変異などの遺伝現象を理解する。	
			地球科学		人間の生活環境としての「地球」の創生と構造，進化をテーマとする地球科学の講義を行う。地球全体の歴史と関連させながら,地球や地球で生じている諸現象についての基礎知識を与える。また,人間活動と資源・エネルギー,地球環境の関係の調和を保ちながら,社会の持続的発展を考える契機を与えることを目標とする。講義で取りあげる主な項目は,地球の形状,地球の活動と歴史,プレートの運動,地層の形成と地質構造,地球の熱収支,大気と海水の運動,地球環境の変遷などである。	
			物理の世界と先端技術		現代の自然像の形成に大きな役割を果たしてきた種々の物理的視点について講義し,それらの視点に基づいて,物理の世界をより深く理解することを目標とする。また,このような物理的視点が先端科学・技術にどの様に結びつき,人々の生活への影響を通して社会と如何に関わっているかについて,自発的に考える力を身につける。講義で取りあげる主な項目として,力と運動の関係を基礎とする力学的自然観,熱現象とエネルギー・エントロピー概念，電磁気現象と「場」の考え方,現代の物理的世界観（時間・空間と相対性，物質・光に対する粒子−波の二重性と量子論など）が挙げられる。	
			物質科学		本科目は、現代人の常識として必要な化学の基礎知識を習得し、化学の根底にある考え方を理解して、物質を科学的に見ることができる正しい見識を涵養することを目的とする。物質の分類と基本構造、化学結合と物質の性質、化学量論と化学反応の基礎等を教授し、様々な物質が満ちあふれている現代社会において物質を科学的にとらえて論理的に思考できる基礎を与える。また、身近な物質、材料開発の最前線などの話題を取り上げて、化学のおもしろさ、現代化学の自然観・物質観が理解できるように配慮する。	
		総合	課題探究セミナー		本科目では、少人数制による主体的な学び、受講者の間の積極的な討論、グループワークなど、受講者自らの思考を促す能動的な学習方法であるアクティブラーニング形式により授業を展開する。具体的には、国際問題、日本文化、歴史、社会、人間、芸術、環境、健康、生活などのテーマや課題を選定し、それについて様々な学問分野の知識を活用しながら、総合的な判断力や解決力を育成する。また、個人やグループの考えをまとめ、文章や図表等を用いて論理的にかつ適切にプレゼンテーションする基本的な能力の獲得を目指す。	
			総合学際科目		本科目では、教員からの一方向的な教授形態ではなく、幅広い応用的な知識・理解を深める講義と受講者間の討論や発表などの演習を融合した受講者参画型の能動的な授業を展開する。このような授業形態を通じて、各学問分野の知識・理解を受講者自らが融合・発展させながら、国際問題、日本文化、歴史、社会、人間、芸術、環境、健康、生活などのテーマや課題について新たな視点や角度から捉え直すことにより総合的な判断力や理解力を身につける。また、個人やグループの考えを論理的にかつ適切に伝達する能力を習得する。	
	教養特別科目		イングリッシュアクティブラーニング1		本授業では英語を単なる知識としてではなく積極的に運用する能力の養成を目指す。特にライティング能力を向上させることを目指した授業運営を行う。ある話題に基づいてリサーチを行い、A4で3枚程度（1500−2000語）のエッセイを完成させる。正確な英語表現だけでなく、パラグラフ内またはエッセイ全体で概念や意見を論理的に展開させる方法の習得を目指した作文練習や、教師または学生同士による添削を通じて、洗練された文章への感覚を養うことも目標とする。	
			イングリッシュアクティブラーニング2		本授業では英語を単なる知識としてではなく積極的に運用する能力の養成を目指す。特にプレゼンテーション・スタイルの授業運営を行う。ある話題に基づいてリサーチを行い、グループ内でのディスカッションを通じて内容を決め、最終的にグループごとに英語で5分程度のプレゼンテーションを行う。正確な英語表現のための演習に加えて、効果的なプレゼンテーションを行うための表現法（アイ・コンタクトやボディ・ランゲージ）の練習も行う。こうしたグループ内での共同作業を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする能力の養成も目指す。	
			イングリッシュアクティブラーニング3		本授業ではブリティッシュ・ヒルズ（福島県白河）を利用した冬季集中講義に参加し、英語を単なる知識としてではなく、積極的に運用する能力の養成を目指す。	集中
			日本語アクティブラーニング		本授業では、日本語を上級者として運用する能力の育成を目指す。特に日本語による学術論文や技術分野等のライティング能力を向上させること及びそれらをわかりやすく伝達する表現の手法を、グループ演習等を通じて身につけさせる。	
			スポーツアクティブラーニング		本科目は、スポーツ実践ならびにスポーツの様々な局面を題材としたグループワークとディスカッションを中心に授業を展開し、課題解決力、状況把握力、ストレスマネジメント力、リーダシップ、チームワーク（協調性）を発展的に育成することを目的とする。特に、授業内では短期間の宿泊学習プログラムや他大学との連携プログラムなどを実施することにより、より高いレベルでのスポーツ活動を実践することで授業の目的を達成すると同時に、スポーツならびにその価値を幅広い視点から客観的にとらえ、多角的に物事を考え、実行する力の獲得を目指す。	集中

教養科目	教養特別科目	ソーシャルアクティブラーニング		個々の学科の専門的な学問体系を基礎とし地域、社会活動を体験することによって、学んできた知識を実際の体験から学問的な再確認をし、社会で活用できる知識とする。さらに、新たな視野を得るとともに、自らの社会的役割の認識をし、必要な資質や能力の向上を図る。自治体や地域社会との連携を重視し、より実践的な体験や問題に取り組むことにより調査、体験を主体とした活動の中から、自己の能力向上を図る。	
		国際インターン		本科目では，学生が夏休み等を利用し海外の企業等で2週間程度の期間就業体験を行い，世界で活躍する高度専門技術者として求められる専門知識やコミュニケーション能力を養うことを目的とする。具体的には，本学の海外交流協定校の協力を得ながら，海外に進出した日本企業や現地の大学，優良企業等でインターンシップを行う。本科目は受講資格として語学力による一定の制限を設ける。また，渡航前の指導として海外での生活や現地文化に関する講習を行い，学生からの海外就業体験報告書，面談等により科目成績評価を行う。本科目の運営及び成績評価は国際交流委員会が行う。	
		国内インターン		社会との差を実感することにより、技術者としての目標を明確にすることを目的とする。体験先は、本学の取り組みや学生気質を理解している産官学連携協議会の加盟企業や求人をいただいている企業で行うことにより、目的の達成を目指す。 なお、事前指導については、目的を持って臨むためのワークやマナーについても行う。また、事後指導では、今後の目標を明確にするだけでなく、発表等を行うことで、学生間での情報共有を行い、社会で必要となる資質を理解すると共に、異なる業種・職種について理解をすることで、社会への理解も深める。	
		ボランティア		本科目は，社会の一員としての意識を持ち、社会の発展のために積極的に関与できる態度を養うことによる人間力を高めることを目的とする。 具体的には、事前指導により社会貢献の意義と役割について理解させ、ボランティア活動の現状と課題について認識したうえで、実際のボランティア活動を通して、体験的に学習し、ボランティア活動に対する理解を深めるとともに、社会貢献とボランティア活動との関連について学習することにより、地域貢献への参画意識を高める。	
		キャリアアップラーニング		本科目は、大学で培った幅広い知識、専門的な知識や技術を社会で発展的に活用するために、大学の指定する外部資格を受検してその取得を目指すための継続的な学習指導を行う。特に工科系大学の学生として有益な、高度情報化社会で働くことを前提とした「ITパスポート」や、技術の応用や新技術の実装を前提とした「知的財産技能検定」などの資格取得を目指す。	
		総合科学特論		本科目では、教養共通科目で扱った内容を発展させ、現代科学の幅広い分野の理解を深める講義と受講者間の討論や発表などの受講者参画型の授業を展開する。このような授業形態を通じて、各学問分野の知識を受講者自らが融合・発展させながら、現代社会が抱える諸問題について新たな視点から捉え直すことにより総合的な判断力や理解力を身につける。	

授　業　科　目　の　概　要

（工学部　宇宙・半導体工学科）

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目	専門基礎科目	数学基礎	○	本講義は、各専門課程で必要とされる初等関数と微分積分の基本的な知識・計算力の習得を目標とする。各種の初等関数について、値の計算や、三角関数の加法定理、指数・対数法則等の基本的性質を論じる。また、微分係数、導関数の定義を説明して、初等関数の微分公式を詳述し、和・差、定数倍、積、商、合成関数の微分の計算に習熟させる。さらに、不定積分について、初等関数の積分公式、置換積分法、部分積分法を詳述し、また、定積分の基本的な計算にも触れる。	
		微分積分	○	本講義では「数学基礎」から更に進んだ内容の微分積分を学ぶ。講義の前半では微分の応用として、関数の近似の一つであるテイラー近似について述べ、これを用いて関数の極値や変曲点を調べる。微分の考えの基には近似の考えがあるが、微分を現実の問題に適用する際にも、近似は重要である。また、偏微分の定義、計算についても述べる。後半ではまず定積分の意味について述べる。力学や電磁気学に現れる物理量や法則の多くが積分により記述されるが、これらを学ぶ際に必要となる積分の知識を講義する。さらに、重積分について述べる。	
		微分方程式		本講義では、工学や自然科学の分野にあらわれる様々な現象や法則を数学的に定式化する際に用いられる、微分方程式の解の存在および挙動を調べる手法に習熟することを目指す。まずは常微分方程式で表される簡単で具体的な例の学習から始め，初期値問題を含めて、変数分離型及び線形の1階常微分方程式の古典的解法を学習する。さらに、さまざまな類型の2階定数係数線形常微分方程式の解法を学び，解の振舞いを追跡できるようになることを目標とする。	
		応用数学		ベクトル解析とフーリエ変換を学ぶ。ベクトル解析では、演算子ナブラを用いた微分演算である勾配、発散、回転の演算定義と種々の関数に対する適用を学び、続いてガウスの定理とストークスの定理という二つの積分に関する定理を学ぶ。フーリエ変換では、まず周期関数を正弦・余弦関数の級数に展開するフーリエ級数展開を学び、次にこれを一般の孤立関数に拡張したフーリエ変換を学ぶ。	
		線形代数基礎	○	本講義では、線形代数に関するエンジニアとしての最低限の素養を身につけさせることを目指す。具体的には、行列の演算(和・差、実数倍、積)の定義と性質を詳述する。連立1次方程式の解法として掃き出し法を取り上げて、行基本変形の計算に習熟させ、連立1次方程式の解の構造を様々な例を通じて理解させる。逆行列の定義と、掃き出し法を利用した逆行列の求め方を学ぶ。行列式について、種々の基本的性質を利用した計算に慣れさせ、余因子展開を詳述し、また、連立1次方程式と行列式の関連についても触れる。	
		線形代数応用		本講義では、線形代数基礎で身につけた計算技法を土台として、更に進んだ内容の線形代数を学ぶ。前半では、ベクトルの1次独立性・1次従属性、ベクトル空間の基底と次元を論じ、ベクトルの内積とその応用、線形写像について説明する。後半では、固有値・固有ベクトルの概念と、行列の対角化とその計算手順について理解させ、対角化の応用についても触れる。また、例と演習を通じて、1次独立性の判定をはじめとする各種の計算に習熟させる。	
		基礎統計学		本講義では、身の周りにあふれるさまざまな情報やデータを整理し、その奥底に見え隠れする興味深い特徴を抜き出すための知識と方法を習得することを目指す。コンピュータによる大量のデータに関する処理結果を正しく解釈するため、データの分布から平均や標準偏差などデータの性質や傾向を把握するための記述統計とよばれる分野について学習し、さまざまな統計量の意味を正確に判断する能力を養う。さらに、代表的な分布である正規分布について解説し、その応用についても触れる。	
		物理学基礎	○	物理学の基本分野である力学の講義と演習を行う。基本法則および物理的概念の習得を通じて科学的思考力を養い、更に工学に関する知識・技能に結びつけて考える能力を身につけることを目標とする。また、問題演習を通じて、講義で習得した基本事項を具体的に理解させるとともに、計算・数式処理能力を養う。主な内容として、速度・加速度の微分による定義や座標系による運動の表し方、運動の基本法則、力のつり合い、一定の力の下での物体の運動の記述、単振動、等速円運動、仕事とエネルギー、運動量と力積の概念に基づく運動の記述などを取りあげる。	
		物理学実験		力学、熱力学、振動・波動と光学、電磁気の分野にわたる内容の物理基礎実験を行う。実験装置の取り扱い、測定値の整理、実験結果の解析を通じてレポートにまとめるまでの一連の作業能力を養うことを目標とする。初めの2回の授業で測定器具(ノギス、マイクロメータ)の使い方を習得した後、受講者を少人数のグループに分け、グループ毎に個別のテーマの実験を行う。主な実験題目として、ボルダの振り子による重力加速度の測定、種々の弾性定数の測定(力学)、固体の比熱、気柱の共鳴(波動、熱学)、レーザーによる光の干渉(光学)、電子の比電荷、放射線の測定(電磁気)などの基本的内容を取りあげる。	
		化学基礎		本科目では、現代化学の基礎となっている主要な原理・概念の意義と考え方を学び、物質の構造とその性質を、微視的な原子、分子の電子構造から理解する事を目的とする。微視的粒子の運動状態を記述するのに必要な量子論を解説した上で、物質構造、原子・分子の電子状態、結合の電子構造、物性の電子論的理解について平易に解説し、現代化学の物質観を涵養する。加えて、高分子、無機固体材料についての構造や組成、重合度などの性質や電気化学に関する知識を深め、工業材料について化学的知識から理解することを目的とする。	

専門科目	専門基幹科目	機械電子工学概論	○	本科目では毎週1名、全教員から各専門分野の内容、社会との関わりについてわかりやすい説明を受けるとともに、研究室を見学する日を設ける。高度に専門化された技術の概要を学ぶとともに、プロの技術者にできること、社会に貢献できることを知り、学生一人ひとりが大学で学ぶことの確固とした意義を意識できることを目的とする。 (オムニバス方式／全13回) (1 秋田 剛／2回) 初回は宇宙機構造の設計に必要なコンピュータシミュレーション技術の概要と、具体的な設計事例について紹介する。2回目では、近年発展しているデジタル画像相関法の計測データに対し、データ同化と呼ばれる手法を用いることにより、解析モデルの統計的な評価を高精度に行う方法について紹介する。 (2 新井 浩志／1回) IoT(Internet of Things)の技術に基づいた最新の組込みシステムの具体例について、ハードウェアとソフトウェアの両面から紹介する。 (3 佐藤 宣夫／1回) 半導体技術とそのデバイス応用として、電気エネルギーを制御し活用することについて、具体的な適用事例を含めて紹介する。 (4 菅 洋志／1回) ナノ・マイクロ機構から新しい技術を生み出す研究、先進的な機械を創造するための微細機械要素や機械電気変換技術の研究について紹介する。 (5 関 弘和／2回) 初回は計測制御技術に基づく福祉応用システム・生活支援機器の開発に関する研究を紹介する。2回目では、安全で多機能な車いすの走行制御システム、筋電位信号で義手を制御する技術、センサを用いて高齢者の体調の変化などを見守るシステムについて紹介する。 (6 手嶋 吉法／1回) 初回は形と機能の研究から、テニスラケットのストリングの張り方が反発係数や振動に与える影響を紹介する。 (7 平塚 健一／1回) 身の回りに存在する摩擦・摩耗現象を指摘し、それらを抑制する潤滑の役割を講じる。省資源、省エネルギーの鍵となるトライボロジーの科学・技術を紹介する。 (8 和田 豊／1回) 宇宙推進工学分野において次世代燃料として注目されているハイブリッドロケット燃料の開発および実用化を目指す研究について紹介する。 (9 中山 昇／1回) 本科目の目的、専門家になることの意義について講義した後、塑性加工や人工衛星打ち上げ、義足などの医療福祉に関する最新技術について紹介する。 (32 趙 孟佑／1回) 技術の進歩により、超小型人工衛星を町の中小企業や大学などでも製作可能になっている。それら最新技術と超小型人工衛星を作る意義を紹介する。 (52 徳永 剛／1回) レーザ加工現象の解明と新しい加工法の提案・レーザで金属材料から立体を作る方法・新しい機能を付加したレンズ・装着型パワーアシスト機構などの分野のトピックを紹介する。	オムニバス方式
		デジタルものづくり		近代のものづくりにおけるCADとCAEの有用性について学ぶ。機械設計用3次元CADを用いて代表的な操作法を習得する。具体的には2次元の作図法を学習し、様々な幾何学的属性を有する形状の生成法を習得する。次に立体の生成と複数の立体に対し相互の位置関係や自由度の考慮、干渉解析をしつつコンピュータ画面上で組み立てる方法や不具合の修正法を学ぶ。また、完成したパーツや組み立てた立体モデルから機械図面を作図する。最後に応力解析、組み立てた機械装置の動きの解析、組み立て手順の動画化などCAEの手法を習得する。	
		力学		古典力学の諸原理を機械工学に活用できる形で身に付けることを目的とする。静力学として、力・モーメント・釣合い・重心・摩擦力などを学ぶ。質点の力学として、速度と加速度・座標系と運動方程式・相対運動などを学んだ後、運動量と角運動量・仕事とエネルギーなどを学ぶ。剛体の力学として、並進および回転運動・運動方程式・慣性モーメント・角運動量・運動エネルギーについて学ぶ。これらを機械工学に関係する具体的な事例の中で理解する。	
		材料力学		材料力学では、機械や構造物が安全に機能を果たすような構造設計に必須となる部材の変形と応力の解析法について学ぶ。まず、応力とひずみの概念を学び、部材の強度評価について学習する。また、棒部材の引張・圧縮問題を学習し、棒の伸縮量の算出法や基本的な強度設計について理解する。また、はり部材の曲げ問題を学習し、はりの曲げ応力やたわみに関して理解する。また、せん断応力とせん断変形について学習し、軸のねじり問題と伝動軸の強度設計について理解する。	
		電気磁気学		電気磁気現象の諸法則を電気・電子工学に利用できる形で理解することを目標とする。特に電気回路基本素子である抵抗、コイル、コンデンサにおいて、それらがエネルギーの消費、蓄積、放出の作用を発現することを学ぶ。電気磁気学の問題は、電荷や電流が空間に分布している際、それらの間にいかなる力が働くかという観点から、物理学の1つとして体系化されており、それぞれの物理単位を常に意識することで習得する。	
		電気回路		電気回路は電磁気現象を電圧、電流の立場で学ぶ科目である。その際、時間的な変化がない場合(直流回路)、時間的な変化がある場合(交流回路)を大別して解析していく。回路の動作解析に際しては、微小の概念に基づく微分・積分、正弦波交流回路の現象を扱いやすくする複素数を使うため、それらの解説にも重点を置いている。また本講義を受講するにあたっては電気磁気学の基礎知識は既に習得しているものとする。	
		半導体デバイス		本講義では、情報機器やロボット、自動車、飛行機、宇宙機等の制御システムに組み込まれている電子回路に不可欠であるダイオードやトランジスタ、FETなどの重要な半導体電子デバイスの動作原理について、半導体の基礎的事項(不純物半導体やキャリアなど)から始め、デバイスの基本構成、キャリアの動作原理、デバイスの電圧電流特性などについて十分に理解していくことを目的とする。	
		工業熱力学		熱が関わる諸現象を理解するための原理と手法を学習する。まず、熱と機械的仕事の変換を支配する熱力学の原理を学習し、次に、伝導・対流・放射による熱の移動のしかたの分析とその工学的応用(伝熱工学)について学習する。熱力学は多くの工業製品に関係し、自動車や飛行機、ロケットなどの輸送機器、人工衛星や宇宙探査機などの宇宙機, 発電所などの動力プラント, エアコンなどの空調機器の設計には不可欠であり、工業的な応用事例についても学習する。	
		機械設計製図学		本科目では、工学言語たる図面の国際性をふまえ、図面の作成に必要な設計学および製図学の講義を行なう。設計学では、機械要素、材料、機械力学、機構学などの知識に加え、加工法や検証方法の理解も重要である。本科目では、設計が基本的にどのようなプロセスからなり、設計を進める為の基礎知識がどのようなものかを、平易に示す。製図学では、グローバル化する国際社会で通用する最新製図として、幾何公差や表面性状などについても理解も深める。	

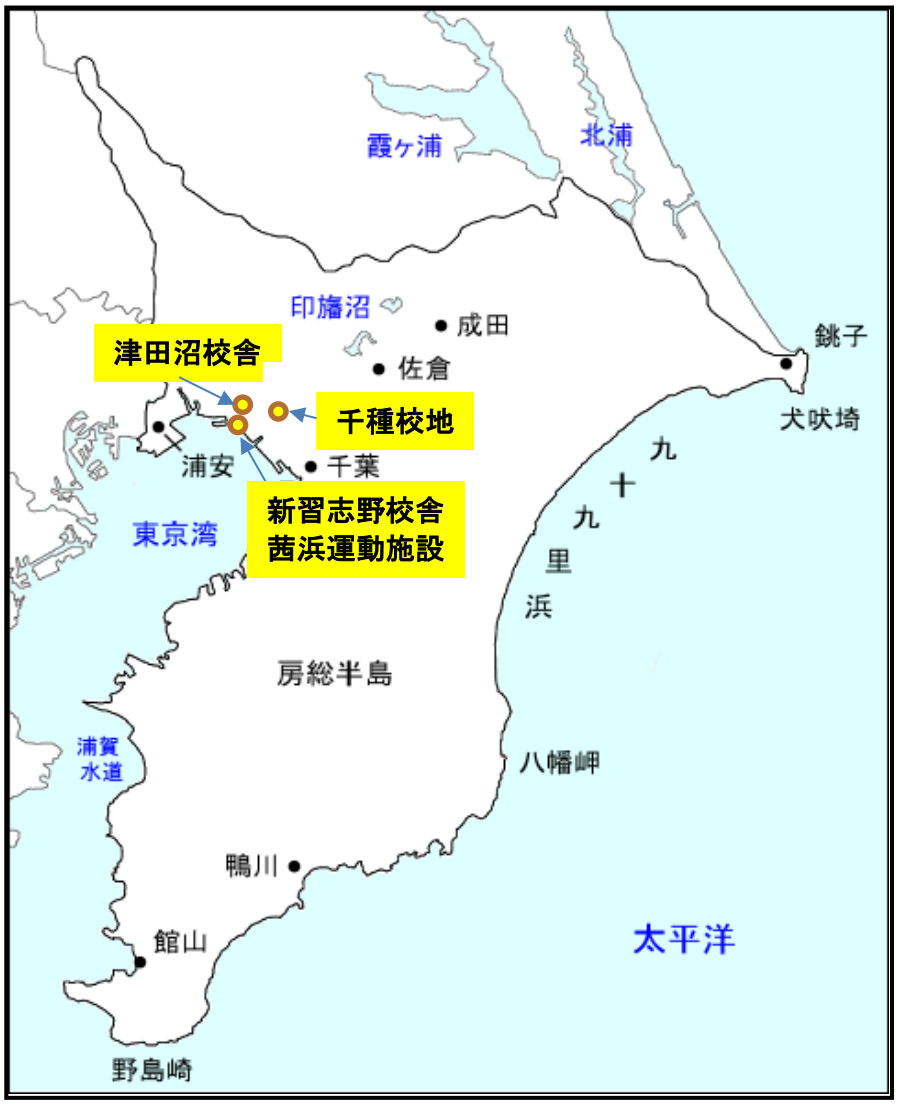
専門科目	専門基幹科目	材料加工		本科目では、モノづくりの根幹である加工法について、広く体系的に学ぶ。最も大きな分類である3大加工法の付加加工、変形加工、除去加工についてそれぞれの定義、概要、特徴を学ぶ。その後、それぞれの加工の中で重要な技術である溶接、接合、3Dプリンタ、成型加工、鋳造、塑性加工、切削加工、特殊加工等について学ぶ。それぞれの技術についてその原理、コンセプト、適用例のみならず、具体的な加工装置についても学ぶ。多くの加工法を学ぶことにより、工業製品がどのように作られてきたか理解できるようになるばかりでなく、新たな製品を企画する際、その加工法も考えた最適な設計が可能となる。	
		プログラミング言語		本科目は、ものづくりで必要となるプログラミング言語の基礎を学び、基本的なプログラムを作成できるようにする。 まず、プログラミングの基本的な考え方とコンピュータでの情報の表現（2進数、16進数、固定小数点数、浮動小数点数）について学ぶ。そして手続き型言語の基礎となる代入文、制御構造（条件文、繰返し文）について学んだのち、基本的なデータ構造である配列と、関数の基本について理解する。次に構造体、リンクリスト、木構造などの複雑なデータ構造と、関数の再帰呼出しについて学び、さらに整列や探索などを例題としてアルゴリズムについての理解を深める。	
		アナログ回路		本講義では、情報機器やロボット、自動車、飛行機等の制御システムの実現に欠かせない電子回路設計技術の基礎を学ぶことを目的とし、最初にキルヒホッフの法則やテブナンの定理などの回路解析の基礎を確認し、次にアナログ電子回路を構成するダイオードやトランジスタ、FETなどの基本素子の動作原理を理解し、さらにこれらの素子を含むアナログ電子回路において、等価回路解析や電流・電圧増幅度の計算などを行い、回路全体の特性を解析し設計するための基礎的技術を習得する。	
	専門発展科目	宇宙理工学概論		本科目では、宇宙理工学の概要を学ぶ。実際の宇宙理工学ミッションにおけるミッション計画、機器開発、データ解析などに関連した講義を通して、宇宙理工学の基礎と本学科の基礎科目で学ぶ機械設計や電気・電子技術がどのように宇宙理工学に生かされるかを学ぶ。	共同
		半導体工学概論		本科目では、機械技術と電気電子技術を基盤とした半導体工学における基幹技術の概要を学ぶ。半導体産業や半導体製造技術における設計技術、製造技術、計測技術などに関連した講義を通して、本学科の基礎科目で学んだ機械技術と電気電子技術がどのように宇宙理工学の基幹技術に活かされるかを学ぶ。	
		機械力学		機械力学では、機械や構造物の動的な設計を行うための基礎的な項目について学習する。まず、複素数や三角関数、微分方程式の解き方、運動方程式について復習し、機械力学の基本事項に関する準備を行う。また、ばねや質量からなる振動系の説明を行い、自由度について理解する。また、1自由度系の自由振動について学習し、固有振動数や減衰比の考え方について理解する。また、1自由度系の強制振動について学習し、共振について理解する。また、多自由度系の振動について学習し、振動モードの考え方を理解する。	
		トライボロジー		二つの機械部品が相対的にすべるあるいは転がる運動をした時に発生する「摩擦」、また、それによって表面が損傷を受け減量する「摩耗」、さらにそれらを抑制する作用である「潤滑」、の科学と技術について講じる。表面の性質、吸着の特性などの表面・界面科学の基礎の後、接触の種類、摩擦の起源、摩耗の機構、潤滑の技術などについて詳細に論じる。最後に、耐摩耗性材料、コーティング手法などを紹介し、さらに宇宙工学や半導体工学におけるトライボロジーなど様々なトライボロジーについて解説してまとめとする。	
		流体工学		流体が関わる諸現象を理解するための原理と手法を学習する。あらゆる原動機は流体力を利用して動いており車、船、飛行機やロケットなどの輸送機器も流体工学がベースとなっている。ここでは流体力学として流体（液体または気体）の運動法則の基礎からその流体工学的応用まで学習する。流体の力学的な釣り合いや運動を解析することについて学習し、機械の受ける抵抗や液体による動力伝達、低速流れと高速流れについてそれぞれにおける顕著な現象ついて理解する。	
		デジタル回路		本科目では、現代の電子機器、産業用機械器具の制御に必要なデジタル回路の基礎について学ぶ。まず、離散数学とブール代数などの理論と、各種ゲートを用いた2値論理回路について学習する。また、MOSトランジスタと各種ゲート回路の関係について学んだ後、組合せ論理回路と順序回路の解析と設計手法を学習し、電子機器・産業用機械器具の制御に必要な状態遷移機械を設計できることを目標とする。また、シーケンス制御で用いられるプログラマブルロジックコントローラとの関係について概説する。	
		情報通信工学		本講義では、ネットワークを通じて各種機器の観測および制御を行うための技術について学習する。これには、過渡現象理論、変調・復調、フィルタなどの信号処理、それらを支える半導体による高速スイッチング技術、さらには各種通信プロトコルやインターネットの技術についての理解が含まれる。本講義を通じて、情報端末を用いて直接的または間接的に各種機器を観測・制御する技術を理解し、それらの技術を活用する能力を身につけることを目指す。	
		システム制御理論		本講義では、ロボットや自動車などの機械運動システムや電気回路システム等の動的システムを制御するために必要なシステムモデリングや解析の方法について学ぶ。例えば、ラプラス変換を利用した伝達関数モデリング、ステップ応答、インパルス応答、ブロック線図表現、周波数応答特性、安定性解析など、様々なシステムを制御するために不可欠な基礎的理論を十分に理解した上でシーケンス制御やフィードバック制御など様々な制御方策を学ぶことを目的とする。	
		センサ工学		物理量の変化に対して引き起こされる物理現象を電気的に検出し目的の情報を取得する手法を学ぶ。工業的な情報検出には様々なセンサが開発されているが、それらの基本となる半導体の原理と関係する物理現象の関わりを系統立てて該当するセンサを整理する。また情報は最終的にコンピュータで読み込んで使われることがほとんどであるので、それに至るまでの様々な過程について学ぶ。具体的には代表的な電圧変換、アナログ－デジタル変換、量子化とサンプリング等である。	

専門科目	専門発展科目	精密加工		本講義では、3大加工法の中で、精度が高く汎用性のある除去加工、中でも精密加工を実現することのできる研削、研磨加工についてその化学的側面も含めてまず説明する。そして、大きな適用先である半導体製造技術におけるウェハー作成、層間絶縁膜研磨等の様々な使われ方について半導体プロセスの全体を説明する中で説明する。さらにレーザ技術の応用、成膜、エッチング等の真空プロセス等も併せて説明し、半導体プロセスを俯瞰できるように講義する。	
		電気機器学		日本だけでなく世界各国の電力事情、そして我が国では総消費電力の半分以上が電動機に利用されている実情を踏まえて、電気電子技術の応用としてのモータ(直流機、交流機)における電気ー機械エネルギー変換の基礎原理のほか、パワーエレクトロニクス、送配電技術として重要な発電機や変圧器に至る電気機器全般の構造と基本的な動作特性、さらにそれらの制御手法についての要点を修得させることを目的とする。	
		組込みシステム		本講義では、各種機器をコンピュータで制御するために必要な組込みシステム技術について学ぶ。前半ではハードウェアの側面から、制御の中心となるマイクロコンピュータとメモリ、そしてマイクロコンピュータと外部回路をつなぐインターフェースについて学び、後半ではソフトウェアの側面からアセンブリ言語、OS，各種割り込み、プロセス管理、リアルタイム処理について学ぶ。これにより、組込みシステムを設計・開発するために必要な基礎知識を身に付ける。	
		システム制御工学		本講義では、自動車や産業機械、ロボットなどの機械運動システムを制御するために必要なシステム制御技術について学ぶ。最初に状態変数と状態方程式によりシステムを記述する現代制御理論について学び、状態フィードバックや最適制御などの設計手法を理解する。次に産業機械やロボットなどのシステム制御を念頭に置き、それらに活用されるセンサやアクチュエータの原理や種類を理解した上で、ロボットマニピュレータ制御を実現するための運動学や運動方程式、制御設計法を学ぶ。	
		計測工学		本科目では、誤差や不確かさの概念、データを検証するために必要となる最小二乗法などの数学、機械部品を造る場合に必要な計測器の校正やトレーサビリティーなどの仕組み、また、設計上で必要な表面粗さ、幾何公差、応力の計測方法などを学ぶ。また、技術発展とともに複雑化・高度化する計測システムを理解できるようになるべく、増幅や周波数変換など信号処理部、制御部で行われる電気信号処理についても学ぶ。	
		宇宙理工学発展講義		本科目では、機械技術と電気電子技術を基盤とした宇宙理工学における基幹技術の概要を学ぶ。実際の宇宙機開発における設計技術、解析技術、計測・制御技術などに関連した講義を通して、本学科の基礎科目で学んだ機械技術と電気電子技術がどのように宇宙理工学の基幹技術に生かされるかを学ぶ。	
		半導体工学発展講義		本科目では、半導体工学において基盤となる物理学を学ぶ。半導体技術における量子力学、統計力学、固体電子物性などに関連した講義を通して、本学科の基礎科目で学んだ機械技術と電気電子技術がどのように半導体工学の基幹技術に活かされるかを学ぶ。	
		技術者倫理		本科目では技術者にとって必要な倫理観とは何かについて考える。人為的過失あるいは組織的な問題により生じた過去の事故について経緯と共に解説 し、なぜそのような事故に至ったか、事故が社会に広げた波紋、そこから学ぶ教訓と再発防止に向けた施策について、討論しながら考える場を設ける。 また、企業が利潤より安全を優先させる根拠は何か、製造者が環境負荷について考えるべきこと(考えなかった時代に何が起きたか)、製造業にとって エネルギー問題の重要性は何かについて共に考える。倫理的側面だけでなく、安全、環境、エネルギーに関し論理的に判断できる力を養うことを目的とする。	
		宇宙・半導体・メカトロニクス総合講義演習1	○	本科目では、メカトロニクス、宇宙工学、半導体工学の各領域におけるものづくりの基礎的な技術について講義を行い、実験演習を通じてそれらを習得する。具体的には、数値制御を含む機械加工、電気電子回路設計、機械システムの運動制御ほか、5項目程度である。各々が実際に手を動かしながら考えることを重視した進め方をする。また、実験演習の内容をレポートとして記録に残すとともに、発表することも学習目標の一つである。10～15名程度の少人数単位でそれぞれの講義と実験演習を行う。	講義28時間 実験24時間
		宇宙・半導体・メカトロニクス総合講義演習2	○	本科目では、メカトロニクス、宇宙工学、半導体工学の各領域におけるものづくりの基礎的な技術について講義を行い、実験演習を通じてそれらを習得する。具体的には、人工衛星に関わる振動試験、ロケットの飛翔や燃焼に関わる熱流体試験、光リソグラフィーによる半導体デバイスの製作とその評価ほか、5項目程度である。各々が実際に手を動かしながら考えることを重視した進め方をする。また、実験演習の内容をレポートとして記録に残すとともに、発表することも学習目標の一つである。10～15名程度の少人数単位でそれぞれの講義と実験演習を行う。	講義28時間 実験24時間
		アドバンストラーニング1	○	研究室を単位として、メカトロニクス・宇宙工学・半導体工学において必要な基礎的実験と共に、課題解決型の学習(Problem-Based Learning in Laboratory)を行う。興味や関心に応じて学生を研究室に配属させ、学習内容を重点化する。座学において学習した内容の理解を実験によって深めると共に、各研究室の特徴を生かしたup-to-dateな課題をこなすことにより、研究や開発へのモチベーションを高め、かつ、実践的な課題解決手法を身につけさせる。グループでの実際の作業を通じて、主体的に対応する能力やチームで仕事をする態度を涵養する。	
		アドバンストラーニング2	○	研究室を単位として、メカトロニクス・宇宙工学・半導体工学において必要な基盤的実験と共に、課題解決型の学習(Problem-Based Learning in Laboratory)を行う。座学において学習した内容の理解を実験によって深めると共に、各研究室の特徴を生かしたup-to-dateな課題をこなすことにより、研究や開発へのモチベーションを高め、かつ、実践的な課題解決手法を身につけさせる。グループでの実際の作業を通じて、主体的に対応する能力やチームで仕事をする態度を涵養する。	

専門科目	専門発展科目	設計製図講義演習	○	本科目では、簡単な製品の設計をおこない、機械製作図すなわち図面の作成により、他者に設計内容を正確に伝達する能力を養うことを目的とする。製図用具を用いての従来の製図、およびコンピュータを用いてのCAD製図の両方を実習課題に取り組むことにより習得する。製図においてもCAD製図においても、単なる作図にとどまらず、与えられた仕様を満足する形状を各自が計算で求められる様、設計法について学ぶ。簡単な製品の設計・製図を修得することにより、設計内容につき他者に説明・説得ができるようになる。	共同 講義16時間 演習39時間
		ゼミナール1	○	本科目は、卒業研究と連動して実施する。数人のグループに分かれ、各自の研究テーマに関連する文献を探す方法、参考文献の読み方とその引用方法、自分の実験結果に対する考察方法など、研究を進める際の様々な技術を習得する。各自の研究テーマの進捗状況をプレゼンテーションの形で報告し合い、他人の発表を聞いて理解する能力、および質問する能力を高める。これまでに修得した科目や技術を駆使し、各自の研究課題を解決するための独自の構想を涵養する。	
		ゼミナール2	○	ゼミナール1に続き、本科目も卒業研究と連動して実施する。各自の研究テーマの進捗状況をプレゼンテーションの形で報告し合い、プレゼンテーションの能力、他人の発表を聞いて理解する能力、および質問やコメントを発する能力を高める。プレゼンテーションに慣れ、他者からの質問やコメントへの適切な対処を繰り返す中で、研究内容の質およびプレゼンテーションの質を向上させていく。これまでに修得した科目や技術を基に研究課題を解決するための構想を自ら打ち出し、研究内容を向上させる。	
		卒業研究	○	既修科目の知見を総動員して、卒業研究に取り組む。各自に設定された研究課題に対し、専門知識を活用して論理的に問題を処理する能力および継続的・計画的に研究を遂行して成果をまとめる能力の習得を目的とする。また、指導教員と日常的に議論することにより、論理的思考力、コミュニケーション能力の向上を図る。卒業論文の執筆においては、論理的に文書化する訓練をする。通常科目が答えが決まっている課題を対象とするのに対し、卒業研究は答えが未知であり、そのような課題への挑戦により、総合的な問題解決能力の育成を図る。	

校地校舎等の図面

（1）都道府県内における位置関係の図面





（2）最寄り駅からの距離や交通機関がわかる図面



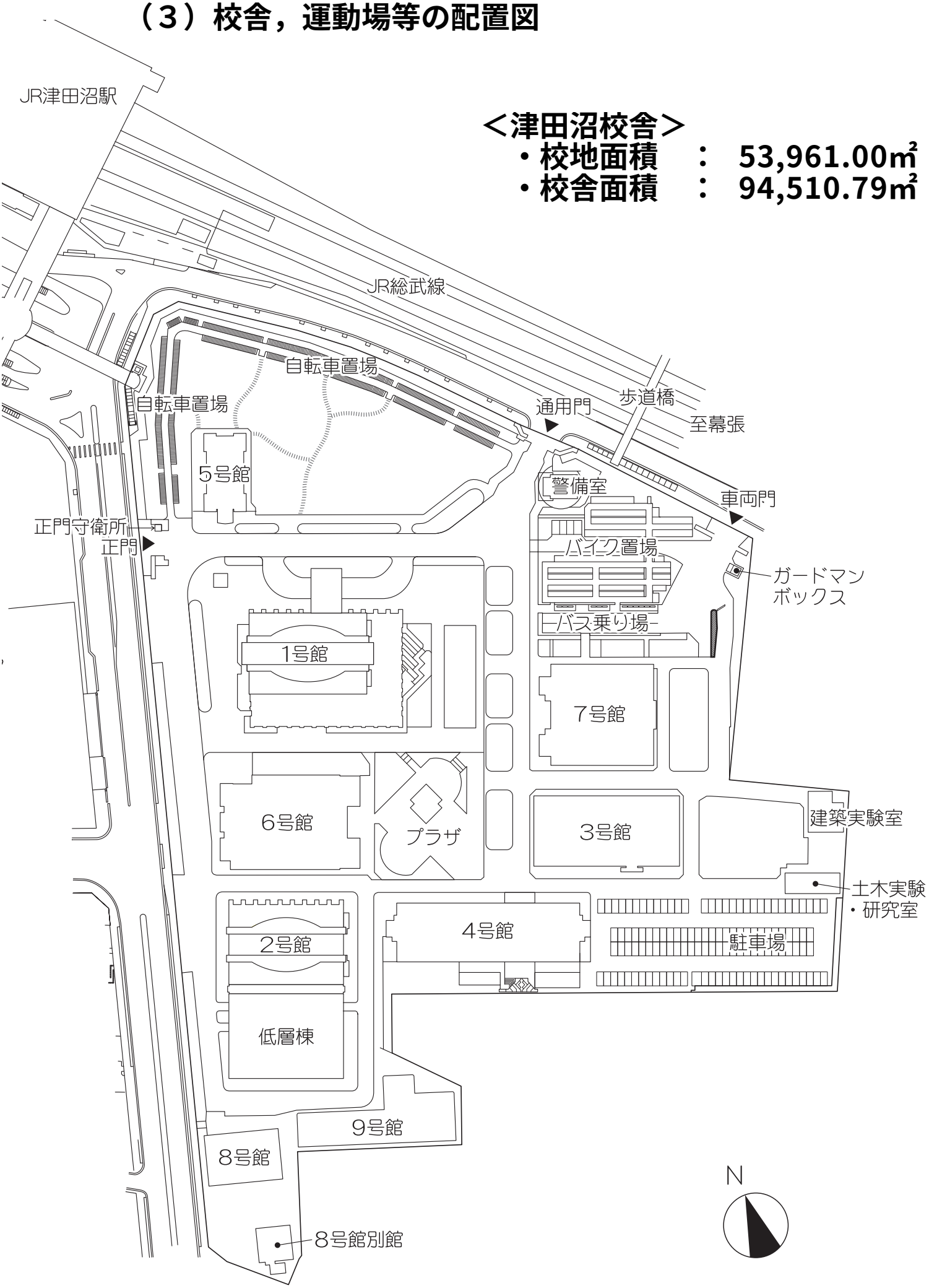
■津田沼校舎
・JR総武線 津田沼駅前（南口）
・新京成線 新津田沼駅から
徒歩3分
・京成線 京成津田沼駅から
徒歩10分

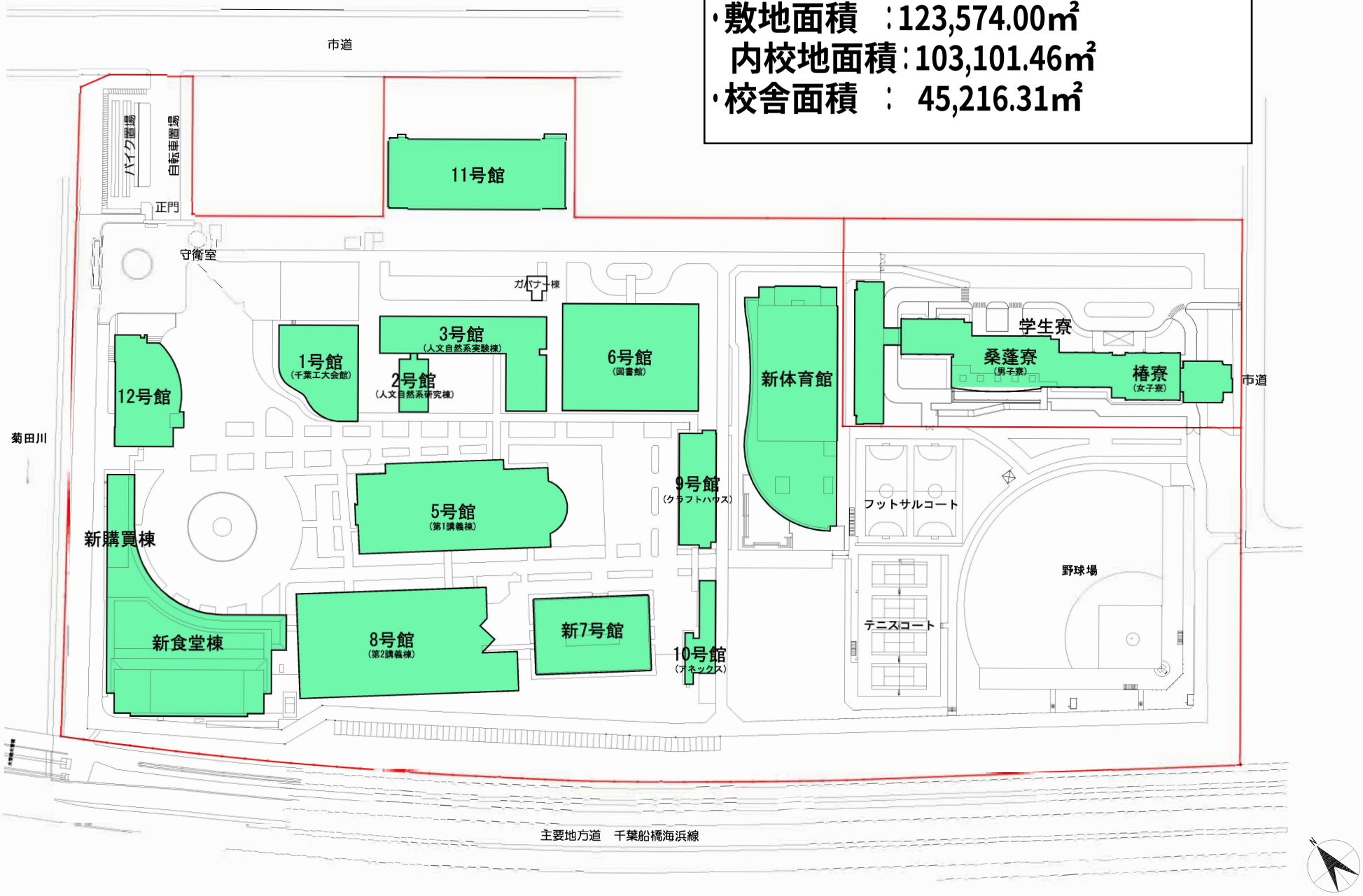
津田沼校舎～新習志野校舎間は
スクールバスも運行
（約15分 3．5km）



■新習志野校舎
・JR京葉線 新習志野駅南口から
徒歩6分
・JR総武線 津田沼駅南口バスターミナルから
京成バス新習志野駅行（約15分）で
「千葉工業大学入口」下車 徒歩3分

（3）校舎，運動場等の配置図

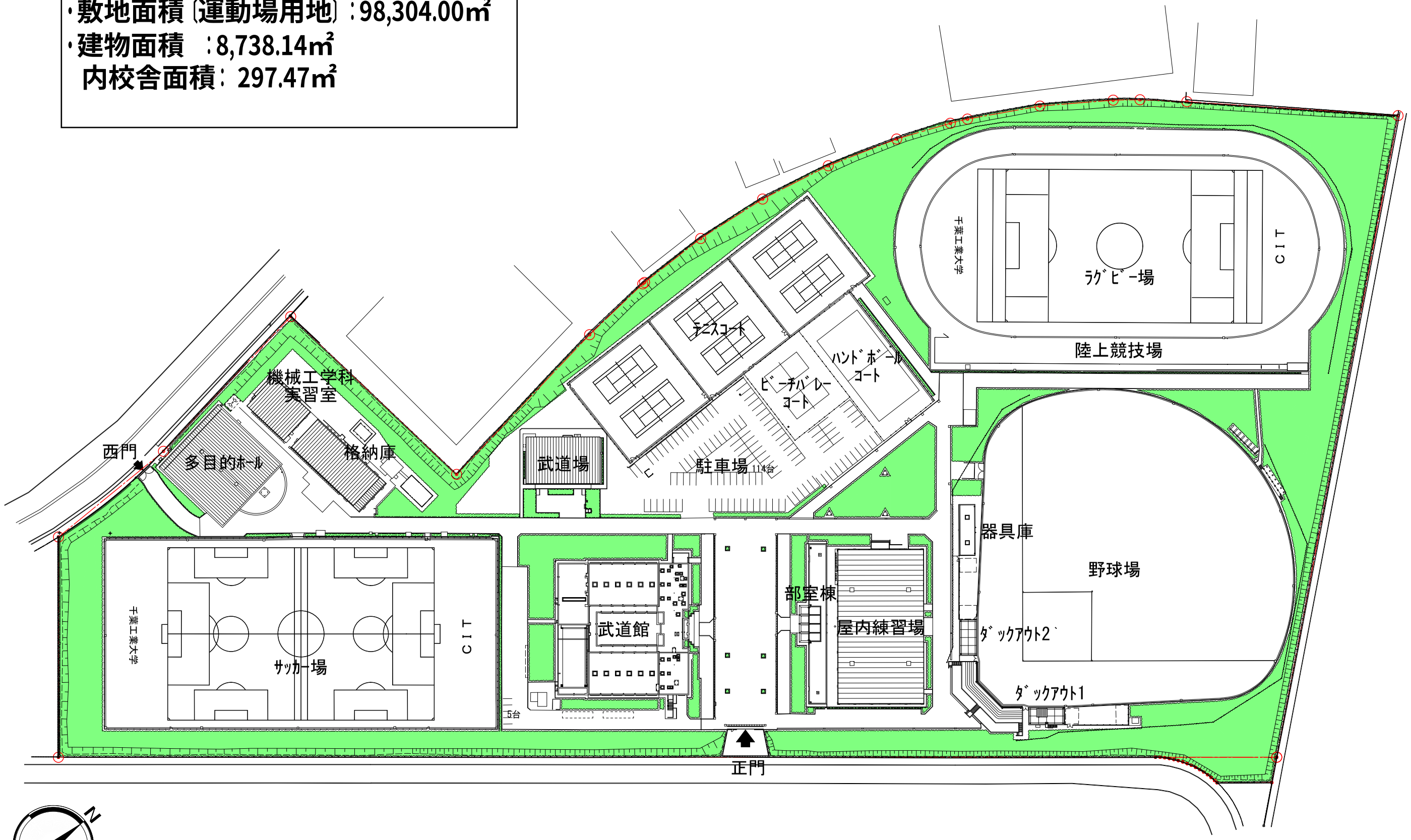



＜新習志野校舎＞
・敷地面積　：123,574.00㎡
　内校地面積：103,101.46㎡
・校舎面積　：　45,216.31㎡
市道
バイク置場
自転車置場
正門
守衛室
11号館
ガバナー棟
1号館
(千葉工大会館)
3号館
(人文自然系実験棟)
2号館
(人文自然系研究棟)
6号館
(図書館)
新体育館
学生寮
桑蓬寮
(男子寮)
椿寮
(女子寮)
市道
12号館
菊田川
9号館
(クラブハウス)
フットサルコート
5号館
(第1講義棟)
新購買棟
野球場
新食堂棟
8号館
(第2講義棟)
新7号館
10号館
(アネックス)
テニスコート
主要地方道　千葉船橋海浜線

計画全体配置図　01

＜茜浜運動施設＞

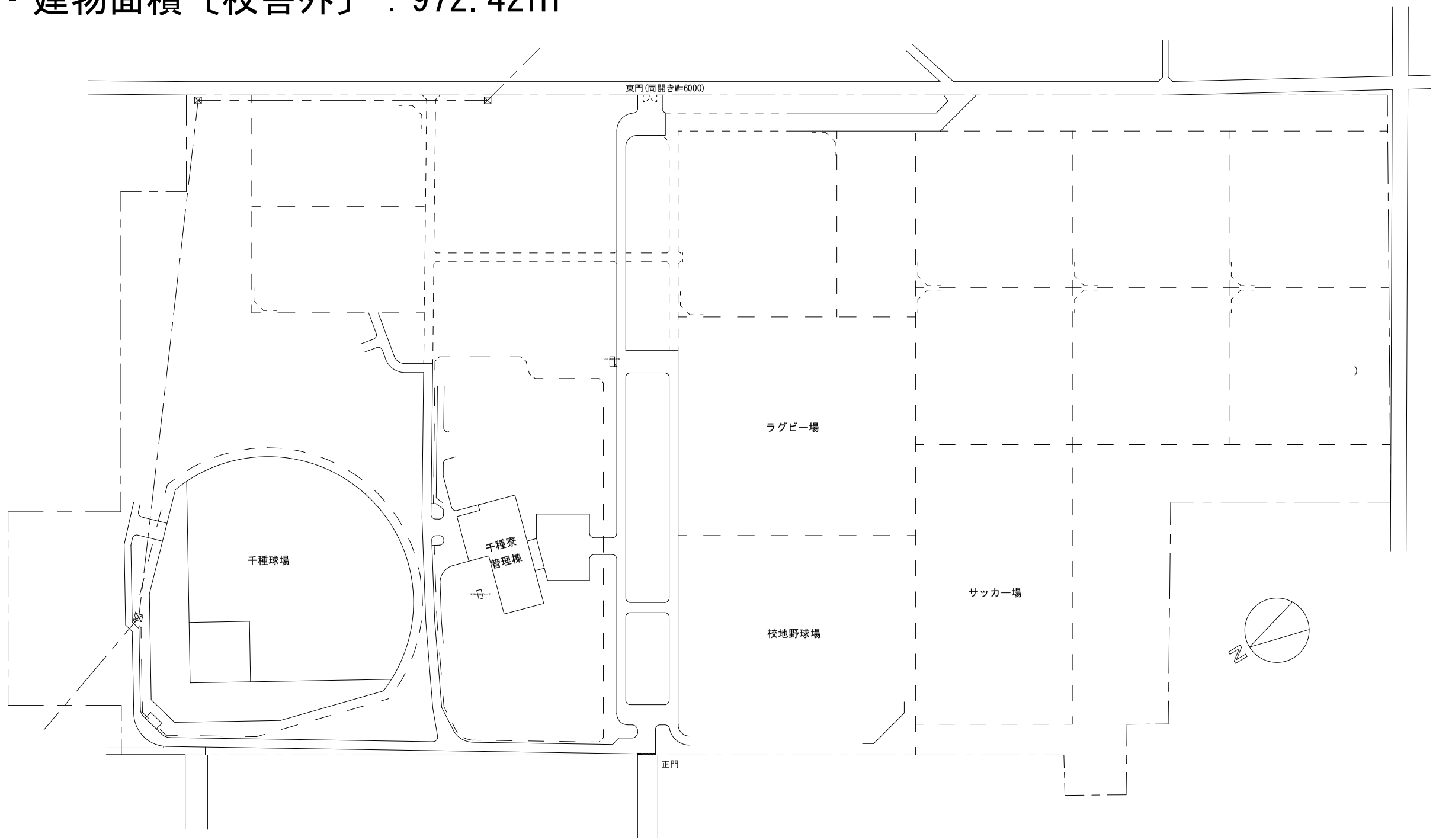
- 敷地面積（運動場用地）：98,304.00㎡
- 建物面積　：8,738.14㎡
  内校舎面積：297.47㎡



〈茜〉

＜千種校地＞

・敷地面積　　：169,898.00㎡
　内運動場用地：155,006.00㎡
・建物面積〔校舎外〕：972.42㎡



千葉工業大学学則

第１章　目的

（目的）

第１条　本学は、教育基本法に則り学校教育法の定める大学として、科学技術の理論と応用を教授研究するとともに、豊かな教養を備え人類福祉のため進んで協力する意欲と識見をもつ人材を養成することを目的とする。

（自己評価等）

第１条の２　本学は、その教育・研究の向上を図り、前条の目的を達成するため、教育・研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

２　前項の点検及び評価に関する事項は別に定める。

第２章　組織

（学部）

第２条　本学に工学部、創造工学部、先進工学部、情報変革科学部及び未来変革科学部を置く。

２　前項の学部に置く学科並びにその入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

	学　科	入学定員	収容定員
工学部	機械工学科	１４０名	５６０名
	宇宙・半導体工学科	１１０名	４４０名
	先端材料工学科	１１０名	４４０名
	電気電子工学科	１４０名	５６０名
	情報通信システム工学科	１１０名	４４０名
	応用化学科	１１０名	４４０名
	小　　計	７２０名	２，８８０名
創造工学部	建築学科	１４０名	５６０名
	都市環境工学科	１１０名	４４０名
	デザイン科学科	１２０名	４８０名
	小計	３７０名	１，４８０名
先進工学部	未来ロボティクス学科	１２０名	４８０名
	生命科学科	１１０名	４４０名
	知能メディア工学科	１１０名	４４０名
	小計	３４０名	１，３６０

情報変革科学部	情報工学科	１２０名	４８０名
	認知情報科学科	１２０名	４８０名
	高度応用情報科学科	１２０名	４８０名
	小　　計	３６０名	１，４４０名
未来変革科学部	デジタル変革科学科	１００名	４００名
	経営デザイン科学科	１００名	４００名
	小　　計	２００名	８００名
合　　計		１，９９０名	７，９６０名

（学部の教育・研究上の目的）

第２条の２　工学部は、自ら学習を継続する能力・論理的思考力・課題解決力・コミュニケーション力・豊かな人間力・国際感覚と教養を備え、専門技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任を理解し、専門知識を応用する工学分野において世界文化に貢献し得る人材を養成することを目的とする。

２　創造工学部は、自ら学習を継続する能力・論理的思考力・課題解決力・コミュニケーション力・豊かな人間力・国際感覚と教養を備え、専門技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任を理解し、創造性を要する工学分野およびその学際的領域において世界文化に貢献し得る人材を養成することを目的とする。

３　先進工学部は、自ら学習を継続する能力・論理的思考力・課題解決力・コミュニケーション力・豊かな人間力・国際感覚と教養を備え、専門技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任を理解し、科学技術における先進的な分野において世界文化に貢献し得る人材を養成することを目的とする。

４　情報変革科学部は、自ら学習を継続する能力・論理的思考力・課題解決力・コミュニケーション力・豊かな人間力・国際感覚と教養を備え、専門技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任を理解し、情報社会の変革に対応して世界文化に貢献し得る人材を養成することを目的とする。

５　未来変革科学部は、自ら学習を継続する能力・論理的思考力・課題解決力・コミュニケーション力・豊かな人間力・国際感覚と教養を備え、専門技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任を理解し、経営活動の変革に対応して世界文化に貢献し得る人材を養成することを目的とする。

（大学院）

第３条　本学に大学院を置く。

２　大学院の学則は別に定める。

（附属図書館）

第４条　本学に附属図書館を置く。

２　附属図書館に関する事項は別に定める。

（研究所）

第４条の２　本学に次の研究機関を置く。

(1)　附属研究所

(2)　未来ロボット技術研究センター
(3)　惑星探査研究センター
(4)　人工知能・ソフトウェア技術研究センター
(5)　次世代海洋資源研究センター
(6)　地球学研究センター
(7)　数理工学研究センター
(8)　変革センター
(9)　次世代ペプチド開発研究センター
(10)　天文学研究センター

２　研究機関に関する事項は別に定める。

（施設）

第４条の３　本学に次の施設を置く。

(1)　学生寮
(2)　軽井沢研修センター
(3)　御宿研修センター

２　前項の各号に関する必要な事項は別に定める。

（事務局）

第５条　本学に事務局を置く。

２　事務局に関する必要な事項は別に定める。

第３章　職員組織

（学長）

第６条　本学に学長を置く。

２　学長は、校務をつかさどり、所属教育職員を統督する。

３　必要があるときは副学長を置くことができる。

４　副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

（学部長）

第６条の２　学部に学部長を置く。

２　学部長は、学部に関する学務をつかさどる。

３　学部長に関する事項は別に定める。

（職員）

第７条　本学に教育職員及び一般職員を置く。

２　教育職員として、教授、准教授、助教及び助手を置く。

(1)　教授は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の特に優れた知識、能力及び実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

(2)　准教授は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有

する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

(3)　助教は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の知識及び能力を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

(4)　助手は、その所属する組織における教育・研究の円滑な実施に必要な業務に従事する。

3　一般職員として、事務職員、技術職員、労務職員及びその他必要な職員を置く。

4　職員に関する規則は別に定める。

第４章　学部長会及び教授会

（学部長会）

第８条　本学に、大学の教育・運営に関する重要事項を協議及び審議するため学部長会を置く。

2　学部長会は、学長が招集し、学長が次に掲げる事項について決定を行うにあたり意見を述べるものとする。

(1)　教育・研究に関する基本方針等、その運営における全学的な事項

(2)　教授会の審議に関する基本的共通的な事項

(3)　その他、本学の教育・研究の運営に必要と認められる事項

3　学部長会に関する規則は、別に定める。

（教授会）

第８条の２　学部に教授会を置く。

2　教授会は、学部の専任教授をもって組織する。

3　教授会は、学部長が招集し議長となる。

4　学部長は、必要あると認めた場合に、教授会の承認を得て教授会に専任の准教授、助教及びその他の職員を参加させることができる。

5　教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うにあたり意見を述べるものとする。

(1)　学生の入学及び卒業に関する事項

(2)　学位の授与に関する事項

(3)　前二号に掲げるもののほか、教育・研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

6　教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長がつかさどる教育・研究に関する事項について審議し、及び学長又は学部長の求めに応じ、意見を述べることができる。

7　教授会の運営に関する規則は別に定める。

第８条の３　学部に共通する事項について意見を聴くため、学長は、必要により合同教授会を招集することができる。

2　合同教授会は、次に掲げる事項について学長に意見を述べるものとする。

(1)　学則の改正に関する事項

(2)　前号に掲げるもののほか、教育・研究に関する重要な事項で、合同教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

3　合同教授会に関する規則は、別に定める。

第５章　学年、学期及び休業日

（学年）

第９条　学年は、４月１日に始まり翌年３月31日に終わる。

（学期）

第10条　学年を次の２学期に分ける。

(1)　前期　４月１日から９月17日まで

(2)　後期　９月18日から翌年３月31日まで

２　必要がある場合は、学長は学部長会の意見を聴いて前項の期間を変更することができる。

（休業日）

第11条　休業日は、次のとおりとする。

(1)　日曜日

(2)　国民の祝日に関する法律に定める休日

(3)　開学記念日　５月15日

２　必要がある場合は、学長は学部長会の意見を聴いて前項の休業日を変更することができる。

３　第１項に定めるもののほか、学長は学部長会の意見を聴いて春期休業日、夏期休業日、冬期休業日及び臨時の休業日を定めることができる。

４　学長は、特別の必要がある場合は、学部長会の意見を聴いて休業日を授業を行う日に変更することができる。

第６章　修業年限及び在学年限

（修業年限）

第12条　修業年限は、４年とする。

２　前項の規定にかかわらず、大学入学資格を有した後、大学の学生以外の者として、本学の一定の単位を修得し、本学に入学する場合において、本学の教育課程の一部を履修したと認められるときは、当該単位数その他の事項を勘案し、２年を超えない範囲で修業年限に通算することができる。

（在学年限）

第13条　学生は、８年を超えて在学することができない。

２　第20条、第21条及び第22条の規定により入学した学生は、在学すべき年数の２倍に相当する年数を超えて在学することができない。

３　第１項及び第２項の規定にかかわらず、同一学年に３年を超えて在学することができない。

第７章　入学

（入学時期）

第14条　入学の時期は、学期の始めとする。

（入学資格）

第15条　本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

(1)　高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者

(2)　通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）

(3)　外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

(4)　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5)　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(6)　文部科学大臣の指定した者

(7)　高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

(8)　学校教育法第90条第2項の規定により他大学に入学した者であって、当該者をその後に入学させる本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

(9)　本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

（入学者選考）

第16条　本学に入学を志願する者は、入学願書と別に定める入学検定料及び所定の書類を添えて、期日までに提出するものとする。

２　前項の入学志願者については、別に定めるところにより選考を行う。

（入学手続及び入学許可）

第17条　前条の選考の結果に基づき合格した者は、所定の期日までに、別に定める学生納付金を納入し、 保証人の連署する誓約書その他所定の書類を提出するものとする。

２　学長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

（保証人）

第18条　学生は、在学中、保証人を置くものとする。

２　保証人は、父母又は独立の生計を営む成年者で、学生の在学中の身上に関し責任を負いうる者とする。

（変更届）

第19条　学生は、氏名、現住所の変更及び保証人の変更若しくはその現住所に変更があったときは、速やかに届け出るものとする。

（転部、転科）

第19条の２　本学に在籍する学生で、転学部、転学科を願い出た者については、欠員のある場合に限り、学長はこれを許可することができる。

２　転学部、転学科に関する規則は別に定める。

（編入学、転入学）

第20条　次の各号の一に該当する者で、本学への編入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、学長は教授会の意見を聴いて相当年次に入学を許可することができる。

(1)　他の大学の２年次を修了した者

(2)　短期大学を卒業した者又は高等専門学校を卒業した者

(3)　学校教育法施行規則附則第７条に規定する者

２　他の大学の学生で、本学に転入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、学長は教授会の意見を聴いて相当年次に入学を許可することができる。

３　前２項の規定により編入学又は転入学した者の在学年数には、本条による入学以前の学校在学年数の全部又は一部を算入する。

４　編入学及び転入学に関する規則は別に定める。

（学士入学）

第21条　次の各号の一に該当する者で、本学への入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、学長は教授会の意見を聴いて相当年次に入学を許可することができる。

(1)　本学を卒業した者

(2)　他の大学を卒業した者

２　学士入学に関する規則は別に定める。

（再入学）

第22条　本学を退学した者又は除籍された者で、再入学を志願する者があるときは、学長は事情を考慮した上、相当年次に入学を許可することができる。ただし、懲戒による退学者及び第41条第１項第２号及び第４号並びに第５号の規定により除籍された者の再入学は許可しない。

２　再入学に関する規則は別に定める。

第８章　教育課程及び履修方法等

（教育課程編成方針）

第23条　教育課程は、学則第２条の２に規定する学部の教育研究上の目的を達成するために必要な授業科目を開設し、体系的に編成するものとする。

（授業科目区分）

第23条の２　授業科目を分けて、教養科目及び専門科目及び教職課程に関する科目とする。

（教育課程編成方法）

第24条　教育課程は、各授業科目を必修科目及び選択科目に分け、これを各年次に配当して編成する。

２　本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

（授業科目及び履修方法）

第25条　授業科目及びその単位数は、別表第１、別表第２、別表第３、別表第４、別表第５、別表第６及び別表第７のとおりとする。

２　授業科目の履修方法は別に定める。

（成績評価基準等の明示等）

第25条の２　本学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

２　本学は、学修の成果に係る評価並びに卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

（授業の方法）

第25条の３　授業は、講義、演習、実技、実験、実習若しくは製図のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

２　前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる（以下「オンライン授業」という。）

３　前項に必要な事項は別に定める。

（単位計算方法）

第26条　授業科目の単位計算方法は、１単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準による。

(1)　講義及び演習は、15時間から30時間までの範囲の授業をもって１単位とする。

(2)　実技、実験、実習及び製図は、30時間から45時間までの範囲の授業をもって１単位とする。

２　前項の規定にかかわらず、卒業研究等の授業科目については、これらの学修の成果を考慮して単位数を定めるものとする。

（授業期間）

第27条　一年間の授業を行う期間は、35週にわたることを原則とする。

２　各授業科目の授業は、13 週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると認められる場合は、この限りではない。

（単位授与）

第28条　授業科目を履修し，その試験等により合格と判定された者には，所定の単位を与える。

（成績の評価）

第29条　授業科目の成績は、Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄの４段階により表示し、Ａ、Ｂ、Ｃを合格としＤは不合格とする。

（他大学等における授業科目履修等）

第30条　教育上有益と認めるときは、他大学等との協議に基づき、学生に当該他大学の授業科目を履修させることができる。

２　前項の規定により履修し修得した授業科目の単位を、60単位を限度として卒業の要件となる単位として認めることができる。

（大学以外の教育施設等における学修）

第30条の２　教育上有益と認めるときは、大学以外の教育施設等における学修のうち文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

２　前項の規定により与えることができる単位数は、前条第２項により本学において修得したものと

みなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

（入学前の既修得単位取扱）

第31条　教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む。）において修得した単位を、本学において修得したものとして認定することができる。

２　前項の単位の認定は、編入学の場合を除き、第30条及び第30条の２の規定により認める単位数と合せて60単位を超えない範囲で行うことができる。ただし、修業年限の短縮を行うことができない。

（進級）

第32条　上級年次に進級するための条件を定めることができる。

（卒業必要単位数）

第33条　卒業に必要な単位数は、別に定める所定の単位を含め、124単位以上とする。

（教育職員免許状）

第34条　本学において、取得できる教育職員免許状の種類は次のとおりとする。

工学部		
機械工学科	工業	高等学校教諭一種免許状
先端材料工学科	工業	高等学校教諭一種免許状
電気電子工学科	工業	高等学校教諭一種免許状
応用化学科	理科	高等学校教諭一種免許状
		中学校教諭一種免許状
創造工学部		
都市環境工学科	工業	高等学校教諭一種免許状
情報変革科学部		
情報工学科	数学	高等学校教諭一種免許状
		中学校教諭一種免許状
	情報	高等学校教諭一種免許状
認知情報科学科	数学	高等学校教諭一種免許状
		中学校教諭一種免許状
	情報	高等学校教諭一種免許状
高度応用情報科学科	数学	高等学校教諭一種免許状
		中学校教諭一種免許状
	情報	高等学校教諭一種免許状
未来変革科学部		
経営デザイン科学科	情報	高等学校教諭一種免許状

２　前項の教育職員免許状を取得するために履修する授業科目の種類及びその単位数は別に定める。

３　第１項に規定する教育職員免許状を取得するための受講手続料は別に定める。

第９章　休学、復学、外国留学、退学、転学及び除籍

（休学）

第35条　疾病その他やむを得ない理由により、年度内に６か月以上修学することができない者は、所定の休学願を学長に提出するものとする。

２　疾病のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

（休学期間）

第36条　休学期間は１年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、１年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

２　休学期間は、通算して４年を超えることができない。

３　休学期間は在学期間には算入しない。

（復学）

第37条　休学した者は、休学期間が満了し、又は休学の理由が解消したときは、遅滞なく所定の復学願を学長に提出するものとする。

（外国留学）

第38条　本学の学生が外国の大学等の授業科目を履修するため、留学を志願し学長に願い出た場合、学長は、教育上有益と認めるときはこれを許可することができる。

２　留学した期間は、第13条に定める在学期間に含める。

３　留学して履修した授業科目について修得した単位については、第30条第２項に準じて卒業の要件となる単位として含めることができる。

４　留学に関する規則は別に定める。

（退学）

第39条　退学しようとする者は、所定の退学願を学長に提出するものとする。

（転学）

第39条の２　他の大学に転学しようとする者は、所定の転学願を学長に提出するものとする。

（休学、復学、退学及び転学許可）

第40条　休学、復学、退学及び転学については、学長がこれを許可することができる。

（除籍）

第41条　次の各号の一に該当する者は、学長が除籍する。

(1)　所定の学生納付金を滞納し、督促を受けても納入しない者

(2)　在学期間の限度を超過した者

(3)　休学期間の限度を超過した者

(4)　長期間行方不明の者

(5)　休学による場合を除き、同一学年に３年在学してなお進級できない者

第10章　卒業及び学位

（卒業）

第42条　本学に４年（第20条、 第21条及び第22条により入学した者は、在学すべき年数）以上在学

し、第33条に定める単位数を取得したものは、教授会の意見を聴いて学長が卒業を認定し、卒業証書・学位記を授与する。

２　前項の規定にかかわらず、本学の学生として３年以上在学し、学部の定める卒業要件を優秀な成績で修得したと認める場合、３年以上の在学で卒業を認めることができる。

（学位）

第43条　本学を卒業した者に授与する学位は次のとおりとする。

工学部	学士（工学）
創造工学部	学士（工学）
先進工学部	学士（工学）
情報変革科学部	学士（工学）
未来変革科学部	学士（工学）

第11章　賞罰

（表彰）

第44条　学業優秀な者及び課外活動等において顕著な功績のあった者は、選考の上、表彰することができる。

２　前項の選考に関する取り扱いは別に定める。

（懲戒）

第45条　本学則に違反し又は学生としての本分に反する行為のあった者は、教授会の意見を聴いて、学長が懲戒する。

２　懲戒は、訓告、譴責、停学及び退学とする。

３　前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

(1)　性行不良で改善の見込みがない者

(2)　本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第12章　研究生、科目等履修生、特別聴講学生及び外国人留学生等

（研究生）

第46条　本学において特定の教員の指導のもとに研究することを志願する者があるときは、学部の教育・研究に支障のない場合に限り、学長は研究生として許可することができる。

２　研究生に関する規則は別に定める。

（科目等履修生）

第47条　本学の授業科目の履修又は受講のみを志願する者があるときは、学部の教育に支障のない場合に限り、学長は科目等履修生として許可することができる。

２　科目等履修生に関する規則は別に定める。

（特別聴講学生）

第48条　他の大学又は短期大学との協定に基づき、本学において授業科目を履修することを志願する

者があるときは、学長は特別聴講学生として許可することができる。

２　特別聴講学生に関する規則は別に定める。

（外国人留学生等）

第49条　日本国以外の国籍を有する者で、第15条に定める入学資格がある者は、選考のうえ、外国人留学生として入学を許可することができる。

２　前項の外国人留学生に対しては、第25条に定めるもののほか、日本語科目及び日本事情に関する科目を置くことができる。

日本語科目及び日本事情に関する科目については、別表第７のとおりとする。

３　日本国籍を有し、外国において相当の中等教育を受けた者で、第15条に定める入学資格がある者については前項を準用する。

４　外国人留学生等に関する規則は別に定める。

第13章　入学検定料及び学生納付金等

（入学検定料、学生納付金）

第50条　入学検定料は、別表第８の１のとおりとする。

２　学生納付金は、別表第８の２のとおりとする。

（学生納付金の納入）

第51条　学生納付金は、所定の期日までに納入するものとする。

２　学生納付金の納入に関する規則は、別に定める。

（研究生及び科目等履修生申込手数料等）

第52条　研究生の審査料及び科目等履修生の申込手数料等は別に定める。

（納付金不還付）

第53条　既納の入学検定料、学生納付金、審査料等は返還しない。

第14章　公開講座

（公開講座）

第54条　社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設することができる。

第15章　学則の変更

（学則変更）

第55条　本学則の変更は、 理事会の議決を経るものとする。

附則

本学則は昭和43年４月１日から施行する。

附則

本学則は昭和61年４月１日から施行する。

附則

本学則は昭和62年４月１日から施行する。

附則

本学則は昭和63年４月１日から施行する。

附則

本学則は平成元年４月１日から施行する。

附則

本学則は平成２年４月１日から施行する。

附則

１　本学則は平成３年４月１日から施行する。

２　第２条第２項の規定にかかわらず、平成３年度から平成11年度までの間、入学定員は次のとおりとする。

学　　部	学　　科	入学定員
工学部第一部	機 械 工 学 科	１２０名
	工 業 経 営 学 科	１２０名
	電 気 工 学 科	１２０名
	電 子 工 学 科	１２０名
	工 業 化 学 科	１００名
	土 木 工 学 科	１１０名
	建　築　学　科	１２０名
	精密機械工学科	１１０名
	情 報 工 学 科	１２０名
	工業ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	９０名

附則

本学則は平成３年９月10日から施行する。

附則

本学則は平成４年４月１日から施行する。

附則

本学則は平成５年４月１日から施行する。

附則

本学則は平成５年７月22日から施行する。

附則

本学則は平成６年４月１日から施行する。

附則

本学則は平成７年４月１日から施行する。

附則

本学則は平成８年４月１日から施行する。

附則

１　本学則は平成９年４月１日から施行する。

２　第２条第２項及び附則（平成３年４月１日施行）の規定にかかわらず、平成９年度から平成11年度までの間、 入学定員は次のとおりとする。

学　　部	学　　科	入学定員
工学部第一部	工業経営学科 情報工学科	１００名 １００名

附則

本学則は平成10年４月１日から施行する。

附則

１　本学則は平成11年４月１日から施行する。

２　第２条第２項の規定にかかわらず、平成11年度の入学定員は次のとおりとする。

学　部	学　　科	入学定員
工学部	機械工学科　昼間主コース	１２０名
	工業経営学科　昼間主コース	１００名
	電気工学科　昼間主コース	１２０名
	電子工学科　昼間主コース	１２０名
	工業化学科　昼間主コース	１００名
	土木工学科　昼間主コース	１１０名
	建築学科　昼間主コース	１２０名
	精密機械工学科　昼間主コース	１１０名
	情報工学科　昼間主コース	１００名
	工業ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科　昼間主コース	９０名

３　千葉工業大学工学部第二部は、平成11年４月から募集を停止し、平成11年３月31日現在当該学部に在学する者が当該学部に在学しなくなった時点で廃止する。

なお、 第二部学生の取り扱いについては、 従前のとおりとする。

附則

１　本学則は平成12年４月１日から施行する。

２　第２条第２項の規定にかかわらず、平成12年度から平成16年度までの間、入学定員は次のとおりとする。

学　　科		入　学　定　員				
		12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
機械工学科	昼間主コース	118 名	116 名	114 名	112 名	110 名
工業経営学科	昼間主コース	98 名	96 名	94 名	92 名	90 名
電気工学科	昼間主コース	118 名	116 名	114 名	112 名	110 名
電子工学科	昼間主コース	118 名	116 名	114 名	112 名	110 名
工業化学科	昼間主コース	98 名	96 名	94 名	92 名	90 名
土木工学科	昼間主コース	109 名	108 名	107 名	106 名	105 名
建築学科	昼間主コース	118 名	116 名	114 名	112 名	110 名
精密機械工学科	昼間主コース	109 名	108 名	107 名	106 名	105 名
情報工学科	昼間主コース	98 名	96 名	94 名	92 名	90 名
工業デザイン学科	昼間主コース	89 名	88 名	87 名	86 名	85 名

附則

１　本学則は平成13年４月１日から施行する。

２　第２条第２項の規定にかかわらず、平成13年度から平成16年度までの間、入学定員は次のとおりとする。

学　部・学　科		入　学　定　員			
		13年度	14年度	15年度	16年度
工学部					
機械工学科	昼間主ｺｰｽ	116 名	114 名	112 名	110 名
電気工学科	昼間主ｺｰｽ	116 名	114 名	112 名	110 名
電子工学科	昼間主ｺｰｽ	116 名	114 名	112 名	110 名
工業化学科	昼間主ｺｰｽ	94 名	90 名	86 名	80 名
土木工学科	昼間主ｺｰｽ	105 名	103 名	101 名	100 名
建築学科	昼間主ｺｰｽ	116 名	114 名	112 名	110 名
精密機械工学科	昼間主ｺｰｽ	105 名	103 名	101 名	100 名
工業ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	昼間主ｺｰｽ	88 名	87 名	86 名	85 名

3　千葉工業大学工学部工業経営学科、情報工学科、情報ネットワーク学科及びプロジェクトマネジメント学科は、平成13年４月から募集を停止し、平成13年３月31日現在当該学部学科に在学する者が当該学部学科に在学しなくなった時点で廃止する。

なお、募集を停止する当該４学科に在学する学生の取り扱いについては、従前のとおりとする。

附則

本学則は平成14年４月１日から施行する。

附則

1　本学則は平成15年４月１日から施行する。

2　千葉工業大学工学部機械工学科、 金属工学科、 電気工学科、 電子工学科、 工業化学科、土木工学科、建築学科、精密機械工学科及び工業デザイン学科は、平成15年４月から募集を停止し、平成15年３月31日現在当該学部学科に在学する者が当該学部学科に在籍しなくなった時点で廃止する。

なお、 募集を停止する当該９学科に在学する学生の取り扱いについては、従前のとおりとする。

附則

本学則は平成16年４月１日から施行する。

附則

本学則は平成17年４月１日から施行する。

附則

1　本学則は平成18年４月１日から施行する。

2　千葉工業大学工学部第二部は当該学部に在学する者がいなくなったため、平成18年３月31日をもって廃止する。

附則

1　本学則は平成19年４月１日から施行する。

2　千葉工業大学工学部情報ネットワーク学科及びプロジェクトマネジメント学科は、当該学科に在籍する者がいなくなったため、平成19年３月31日をもって廃止する。

附則

1　本学則は平成20年４月１日から施行する。

２　千葉工業大学工学部情報工学科及び工業経営学科は、当該学科に在学する者がいなくなったため、平成20年３月31日をもって廃止する。

附則

１　本学則は平成21年４月１日から施行する。

２　千葉工業大学工学部金属工学科、工業化学科、土木工学科、建築学科及び工業デザイン学科は、当該学科に在学する者がいなくなったため、平成21年３月31日をもって廃止する。

附則

１　本学則は平成22年４月１日から施行する。

２　千葉工業大学工学部電子工学科及び精密機械工学科は、当該学科に在学する者がいなくなったため、平成22年３月31日をもって廃止する。

附則

１　本学則は平成23年４月１日から施行する。

２　千葉工業大学工学部機械工学科及び電気工学科は、当該学科に在学する者がいなくなったため、平成23年３月31日をもって廃止する。

附則

１　本学則は平成24年４月１日から施行する。

２　学校法人千葉工業大学定年後再雇用教員に関する規程第４条第１項に規定する継続教員は、第８条の２第５項第５号を審議する教授会及び第８条の３第２項第１号を審議する合同教授会の構成員とはならない。

附則

本学則は平成25年４月１日から施行する。

附則

本学則は、平成26年４月１日から施行する。

附則

本学則は、平成27年４月１日から施行する。

附則

１　本学則は、平成28年４月１日から施行する。

２　千葉工業大学工学部機械サイエンス学科、電気電子情報工学科、生命環境科学科、建築都市環境学科、デザイン科学科及び未来ロボティクス学科は、平成28年４月から募集を停止し、平成28年３月31日現在当該学部学科に在学する者が当該学部学科に在籍しなくなった時点で廃止する。

なお、募集を停止する当該６学科に在学する学生の取り扱いについては、従前のとおりとする。

附則

本学則は、平成28年７月21日から施行する。

附則

本学則は、平成29年４月１日から施行する。

附則

本学則は、平成29年７月20日から施行する。

附則

本学則は、平成30年４月１日から施行する。

附則

本学則は、平成31年４月１日から施行する。

附則

本学則は、令和２年４月１日から施行する。

附則

本学則は、令和２年６月10日から施行する。

附則

１　本学則は、令和３年４月１日から施行する。

２　千葉工業大学工学部デザイン科学科は、当該学科に在学する者がいなくなったため、令和３年３月31日をもって廃止する。

附則

本学則は、令和３年５月１日から施行する。

附則

１ 本学則は、令和４年４月１日から施行する。

２ 千葉工業大学工学部機械サイエンス学科、生命環境科学科、建築都市環境学科及び未来ロボティクス学科は、当該学科に在籍する者がいなくなったため、令和４年３月31日をもって廃止する。

附則

本学則は、令和５年５月１日から施行する。

附則

１　本学則は、令和６年４月１日から施行する。

２　千葉工業大学情報科学部情報工学科、情報ネットワーク学科及び社会システム科学部経営情報科学科、プロジェクトマネジメント学科、金融・リスク経営科学科は、令和６年４月から募集を停止し、令和６年３月31日現在当該学部学科に在学する者が当該学部学科に在籍しなくなった時点で廃止する。

なお、募集を停止する当該２学部５学科に在学する学生の取り扱いについては、従前のとおりとする。

３　千葉工業大学工学部電気電子情報工学科は、当該学科に在学する者がいなくなったため、令和６年３月31日をもって廃止する。

附則

１　本学則は、令和７年４月１日から施行する。

２　千葉工業大学工学部機械電子創成工学科は、令和７年４月から募集を停止し、令和７年３月31日現在当該学部学科に在学する者が当該学部学科に在籍しなくなった時点で廃止する。

なお、募集を停止する当該学部学科に在学する学生の取り扱いについては、従前のとおりとする。

別表第1（第25条関係）

工学部　教養科目表

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
英語理解基礎1		1	
英語表現基礎1		1	
英語理解基礎2		1	
英語表現基礎2		1	
英語理解基礎3		1	
英語表現基礎3		1	
英語理解基礎4		1	
英語表現基礎4		1	
英語理解1		1	
英語表現1		1	
英語理解2		1	
英語表現2		1	
英語理解3		1	
英語表現3		1	
英語理解4		1	
英語表現4		1	
英語理解発展1		1	
英語表現発展1		1	
英語理解発展2		1	
英語表現発展2		1	
英語理解発展3		1	
英語表現発展3		1	
英語理解発展4		1	
英語表現発展4		1	
資格試験英語A		1	
資格試験英語B		1	
日本語表現法	1		
数理・データサイエンス・AI入門	1		
AI・プログラミング基礎演習		1	
スポーツ科学	2		
初年次教育	1		
キャリアデザイン1	1		
キャリアデザイン2	1		
キャリアデザイン3	1		
異文化理解	2		

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
言語と文化1	2		
言語と文化2	2		
グローバル時代の法		2	
国際社会論		2	
哲学		2	
倫理学		2	
文学と芸術		2	
歴史と人間		2	
心理学		2	
身体と健康の科学		2	
憲法と社会		2	
政治と社会		2	
経済学		2	
現代社会論		2	
科学技術史		2	
環境科学概論		2	
生命科学		2	
地球科学		2	
物理の世界と先端技術		2	
物質科学		2	
課題探究セミナー		2	
総合学際科目		2	
イングリッシュアクティブラーニング１		1	
イングリッシュアクティブラーニング２		1	
イングリッシュアクティブラーニング３		1	
日本語アクティブラーニング		1	
スポーツアクティブラーニング		2	
ソーシャルアクティブラーニング		1	
国際インターン		1	
国内インターン		1	
ボランティア		1	
キャリアアップラーニング		1	
総合科学特論		2	

機械工学科　専門科目表

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
数学基礎	2		
物理学基礎	2		
化学基礎	2		
線形代数	2		
微分積分学	2		
物理学応用		2	
化学実験	2		
物理学実験	2		
確率統計		2	
ものづくり基礎演習	2		
ものづくり演習	2		
機械工学概論	2		
工業力学	2		
機械材料		2	
機構学		2	
工業数学		2	
基礎材料力学	2		
基礎機械設計	2		
基礎機械製図	2		
基礎機械力学	2		
生産加工学	2		
材料力学	2		
応用材料力学		2	
構造力学		2	
材料強度学		2	
機械力学		2	
振動工学		2	
制御工学		2	
自動制御		2	
熱力学	2		
応用熱力学		2	
エネルギー工学		2	
伝熱工学		2	
流れ学	2		

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
応用流れ学		2	
流体力学		2	
機械設計	2		
機械製図	2		
CAD演習	2		
応用機械設計製図	2		
計測工学		2	
技術英語		2	
機械の技術史		2	
工作機械		2	
数値解析		2	
環境工学		2	
技術者倫理	2		
先端機械工学	2		
機械工学実験1	2		
機械工学実験2	2		
ゼミナール1	2		
ゼミナール2	2		
卒業研究	5		
工学概論(自由科目)※		2	
職業指導1(自由科目)※		2	
工業科教育法1(自由科目)※		2	
工業科教育法2(自由科目)※		2	

※別表第6にて再掲

宇宙・半導体工学科　専門科目表

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
数学基礎	2		
微分積分	2		
微分方程式		2	
応用数学		2	
線形代数基礎	2		
線形代数応用		2	
基礎統計学		2	
物理学基礎	2		
物理学実験		2	
化学基礎		2	
デジタルものづくり		2	
力学		2	
材料力学		2	
電気磁気学		2	○
電気回路		2	
半導体デバイス		2	
機械電子工学概論	2		
宇宙理工学概論		2	
半導体工学概論		2	
機械設計製図学		2	
機械力学		2	
材料加工		2	
トライボロジー		2	
流体工学		2	
工業熱力学		2	
精密加工		2	
アナログ回路		2	
デジタル回路		2	
電気機器学		2	
プログラミング言語		2	
組込みシステム		2	
情報通信工学		2	
システム制御理論		2	
センサ工学		2	
システム制御工学		2	

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
計測工学		2	
技術者倫理		2	
宇宙理工学発展講義		2	
半導体工学発展講義		2	
宇宙・半導体・メカトロニクス総合講義演習1	2		
宇宙・半導体・メカトロニクス総合講義演習2	2		
設計製図講義演習	4		
アドバンストラーニング1	2		
アドバンストラーニング2	2		
ゼミナール1	2		
ゼミナール2	2		
卒業研究	5		

先端材料工学科　専門科目表

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
数学基礎	2		
線形代数	2		
確率統計		2	
微分方程式		2	
工業数学		2	
微分積分		2	
物理学基礎	2		
物理学応用		2	
化学基礎	2		
物理化学	2		
物理学実験	2		
化学実験	2		
先端材料工学概論	2		
エネルギー工学概論	2		
リサイクル概論	2		
基礎材料工学	2		
工業英語	2		
工学基礎	2		
基礎製図		2	
材料物理学	2		
材料熱化学	2		
固体物理学	2		
材料組織学	2		
材料電気化学	2		
材料力学及び演習	2		
創造工学及び演習	2		
薄膜材料		2	
構造材料1		2	
構造材料2		2	
半導体材料		2	
磁性材料		2	
電池材料		2	
光機能材料		2	
セラミックス・ポリマー材料		2	
エネルギー材料		2	
材料化学プロセス工学1		2	

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
材料化学プロセス工学2		2	
化学反応工学		2	
リサイクル工学		2	
材料強度学1		2	
材料強度学2		2	
材料加工法及び演習		2	
材料評価法及び演習		2	
材料シミュレーション		2	
塑性加工学		2	
融体成形工学		2	
接合工学		2	
表面工学		2	
粉体材料工学		2	
技術者倫理	2		
先端材料工学実験1	2		
先端材料工学実験2	2		
先端材料ゼミナール	1		
ゼミナール1	2		
ゼミナール2	2		
卒業研究	5		
工学概論(自由科目)※		2	
職業指導1(自由科目)※		2	
工業科教育法1(自由科目)※		2	
工業科教育法2(自由科目)※		2	

※別表第6にて再掲

電気電子工学科　専門科目表

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
数学基礎	2		
線形代数基礎	2		
物理学基礎	2		
複素数とベクトル	2		
線形代数応用	2		
微分積分	2		
化学基礎	2		
微分方程式	2		
物理学応用	2		
確率統計		2	
量子力学基礎		2	
物理学実験	2		
化学実験		2	
電気電子工学入門	2		
電気電子基礎数学及び演習	2		
電気磁気学及び演習1	2		
電気磁気学及び演習2	2		
電気回路及び演習1	2		
計測工学	2		
電子物性	2		
プログラミング言語及び演習	2		
電気回路及び演習2	2		
電子回路及び演習1	2		
電子デバイス及び演習1	2		
電気回路解析学	2		○
文献輪読	2		
電気電子工学実験1	2		
電気電子工学実験2	2		
電気電子工学実験3	2		
デジタル回路		2	
信号処理論		2	
電子回路2		2	
電子デバイス2		2	
電磁エネルギー変換工学		2	○
制御工学1		2	

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
変電工学		2	
送配電工学		2	
プラズマエレクトロニクス		2	
コンピュータ工学		2	
電気音響工学		2	
計測システム工学		2	
パワーエレクトロニクス		2	
制御工学2		2	
発電工学		2	
高電圧工学		2	
電気電子材料		2	
光エレクトロニクス		2	
数値計算工学		2	
電子回路3		2	
技術者倫理	2		
ゼミナール1	2		
電気機器設計・製図		2	
電気法規		2	
ゼミナール2	2		
卒業研究	5		
工学概論(自由科目)※		2	
職業指導1(自由科目)※		2	
工業科教育法1(自由科目)※		2	
工業科教育法2(自由科目)※		2	

※別表第6にて再掲

情報通信システム工学科　専門科目表

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
数学基礎	2		
線形代数基礎	2		
物理学基礎	2		
物理学実験	2		
微分積分	2		
物理学応用	2		
情報通信基礎数学及び演習	3		
線形代数応用		2	
確率統計		2	
微分方程式	2		
フレッシュマンセミナー	2		
情報通信応用数学及び演習	3		
電気回路及び演習1	3		
情報基礎論	2		
電気磁気学及び演習1	3		
電気回路及び演習2	3		
プログラミング言語及び演習	3		
計測工学		2	
電気磁気学及び演習2	3		
情報通信工学基礎実験	2		
電子回路及び演習1	3		
電子デバイス		2	
電子回路及び演習2	3		
文献輪読	2		
プログラミング応用演習	1		
情報理論		2	
アルゴリズムとデータ構造		2	
ディジタル回路		2	
情報通信工学実験1	2		
数値計算工学		2	
通信理論		2	
無線通信工学		2	
電気回路解析学		2	
ソフトウェア工学		2	
コンピュータ工学		2	

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
情報通信工学実験2	2		
ゼミナール1	2		
通信システム工学		2	
光通信工学		2	
データサイエンス		2	
電波工学		2	
コンピュータネットワーク		2	
データベース工学		2	
技術者倫理	2		
ゼミナール2	2		
システム数理工学		2	
電波法		2	
卒業研究	5		

応用化学科　専門科目表

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
化学基礎		2	
物理学基礎		2	
数学基礎		2	
線形代数基礎		2	
化学実験	2		
化学応用		2	
微分積分		2	
線形代数応用		2	
物理学実験	2		
生物学基礎		2	
物理学応用		2	
統計力学基礎		2	
確率統計		2	
有機化学1		2	
応用化学概論	2		
有機化学2		2	
物理化学1		2	
有機化学3		2	
無機化学1		2	
物理化学2		2	
分析化学		2	
応用化学研究法		2	
無機化学2		2	
物理化学3		2	
量子化学1		2	
機器分析学1		2	
技術者倫理		2	
環境マネジメント		2	
生化学		2	
化学反応工学		2	
量子化学2		2	
地球環境科学		2	
機器分析学2		2	
特許及び情報検索法		2	
高分子化学		2	

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
高分子材料		2	
無機合成化学		2	
結晶科学		2	
界面化学		2	
電気化学		2	
有機合成化学		2	
バイオマテリアル		2	
機能性無機材料		2	
錯体化学		2	
エネルギー・環境化学工学		2	
分子設計		2	
触媒化学		2	
エコマテリアル		2	
サスティナブル資源科学		2	
応用化学実験1	2		
応用化学実験2	2		
応用化学実験3	2		
ゼミナール	2		
卒業研究	5		
電磁気学(自由科目)※		2	
宇宙科学(自由科目)※		2	
生物学実験(自由科目)※		1	
地学実験(自由科目)※		1	
理科教育法1(自由科目)※		2	
理科教育法2(自由科目)※		2	
理科教育法3(自由科目)※		2	
理科教育法4(自由科目)※		2	

※別表第6にて再掲

別表第2(第25条関係)

創造工学部　教養科目表

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
英語理解基礎1		1	
英語表現基礎1		1	
英語理解基礎2		1	
英語表現基礎2		1	
英語理解基礎3		1	
英語表現基礎3		1	
英語理解基礎4		1	
英語表現基礎4		1	
英語理解1		1	
英語表現1		1	
英語理解2		1	
英語表現2		1	
英語理解3		1	
英語表現3		1	
英語理解4		1	
英語表現4		1	
英語理解発展1		1	
英語表現発展1		1	
英語理解発展2		1	
英語表現発展2		1	
英語理解発展3		1	
英語表現発展3		1	
英語理解発展4		1	
英語表現発展4		1	
資格試験英語A		1	
資格試験英語B		1	
日本語表現法	1		
数理・データサイエンス・AI入門	1		
AI・プログラミング基礎演習		1	
スポーツ科学	2		
初年次教育	1		
キャリアデザイン1	1		
キャリアデザイン2	1		
キャリアデザイン3	1		
異文化理解	2		

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
言語と文化1	2		
言語と文化2	2		
グローバル時代の法		2	
国際社会論		2	
哲学		2	
倫理学		2	
文学と芸術		2	
歴史と人間		2	
心理学		2	
身体と健康の科学		2	
憲法と社会		2	
政治と社会		2	
経済学		2	
現代社会論		2	
科学技術史		2	
環境科学概論		2	
生命科学		2	
地球科学		2	
物理の世界と先端技術		2	
物質科学		2	
課題探究セミナー		2	
総合学際科目		2	
イングリッシュアクティブラーニング1		1	
イングリッシュアクティブラーニング2		1	
イングリッシュアクティブラーニング3		1	
日本語アクティブラーニング		1	
スポーツアクティブラーニング		2	
ソーシャルアクティブラーニング		1	
国際インターン		1	
国内インターン		1	
ボランティア		1	
キャリアアップラーニング		1	
総合科学特論		2	

建築学科　専門科目表

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
建築学概論	2		
創造工学基礎演習1	2		
創造工学基礎演習2	2		
建築のための英語		2	
物理学基礎		2	
化学基礎		2	
数学基礎		2	
微分積分		2	
基礎統計学		2	
線形代数		2	
物理学実験		2	
化学実験		2	
日本建築史	2		
西洋建築史	2		
建築設計1	2		
建築工学基礎演習1	1		
温熱環境学	2		
空気環境学	2		
光環境学		2	
建築音響学		2	
静定梁・静定トラスの力学及び力学演習	2		
静定構造の力学及び力学演習	2		
サステナブル建築学	2		
建築の構造1	2		
建築の構造2	2		
建築構造材料	2		
建築計画1	2		
建築計画2	2		
現代建築論		2	
建築設計2	2		
建築工学基礎演習2	1		
建築設計3	2		
建築設計4	3		
建築設計5		3	

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
建築設備1	2		
建築設備2		2	
不静定構造の力学		2	
地盤工学		2	
鉄骨構造		2	
鉄筋コンクリート構造		2	
建築基礎構造		2	
建築エンジニアリング演習		2	
建築耐震構造		2	
建築構造設計演習		3	
建築仕上げ材料		2	
建築生産	2		
建築法規	2		
ゼミナール1	2		
ゼミナール2	2		
卒業研究	5		

都市環境工学科　専門科目表

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
数学基礎	2		
線形代数	2		
微分積分	2		
基礎統計学	2		
物理学基礎	2		
物理学実験		2	
化学基礎	2		
化学実験		2	
創造工学基礎演習1	2		
創造工学基礎演習2	2		
構造力学1	2		
構造力学2	2		
建設材料工学	2		
土質力学	2		
応用力学	2		
水理学1	2		
水理学2	2		
環境アセスメント	2		
地球環境学	2		
国土・地域計画	2		
都市計画	2		
防災工学	2		
測量実習	2		
測量学	2		
技術者倫理	2		
橋梁工学		2	
地盤工学		2	
鉄筋コンクリート		2	
コンクリート構造		2	
衛生工学		2	
水圏環境学		2	
大気環境学		2	
沿岸環境学		2	
まちづくり論		2	
交通計画		2	

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
交通工学		2	
都市・地域経済学		2	
景観工学		2	
地理情報システム		2	
建設施工		2	
エリア設計・演習		2	
建築・都市関連法規		2	
空間情報工学		2	
都市環境工学実験	2		
都市環境工学演習	2		
ゼミナール1	2		
ゼミナール2	2		
卒業研究	5		
工学概論(自由科目)※		2	
職業指導1(自由科目)※		2	
工業科教育法1(自由科目)※		2	
工業科教育法2(自由科目)※		2	

※別表第6にて再掲

デザイン科学科　専門科目表

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
数学基礎		2	
基礎統計学		2	
物理学基礎		2	
物理学実験		2	
化学基礎		2	
化学実験		2	
情報活用及び演習	2		
創造工学基礎演習1	2		
創造工学基礎演習2	2		
デザイン概論	2		
デザイン基礎1	2		
デザイン史	2		
デザイン基礎2	2		
製品デザイン基礎		2	
空間デザイン基礎		2	
人とデザイン1		2	
生活とデザイン		2	
インテリア計画		2	
デザインスキル演習1	1		
人とデザイン2		2	
空間とデザイン		2	
情報デザイン基礎		2	
デザインスキル演習2	1		
デザインプレゼンテーション	1		
産業とデザイン		2	
情報とデザイン		2	
技術とデザイン		2	
材料とデザイン		2	
社会とデザイン		2	
環境とデザイン		2	
データとデザイン		2	
ビジネスとデザイン		2	
文化とデザイン		2	
創造デザイン基礎	2		
工学デザイン基礎	2		

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
創造デザイン論及び演習	4		
工学デザイン論及び演習	4		
インテリア設計		2	
ソーシャルデザイン論及び演習		4	
スペースデザイン論及び演習		4	
構造力学		2	
デジタルデザイン論及び演習		4	
プロダクトデザイン論及び演習		4	
ディスプレイデザイン論及び演習		4	
インテリア施工		2	
デザイン特別講義		2	
デザイン学外実習		1	
ゼミナール1	2		
ゼミナール2	2		
卒業研究	5		

別表第3(第25条関係)

先進工学部　教養科目表

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
英語理解基礎1		1	
英語表現基礎1		1	
英語理解基礎2		1	
英語表現基礎2		1	
英語理解基礎3		1	
英語表現基礎3		1	
英語理解基礎4		1	
英語表現基礎4		1	
英語理解1		1	
英語表現1		1	
英語理解2		1	
英語表現2		1	
英語理解3		1	
英語表現3		1	
英語理解4		1	
英語表現4		1	
英語理解発展1		1	
英語表現発展1		1	
英語理解発展2		1	
英語表現発展2		1	
英語理解発展3		1	
英語表現発展3		1	
英語理解発展4		1	
英語表現発展4		1	
資格試験英語A		1	
資格試験英語B		1	
日本語表現法	1		
数理・データサイエンス・AI入門	1		
AI・プログラミング基礎演習		1	
スポーツ科学	2		
初年次教育	1		
キャリアデザイン1	1		
キャリアデザイン2	1		
キャリアデザイン3	1		
異文化理解	2		

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
言語と文化1	2		
言語と文化2	2		
グローバル時代の法		2	
国際社会論		2	
哲学		2	
倫理学		2	
文学と芸術		2	
歴史と人間		2	
心理学		2	
身体と健康の科学		2	
憲法と社会		2	
政治と社会		2	
経済学		2	
現代社会論		2	
科学技術史		2	
環境科学概論		2	
生命科学		2	
地球科学		2	
物理の世界と先端技術		2	
物質科学		2	
課題探究セミナー		2	
総合学際科目		2	
イングリッシュアクティブラーニング1		1	
イングリッシュアクティブラーニング2		1	
イングリッシュアクティブラーニング3		1	
日本語アクティブラーニング		1	
スポーツアクティブラーニング		2	
ソーシャルアクティブラーニング		1	
国際インターン		1	
国内インターン		1	
ボランティア		1	
キャリアアップラーニング		1	
総合科学特論		2	

未来ロボティクス学科　専門科目表

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
ロボット体験実習	2		
プログラミング基礎	2		
未来ロボティクス総合セミナー	2		
数学基礎		2	
線形代数学		2	
微分積分学		2	
物理学基礎		2	
ロボット設計製作論実習1	2		
ロボット設計製作論実習2	2		
ロボット設計製作論実習3	2		
ロボット設計製作論実習4	2		
ロボット設計製作論実習5	2		
機械製図		1	
ロボット機構学		2	
ロボット電子回路		4	
ロボットプログラミング		2	
メカニクス1		4	
制御工学Ⅰ		2	
制御工学Ⅱ		2	
電気電子回路論		2	
電気電子アクティブラーニング		2	
信号処理論		2	
ロボット制御学		2	
ロボットシステム学		2	
科学技術開発マネジメント		2	
科学技術基礎英語		2	
電磁気学		2	
コミュニケーション論		2	
基礎統計学		2	
ロボティクスチャレンジ		1	
ロボットマニピュレータ		2	
センサ工学		2	
数値解析学1		2	
数値解析学2		2	
メカニクス2		2	

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
組込み用コンピュータ実装論		2	
認識工学		2	
ロボットビジョン		2	
認知科学		2	
ロボットインターフェイス設計論		2	
ロボット構造力学		2	
アクチュエータ工学		2	
CAD/CAM/CAE		2	
流体力学		2	
ゼミナール1		1	
ゼミナール2		1	
ゼミナール3		1	
ゼミナール4		1	
卒業研究	5		

生命科学科　専門科目表

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
生物学1	2		
数学基礎		2	
化学基礎		2	
生物学2	2		
微分積分		2	
線形代数		2	
機器分析学		2	
量子化学		2	
基礎統計学		2	○
生命科学基礎演習	1		
分子生物学1		2	
生物物理学1		2	
生化学1		2	
基礎生態学		2	
分子生物学2		2	
微生物学		2	
生化学2		2	
遺伝子工学1		2	
細胞生物学		2	
生物物理学2		2	
遺伝子工学2		2	
生命科学のための倫理・法律	2		
生命科学基礎実験1	2		
生命科学基礎実験2	2		
構造生物学		2	
環境構造学		2	
ゲノム科学		2	
ウイルス学		2	
動物生理学1		2	
植物生理学1		2	
分子進化学		2	
ゲノム生態学		2	
分子免疫学		2	
生体分子工学1		2	
動物生理学2		2	

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
保全生物学		2	
公衆衛生学		2	
微生物生態学		2	
生命情報学		2	
植物生理学2		2	
生物多様性科学		2	
生体分子工学2		2	
細胞遺伝学		2	
微生物工学		2	
医薬品生産技術		2	
生態系保全技術		2	
生命科学応用実験	2		
卒業研究準備実験	2		
卒業研究	5		

知能メディア工学科　専門科目表

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
数学基礎	2		
線形代数	2		
確率統計	2		
物理学基礎	2		
物理学実験	2		
知能メディア基礎数学	2		
離散数学		2	
統計解析		2	
プログラミング言語基礎	2		
視覚造形基礎	2		
コンピュータ工学		2	
デジタルデザイン基礎演習		2	
ネットワーク基礎		2	
ヒューマンインタフェース論		2	
プログラミング言語応用		2	
デジタルファブリケーション		2	
メディアデザイン論		2	
メディア史		2	
人間中心設計	2		
技術者倫理		2	
メディア基礎	2		
情報理論	2		
コミュニケーションデザイン演習	2		
知能メディア体験演習	2		
知能メディアプロジェクト1	2		
知能メディアプロジェクト2	2		
メディア工学実験	2		
音響工学基礎		2	
画像処理基礎		2	
音声工学		2	
音響工学応用		2	
画像処理応用		2	
バーチャルリアリティ		2	
人工知能基礎	2		
知識工学		2	

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
機械学習		2	
ネットワーク・データ工学実験	2		
マルチエージェントシステム		2	
データマイニング		2	
データベース工学		2	
知識工学応用		2	
情報デザイン基礎		2	
情報デザイン論及び演習	3		
テクノロジーアート		2	
デザインプロジェクト設計		2	
情報デザイン応用論及び演習		3	
フィジカルインタフェース		2	
ユーザエクスペリエンスデザイン		2	
知能メディアチャレンジ		1	
ゼミナール1	2		
ゼミナール2	2		
ゼミナール3	2		
卒業研究	5		

別表第4(第25条関係)

情報変革科学部　教養科目表

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
英語理解基礎1		1	
英語表現基礎1		1	
英語理解基礎2		1	
英語表現基礎2		1	
英語理解基礎3		1	
英語表現基礎3		1	
英語理解基礎4		1	
英語表現基礎4		1	
英語理解1		1	
英語表現1		1	
英語理解2		1	
英語表現2		1	
英語理解3		1	
英語表現3		1	
英語理解4		1	
英語表現4		1	
英語理解発展1		1	
英語表現発展1		1	
英語理解発展2		1	
英語表現発展2		1	
英語理解発展3		1	
英語表現発展3		1	
英語理解発展4		1	
英語表現発展4		1	
資格試験英語A		1	
資格試験英語B		1	
日本語表現法	1		
数理・データサイエンス・AI入門	1		
AI・プログラミング基礎演習		1	
スポーツ科学	2		
初年次教育	1		
キャリアデザイン1	1		
キャリアデザイン2	1		
キャリアデザイン3	1		
異文化理解	2		

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
言語と文化1	2		
言語と文化2	2		
グローバル時代の法		2	
国際社会論		2	
哲学		2	
倫理学		2	
文学と芸術		2	
歴史と人間		2	
心理学		2	
身体と健康の科学		2	
憲法と社会		2	
政治と社会		2	
経済学		2	
現代社会論		2	
科学技術史		2	
環境科学概論		2	
生命科学		2	
地球科学		2	
物理の世界と先端技術		2	
物質科学		2	
課題探究セミナー		2	
総合学際科目		2	
イングリッシュアクティブラーニング1		1	
イングリッシュアクティブラーニング2		1	
イングリッシュアクティブラーニング3		1	
日本語アクティブラーニング		1	
スポーツアクティブラーニング		2	
ソーシャルアクティブラーニング		1	
国際インターン		1	
国内インターン		1	
ボランティア		1	
キャリアアップラーニング		1	
総合科学特論		2	

情報工学科　専門科目表

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
数学基礎		2	
微分積分		2	
確率統計		2	
線形代数基礎		2	
線形代数応用		2	
微分方程式		2	
離散数学		2	
線形代数特論		2	
応用解析		2	
統計解析		2	
初等整数論		2	
情報工学概論	2		
電気回路	2		
プログラミング言語	2		
論理回路	2		
フィジカルコンピューティング	2		
技術文章作成	2		
アイディアソン	2		
Webプログラミング	2		
データサイエンス	2		
データ通信	2		
メディア処理		2	
グラフィックス		2	
システム理論		2	
ソフトウェア工学		2	
ビジュアル情報処理		2	
クラウドコンピューティング		2	
デジタル信号処理		2	
クリティカルエンジニアリング	2		
アジャイルワーク1	2		
アジャイルワーク2	2		
ハッカソン1	2		
ハッカソン2	2		
数理モデリング		2	
感性情報処理		2	

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
数値解析		2	
アルゴリズムとデータ構造		2	
オペレーティングシステム		2	
デジタル通信		2	
情報理論		2	
データベース		2	
技術者倫理	2		
機械学習		2	
人工知能		2	
情報セキュリティ		2	
高性能計算		2	
ゼミナール1	2		
ゼミナール2	2		
ゼミナール3	2		
卒業研究	5		
幾何学1(自由科目)※		2	
幾何学2(自由科目)※		2	
解析学1(自由科目)※		2	
解析学2(自由科目)※		2	
数学科教育法1(自由科目)※		2	
数学科教育法2(自由科目)※		2	
数学科教育法３（自由科目）※		2	
数学科教育法４（自由科目）※		2	
情報科教育法１（自由科目）※		2	
情報科教育法２（自由科目）※		2	
情報と職業（自由科目）※		2	○

※別表第6にて再掲

認知情報科学科　専門科目表

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
数学基礎	2		
線形代数基礎		2	
微分積分		2	
線形代数応用		2	
確率統計		2	
微分方程式		2	
応用解析		2	
離散数学		2	
統計解析		2	
線形代数特論		2	
初等整数論		2	
認知情報科学入門	2		
プログラミング演習	2		
認知科学概論	2		
情報科学概論	2		
認知情報科学演習	2		
認知科学基礎1	2		
認知科学基礎2		2	
人工知能基礎1	2		
人工知能基礎2		2	
マルチメディア基礎1	2		
マルチメディア基礎2		2	
ソフトウェア基礎1	2		
ソフトウェア基礎2		2	
ネットワーク基礎1	2		
ネットワーク基礎2		2	
認知情報科学実験1	2		
認知情報科学実験2	2		
認知科学応用		2	
学びの科学・工学		2	○
コミュニケーション		2	
ヒューマンコンピュータインタラクション		2	
マシンラーニング		2	
コンピュータビジョン		2	
ソフトウェア工学		2	

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
ネットワーク応用		2	
アルゴリズムとデータ構造		2	
インターネットの心理学		2	
デザインと表現		2	
フィールド調査		2	
自然言語処理		2	
グラフィックス		2	
プロジェクトマネジメント		2	
データマイニング		2	
センシングとIoT		2	
経営システム工学		2	
技術者倫理	2		
ゼミナール1	2		
ゼミナール2	2		
ゼミナール3	2		
ゼミナール４	2		
卒業研究	5		
幾何学1(自由科目)※		2	
幾何学2(自由科目)※		2	
解析学1(自由科目)※		2	
解析学2(自由科目)※		2	
数学科教育法1(自由科目)※		2	
数学科教育法2(自由科目)※		2	
数学科教育法３（自由科目）※		2	
数学科教育法４（自由科目）※		2	
情報科教育法１（自由科目）※		2	
情報科教育法２（自由科目）※		2	
情報と職業（自由科目）※		2	○

※別表第6にて再掲

高度応用情報科学科　専門科目表

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
数学基礎	2		
線形代数基礎	2		
微分積分		2	
線形代数応用	2		
確率統計	2		
微分方程式		2	
離散数学		2	
情報数学1		2	
情報数学2		2	
応用解析		2	
統計解析	2		
線形代数特論		2	
初等整数論		2	
数理モデリング		2	
社会数理モデリング		2	
情報リテラシ	2		
ICT基礎	2		
データ構造とアルゴリズム	2		
情報メディア基礎	2		
TCP／IP概論	2		
OSとシステムソフトウェア		2	
情報ネットワーク	2		
データサイエンス入門		2	
データサイエンス演習		2	
高度応用情報科学概論1	2		
高度応用情報科学概論2	2		
情報リテラシ演習1	2		
情報リテラシ演習2	2		
NWプログラミング基礎演習		2	
NWプログラミング応用演習		2	
データベース		2	
LAN		2	
機械学習基礎		2	
行動科学分析		2	
金融工学		2	

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
クラウドコンピューティング		2	
クラウド構築演習		2	
ソフトコンピューティング		2	
マルチメディア情報処理		2	
情報倫理		2	
ソフトウェア工学		2	
機械学習応用		2	
人間工学		2	
IoTシステム		2	
IoTシステム構築実験		2	
サイバーセキュリティ		2	
サイバーセキュリティ実験		2	
Webプログラミング基礎実験		2	
Webプログラミング応用実験		2	
高度応用情報科学ゼミナール1	2		
高度応用情報科学ゼミナール2	2		
高度応用情報科学ゼミナール３	2		
卒業研究	5		
幾何学1(自由科目)※		2	
幾何学2(自由科目)※		2	
解析学1(自由科目)※		2	
解析学2(自由科目)※		2	
数学科教育法１（自由科目）※		2	
数学科教育法２（自由科目）※		2	
数学科教育法３（自由科目）※		2	
数学科教育法４（自由科目）※		2	
情報科教育法１（自由科目）※		2	
情報科教育法２（自由科目）※		2	
情報と職業（自由科目）※		2	○

※別表第6にて再掲

別表第5（第25条関係）

未来変革科学部　教養科目表

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
英語理解基礎1		1	
英語表現基礎1		1	
英語理解基礎2		1	
英語表現基礎2		1	
英語理解基礎3		1	
英語表現基礎3		1	
英語理解基礎4		1	
英語表現基礎4		1	
英語理解1		1	
英語表現1		1	
英語理解2		1	
英語表現2		1	
英語理解3		1	
英語表現3		1	
英語理解4		1	
英語表現4		1	
英語理解発展1		1	
英語表現発展1		1	
英語理解発展2		1	
英語表現発展2		1	
英語理解発展3		1	
英語表現発展3		1	
英語理解発展4		1	
英語表現発展4		1	
資格試験英語A		1	
資格試験英語B		1	
日本語表現法	1		
数理・データサイエンス・AI入門	1		
AI・プログラミング基礎演習		1	
スポーツ科学	2		
初年次教育	1		
キャリアデザイン1	1		
キャリアデザイン2	1		
キャリアデザイン3	1		
異文化理解	2		

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
言語と文化1	2		
言語と文化2	2		
グローバル時代の法		2	
国際社会論		2	
哲学		2	
倫理学		2	
文学と芸術		2	
歴史と人間		2	
心理学		2	
身体と健康の科学		2	
憲法と社会		2	
政治と社会		2	
経済学		2	
現代社会論		2	
科学技術史		2	
環境科学概論		2	
生命科学		2	
地球科学		2	
物理の世界と先端技術		2	
物質科学		2	
課題探究セミナー		2	
総合学際科目		2	
イングリッシュアクティブラーニング1		1	
イングリッシュアクティブラーニング2		1	
イングリッシュアクティブラーニング3		1	
日本語アクティブラーニング		1	
スポーツアクティブラーニング		2	
ソーシャルアクティブラーニング		1	
国際インターン		1	
国内インターン		1	
ボランティア		1	
キャリアアップラーニング		1	
総合科学特論		2	

デジタル変革科学科　専門科目表

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
未来変革科学入門	2		
デジタル変革概論	2		
データサイエンスの線形代数		2	
コンピュータサイエンス入門		2	
科学技術者倫理	2		
情報数学		2	
確率論		2	
データサイエンスⅠ	2		
データサイエンスⅡ	2		
データサイエンスⅢ	2		
データサイエンスⅣ	2		
マネジメント工学概論	2		
企業経営概論		2	
コミュニケーションマネジメント	2		
ビジネスエコシステム		2	
知識社会のマネジメント		2	
システム構築マネジメント		2	
デジタル・リスク論		2	
ビジネスインテリジェンス		2	
デジタルデザイン論		2	
コストアカウンティング		2	
サステナブルデベロップメント概論		2	
データサイエンスおよび演習		2	
シナジー創出技法		2	
システム運用マネジメント		2	
デジタルトランスフォーメーション論		2	
情報ネットワーク		2	
デジタル人材論		2	
カスタマーサクセスマネジメント		2	
デジタルマーケティング		2	
フィールドアクティビティ1	1		
フィールドアクティビティ2	1		
ユーザエクスペリエンスデザイン		2	
デジタル技術とデータ活用		2	
人工知能論		2	

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
モデリングとシミュレーション		2	
グローバル・デジタル論		2	
フィールド情報学		2	
デジタル変革実験	2		
デジタル変革演習	2		
サービスマネジメント		2	
社会デザイン概論		2	
クラウドエコシステム		2	
システム科学		2	
デジタル・サービスサイエンス		2	
データ品質マネジメント		2	
コーポレートファイナンス		2	
生産システムマネジメント		2	
経営戦略		2	
社会変革のためのシステム思考		2	
情報技術社会論		2	
ゼミナール1	2		
ゼミナール2	2		
課題研究	2		
卒業研究	5		

経営デザイン科学科　専門科目表

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
未来変革科学入門	2		
経営デザイン概論	2		
データサイエンスの線形代数		2	
コンピュータサイエンス入門		2	
ベンチャービジネス論		2	
グリーン社会と法律	2		
情報処理基礎		2	
科学技術者倫理		2	
社会システム工学		2	
企業活動と法律		2	
IoT技術活用論		2	
意思決定の数理		2	
情報ネットワーク		2	
データサイエンスⅠ	2		
データサイエンスⅡ	2		
データサイエンスⅢ	2		
データサイエンスⅣ	2		
知識社会のマネジメント		2	
事業経営概論		2	
経営管理論		2	
会計システム		2	
サステナブルデベロップメント概論		2	
コストアカウンティング	2		
システム方法論		2	
イノベーションマネジメント	2		
データサイエンスとデータベース		2	
経営デザイン基礎	1		
専門特別講義		2	
情報とセキュリティ		2	
経営デザイン応用	2		
人間工学概論		2	
プロジェクトマネジメント		2	
生産管理	2		
研究開発の戦略と統制	2		
生産システム工学		2	

授業科目	単位数		オンライン授業
	必修	選択	
品質管理		2	
マーケティングマネジメント		2	
情報数学		2	
データサイエンスの統計解析		2	
ロジスティクス		2	
経営システム工学		2	
資源・エネルギー管理論		2	
技術開発マネジメント		2	
経営情報システム		2	
デジタルコンテンツクリエイション		2	
環境マネジメントおよび演習		2	
フィールド情報学		2	
ソフトウェア開発の定量化技法		2	
経営デザイン演習Ⅰ	1		
経営デザイン演習Ⅱ	2		
経営デザイン演習Ⅲ	2		
ゼミナール	2		
卒業研究	2		
情報科教育法１（自由科目）※		2	
情報科教育法２（自由科目）※		2	
情報と職業（自由科目）※		2	○

※別表第6にて再掲

別表第6（第25条関係）

教科及び教職に関する科目（学士の学位を授与するための授業科目を除く。）

1. 教育の基礎的理解に関する科目

授業科目	単位数		備　考
	必修	選択	
教育原理		2	※
教職概論		2	※
教育行政学		2	※
学校経営・連携の理論と実践		2	
教育心理学		2	※
特別支援教育論		1	※
教育課程論		2	※

（注）※印の科目は、全教職課程履修者必修。

2. 道徳，総合的な学習（探究）の指導法及び生徒指導，教育相談等に関する科目

授業科目	単位数		備　考
	必修	選択	
道徳教育の理論と実践		2	中一種免は必修、高一種免は選択
総合的な学習（探究）の時間の理論と実践		2	※
特別活動論		2	※
教育の方法・技術とICT		2	※
生徒指導・進路指導論		2	※
教育相談		2	※

（注）※印の科目は、全教職課程履修者必修。

3. 教育実践に関する科目

授業科目	単位数		備　考
	必修	選択	
教育実習事前事後指導		1	高一種免（工業）以外は必修
教育実習A		4	高一種免（工業）以外は必修
教育実習B		2	高一種免（工業）以外は必修
教職実践演習（中・高）		2	※

（注）※印の科目は，全教職課程履修者必修。

4. 教科及び教科の指導法に関する科目

工学部　機械工学科，機械電子創成工学科，先端材料工学科，電気電子工学科
創造工学部　都市環境工学科

（工業）

授業科目	単位数		備　考
	必修	選択	
工業科教育法1		2	高一種(工業)必修
工業科教育法2		2	高一種(工業)必修
工学概論		2	高一種(工業)必修　※
職業指導1		2	高一種(工業)必修

(注)※　他学科履修は不可

工学部　応用化学科

（理科）

授業科目	単位数		備　考
	必修	選択	
理科教育法1		2	中・高一種免(理科)必修
理科教育法2		2	中・高一種免(理科)必修
理科教育法3		2	中一種免(理科)必修
理科教育法4		2	中一種免(理科)必修
電磁気学		2	
宇宙科学		2	
生物学実験		2	中・高一種免(理科)必修
地学実験		2	中・高一種免(理科)必修

情報変革科学部　情報工学科，認知情報科学科，高度応用情報科学科

（数学）

授業科目	単位数		備　考
	必修	選択	
数学科教育法1		2	中・高一種免(数学)必修
数学科教育法2		2	中・高一種免(数学)必修
数学科教育法3		2	中一種免(数学)必修
数学科教育法4		2	中一種免(数学)必修
幾何学1		2	中・高一種免(数学)必修
幾何学2		2	中・高一種免(数学)必修
解析学1		2	中・高一種免(数学)必修
解析学2		2	中・高一種免(数学)必修

情報変革科学部　情報工学科，認知情報科学科，高度応用情報科学科
未来変革科学部　経営デザイン科学科

（情報）

授業科目	単位数		備　考
	必修	選択	
情報科教育法1		2	高一種(情報)必修
情報科教育法2		2	高一種(情報)必修
情報と職業		2	高一種(情報)必修

5. 大学が独自に設定する科目

工学部　応用化学科
情報変革科学部　情報工学科，認知情報科学科，高度応用情報科学科

授業科目	単位数		備　考
	必修	選択	
介護体験入門		1	中一種免必修

別表第7（第49条関係）

授業科目		単位数	
		必修	選択
日本語	日本語基礎1		1
	日本語基礎2		1
	日本語初級1		3
	日本語初級2		3
	日本語中級1		2
	日本語中級2		2
	日本語表現		1
	理工系日本語		1
日本事情	日本事情1		2
	日本事情2		2
	日本事情3		2
	日本事情4		2
	日本事情5		2
	日本事情6		2
	日本事情7		2
	日本事情8		2
	日本事情ゼミナール		2

別表第8（第50条関係）

1　令和7年度入学検定料　　単位：円

試験種別	1試験種の検定料
学校推薦型選抜・総合型選抜・特別選抜	30,000

単位：円

試験種別	1つのタイプで出願した場合の検定料	2つのタイプで出願した場合の検定料	3つのタイプで出願した場合の検定料
共通テスト利用入学試験（前期）	15,000	20,000	
共通テスト利用入学試験（中期）	15,000	20,000	
共通テスト利用入学試験（後期）	15,000	20,000	25,000

※この試験には3種類のタイプがあります。

単位：円

試験種別	1日分の検定料	2日目以降の追加検定料（1日あたり）
A日程入学試験	30,000	5,000
SA日程入学試験	30,000	5,000
B日程入学試験	30,000	5,000
SB日程入学試験	30,000	5,000
C日程入学試験	30,000	

2　令和7年度入学生納付金（全学部共通）

単位：円

区　分	金　額
入　学　金	250,000
授　業　料	1,390,000
合　　計	1,640,000

備考

（1）入学金は、入学時のみ適用する。ただし、再入学者の入学金は免除する。

（2）次年度以降の授業料は、毎年5万円増とする。

　　なお、社会情勢により金額は変動することがある。

（3）休学期間中の学生納付金は、休学在籍料100,000円（半期）、200,000円（年額）とする。

変更の事由及び時期を記載した書類

１．変更の事由

(1) 第２条（学部）第２項の一部改正

「学部に置く学科並びに入学定員及び収容定員」において、募集停止する「工学部機械電子創成工学科」の「入学定員数」「収容定員数」を削除し、新たに新設する「工学部宇宙・半導体工学科」の「入学定員数」「収容定員数」を追記する。

(2) 第 34 条（教育職員免許状）第１項の一部改正

工学部機械電子創成工学科が取得できる教育職員免許状を削除する。

(3) 本改正の施行を明確にするとともに、既設学部学科の扱い及び同学科に在学する者の扱いを明示する。

(4) 別表第１（第 25 条関係）

募集停止する「工学部機械電子創成工学科」の教育課程表を削除し、新設する「工学部宇宙・半導体工学科」の教育課程表を追加する。

(5) 別表第８の「１．入学検定料」及び「２．入学生納付金」の年号を「令和７年度」に更新する。

２．変更の時期

令和７年４月１日

千葉工業大学教授会運営規程

平成２年４月１日
制定
最終改正　令和３年４月26日

（目的）

第１条　この規程は、千葉工業大学学則（以下「学則」という。）第８条の２第７項に基づき、教授会を円滑に運営するために必要な事項を定めることを目的とする。

（構成）

第２条　教授会は、当該学部に所属する専任教授により組織する。

２　学部長は、必要あると認めた場合に、教授会の承認を得て、教授会に当該学部に所属する准教授、助教及びその他の職員を参加させることができる。

（審議事項）

第３条　教授会は、学則第８条の２第５項に定められた次の事項について学長に意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学及び卒業に関する事項

(2) 学位の授与に関する事項

(3) 前２号に掲げるもののほか、教育・研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項

（教授会の同時開催）

第３条の２　学長が必要と判断した場合は、学部長会で協議の上、複数の学部の教授会を同時に開催することができる。

（招集）

第４条　教授会は、学部長が必要と認めたときに招集する。

２　学部長は、当該学部に所属する教授の３分の１以上の請求があるときは、10日以内に教授会を招集しなければならない。

３　学部長は、学長の請求があるときは、10日以内に教授会を招集しなければならない。

（成立）

第５条　当該学部に所属する教授は、教授会に出席するものとする。ただし、止むを得ない理由により欠席する場合は、委任状をもって出席に代えることができる。

２　教授会は、委任状を含め２分の１以上の出席をもって成立する。

（議長）

第６条　教授会の議長は、学部長とする。

２　学部長に事故あるときは、副学部長又は教授会で互選された者が議長となる。

３　第３条の２に定めのある、複数の学部が同時に開催する教授会の議長は、予め学部長会において決められた者が務めることとする。

（議決）

第７条　教授会の議決は、出席者の過半数の同意をもって可決する。ただし、可否同数の場合は、議長がこれを採決する。

（報告）

第８条　学部長は、教授会終了後、第３条に規定する事項について、当該教授会の意見をすみやかに学長に報告しなければならない。

（事務）

第９条　教授会の事務は、教学センターが所管する。

（規程の改廃）

第10条　この規程の改廃は、理事会の議決を経るものとする。

附則

この規程は、平成２年４月１日から施行する。

附則

この規程は、平成13年４月１日から施行する。

附則

この規程は、平成17年２月22日から施行する。

附則

この規程は、平成19年４月１日から施行する。

附則

この規程は、平成22年４月１日から施行する。

附則

１　この規程は、平成24年４月１日から施行する。

２　学校法人千葉工業大学定年後再雇用教員に関する規程第４条第１項に規定する継続教員は、第２条第１項の規定にかかわらず、第３条第１項第５号を審議する教授会の構成員とはならない。

附則

１　この規程は、平成27年４月１日から施行する。

２　学校法人千葉工業大学定年後再雇用教員に関する規程第４条第１項に規定する継続教員は、第２条第１項の規定にかかわらず、教員の教育・研究業績に関し意見を述べる教授会の構成員とはならない。

附則

この規程は、平成28年３月30日から施行する

附則

この規程は、令和３年４月１日から施行する。

附則

この規程は、令和３年４月26日から施行する。

千葉工業大学合同教授会運営規程

平成13年４月１日
制定
最終改正　令和３年４月26日

（目的）
第１条　この規程は、千葉工業大学学則（以下「学則」という。）第８条の３第３項に基づき、合同教授会を円滑に運営するために必要な事項を定めることを目的とする。
（構成）
第２条　合同教授会は、学長及び専任教授により組織する。
２　学長は、必要があると認めた場合に、合同教授会の承認を得て、合同教授会に准教授、助教及びその他の職員を参加させることができる。
（審議事項）
第３条　合同教授会は、学則第８条の３第２項に定める次の事項について学長に意見を述べるものとする。
(1) 学則の改正に関する事項
(2) 前号に掲げるもののほか、教育・研究に関する重要な事項で、合同教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項
（招集）
第４条　合同教授会は、学長が必要と認めたときに招集する。
２　学長は、専任教授の３分の１以上の請求があるときは、10日以内に合同教授会を招集しなければならない。
（成立）
第５条　教授は、合同教授会に出席するものとする。ただし、止むを得ない理由により欠席する場合は、委任状をもって出席に代えることができる。
２　合同教授会は、委任状を含め２分の１以上の出席をもって成立する。
（議長）
第６条　合同教授会の議長は、学長とする。
２　学長に事故あるときは、副学長又は合同教授会で互選された者が議長となる。
（議決）
第７条　合同教授会の議決は、出席者の過半数の同意をもって可決する。ただし、可否同数の場合は、議長がこれを採決する。
（事務）
第８条　合同教授会の事務は、教学センターが所管する。
（規程の改廃）
第９条　この規程の改廃は、理事会の議決を経るものとする。

附則
この規程は、平成13年４月１日より施行する。

附則

この規程は、平成19年４月１日から施行する。

附則

１　この規程は、平成24年４月１日から施行する。

２　学校法人千葉工業大学定年後再雇用教員に関する規程第４条第１項に規定する継続教員は、第２条第１項の規定にかかわらず、第３条第１項第１号を審議する合同教授会の構成員とはならない。

附則

この規程は、平成27年４月１日から施行する。

附則

この規程は、平成28年３月30日から施行する。

附則

この規程は、令和３年４月26日から施行する。

設置の趣旨等を記載した書類 目次

① 設置の趣旨及び必要性 P. 2

② 学部・学科等の特色 P. 4

③ 学部・学科等の名称及び学位の名称 P. 5

④ 教育課程の編成の考え方及び特色 P. 6

⑤ 教育方法、履修指導方法及び卒業要件 P. 10

⑥ 入学者選抜の概要 P. 11

⑦ 教員組織の編成の考え方及び特色 P. 14

⑧ 研究の実施についての考え方、体制、取組 P. 15

⑨ 施設、設備等の整備計画 P. 16

⑩ ２以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画 P. 17

⑪ 管理運営及び事務組織 P. 19

⑫ 自己点検・評価 P. 20

⑬ 情報の公表 P. 21

⑭ 教育内容等の改善を図るための組織的な研修等 P. 24

⑮ 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制 P. 25

設置の趣旨等を記載した書類

① 設置の趣旨及び必要性

1 学科を設置する理由・必要性

本学の工学部の機械電子創成学科では、「機械工学と電子工学に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、電子機械技術や電子機械システムの諸問題を主体的、合理的に、かつ倫理観を持って解決し、人間生活の利便性と生活の質の向上を図る機械創成のための創造的な能力と実践的な態度を育てる」ことを目的として、教育研究の推進に努めてきた。

しかしながら、近年、変化する安全保障環境下における宇宙空間の利用の加速をはじめ、経済・社会の宇宙システムへの依存度の高まり、宇宙産業の構造変革、月以遠の深宇宙を含めた宇宙探査活動の活発化、宇宙へのアクセスの必要性の増大、宇宙の安全で持続的な利用を妨げるリスク・脅威の増大など、宇宙政策を巡る環境認識が大きく変化している。

一方、デジタル技術の進化に伴い半導体を取り巻く状況も変化しており、今後、ＣＰＵやＧＰＵなどのロジック半導体は、安全保障の観点も含めて極めて重要となり、高性能の半導体は、人工知能、電気自動車、温暖化対策、さまざまな分野の課題を解決するために必要となることから、重要物質である半導体の国家戦略が重要視されている。

このような我が国における宇宙政策や半導体戦略への取組みに積極的に対応すべく、既設の機械電子創成工学科で展開してきた機械や機械要素の設計・製作及び電子技術や計測制御に関する教育内容を基盤として、その教育課程及び教員組織並びに施設設備等を基に、宇宙・半導体分野における教育・研究の充実・強化にむけて、既設の機械電子創成工学科を発展的に改組し、令和７年４月より、宇宙・半導体工学科として設置することとした。

2 研究対象とする学問分野及び養成する人材像

宇宙・半導体工学科では、組織として研究対象とする中心的な学問分野を「工学（機械宇宙学・宇宙通信工学・半導体工学・航空宇宙学等）」として、「先進的な宇宙機、半導体デバイス、メカトロニクス機器に関わる機械工学と電子工学の基礎的な知識と技術を基盤として、それらを適切かつ効果的に活用できる実践的な能力を身に着け、それら先進機器に関連する機械・電気電子工学技術を科学的・実証的に考究し、その成果を同技術分野の進展に活かすことのできる人材を養成する」こととしている。

具体的には、「先進的な宇宙機、半導体デバイス、メカトロニクス機器の開発製造に必要な機械・電子技術に関する基本原理、基本構造と基盤技術及び機械・電気電子関連の工業製品を

実際に開発する能力とともに、機械・電気電子工学技術に関する諸問題を主体的・合理的に解決し、同技術分野の進展を図る実践的な態度を習得する」こととしている。

3　卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針及び入学者受入れの方針

宇宙・半導体工学科における卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針については、以下に示す通りとしており、学位授与の方針及び教育課程編成の方針と教育課程との相関については、資料１の通りとしている。（資料１）

（1）卒業認定・学位授与の方針

・職業生活や社会生活でも必要となる汎用的な技能及び職業人としての望ましい心構えや豊かな人間性と現代社会に関する幅広い知識を習得している。

・機械工学・電気電子工学分野を専門領域とし、先進的な宇宙機、半導体デバイス、メカトロニクス機器などに関わる基礎的な知識と技術を習得している。

・機械工学・電気電子工学分野を主とする専門領域で不定解な社会的課題を自ら発見する能力を有し、解決に必要となる専門知識・論理的思考や技術を習得している。

・先進的な宇宙機、半導体デバイス、メカトロニクス機器などに関する専門知識・技術を応用して、機械工学・電気電子工学的な観点のみならず、広い視野で問題解決する能力を習得している。

・自らの思考・判断のプロセスを説明し、具体的な事例や根拠を示しながら伝達するプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を習得している。

・グループでの共同作業・研究活動を適確に実行し、チームビルディングの手法を用いて、協力関係をつくり上げてゆく能力を習得している。

・機械工学・電気電子工学分野の技術者などとして守るべき倫理や負うべき社会的責任を理解している。

（2）教育課程編成・実施の方針

1）教育課程編成の方針

・職業人に必要な職業意識や生涯学習力と異文化理解や社会貢献への態度及び人間の文化や社会と自然に関する知識を深める科目群を配当する。

・機械工学・電気電子工学分野を主として、基礎となる知識や汎用的な能力を涵養するための科目群を配当する。

・機械工学、電気電子工学分野の基幹的な知識や技術、幅広い視野を涵養するための科目群を配当し、幅広い視野で物事を捉え、先進的な宇宙機、半導体デバイス、メカトロニクス

機器などの専門領域で応用するための基盤となる科目を配置する。

・基幹となる知識・技術、汎用的な能力を応用するための、発展的な専門知識・技術を涵養する科目群を配当し、幅の広い視野で自ら課題を設定すると共に、行動計画の立案、実行、検証、改善を他者と協力しながら実践的に学び、解決を図るための実験・実習・演習科目及びゼミナール・卒業研究科目を配当する。

・生命を尊重し、法令を遵守すると共に、データ改ざん、盗用、剽窃行為の禁止など、技術者として守るべき倫理や社会的責任を理解するための科目を配当する。

２）教育課程実施の方針

・学説や物事などの意味や内容の理解を目的とする教育内容は、講義形式による授業形態を採り、知識や技能を実践に応用する能力の習得を目的とする教育内容は、演習形式及び実習形式による授業形態を採る。

・教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等をはじめとする教授方法を取り入れることにより、学生の能動的学修への参加を促す。

・教育課程を構成する授業科目の目標、内容、方法、評価を記した授業計画を示すとともに、教育課程編成・実施の方針を具体化し、可視化して共有するための教育課程構造図や履修系統図を示す。

・単位制度の実質化を図る観点から、特定の学期における偏りのある履修登録を避けるとともに、学生が学習目標に沿った適切な授業科目の履修が可能となるように、養成する具体的な人材像に対応した典型的な履修モデルを提示する。（資料１）

・卒業時における質を確保する観点から、予め学生に対して各授業科目における学習目標やその目標を達成するための授業の方法、計画等を明示したうえで、成績評価基準や卒業認定基準を示し、これに基づく厳格な評価を行う。

（３）入学者受入れの方針

・先進的な宇宙機、半導体デバイス、メカトロニクス機器に関連する機械・電気電子工学技術及び両者の融合技術に強い関心を持つ人

・機械・電気電子工学の基礎となる理数系科目の基礎学力を身に付けている人

・未来を創造する新しい科学技術の学習を通して、社会貢献を目指す人

② 学部、学科等の特色

宇宙・半導体工学科では、組織として研究対象とする中心的な学問分野を「工学分野（機械

宇宙学・宇宙通信工学・半導体工学・航空宇宙学等)」として、「先進的な宇宙機、半導体デバイス、メカトロニクス機器に関わる機械工学と電子工学の基礎的な知識と技術を基盤として、それらを適切かつ効果的に活用できる実践的な能力を身に着け、それら先進機器に関連する機械・電気電子工学技術を科学的・実証的に考究し、その成果を同技術分野の進展に活かすことのできる人材を養成する」こととしている。

具体的には、「先進的な宇宙機、半導体デバイス、メカトロニクス機器の開発製造に必要な機械・電子技術に関する基本原理、基本構造と基盤技術及び機械・電気電子関連の工業製品を実際に開発する能力とともに、機械・電気電子工学技術に関する諸問題を主体的・合理的に解決し、同技術分野の進展を図る実践的な態度を習得する」こととしている。

宇宙・半導体工学科の卒業後の進路としては、先進的な宇宙機、半導体デバイス、メカトロニクス機器の開発製造に関わる事業体の開発・製造部門等に所属し、技術職や研究開発職として機械・電気電子工学技術を応用する業務に携わるとともに、同技術分野の進展を図る業務に携わることが想定される。

このことから、宇宙・半導体工学科が担う機能と特色は、中央教育審議会答申による「我が国の高等教育の将来像」の提言する「高等教育の多様な機能と個性・特色の明確化」を踏まえて、「工学分野（機械宇宙学・宇宙通信工学・半導体工学・航空宇宙学等)」における教育・研究を通して、「幅広い職業人養成」の機能を重点的に担うことによる特色の明確化を図ることとしている。

③　学部、学科等の名称及び学位の名称

宇宙・半導体工学科では、組織として研究対象とする中心的な学問分野を「工学分野（機械宇宙学・宇宙通信工学・半導体工学・航空宇宙学等)」として、「先進的な宇宙機、半導体デバイス、メカトロニクス機器に関わる機械工学と電子工学の基礎的な知識と技術を基盤として、それらを適切かつ効果的に活用できる実践的な能力を身に着け、それら先進機器に関連する機械・電気電子工学技術を科学的・実証的に考究し、その成果を同技術分野の進展に活かすことのできる人材を養成する」こととしている。

また、宇宙・半導体工学科では、「先進的な宇宙機、半導体デバイス、メカトロニクス機器の開発製造に必要な機械・電子技術に関する基本原理、基本構造と基盤技術及び機械・電気電子関連の工業製品を実際に開発する能力とともに、機械・電気電子工学技術に関する諸問題を主体的・合理的に解決し、同技術分野の進展を図る実践的な態度を習得する」こととしている。

宇宙・半導体工学科の卒業後の進路としては、先進的な宇宙機、半導体デバイス、メカトロニクス機器の開発製造に関わる事業体の開発・製造部門等に所属し、技術職や研究開発職として機械・電気電子工学技術を応用する業務に携わるとともに、同技術分野の進展を図る業務に携わることが想定される。

このような、学科が組織として教育研究対象とする中心的な学問分野と学科における教育研究上の目的や養成する人材などについて、社会や受験生に最も分かり易い名称とすることから、学科名称を「宇宙・半導体工学科」、学位を「学士（工学)」とすることとし、英訳名称については、国際的な通用性を踏まえたうえで、学科の英訳名称を「Department of Space,Semiconductor and Mechatronics Engineering」、学位の英訳名称を「Bachelor of Engineering」とすることとした。

学科の名称

宇宙・半導体工学科　「Department of Space,Semiconductor and Mechatronics Engineering」

学位の名称

学士（工学）　「Bachelor of Engineering」

④　教育課程の編成の考え方及び特色

1　教育課程の編成の方針

宇宙・半導体工学科では、教育研究上の目的や人材養成の目的を達成することから、教育課程を「教養科目」と「専門科目」の科目群から編成することとし、「教養科目」では、中央教育審議会答申などで指摘されている重要性や意義を踏まえた編成とするとともに、「専門科目」では、人材養成の目的や学位需要の方針を達成するために必要な授業科目について、授業科目間の関係や履修の順序に留意した編成としている。

2　教養科目の編成の考え方

「教養科目」は、中央教育審議会答申などで指摘されている重要性や意義などを踏まえたうえで、「教養基礎科目」と「教養共通科目」及び「教養特別科目」の科目群から編成することとしている。

（1）教養基礎科目

「教養基礎科目」は、「コミュニケーションスキル」、「情報リテラシー」、「人間力養成」の科目群から編成することとしており、「コミュニケーションスキル」では、英語による基礎的なコ

ミュニケーション能力の習得を図るための科目として、２６科目２６単位を選択科目として配置し、また、日本語による文章を書くための基本的な技術やルールを習得するための科目として、「日本語表現法」１単位を必修科目として配置している。

「情報リテラシー」では、ＩＣＴを用いて情報を収集、分析、活用するための基礎的な能力を習得する科目として、「数理・データサイエンス・ＡＩ入門」１単位を必修科目として配置し、「ＡＩ・プログラミング基礎演習」１単位を選択科目として配置している。

「人間力養成」では、健康増進のための運動効果や健康づくり運動に関する基本的な知識と方法の理解及び生涯にわたって運動に親しむ態度を養うための科目として、「スポーツ科学」２単位を必修科目として配置している。

また、学部教育における主体的な学習のあり方やアカデミック・スキルを習得するための科目として、「初年次教育」１単位を必修科目として配置するとともに、卒業後も自律・自立して学習するとともに、職業観を涵養し、職業に関する知識・技能を身に付けさせ、自己の個性を理解した上で主体的に進路を選択できる能力・態度を育成するための科目として、「キャリアデザイン１」１単位、「キャリアデザイン２」１単位、「キャリアデザイン３」１単位を必修科目として配置している。

（２）教養共通科目

「教養共通科目」は、「国際理解」、「人間・社会・自然の理解」、「総合」の科目群から編成することとしており、「国際理解」では、世界の多様な国や地域の言語や文化と社会に関する知識を習得する科目として、「異文化理解」２単位、「言語と文化１」２単位、「言語と文化２」２単位を必修科目として配置し、「グローバル時代の法」２単位、「国際社会論」２単位を選択科目として配置している。

「人間・社会・自然の理解」では、人間や人間理解に関する知識を習得する科目として、「哲学」２単位、「倫理学」２単位、「心理学」２単位、「身体と健康の科学」２単位を選択科目として配置し、自らがよって立つ国の歴史や文化、芸術に関する知識を習得する科目として、「文学と芸術」２単位、「歴史と人間」２単位を選択科目として配置している。

また、現代社会が直面する基本的な諸課題に関する知識を習得する科目として、「憲法と社会」２単位、「政治と社会」２単位、「経済学」２単位、「現代社会論」２単位を選択科目として配置し、自然と環境や科学技術に関する基礎的な知識を習得する科目として、「科学技術史」２単位、「環境科学概論」２単位、「生命科学」２単位、「地球科学」２単位、「物理の世界と先端技術」２単位、「物質科学」２単位を選択科目として配置している。

「総合」では、問題を発見し、解決に必要な情報を収集、分析、整理し、その問題を確実に解決できる能力を習得する科目として、「課題探求セミナー」２単位を選択科目として配置するとともに、これまでに獲得した知識、技能、態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決する能力を習得する科目として、「総合学際科目」２単位を選択科目として配置している。

（３）教養特別科目

「教養特別科目」は、英語の運用能力を高めるための科目として、「イングリッシュアクティブラーニング１」１単位、「イングリッシュアクティブラーニング２」１単位、「イングリッシュアクティブラーニング３」１単位を選択科目として配置し、日本語の運用能力を高めるための科目として、「日本語アクティブラーニング」１単位を選択科目として配置している。

また、スポーツ実践を通して、課題解決力、状況把握力、ストレスマネジメント力、リーダーシップ、チームワークを育成するための科目として、「スポーツアクティブラーニング」２単位を選択科目として配置し、地域活動や社会活動などの実体験を通して、自らの社会的役割を認識するための科目として、「ソーシャルアクティブラーニング」１単位を選択科目として配置しているとともに、国内外における就業体験や社会活動で発展的に活用できる知識・技術を高めるなど就業キャリアアップのための科目として、「国際インターン」１単位、「国内インターン」１単位及び「キャリアアップラーニング」１単位を選択科目として配置している。

さらに、ボランティア活動を通じて、人間力を高めるための科目として「ボランティア」１単位を選択科目として配置するとともに、「教養共通科目」で扱った内容を発展させ、現代社会が抱える諸問題について新たな視点からとらえ直すことにより、総合的な判断力や理解力を高めるための科目として、「総合科学特論」２単位を選択科目として配置している。

３　専門科目の編成の考え方

「専門科目」は、養成する人材や学生に習得させる能力を踏まえたうえで、学部段階における専門教育は、基礎・基本を重視しつつ、関連諸科学との関係を学ぶことなどを通じて、学生が主体的に課題を探求し解決するための基礎となる能力を育成するとともに、学部卒業後、社会人として就業し、成長していく過程において、実務等を通じて、新たな知識や能力を体得していくための資質や能力を育成するための基礎教育を重視することとしている。

このことから、「専門科目」は、教育課程編成・実施の方針を踏まえたうえで、専門の骨格を正確に把握させるために、科目間の関係や履修の順序、単位数等に配慮しつつ、系統性と順次生のある教育課程の編成とすることから、「専門基礎科目」、「専門基幹科目」、「専門展開科目」

の科目群から編成することとしている。

（1）専門基礎科目

「専門基礎科目」は、宇宙・半導体工学を学習するうえで必要となる基礎としての数学・物理・化学などの自然科学に関する科目として、「数学基礎」２単位、「微分積分」２単位、「線形代数基礎」２単位、「物理学基礎」２単位を必修科目として配置するとともに、「微分方程式」２単位、「応用数学」２単位、「線形代数応用」２単位、「基礎統計学」２単位、「物理学実験」２単位、「化学基礎」２単位を選択科目として配置している。

（2）専門基幹科目

「専門基幹科目」は、専門教育を体系的に学習するうえでの導入、総論となる科目として、「機械電子工学概論」２単位を必修科目として配置したうえで、「デジタルものづくり」２単位、「力学」２単位、「材料力学」２単位、「電気磁気学」２単位、「電気回路」２単位、「半導体デバイス」２単位、「工業熱力学」２単位、「機械設計製図学」２単位、「材料加工」２単位、「プログラミング言語」２単位、「アナログ回路」２単位を選択科目として配置している。

（3）専門展開科目

「専門展開科目」は、宇宙・半導体工学における基本的な知識や理論を理解する科目として、「宇宙理工学概論」２単位と「半導体工学概論」２単位を選択科目として配置したうえで、学生の興味と関心に応じて、宇宙・半導体工学の基本をより具体的に理解するための専門分野の体系全般にわたる科目として、「機械力学」２単位、「トライボロジー」２単位、「流体工学」２単位、「デジタル回路」２単位「情報通信工学」２単位、「システム制御理論」２単位、「センサ工学」２単位、「精密加工」２単位、「電気機器学」２単位、「組込みシステム」２単位、「システム制御工学」２単位、「計測工学」２単位、「宇宙理工学発展講義」２単位、「半導体工学発展講義」２単位、「技術者倫理」２単位を選択科目として配置している。

そのうえで、講義科目において習得した宇宙・半導体工学に関する知識や内容について、体験的な理解を促進させるための科目として、「宇宙・半導体・メカトロニクス総合講義演習１」２単位、「宇宙・半導体・メカトロニクス総合講義演習２」２単位、「アドバンストラーニング１」２単位、「アドバンストラーニング２」２単位、「設計製図講義演習」４単位を必修科目として配置している。

さらに、入門段階としての基礎的な研究能力の養成と研究意識を涵養し、学生の興味と関心に応じて、自己の研究成果に関する卒業論文の作成へと結び付けるための科目として、「ゼミナール１」１単位、「ゼミナール２」２単位を必修科目として配置するとともに、卒業論文の

作成指導のための科目として、「卒業研究」５単位を必修科目として配置している。

⑤　教育方法、履修指導方法及び卒業要件

１　教育方法

（１）授業の方法

授業方法は、知識の理解を目的とする教育内容は、講義形式を中心とした授業形態を採るとともに、態度・志向性及び技能の習得を目的とする教育内容は、演習形式による授業形態を採ることとし、仮説の検証や理論的な知識や技能を実務に応用する能力を身に付けることを目的とする教育内容は、実験形式や実習形式による授業形態を採ることとしている。

（２）配当年次

配当年次は、基礎から基幹へと体系的な学習が可能となるようにするとともに、特に、専門教育においては、専門分野の教育内容ごとに、知識、技能、応用といった授業の内容と科目間の関係や履修の順序に留意するとともに、単位制度の４年間における制度設計の観点を踏まえて、特定の学年や学期において偏りのある履修登録がなされないように配慮した配当としている。

（３）履修科目の登録上限

単位制度の実質化の観点を踏まえたうえで、学生の主体的な学習を促し、教室における授業と教室外の学習を合わせた充実した授業を展開することにより学習効果を高めるために、１学年あたりの卒業要件科目の標準的な履修登録単位数の上限を40位単位とする。

（４）厳格なる成績評価

卒業時における学生の質を確保する観点から、予め学生に対して各授業における学習目標やその目標を達成するための授業の方法、計画等を明示したうえで、成績評価基準や卒業認定基準を提示し、これに基づき厳格な評価を行うともに、客観的な評価基準を適用することから、厳格な成績評価の方法として、ＧＰＡ制度を導入する。

２　履修指導方法

履修指導方法は、授業を受ける学生に対して、教員が相談に応じる専用の時間を設けることにより、きめ細やかな教育指導を行う体制を整えるとともに、学期ごとに学年別の履修ガイダンスを実施したうえで、学生の適性や能力に応じて学生の履修科目の選択に関する助言を行う専門的な職員を配置し、個別の履修相談に応じるなど、履修指導体制を整備する。

また、専門科目では、専門分野の学問体系と学習段階に即した授業科目を配置しており、学

部教育段階では、基礎的な専門知識や技能を確実に修得させることに重点を置くことが重要であることを踏まえたうえで、単位制度の実質化を図る観点から、特定の学期における偏りのある履修登録を避け、学生が学習目標に沿った適切な授業科目の履修が可能となるように、養成する具体的な人材像に対応した典型的な履修モデルを提示する。（資料１）

３　卒業要件

宇宙・半導体工学科の卒業要件は、「教養科目」から必修科目14単位を含む35単位以上、「専門科目」の「専門基礎科目」から必修科目８単位を含む18単位、「専門基幹科目」から必修科目２単位を含む22単位、「専門展開科目」から必修科目21単位を含む49単位以上を修得し、124単位以上を修得することとしている。

⑥　入学者選抜の概要

１　基本方針

宇宙・半導体工学科における入学者選抜の基本方針は、入学志願者の大学教育を受けるにふさわしい能力や適性等を多面的に判定し、公正かつ妥当な方法で実施するとともに、宇宙・半導体工学科の教育研究上の目的や養成する人材等に応じた入学者の受入方針を明確にするとともに、これに基づき、入学後の教育との関連を十分に踏まえたえうで、入試方法の多様化、評価尺度の多元化に努めることする。

２　受入方針

宇宙・半導体工学科では、組織として研究対象とする中心的な学問分野を「工学分野（機械宇宙学・宇宙通信工学・半導体工学・航空宇宙学等)」として、「先進的な宇宙機、半導体デバイス、メカトロニクス機器に関わる機械工学と電子工学の基礎的な知識と技術を基盤として、それらを適切かつ効果的に活用できる実践的な能力を身に着け、それら先進機器に関連する機械・電気電子工学技術を科学的・実証的に考究し、その成果を同技術分野の進展に活かすことのできる人材を養成する」こととしている。

また、宇宙・半導体工学科では、「先進的な宇宙機、半導体デバイス、メカトロニクス機器の開発製造に必要な機械・電子技術に関する基本原理、基本構造と基盤技術及び機械・電気電子関連の工業製品を実際に開発する能力とともに、機械・電気電子工学技術に関する諸問題を主体的・合理的に解決し、同技術分野の進展を図る実践的な態度を習得する」ための教育課程の編成としている。

この宇宙・半導体工学科における養成する人材や教育課程との関連性を踏まえたうえで、宇

宙・半導体工学科の入学者の受入方針については、以下の通りとしている。

・先進的な宇宙機、半導体デバイス、メカトロニクス機器に関連する機械・電気電子工学技術及び両者の融合技術に強い関心を持つ人

・機械・電気電子工学の基礎となる理数系科目の基礎学力を身に付けている人

・未来を創造する新しい科学技術の学習を通して、社会貢献を目指す人

なお、宇宙・半導体工学科の入学者の受入方針に対する入学者選抜における判定方法については、「先進的な宇宙機、半導体デバイス、メカトロニクス機器に関連する機械・電気電子工学技術及び両者の融合技術に強い関心を持つ人」ことについては、書類審査、面接試験、演習課題、小論文試験などにより判定することとしている。

また、「機械・電気電子工学の基礎となる理数系科目の基礎学力を身に付けている人」ことについては、書類審査又は学力検査のいずれかにより判定することとし、「未来を創造する新しい科学技術の学習を通して、社会貢献を目指す人」ことについては、書類審査、面接試験、演習課題、小論文試験などにより判定することとしている。

3　選抜方法

（1）実施方法及び定員割合

入学者選抜の実施方法は、宇宙・半導体工学科における入学者選抜の受入方針を踏まえたうえで、一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜により実施するとともに、一般選抜及び学校推薦型選抜においては、評価尺度の多元化を推進することから、一般選抜の独自入試では、一般入試、大学入学共通テスト利用入試、大学入学共通テスト併用入試により実施することとし、学校推薦型選抜では、指定校推薦入試及び公募制推薦入試により実施する。

一般選抜と総合型選抜及び学校推薦型選抜の募集定員については、一般選抜の募集定員 70 人、総合型選抜の募集定員 13 人、学校推薦型選抜の募集定員 26 人、特別選抜（社会人など）の募集定員１人とする。

（2）一般選抜・独自入試

一般入学試験・独自入試では、学力検査としてＡ日程試験では数学、英語、理科または国語の３教科での判定と英語外部試験（資格または検定試験）で一定基準のスコアを保持している者は数学、理科または国語の２教科での判定とする方式とする。

Ｂ日程試験では数学、理科の２教科での判定と英語外部試験（資格または検定試験）で一定基準のスコアを保持している者は数学１教科のみでの判定とする方式とする。

Ｃ日程試験では数学、理科またはアドバンス数学の１教科あるいは２教科での判定と英語

外部試験（資格または検定試験）で一定基準のスコアを保持している者は数学１教科のみでの判定とする方式とする。

入学志願者の学習能力をできる限り合理的に判定することができるように出題方針を立て、入学者の受入方針に基づく、専門分野への興味と関心や学習意欲及び基礎学力や適性能力を適切に判断することとしている。

（３）一般選抜・大学入学共通テスト利用

大学入学共通テストの成績を利用しての選抜方法は、前期試験では外国語、数学、国語、理科、地理歴史・公民、情報から高得点３教科３科目を選択することとし、その試験結果を基に判定を行う。

中期試験では数学または理科の高得点科目と外国語または国語の高得点科目を合わせた２教科２科目での判定と数学、理科、外国語を必須とし国語または地理歴史・公民または情報の高得点１科目を合わせた４教科４科目で判定する。

後期試験では数学を含む高得点２教科型、数学・理科の２教科から高得点３科目を採用する数理３科目型、数学、理科、外国語を必須とし国語または地理歴史・公民または情報の高得点１科目を合わせた４教科４科目型の３パターンで判定する。

（４）独自入試・大学入学共通テスト利用併用型

ＳＡ日程試験では独自試験の数学と大学入学共通テストの数学の成績を合わせて判定する方式とする。

ＳＢ日程試験では、本学独自の一般入試の数学と大学入学共通テストの国語（近代以降の文章）の２教科または本学独自の一般入試の数学と大学入学共通テストの情報の２教科の合計点で判定する方式とする。

（５）総合型選抜

総合型選抜は、詳細な書類審査と各学科独自の課題演習および面接を組み合わせることにより、入学志願者の目的意識や学習意欲及び基礎学力や思考力、適性能力を総合的に判定することとしている。

（６）指定校推薦入試及び公募制推薦入試

学校推薦型選抜における指定校推薦入試は、出身高等学校長の推薦に基づき、調査書を主な資料として判定することとし、宇宙・半導体工学科における入学者の受入方針と入学志願者に求める受入方針に基づき、調査書による書面審査及び面接と小論文を課すことにより、入学志願者の目的意識や学習意欲及び基礎学力や適性能力を多面的かつ総合的に評価する。

公募制推薦入試は、出身高等学校長の推薦に基づき、調査書を主な資料として書面審査及び面接で判定することは指定校推薦入試同様とするが、加えて高校の評定値に基準を設けかつ読解力テストを課すことにより、別の観点での判定ができる方式としている。

（7）特別選抜

特別選抜は外国人留学生、帰国生徒、社会人を対象とした入学試験で書類審査、面接、小論文を課すことにより、入学志願者の目的意識や学習意欲及び基礎学力や適性能力を多面的かつ総合的に評価する。

4　選抜体制

入学者選抜の実施体制は、入学者選抜は、中立・公正に実施することを旨とし、入試問題の漏洩など入学者選抜の信頼性を損なう事態が生じることのないように、学長を中心とする責任体制の明確化、入試担当教職員の選任における適格性の確保、研修の実施など実施体制の充実を図るとともに、教員や職員等の関係者が一体となり、全学的な連携体制の確立に努めることとしている。

試験問題の作成においては、チェック体制を不断に点検するとともに、作題者以外の者を含めた重層な点検を行うことにより、ミスの防止と早期発見に努めることとし、合格者の決定業務においては、電算処理や解答のチェック体制を確立し、点検・確認するとともに、追加合格の決定業務についても、マニュアルを作成するなど、実施体制及び決定手続きを明確にすることとしている。

入学志願者の氏名や住所等、選抜を通じて取得した個人情報については、漏洩や選抜以外の目的の利用がないよう、その保護に十分留意しつつ、適切な取り扱いに努めるとともに、入学者選抜の実施に係るミスの防止に努めるため、入学者選抜業務のプロセス全体を把握したうえで、ミスを防止するためのガイドラインの作成により、業務全体のチェック体制を確立することとしている。

⑦　教員組織の編成の考え方及び特色

宇宙・半導体工学科は、既設の機械電子創成工学科を基礎として設置することから、既存の教員組織を最大限に活用しつつ、学部教育における教育成果をより一層発揮することが可能となる教員組織の編成とするとともに、教育研究上の目的及び養成する人材並びに教育課程編成の考え方を踏まえたうえで、これらの目的を達成することが可能となる教員組織の編成としている。

具体的には、宇宙・半導体工学科では、「先進的な宇宙機、半導体デバイス、メカトロニクス機器に関わる機械工学と電子工学の基礎的な知識と技術を基盤として、それらを適切かつ効果的に活用できる実践的な能力を身に着け、それら先進機器に関連する機械・電気電子工学技術を科学的・実証的に考究し、その成果を同技術分野の進展に活かすことのできる人材を養成する」ことを「養成する人材像」としている。また、教員組織の編成においては、機械工学と電子工学及び関連分野を専門とする基幹教員を中心とした教員組織としているとともに、専門科目の授業科目数や単位数に応じて、各専門分野における教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する教授８人及び准教授１人を配置する計画としている。

また、宇宙・半導体工学科の教員組織の年齢構成については、40 歳代３人、50 歳代４人、60 歳代２人から構成することとしており、特定の年齢層に偏ることのないよう計画しているとともに、教育研究水準の維持向上や教育研究の活性化に支障がない教員組織の編成となるように配慮している。

なお、宇宙・半導体工学科の教員組織の編成においては、本学における教育研究以外の業務に従事する基幹教員の配置はしていないこととしており、また、完成年度までに定年に達する者２人を配置する計画としているが、定年に達した者の任用については、本学が定める「大学の学部等設置に伴う教員の採用に関する規程」において別途規定されていることから、専任教員の配置計画における支障はないものと考えている。（資料２）

今般の宇宙・半導体工学科の基幹教員の配置計画においては、完成年度までに定年に達する者２人を配置することから、教員組織編制の将来構想について検討し、その対応方針として、令和 10 年度（完成年度）における基幹教員の採用計画を策定し、計画的な採用を行うこととし、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めることとする。（資料３）

⑧　研究の実施についての考え方、体制、取組

本学では、アンチディシプリナリー（脱専門性）研究施設となる「変革センター」を設立し、社会のあらゆる分野で起きている根本的な変化を通して、社会をよくするための新しい知である、技術的プラットフォームや文化的なアウトプットの想像・設計・構築を目指しているとともに、既設の研究センターや「学校法人千葉工業大学産官学連携協議会」との連携を通じた研究の活性化と産学連携の強化の推進や支援プログラムの実施など、外部資金の獲得にも積極的に取り組んでいる。

また、本学では、研究活動を統括し、産官学における研究連携を推進することを目的とする

附属研究所を設置しており、本学における様々な研究の総合化や融合化をはじめ、受託研究や共同研究の斡旋、助成研究の推進などを通して、学内の研究を支援しているとともに、国内外の研究者の招へいの窓口として受入サポートや大学院生の研究活動の支援など、将来の研究開発の中核を担う人材の育成にも積極的に取り組んでいる。

なお、本学では、令和６年度より、研究活動活性化のための環境整備及び大学等の研究開発マネジメント強化に向けて、研究開発内容について一定の理解を有しつつ、研究資金の調達・管理、知財の管理・活用等をマネジメントする人材（リサーチ・アドミニストレーター）を採用している。

⑨　施設、設備等の整備計画

１　校地、運動場の整備計画

本学のキャンパスは、千葉県習志野市津田沼に位置する津田沼キャンパスと千葉県習志野市芝園に位置する新習志野キャンパスで、校地面積約178,000㎡（津田沼キャンパス約54,000㎡、新習志野キャンパス約124,000㎡）を有しており、学生の休息その他の利用のための適当な空地についても十分な確保がなされ、大学教育に相応しい環境を整えている。

運動場は、新習志野キャンパスに隣接する茜浜運動施設に約98,000㎡の面積を確保しており、運動用施設としては、野球場や武道館、武道場をはじめとして、陸上トラック兼ラグビー場、テニスコート、サッカー場や屋内練習場などを有しているとともに、学生部室及び管理施設を備えている。

なお、本学では、津田沼キャンパスと新習志野キャンパスの２キャンパスを設けていることから、学生や教職員のキャンパス間の移動手段として、スクールバスを定期的に運行しており、移動に要する時間は、片道15分程度であることから、教育に支障を生じることはないと考えている。

２　校舎等施設の整備計画

本学では、現在、26棟（津田沼キャンパス13棟、新習志野キャンパス13棟）の校舎等を有しており、その面積は約140,000㎡、主な施設内容としては、講義室106室、演習室50室、情報処理室３室、教員研究室269室を設けており、その他、講師室、図書館、体育館、学長室、会議室、事務室、保健室、学生自習室、学生食堂などを整備している。

宇宙・半導体工学科の設置に伴う校舎等施設の整備計画については、既存の校舎等施設を有効的に利用することとしており、宇宙・半導体工学科の基幹教員の研究室については、教員組

織として計画している基幹教員数９名（教授８名、准教授１名）に対して、１室当たり約100㎡の専任教員研究室９室を設けている。

また、設備の整備計画については、現在、教具、校具、備品を整備しており、これらを有効的に転共用することとしている。

３　図書等の資料及び図書館の整備計画

（１）図書等の資料の整備計画

本学の図書館では、令和６年３月末現在、273,687冊の図書を所蔵しており、その内訳としては、一般教育図書197,261冊（うち外国書25,121冊）、専門図書71,426冊（うち外国書6,872冊）を所蔵しているほか、学術雑誌984種（うち外国雑誌127誌）、視聴覚資料3,423点を有していることから、これらを有効的に転共用することとしている。

（２）図書館の整備状況

本学の図書館は、収容定員8,878人の約10.7％にあたる950席の閲覧座席数を確保するとともに、開架式書庫及び閉架式書庫、サービスカウンター、レファレンスカウンター、ワークショップスペース、ラーニング・コモンズ、リフレッシュコーナー、ＡＶホール、ブラウンジングコーナーなどを整備している。

図書館機能としては、情報探索用パソコン50台（うち館内貸出用ノートパソコン20台）、蔵書検索用パソコン８台、コピー機４台を設置しており、蔵書管理については、図書館運用システムより、インターネットからデータベース化された書誌・所蔵情報の検索が可能であり、情報探索用パソコンについては、学内LANを経由して、インターネット利用を可能としている。

また、日本図書館協会や私立大学図書館協会・千葉県大学図書館協議会への加盟をはじめ、国立情報学研究所の目録所在情報サービスに加盟しているとともに、各種研修会等での情報交換や文献複写、相互貸借等のサービスにおいて、他大学図書館との連携を図っている。

⑩　２以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画

宇宙・半導体工学科では、１年次及び２年次の学部教育を新習志野校舎にて行うこととし、３年次及び４年次の学部教育を津田沼校舎にて行うこととしており、津田沼校舎と新習志野校舎との距離は約４ｋｍ、移動に要する時間はスクールバスを利用した場合、約15分程度であることから、教員及び学生の両校舎の利用上における支障が生じることはないものと考えている。

１　専任教員の配置

宇宙・半導体工学科における新習志野校舎において１年次及び２年次の授業科目を担当する基幹教員は９人、津田沼校舎において３年次及び４年次の授業科目を担当する基幹教員は９人としていることから、教育体制上における支障はないものと考えている。

なお、新習志野校舎において１年次及び２年次の共通教育科目を担当する宇宙・半導体工学科においては「その他」となる本学の他学部等に所属している教員は〇人、津田沼校舎において３年次及び４年次の共通教育科目を担当する宇宙・半導体工学科においては「その他」となる本学の他学部等に所属している教員は〇人としている。

２　教員の移動への配慮

２つの校舎の移動における教員への配慮としては、現在、既に本学が所有している６台のスクールバス（大型バス５台、マイクロバス１台）による２校舎間の定期運行を行っており、新習志野校舎と津田沼校舎間のスクールバスの１日の定期運行本数は29往復となっていることから、２つの校舎の教員の移動における支障はないものと考えている。

３　施設設備等

施設設備等については、１年次及び２年次の授業を行う新習志野校舎は、JR京葉線新習志野駅から徒歩約６分の習志野市芝園に位置し、校地面積約124,000㎡、校舎面積約45,000㎡を有しており、学生の休息その他の利用のための適当な空地についても十分な確保がなされ、大学教育に相応しい環境を整えている。

新習志野校舎の施設は、講義室61室、演習室８室、情報処理室１室の他、教員研究室68室、講師控室、図書館、体育館、学長室、会議室、事務室、保健室、学生自習室、学生食堂などを備えており、各種施設に見合う設備を有していることから、教育体制上の支障はないものと考えている。

一方、３年次及び４年次の授業を行う津田沼校舎は、JR総武線津田沼駅から徒歩約１分の習志野市津田沼に位置し、校地面積約54,000㎡、校舎面積約95,000㎡を有しており、学生の休息その他の利用のための適当な空地についても十分な確保がなされ、大学教育に相応しい環境を整えている。

津田沼校舎の施設は、講義室45室、演習室42室、情報処理室２室の他、教員研究室201室、講師室、図書館、体育館、学長室、会議室、事務室、保健室、学生自習室、学生食堂などを備えており、新習志野校舎と同様、各種施設に見合う十分な設備を有していることから、教育体制上の支障はないものと考えている。

４　時間割の編成

２つの校地において教育を行うに際しての時間割の編制上の配慮としては、宇宙・半導体工学科では、１年次及び２年次の授業を新習志野校舎にて行い、３年次及び４年次の授業を津田沼校舎にて行うこととしており、原則として、学生が同日に新習志野校舎と津田沼校舎の両校舎で授業を受けることのないよう時間割を編成していることから、学生の負担はないものと考えている。

⑪　管理運営及び事務組織

１　教学面における管理運営体制

（１）学部長会

学部長会は、学則第８条の定めのとおり、学長のもとに、大学の重要事項について意見を聴くために設置しており、協議事項は、①教育・研究に関する基本方針等、その運営における全学的な事項、②教授会の審議に関する基本的共通的な事項、③その他、本学の教育・研究に関する重要な事項で、学部長会の意見を聴くことが必要なものとして、学長が定める事項としている。

構成員は、学長、学部長のほか、必要な手続きを経た上で、副学長、学長補佐、学科長及びその他の職員を出席させており、原則、毎月１回定例で開催している。

（２）合同教授会

合同教授会は、学則第８条の３の定めのとおり、学長のもとに、学部に共通する事項について、意見を聴くために設置しており、協議事項は、①学則の改正に関する事項、②その他、教育・研究に関する重要な事項で、合同教授会の意見を聴くことが必要なものとして、学長が定める事項としている。

構成員は学長、教授のほか、必要な手続きを経た上で、准教授、助教及びその他の職員を出席させている。

（３）教授会

教授会は学則第８条の２の定めのとおり、学長が定める事項について意見を述べる機関として設置しており、原則として、毎月１回定例で開催するほか、必要に応じて適宜開催することとしている。

教授会が学長に意見を述べる事項は次のとおりとしている。

・学生の入学及び卒業に関する事項

・学位の授与に関する事項

・教育・研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

構成員は、教授のほか、必要な手続きを経た上で、准教授、助教及びその他の職員を出席させている。

（４）教授会以外の委員会

教授会の審議事項に必要な事項の検討や起案などのために、教授会の下に教務委員会、学生委員会、入学試験委員会、就職委員会等、各種委員会を設置している。

各委員会の構成員は、専任教員及び事務職員により構成することとし、各委員会規程に基づき定期的に開催している。

（５）事務組織

大学運営に係る事務業務の処理と遂行を行うための事務組織としては、大学事務局に教学センターと就職・進路支援部を置いており、教学センターでは、授業運営と学生支援に関する事務全般を扱うこととしており、就職・進路支援部では、進路指導やキャリア教育を扱うこととしており、教学組織との連携協力のもと、業務の専門性や効率性の向上に努めている。

また、学生の厚生補導にかかる業務については教学センターが担当することとしており、厚生補導のための職員を配置し、学生の大学生活やその他生活全般にかかわる事柄に関して、組織的な相談・指導・助言あるいは援助などの学生サービス活動を行っており、特に、厚生補導業務においては、教員と事務職員が連携協力して業務に取り組むことの重要性の認識のもと、大学全体としての機能強化にむけた教職協働による取組みを推進している。

⑫　自己点検・評価

１　実施方法

本学では、大学教育における教育の理念や目標に照らして、教育活動及び研究活動の状況を点検、評価することにより、現状を正確に把握、認識するとともに、その達成状況を評価し、評価結果に基づく改善の推進を図ることを目的として、自己点検・評価を３年に一度実施している。

自己点検・評価の実施方法は、自己点検・評価を自らの教育研究活動の改善のサイクルの中に明確に位置付け、自己点検・評価を行う責任体制を明確にしたうえで、（公財）日本高等教育評価機構の定める評価項目ごとに、全学的な自己点検評価委員会による自己点検・評価を行うこととしている。

なお、外部機関による評価については、令和２年度に、（公財）日本高等教育評価機構による認証評価を実施し、適合を受けている。

２　実施体制

自己点検・評価は、全教職員により全学的に取り組むことを基本とし、学校法人千葉工業大学自己点検評価に関する規程に基づき、理事長が最高責任者の自己点検評価改善本部を置き、改善本部のもとに自己点検評価委員会を設置している。

委員会は、理事長・学長が指名する教職員で構成している。

自己点検評価委員会は、各委員会・事務局による自己点検評価を統括し、各委員会・事務局の報告を評価し、自己点検評価報告書を作成する。

作成した評価報告書は改善本部に報告し、改善本部は評価報告書に基づいて、必要に応じて各機関に対し、改善を指示している。

３　公表及び評価項目

自己点検・評価の結果については、積極的に社会に公表し、社会の評価を受けることを通して、教育内容や方法の継続的な見直しや改善を図ることにより、自らの教育研究水準の一層の向上に努めていくとともに、これらの効果を一層確かなものとするために、自己点検・評価の結果についてホームページを利用し公表している。

また、大学機関別認証評価を６年に一度受審し、自己点検評価報告書とともにホームページで公表している。

なお、大学及び学部における自己点検・評価の項目については、自己点検・評価の基本方針を踏まえたうえで、以下の視点を重視した設定としている。

１）使命・目的等

２）学生

３）教育課程

４）教員・職員

５）経営・管理と財務

６）内部質保証

７）独自基準

⑬　情報の公表

１　公表の方針

中央教育審議会大学分科会での大学の質の保証に関する審議内容を真摯に受け止めると同時に、大学が公的な教育機関として、社会に対する説明責任を果たすとともに、その教育の質を向上させる観点から改正された学校教育法施行規則等の教育関連法を遵守し、また、それを上回る情報を提供するという方針から積極的に情報の公表に努めている。

2　公表の方法

ホームページや大学案内などの刊行物への掲載、その他広く一般に周知を図ることができる方法により積極的に提供しており、その中にあって、高等教育、特に大学教育のステークホルダーは、学生やその保護者等の直接関係者のみではなく、大学に進学を希望する者、大学へ学生を送り出す側の初等中等教育関係者、また、大学が輩出する人材を受け入れる側の企業等も含めて、グローバル化する高等教育を取り巻く環境を踏まえて、ホームページによる公表を積極的に行っている。

なお、公表している情報は、一部年度更新はあるものの、原則として随時更新することとし、最新の情報を提供するよう努めている。

3　公表項目

本学では、情報の受け手に対して、知りたい情報に簡易にアクセスできるよう、閲覧者の利便性を考慮し、以下に示す（1）から（10）の大学の基本情報についての専用ページを設けて公表している。

（1）大学の教育研究上の目的及び３つのポリシーに関すること

(https://www.it-chiba.ac.jp/institute/disclosure/purpose/)

[ホーム ＞ 大学案内 ＞ 大学概要 ＞ 学部、学科等の名称及び教育研究上の目的]

(https://it-chiba.com/nyushi/policy/)

[ホーム ＞ 入試情報 ＞ 建学の精神・教育目標・アドミッションポリシー]

(https://www.it-chiba.ac.jp/faculty/)

[ホーム ＞ 学部・大学院]

（2）教育研究上の基本組織に関すること

(https://www.it-chiba.ac.jp/institute/disclosure/system/)

[ホーム ＞ 大学案内 ＞ 大学概要 ＞ 組織図]

（3）教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

(https://www.it-chiba.ac.jp/institute/disclosure/staff/)

[ホーム ＞ 大学案内 ＞ 大学概要 ＞ 役員一覧・教職員数]

(https://www.lib.it-chiba.ac.jp/cithp/KgApp)

［ホーム ＞ 情報公開 ＞ 研究者情報］

（４）入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

(https://it-chiba.com/nyushi/policy/)

［ホーム ＞ 入試情報 ＞ 建学の精神・教育目標・アドミッションポリシー］

(https://www.it-chiba.ac.jp/institute/disclosure/date/entrant/)

［ホーム ＞ 大学案内 ＞ 大学概要 ＞ 学生基礎データ ＞ 入学者数・入学定員］

(https://www.it-chiba.ac.jp/institute/disclosure/date/student/)

［ホーム ＞ 大学案内 ＞ 大学概要 ＞ 学生基礎データ ＞ 学部・大学院 在籍状況・収容定員］

(https://www.it-chiba.ac.jp/institute/disclosure/date/graduate/)

［ホーム ＞ 大学案内 ＞ 大学概要 ＞ 学生基礎データ>卒業（修了）者数・進路状況］

（５）授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(https://portal.it-chiba.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml)

［ホーム ＞ 情報公開 ＞ シラバス］

（６）学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(https://www.it-chiba.ac.jp/institute/disclosure/valuation/)

［ホーム ＞ 大学案内 ＞ 大学概要 ＞ 評価及び卒業（修了）認定に当たっての基準］

（７）校地・校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

(https://www.it-chiba.ac.jp/institute/disclosure/campus/)

［ホーム ＞ 大学案内 ＞ 大学概要 ＞ キャンパス概要等］

(https://www.it-chiba.ac.jp/institute/campus/tsudanuma/)

［ホーム ＞ 大学案内 ＞ キャンパス・施設案内 ＞ 津田沼キャンパス］

(https://www.it-chiba.ac.jp/institute/campus/shinnarashino/)

［ホーム ＞ 大学案内 ＞ キャンパス・施設案内 ＞ 新習志野キャンパス］

（８）授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること

(https://www.it-chiba.ac.jp/expense/tuition/)

［ホーム ＞ 学費・奨学金・保険 ＞ 学費］

（９）大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

(https://www.it-chiba.ac.jp/support/support/counseling/)

[ホーム > 学生生活・教育 > 学生生活サポート > 学生相談・保健室

(https://www.it-chiba.ac.jp/career/)

[ホーム > キャリア・就職]

(https://www.it-chiba.ac.jp/exchange/toforeigner/)

[ホーム > 国際交流 > 外国人留学生の方へ]

(10) その他（教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報、学則等各種規程、設置認可申請書、設置届出書、設置計画履行状況等報告書、自己点検・評価報告書、認証評価の結果等）

(https://www.it-chiba.ac.jp/institute/disclosure/regulations/)

[ホーム > 大学案内 > 大学概要 > 規程関係]

(https://www.it-chiba.ac.jp/institute/disclosure/setting/)

[ホーム > 大学案内 > 大学概要 > 設置届出書・履行状況報告書]

(https://www.it-chiba.ac.jp/institute/disclosure/evaluation/inspection/)

[ホーム > 大学案内 > 大学概要 > 評価・格付 > 自己点検・評価報告書]

⑭　教育内容等の改善を図るための組織的な研修等

1　教育内容等の改善のための組織的な研修等（ＦＤ）

本学におけるファカルティ・ディベロップメント（ＦＤ）を推進するため、ファカルティ・ディベロップメント規程に基づき「ファカルティ・ディベロップメント委員会」を設置しており、教育手段と教育環境の改善及び教育成果の評価方法とその機能性に関する事項について審議し、学部における教育目標を達成するため、以下の基本項目について諸活動を実施している。（資料４）

１）成績評価及び学修の質の保証のための基本フレームに関すること

２）授業計画書（シラバス）の基本構成に関すること

３）教育基本組織が定める学位授与方針（ディプロマポリシー）と教育課程編成・実施方針（カリキュラムポリシー）のプロトタイプに関すること

４）全学的ＦＤの計画立案と実施に関すること

５）教育組織ごとに実施されたFD活動の結果集約とその発表に関すること

６）授業改善のためのアンケートに関すること

７）FDのための組織体制に関すること

８）教育成果の評価方法とその機能性に関すること

９）その他組織的教育活動に必要と認められる事項

２　管理運営に必要な教職員への研修等（ＳＤ研修）

本学における管理運営に必要な教職員への研修等の取り組については、大学間競争を生き残るために、教職員個々の力を高め、主体的に仕事に取り組むことを目的とし、中でも「意識改革、労働生産性の向上、人財育成」を意識したＳＤ研修を企画・運営していくこととしている。さらに、研修を体系化し、組織全体で幅広い知見と深い専門性を有した自ら考え行動する教職員の育成を目指し、推進を図っている。

ＳＤ研修実施については、総務部人事担当が中心となり実施しており、直近の研修実績は下記のとおりである。

【令和５年度】

１）全職員対象

内容：ユニバーサルマナー検定３級の取得

人と人との違いを理解し、基本的な向き合い方や声がけ方法を学ぶ事で、多様性を理解する事により学生対応及び職場内のコミュニケーションに繋げる。

２）管理職対象

内容：マネジメントに必要な基礎能力の習得

マネジメント上での役割発揮状況や行動傾向を自己理解する。部署方針を検討し課員に浸透させるためのスキルを身に付ける。課員とともに主要業務を推進するために必要な業務配分の考え方の理解。効果的な0JTに必要な能力を養う。方針を遂行する職場づくりのポイントを押さえる。

⑮　社会的・職業的自立に関する指導等及び体制

１　教育課程内の取組について

本学では、「教養基礎科目」の「人間力養成分野」に必修科目として配置している「キャリアデザイン１」、「キャリアデザイン２」、「キャリアデザイン３」の３科目３単位を教育課程内における直接的な社会的・職業的自立に関する科目として位置付けており、職業人が果たす役割と責任や自覚と態度を身に付けるとともに、職業現場への興味と関心と自らのキャリア選

択に対する意識の涵養を図ることとしている。

2　教育課程外の取組みについて

社会的・職業的自立を図るための教育課程外の取り組みとしては、就職を希望する学生に対して、年間行事計画に基づいた「卒業生懇談会」や「業界・職種・企業理解セミナー」、「オンライン面接対策講座」などの実施に加え、外部機関との連携で「IT企業若手社員との座談会」を実施するなど、学生や社会の状況に合わせ企業や仕事を知る機会を創出することで、職業観の涵養を図るとともに、就職活動支援講座として、「自己分析講座」や「エントリーシート対策講座」、「各種資格取得講座」、「公務員試験対策講座」などによる、職業・就職に関する知識・技能の習得を進めている。

また、個別のキャリアカウンセリングや模擬面接などの就職相談及び就職指導に加えて、学内合同企業説明会や「大手企業採用担当レクチャー　内定獲得ステップアップセミナー」を行うこととしている。

3　適切な体制の整備について

教育課程内及び教育課程外の取組みにおける組織体制としては、社会的・職業的自立に関する指導内容を協議する就職委員会を設けており、就職委員会と教学センター及び、就職担当教員と就職・進路支援部スタッフが連携・協力し担当することとしている。

工学部　宇宙・半導体工学科　履修モデル（宇宙工学系）

※その他、関連するDPを番号で表示

学科DP	学科CP	科目			履修年次	1年次						2年次						3年次						4年次						単位計		卒業要件	
						1S（前期）	単位	※	2S（後期）	単位	※	3S（前期）	単位	※	4S（後期）	単位	※	5S（前期）	単位	※	6S（後期）	単位	※	7S（前期）	単位	※	8S（後期）	単位	※				
①職業生活や社会生活でも必要となる汎用的な技能及び職業人としての望ましい心構えや豊かな人間性と現代社会に関する幅広い知識を習得している。	①職業人に必要な職業意識や生涯学習力と異文化理解や社会貢献への態度及び人間の文化や社会と自然に関する知識を深める科目群を配当する。	教養科目	教養基礎科目	コミュニケーションスキル		英語理解1	1		英語理解2	1		英語理解3	1					資格試験英語A	1											36	125	35単位以上	124単位以上
												英語表現1	1		英語表現2	1															
						日本語表現法	1																										
				情報リテラシー		数理・データサイエンス・AI入門	1					AI・プログラミング基礎演習	1																			
				人間力養成		スポーツ科学	2		キャリアデザイン1	1	⑤	キャリアデザイン2	1	⑤				キャリアデザイン3	1	⑤												
						初年次教育	1	⑥																								
			教養共通科目	国際理解		言語と文化1	2		言語と文化2	2		異文化理解	2					グローバル時代の法	2													
				人間・社会・自然の理解		環境科学概論	2		憲法と社会	2		倫理学	2					物理の世界と先端技術	2		政治と社会	2										
				総合											課題探究セミナー	2	⑤・⑥															
			教養特別科目															ソーシャルアクティブラーニング	1	⑥												
②機械工学・電気電子工学分野を専門領域とし、先進的な宇宙機、半導体デバイス、メカトロニクス機器などに関わる基礎的な知識と技術を習得している。	②機械工学・電気電子工学分野を主として、基礎となる知識や汎用的な能力を涵養するための科目群を配当する。 ③機械工学・電気電子工学分野の基幹的な知識や技術、幅広い視野を涵養するための科目群を配当し、幅広い視野で物事を捉え、先進的な宇宙機、半導体デバイス、メカトロニクス機器などの専門領域で応用するための基盤となる科目を配置する。	専門科目	専門基礎科目			数学基礎	2		微分積分	2		微分方程式	2		応用数学	2														18	89		
						線形代数基礎	2		線形代数応用	2		基礎統計学	2																			
						物理学基礎	2		物理学実験	2	④																					
③機械工学・電気電子工学分野を主とする専門領域で不定解な社会的課題を自ら発見する能力を有し、解決に必要となる専門知識・論理的思考や技術を習得している。				専門基幹科目		機械電子工学概論	2	⑦	力学	2		電気回路	2		機械設計製図学	2	④													22			
						デジタルものづくり	2		材料力学	2		工業熱力学	2		材料加工	2																
									電気磁気学	2					プログラミング言語	2																
															アナログ回路	2															
④先進的な宙機、半導体デバイス、メカトロニクス機器などに関する専門知識・技術を応用して、機械工学・電気電子工学的な観点のみならず、広い視野で問題解決する能力を習得している。 ⑤自らの思考・判断のプロセスを説明し、具体的な事例や根拠を示しながら伝達するプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を習得している。 ⑥グループでの共同作業・研究活動を適確に実行し、チームビルディングの手法を用いて、協力関係をつくり上げてゆく能力を習得している。 ⑦機械工学・電気電子工学分野の技術者などとして守るべき倫理や負うべき社会的責任を理解している。	④基幹となる知識・技術、汎用的な能力を応用するための、発展的な専門知識・技術を涵養する科目群を配当し、幅の広い視野で自ら課題を設定すると共に、行動計画の立案、実行、検証、改善を他者と協力しながら実践的に学び、解決を図るための実験・実習・演習科目及びゼミナール・卒業研究科目を配当する。 ⑤生命を尊重し、法令を遵守すると共に、データ改ざん、盗用、剽窃行為の禁止など、技術者として守るべき倫理や社会的責任を理解するための科目を配当する。		専門展開科目					宇宙理工学概論	2	③	宇宙・半導体・メカトロニクス総合講義演習1	2	③	宇宙・半導体・メカトロニクス総合講義演習2	2	③	アドバンスドラーニング1	2	③	アドバンスドラーニング2	2	③	技術者倫理	2					49			
																		設計製図講義演習	4		精密加工	2	③	宇宙理工学発展講義	2						
																		機械力学	2	③	電気機器学	2	③	ゼミナール1	2		ゼミナール2	2			
																		トライボロジー	2	③	組込みシステム	2	③	卒業研究				5			
																		流体工学	2	③	システム制御工学	2	③								
																		情報通信工学	2	③	計測工学	2	③								
																		システム制御理論	2	③											
																		センサ工学	2	③											
			単位数計			20			20			18			15			25			14			6			7						
						40						33						39						13									

必修科目
選択科目

工学部　宇宙・半導体工学科　履修モデル（半導体工学系）

※その他、関連するDPを番号で表示

学科DP	学科CP	履修年次 / 科目			1年次 1S（前期）	単位	※	1年次 2S（後期）	単位	※	2年次 3S（前期）	単位	※	2年次 4S（後期）	単位	※	3年次 5S（前期）	単位	※	3年次 6S（後期）	単位	※	4年次 7S（前期）	単位	※	4年次 8S（後期）	単位	※	単位計		卒業要件	
①職業生活や社会生活でも必要となる汎用的な技能及び職業人としての望ましい心構えや豊かな人間性と現代社会に関する幅広い知識を習得している。	①職業人に必要な職業意識や生涯学習力と異文化理解や社会貢献への態度及び人間の文化や社会と自然に関する知識を深める科目群を配当する。	教養科目	教養基礎科目	コミュニケーションスキル	英語理解1	1		英語理解2	1		英語理解3	1					資格試験英語A	1											35		35単位以上	
											英語表現1	1		英語表現2	1															
				日本語表現法	1																										
				情報リテラシー	数理・データサイエンス・AI入門	1																									
				人間力養成	スポーツ科学	2		キャリアデザイン1	1	⑤	キャリアデザイン2	1	⑤				キャリアデザイン3	1	⑤												
					初年次教育	1	⑥																								
			教養共通科目	国際理解	言語と文化1	2		言語と文化2	2		異文化理解	2					グローバル時代の法	2												
				人間・社会・自然の理解	環境科学概論	2		憲法と社会	2		倫理学	2					物理の世界と先端技術	2		政治と社会	2									
				総合										課題探究セミナー	2	⑤・⑥														
			教養特別科目														ソーシャルアクティブラーニング	1	⑥												
②機械工学・電気電子工学分野を専門領域とし、先進的な宇宙機、半導体デバイス、メカトロニクス機器などに関わる基礎的な知識と技術を習得している。	②機械工学・電気電子工学分野を主として、基礎となる知識や汎用的な能力を涵養するための科目群を配当する。 ③機械工学・電気電子工学分野の基幹的な知識や技術、幅広い視野を涵養するための科目群を配当し、幅広い視野で物事を捉え、先進的な宇宙機、半導体デバイス、メカトロニクス機器などの専門領域で応用するための基盤となる科目を配置する。	専門科目	専門基礎科目		数学基礎	2		微分積分	2		微分方程式	2																	18	89	124	124単位以上
					線形代数基礎	2		線形代数応用	2		基礎統計学	2																				
					物理学基礎	2		物理学実験	2	④	化学基礎	2																				
③機械工学・電気電子工学分野を主とする専門領域で不定解な社会的課題を自ら発見する能力を有し、解決に必要となる専門知識・論理的思考や技術を習得している。			専門基幹科目		機械電子工学概論	2	⑦	力学	2		電気回路	2		機械設計製図学	2	④													22			
					デジタルものづくり	2		電気磁気学	2		半導体デバイス	2		材料加工	2																
											工業熱力学	2		プログラミング言語	2																
														アナログ回路	2															
								半導体工学概論	2	③	宇宙・半導体・メカトロニクス総合講義演習1	2	③	宇宙・半導体・メカトロニクス総合講義演習2	2	③	アドバンスドラーニング1	2	③	アドバンスドラーニング2	2	③	技術者倫理	2						
④先進的な宙機、半導体デバイス、メカトロニクス機器などに関する専門知識・技術を応用して、機械工学・電気電子工学的な観点のみならず、広い視野で問題解決する能力を習得している。 ⑤自らの思考・判断のプロセスを説明し、具体的な事例や根拠を示しながら伝達するプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を習得している。 ⑥グループでの共同作業・研究活動を適確に実行し、チームビルディングの手法を用いて、協力関係をつくり上げてゆく能力を習得している。 ⑦機械工学・電気電子工学分野の技術者などとして守るべき倫理や負うべき社会的責任を理解している。	④基幹となる知識・技術、汎用的な能力を応用するための、発展的な専門知識・技術を涵養する科目群を配当し、幅の広い視野で自ら課題を設定すると共に、行動計画の立案、実行、検証、改善を他者と協力しながら実践的に学び、解決を図るための実験・実習・演習科目及びゼミナール・卒業研究科目を配当する。 ⑤生命を尊重し、法令を遵守すると共に、データ改ざん、盗用、剽窃行為の禁止など、技術者として守るべき倫理や社会的責任を理解するための科目を配当する。		専門展開科目													設計製図講義演習	4		精密加工	2	③	半導体工学発展講義	2					49			
																	機械力学	2	③	電気機器学	2	③	ゼミナール1	2		ゼミナール2	2					
																	流体工学	2	③	組込みシステム	2	③	卒業研究				5					
																	デジタル回路	2	③	システム制御工学	2	③										
																	情報通信工学	2	③	計測工学	2	③										
																	システム制御理論	2	③													
																	センサ工学	2	③													
		単位数計			20			18			21			13			25			14			6			7						
					38						34						39						13									

必修科目
選択科目

【資料２】

学校法人千葉工業大学定年後再雇用教員に関する規程

平成23年４月１日
制定
最終改正　令和２年２月１日

（目的）

第１条　この規程は、学校法人千葉工業大学職員定年規程第５条に定める再採用者のうち、平成 11 年３月 31 日以前に就職した教育職員に対する処遇について定めることを目的とし、この規程に定めのない事項については、再採用者以外の専任の教育職員と同様の処遇とする。

（対象者）

第２条　対象者は、平成 11 年３月 31 日以前に就職した教育職員のうち、定年退職後引き続き専任の教育職員として勤務することを希望する満 70 歳以下の者とする。

２　前項に関わらず、本学教育職員として、適性を著しく欠くと判断した以下の場合は、雇用を継続しない。

(1) 本学の名誉を傷つける、反社会的行為があったと法人が判断した場合

(2) 医師の判断に基づき、健康障害のため教育職員として業務の遂行が困難であると法人が判断した場合

(3) 休講の頻度が高いなど、教育職員としての責務を著しく怠っていると法人が判断した場合

（手続き）

第３条　定年退職後継続雇用を希望する者は、原則として定年退職年度の前年度末日までに、学科長・教育センター長に申し出るものとする。

（呼称及び身分）

第４条　定年後雇用継続となる者を「定年後雇用継続教員」と称し、略称を「継続教員」とし、専任の教育職員として処遇する。

２　継続教員の役職は、定年時の役職を継続するものとする。

３　継続教員には、別に定めのある場合を除き、学校法人千葉工業大学職員就業規則及びその他学内規程等を適用する。

（職務及び権限）

第５条　継続教員の職務等は次のとおりとする。

(1) 継続教員の持時間は、学部講義等（卒研含む）の持時間を年間（前期・後期）平均して５コマ（10 時間）程度とし、上限６コマ（12 時間）とする。

ただし、各継続教員の５コマ（10 時間）からの超過時間は、６コマ（12 時間）の上限に関わらず、学科・教育センターの継続教員間で融通できるものとする。

なお、上記に示す持時間は、学部担当時間を指し、大学院担当時間は含めない。

(2) 継続教員が受け持つ卒業研究の指導学生数は、所属する学科における継続教員以外の教育職員が指導する平均学生数の７割程度とする。

(3) 継続教員は、教学組織の役職（専攻長、学部長、学科長等）及び学内委員会の構成員になることはできない。

(4) 継続教員は、教育職員人事に関わる全ての会議（学科・教育センター内の会議、資格審査の教授会等）に出席することはできない。

また、継続教員は、学長選挙等の人事に関わる選挙における有権者及び推薦人になることはできない。

(5) 継続教員は、入試業務（問題作成、監督等）に就くことはできない。

（学外兼職日数の制限）

第６条　継続教員が兼職を行なう場合は、学校法人千葉工業大学職員就業規則第 17 条に規定する「学外兼職の許可」の手続きにより兼職を可能とし、兼職日数に制限を設けない。

（給与等）

第７条　継続教員の基本給は、定年時における等級号俸に該当する金額及びライフプラン支援金の７割相当額（百円未満切り上げ）とする。

２　継続教員の時間外授業手当基準時間は、8.4 時間とする。

３　継続教員は、学校法人千葉工業大学職員退職金規程の対象から除外する。

４　継続教員に対し、定年後の雇用継続勤続年限に応じて慰労金を支給する。

慰労金は、定年後の雇用継続勤続年限に応じて、次の俸給月額分を退職時に支給するものとする。ただし、６カ月未満は切り捨て、６カ月以上は１年として算入する。

定年後の雇用継続勤続年限	俸給月額
１年	１カ月
２年	２カ月
３年	３カ月
４年	４カ月
５年	５カ月

（勤続年数の計算）

第８条　定年後の雇用継続期間は、教育職員としての勤続年数に含めるものとする。

（規程の改廃）

第９条　この規程の改廃は、教育職員が構成する組織と協議したうえで、理事会の議決を経るものとする。

附則

この規程は、平成23年４月１日から施行する。

附則

この規程は、令和２年２月１日から施行する。

【資料３】

宇宙・半導体工学科

退職年齢を超える専任教員の定年退職に伴う教員組織編制の将来構想

退職予定	令和 10 年度（完成年度）末
	定年規定等により教授２名が退職予定。

採用予定	令和 10 年度（完成年度）中
	・公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、電気電子工学分野に関する研究実績を有する中堅の教授１名を採用。 ・公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、機械工学分野に関する研究実績を有する中堅の教授１名を採用。

【資料４】

千葉工業大学ＦＤ委員会規程

平成 22 年４月１日
制定
最終改正　令和３年４月 26 日

（目的及び設置）

第１条　千葉工業大学に、ファカルティ・ディベロップメント（以下「ＦＤ」という。）を推進することを目的として、千葉工業大学ＦＤ委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（審議事項）

第２条　委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。

(1) ＦＤ推進のための企画及び実施に関する事項
(2) ＦＤに関する報告書等の作成に関する事項
(3) 学長から諮問された事項
(4) その他ＦＤの推進に関する事項

（委員構成及び任期）

第３条　委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

(1) 学長の指名する委員長
(2) 委員長の指名する専任教員　若干名
(3) 教学センター部長
(4) 教学センターグループ長

２　委員長が必要と認めた場合は、委員の中から２名まで副委員長を置くことができる。

３　第１項に規定する委員は、学長が委嘱する。

４　委員の任期は、２年とし、再任を妨げない。ただし、欠員を生じた場合の補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長）

第４条　委員長は、委員会を招集し、その会議の議長を務める。

２　委員長が職務を執行できない場合は、委員長が指名する委員がその職務を代行する。

（会議）

第５条　委員会は、委員長を除く３分の２以上の委員の出席をもって成立する。

２　委員会の議決は、出席委員の過半数以上の同意をもって決定する。ただし、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

３　委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め意見を聞くことができる。

（運営）

第６条　会議は原則として毎月１回以上開催するものとする。

２　委員会には、必要に応じて部会をおくことができる。

（事務）

第７条　委員会に関する事務は、教学センターが行う。

（規程の改廃）

第８条　この規程の改廃は、理事会の議決を経るものとする。

附則

１　この規程は、平成 22 年４月１日から施行する。

２　この規程の施行をもって、従前の「千葉工業大学ＦＤ推進委員会規程」及び「千葉工業大学大学院ＦＤ委員会規程」は廃止する。

附則

この規程は、平成 28 年３月 30 日から施行する。

附則

この規程は、平成 29 年７月 20 日から施行する。

附則

この規程は、平成 29 年 12 月 13 日から施行する。

附則

この規程は、令和３年４月 26 日から施行する。

学生確保の見通し等を記載した書類 目次

（１） 新設組織の概要 P. 2

（２） 人材需要の社会的な動向等 P. 2

（３） 学生確保の見通し P. 6

（４） 新設組織の定員設定の理由 P. 11

学生の確保の見通し等を記載した書類

（１）新設組織の概要

①　新設組織の概要

新設組織	入学定員	収容定員	所在地 （教育研究を行うキャンパス）
千葉工業大学 工学部　宇宙・半導体工学科	１１０	４４０	千葉県習志野市津田沼２－１７－１ 千葉県習志野市芝園２－１－１

②　新設組織の特色

１　教育研究上の目的

宇宙・半導体工学科では、先進的な宇宙機、半導体デバイス、メカトロニクス機器の開発製造に必要な機械・電子技術に関する基本原理、基本構造と基盤技術及び機械・電気電子関連の工業製品を実際に開発する能力とともに、機械・電気電子工学技術に関する諸問題を主体的・合理的に解決し、同技術分野の進展を図る実践的な態度を習得することを教育上の目的とする。

２　養成する人材

宇宙・半導体工学科では、先進的な宇宙機、半導体デバイス、メカトロニクス機器に関わる機械工学と電子工学の基礎的な知識と技術を基盤として、それらを適切かつ効果的に活用できる実践的な能力を身に着け、それら先進機器に関連する機械・電気電子工学技術を科学的・実証的に考究し、その成果を同技術分野の進展に活かすことのできる人材を養成する。

３　新設組織と関連する既設組織

組織名称	入学定員	収容定員	所在地 （新設組織開設後の予定）
千葉工業大学 工学部　機械電子創成工学科	１１０	４４０	千葉県習志野市津田沼２－１７－１ 千葉県習志野市芝園２－１－１ （新設組織開設後学生募集停止）

（２）人材需要の社会的な動向等

①　新設組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

１　現代社会を取り巻く情勢

宇宙基本法に基づき2008年８月に内閣に設置された日本の総合的な宇宙開発戦略を行う

政府の戦略本部である宇宙開発戦略本部が令和５年６月に決定した宇宙基本計画では、「我が国の宇宙活動の自立性を維持・強化し、世界をリードしていくことが必要である」としており、「この実現のため宇宙基本計画を改定し、関係省庁間・官民の連携を図りつつ、政府を挙げて宇宙政策を強化する」としている。

また、同基本計画では、「宇宙活動を支える総合的基盤の強化」を掲げており、将来の宇宙分野の発展を支える次世代人材の育成等に関して、「大学を始めとする教育機関においては、最先端かつ実践的な研究開発活動への大学生や高専生などの参加機会の提供、ＪＡＸＡの資金供給機能の強化等による研究の充実等を通じて、先端・基盤研究を担う大学等における人材育成への支援等の強化を図る」こととしている。（資料１）

一方、新型コロナウイルス対応によるデジタル化の進展、デジタルトランスフォーメーションの必要性の高まり、５Ｇなどの新たな情報通信技術・インフラ整備の進展、世界的な半導体需給状況のひっ迫、半導体・デジタル関連技術などの先端技術を取り巻く貿易問題、経済安全保障など、デジタル産業やその基盤となる半導体を取り巻く環境は大きく変化していることから、時代の変化を正確に捉え、競争力を高める必要性が生じている。

経済産業省が令和５年６月に改訂した「半導体・デジタル産業戦略」では、「半導体分野」の「個別戦略」の「今後の半導体戦略の全体像②」の中で、「地域の特性に合わせた地域単位での産学官連携による人材育成（人材育成コンソ等）」及び「次世代半導体の設計・製造を担うプロフェッショナル・グローバル人材の育成」を掲げており、半導体の国内生産強化にむけた人材育成の強化の必要性を唱えている。（資料２）

このような我が国における宇宙政策や半導体・デジタル産業戦略に基づく取組みに積極的に対応すべく、既設の工学部の機械電子創成工学科で展開してきた機械や機械要素の設計・製作及び電子技術や計測制御に関する教育内容を基盤として、その教育課程及び教員組織並びに施設設備等を基に、宇宙・半導体分野における教育・研究の充実・強化にむけて、既設の工学部の機械電子創成工学科を発展的に改組し、令和７年４月より、宇宙・半導体工学科として設置することとした。

２　地域的、社会的動向　－人材需要に関する調査結果より－

宇宙・半導体工学科の設置計画を策定するうえで、宇宙・半導体工学科の設置が人材需要の動向等、社会の要請を踏まえたものであることを客観的根拠となるデータから検証することを目的として、本学への求人実績や卒業生の採用実績がある関連企業等に対して、宇宙・半導体工学科で養成する人材の必要性や卒業生に対する採用意向等に関するアンケート調査を実施した。

その結果、今後における人材の採用見込みについては、回答件数 144 件の約 85.4％にあ

たる 123 件が「増加すると思う」と回答しており、宇宙・半導体工学科で養成する人材の必要性については、回答件数 144 件の約 93.8%にあたる 135 件が「養成する人材に必要性を感じる」と回答しているとともに、宇宙・半導体工学科で学んだ卒業生の採用については、回答件数 144 件の約 92.4%にあたる 133 件が「卒業生を採用したいと思う」と回答している。

また、宇宙・半導体工学科で学んだ「卒業生を採用したいと思う」と回答した関連企業等のうち、単年度当りの卒業生の採用人数を「１人」と回答したのは 29 件、「２人」と回答したのは 9 件、「３人以上」と回答したのは 12 件、「人数は未定」と回答したのは 83 件となっており、「採用人数３人以上」と回答した採用人数を「３人」とし、「人数は未定」と回答した採用人数を「１人」として採用人数を合計すると 166 人となる。（資料３）

このような人材需要に関する調査結果からも、宇宙・半導体工学科で養成する人材が、地域的、社会的動向を踏まえたものであることがうかがえる。

②　中長期的な18歳人口等対象人口の全国的、地域的動向の分析

１　千葉県の高等学校及び中学校の在籍者数－開設から５年間－

令和５年度の学校基本調査によると、宇宙・半導体工学科の開設初年度に受験対象者となる千葉県内の高等学校に在籍している２年生の生徒数は45,913人、開設２年目に受験対象者となる高等学校に在籍している１年生の生徒数は46,788人となっている。（資料４）

また、宇宙・半導体工学科の開設３年目に受験対象者となる千葉県内の中学校に在籍している３年生の生徒数は52,902人、開設４年目に受験対象者となる中学校に在籍している２年生の生徒数は51,814人、開設５年目に受験対象者となる中学校に在籍している１年生の生徒数は51,275人となっている。（資料４）

なお、千葉県内の中学校を卒業した者の高等学校等への進学率の過去５年間の平均は98.9%となっており、千葉県内の中学校を卒業した者の高等学校等への進学率を見ても、今後、千葉県内の大学受験対象者が大きく減少することはなく、中長期的な学生確保の見通しがあるものと考えられる。（資料５）

２　千葉県の小学校の在籍者数－開設から６年目以降－

令和５年度の学校基本調査によると、宇宙・半導体工学科の開設６年目に受験対象者となる千葉県内の小学校に在籍している６年生の児童数は51,546人、７年目に受験対象者となる小学校に在籍している５年生の児童数は50,574人となっている。

また、８年目に受験対象者となる千葉県内の小学校に在籍している４年生の児童数は49,963人、９年目に受験対象者となる小学校に在籍している３年生の児童数は50,150人、10年目に受験対象者となる小学校に在籍している２年生の児童数は49,778人となっている。

（資料４）

このように千葉県内の小学校に在籍している児童数からも、宇宙・半導体工学科の開設から10年の間に千葉県内の大学受験対象者が大きく減少することはなく、中長期的な学生確保の見通しがあるものと考えられる。

２　千葉県の高等学校を卒業した者の大学進学状況

学校基本調査によると、千葉県内の高等学校を卒業した者の大学等進学状況は、令和５年は卒業生45,820人のうち大学等進学者は28,642人で大学等進学率は62.5％、令和４年は卒業者46,852人のうち大学等進学者は28,763人で大学等進学率は61.4％、令和３年は卒業者48,202人のうち大学等進学者は28,068人で大学等進学率は58.2％、令和２年は卒業者48,289人のうち大学等進学者は27,030人で大学等進学率は56.0％、令和元年は卒業者48,998人のうち大学等進学者は26,975人で大学等進学率は55.1％となっている。

また、千葉県内の高等学校を卒業した者の過去５年間の大学等進学率は、令和元年の55.1％から毎年増加の傾向を辿りながら、令和５年は62.5％と7.4ポイント上昇しており、18歳人口の減少期においても安定した状況で推移していることから、中長期的な定員充足の見通しがあると考えられる。（資料６）

③　新設組織の主な学生募集地域

１　新設組織の主な学生募集地域

宇宙・半導体工学科における主な学生募集地域は、設置県である千葉県を中心としつつ隣接している東京都、茨城県としている。

令和５年度の学校基本調査による直近年度における出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位５府県）をみると、千葉県38.9％、東京都16.6％、茨城県8.0％、埼玉県7.3％、神奈川県3.3％となっている。（資料７）

また、本学の既設学部等における直近５年間（平成31～令和５年）の都道府県別の入学者の状況をみると、千葉県、東京都、茨城県内の高等学校を卒業した者の割合は、入学者総数4,289人に対して、千葉県約37.4％（入学者数1,602人）、東京都約15.5％（入学者数663人）、茨城県約9.4％（入学者数403人）となっており、既設学部等における直近５年間の入学状況から千葉県、東京都、茨城県の高等学校を卒業した者の本学への入学の傾向は今後も続くことが見込まれる。（資料８）

このように出身高校の所在地県別の入学者数の構成比及び本学の既設学部等における直近５年間の都道府県別の入学者の状況から、宇宙・半導体工学科における主な学生募集地域の設定は妥当性のあるものと考えられる。

２　新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況等

日本私立学校振興・共済事業団の「私立大学・短期大学等入学志願動向」における「地域別の動向」によると、宇宙・半導体工学科を設置する「千葉」の直近３年間の入学定員充足率は、令和３年度は101.09%、令和４年度は98.90%、令和５年度は97.41%となっており、安定した定員充足状況を維持している。（資料７）

また、日本私立学校振興・共済事業団の「私立大学・短期大学等入学志願動向」における「学部系統別の動向」の系統区分「理・工学系」の直近３年間の入学定員充足率は、令和３年度は100.90%、令和４年度は104.35%、令和５年度は101.88%となっており、安定した定員充足状況となっている。（資料７）

④　既設組織の定員充足の状況

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）及び入学定員充足率については、資料９「別紙２」の通りとなっており、１８歳人口の減少期においても安定した充足状況を維持していることから、今後の定員充足についても十分な見通しがあると考えている。（資料９）

（３）学生確保の見通し

①　学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア　既設組織における取組とその目標

新設組織と近接する学問分野を持つ既設組織の機械電子創成工学科の学生募集のためのＰＲ活動の過去の実績については、資料10「別紙３」の通りとなっており、オープンキャンパスにおいては、令和４年の参加者等総数3,732人のうち受験対象者数597人の約23.1%に当たる138人が入学、令和５年では参加者総数6,318人のうち受験対象者数1,011人の約14.2%に当たる144人が入学している。また、大学案内の配付においては、令和４年の郵送配付総数55,565人のうち受験対象者数8,890人の1.6%に当たる138人が入学、令和５年では郵送配付総数51,499人のうち受験対象者数8,240人の1.7%に当たる144人が入学している。

また、直接配布においては、令和４年総数34,326人のうち受験対象者数5,492人の2.5%に当たる138人が入学、令和５年総数43,821人のうち受験対象者数2.1%に当たる144人が入学している。

18歳人口の減少期においても安定した定員充足の状況を維持していることから、今後の定員充足についても十分な見通しがあると考えている。（資料10）

イ　新設組織における取組とその目標

１　学生確保のためのＰＲ活動の方針等

学生確保のためのＰＲ活動については、大学案内やキャンパスガイド、パンフレット等の

印刷物の配布をはじめ、ホームページや高校生向けのＳＮＳ等の電子媒体による情報の提供、新聞、雑誌、車内広告等の各種メディアを活用したＰＲ活動を行うとともに、資料等請求者に対するダイレクトメールによる各種情報の提供を行うこととしている。

また、オープンキャンパスをはじめ各地域における進学相談会、高等学校訪問、高校教員向け説明会、保護者向け説明会などの開催を通じて、新設組織の理念、養成する人材像、学位授与方針・教育課程編成の方針・入学者の受入方針、学生生活を通した活動や想定される進路など、様々な教育情報について、高校生や保護者に対して広く周知を図ることとしている。

2　オープンキャンパス

本学への入学を希望・検討している高校生やその保護者を対象として、施設内を積極的に公開し、本学への関心を深めてもらうための入学促進イベントとして、オープンキャンパスを実施しており、学科教員及び入試広報担当部署の職員による学部・学科紹介や保護者向けの大学紹介、在学生や教職員による施設見学会、模擬授業、大学で学べる学問内容、入学者選抜制度、大学生活についての個別相談や質問を受け付けるなど、受験生や保護者との対面による丁寧な説明を行うことにより、本学への関心を深めてもらうとともに、よりミスマッチの少ない学生を入学させることの効果が期待される。（資料11）

3　進学相談会

全国の主要な都市で開催される民間業者が主催する進学相談会への参加を予定しており、大学・学部資料の配付や大学紹介ＤＶＤの放映から、学位授与の方針・教育課程編成の方針・入学者受入の方針、授業科目や講義等の内容、想定される卒業後の進路などに関する情報を広く提供することにより、広域から学生を確保することの効果が期待される。（資料12）

4　高等学校訪問

高校訪問を中心とする個別募集活動に向けた募集戦略の強化を図ることとしており、具体的には、入試業務全般を所管し、募集広報に係る高校訪問を専門とする担当部署の職員が中心となって、高等学校を中心とした重点募集対象地域の選定から最重点訪問校や重点訪問校のセグメントによる高等学校募集訪問計画の策定により、高等学校からの確実な入学者の確保を目指すこととする。（資料12）

高等学校訪問は、募集対象者が多数在籍している高等学校の教員に対して、本学の様々な教育情報を直接的に周知することができるとともに、継続的な訪問活動を行うことで、高等学校の教員との信頼関係を築くことができるものであり、高等学校の教員との信頼関係が構築できた場合には、高校内での生徒に対する進学説明会の実施をはじめ、当該専門分野に進学を希望している生徒の紹介をしてもらえるなどの効果が期待される。

５　高校教員向け説明会

高等学校の教員を対象とする説明会を開催している。副学長による大学紹介、入試広報担当部署の職員による入試概要説明の他、学部・学科の内容や奨学金制度等に関する個別説明、大学施設の見学など、高等学校の教員と本学の教職員との対面による丁寧な説明を行い、本学の教育・研究活動等に関する理解を深めてもらうための情報提供の機会を設けることとしている。高校教員向け説明会は、高等学校の教員が本学への進学を希望する生徒に対する進路指導の際に役立ててもらうことの効果が期待される。（資料13）

ウ　当該取組の実績の分析結果に基づく、新設組織での入学者の見込み数

既設組織における過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みについて、オープンキャンパスにおいては、令和４年の参加者等総数3,732人のうち受験対象者数597人の約23.1％に当たる138人が入学、令和５年では参加者総数6,318人のうち受験対象者数1,011人の約14.2％に当たる144人が入学している。また、大学案内の配付においては、令和４年の郵送配付総数55,565人のうち受験対象者数8,890人の1.6％に当たる138人が入学、令和５年では郵送配付総数51,499人のうち受験対象者数8,240人の1.7％に当たる144人が入学している。

また、直接配布においては、令和４年総数34,326人のうち受験対象者数5,492人の2.5％に当たる138人が入学、令和５年総数43,821人のうち受験対象者数2.1％に当たる144人が入学している。

また、各取組については、この他４月から現在まで、新設学科特設サイトの立ち上げや新設学科パンフレットの配布等十分な取り組みが行えており、新設組織における定員充足においても十分見込みがあるものと考えている。（資料14）

②　競合校の状況分析

ア　競合校の選定理由と新設組織のとの比較分析、優位性

１　競合校の選定理由

競合校の選定理由としては、学校種の類似性は、本学と同様の「私立大学（４年制）」、学問分野の類似性は、当該大学の教育課程の編成状況を踏まえ、学校基本調査の学科系統分類表を参考に「工学」の「機械工学（機械宇宙学等）」、「電気通信工学（宇宙通信工学・半導体工学等）」、「航空工学（航空宇宙学等）」と推察される教育組織とし、所在地の類似性については、新設組織における主な学生募集地域としている関東圏に所在している大学の教育組織を選定しており、学力層の類似性は、教育産業（※河合塾）による偏差値を参考に新設組織が想定する学力層と同程度の教育組織を選定している。

２　競合校との比較分析

競合校と新設組織との入試（競合校の受験期間、入学手続時期との関係）、学生納付金・奨学制度などの修学支援の内容、就職支援の内容、取得できる資格などの比較については、資料15 ①及び資料15 ②の通りであり、競合校との比較分析の観点からも、新設組織においては同等又は同等以上の内容を整えているものと考えられる。（資料15）

また、教育内容と方法における競合校と比較したときの優位性については、新設組織では、特に先進的な宇宙機、半導体デバイス、メカトロニクス機器の開発製造に必要となる機械・電子技術に関する基本原理、基本構造と基盤技術及び機械・電気電子関連の工業製品を実際に開発する能力の習得を目的とした教育内容としている点で、競合校と比較して優位性があるものと考えられる。（資料15 ① ② ③）

イ　競合校の入学志願動向等

宇宙・半導体工学科と競合が想定される大学は、東京理科大学（創域理工学部機械航空宇宙工学科）、日本大学（理工学部航空宇宙工学科）、芝浦工業大学（システム理工学部電子情報システム学科）、東京電機大学（工学部電子システム工学科）で、東京理科大学が公表している創域理工学部機械航空宇宙工学科における最近３年間の平均の入学志願動向等は、入学定員127人に対して志願者数2,070人、合格者数719人、入学者数121人、定員充足率95.28％となっている。

また、日本大学が公表している理工学部航空宇宙工学科における最近３年間の平均の入学志願動向等は、入学定員120人に対して志願者数920人、合格者数441人、入学者数121人、定員充足率100.83％となっている。

また、芝浦工業大学が公表しているシステム理工学部電子情報システム学科における最近３年間の平均の入学志願動向等は、入学定員115人に対して志願者数2,459人、合格者数609人、入学者数113人、定員充足率98.26％となっている。

また、東京電機大学が公表している工学部電子システム工学科における最近３年間の平均の入学志願動向等は、入学定員90人に対して志願者数1,604人、合格者数342人、入学者数101人、定員充足率112.22％となっている。（資料16）

このように、宇宙・半導体工学科との競合が想定される大学では、18歳人口の減少期においても安定した入学志願動向となっている。

ウ　新設組織において定員を充足できる根拠等（競合校定員未充足の場合のみ）

－該当なし－

エ　学生納付金等の金額設定の理由

宇宙・半導体工学科の学生納付金等の金額設定の理由は、大学及び学部運営に係る財務的

な視点と学生納付金の学生への還元など受益者に対する説明責任の観点を踏まえるとともに、競合が想定される類似の教育組織を設置している私立大学（東京理科大学創域理工学部機械航空宇宙工学科、日本大学理工学部航空宇宙工学科、芝浦工業大学システム理工学部電子情報システム工学科、東京電機大学工学部電子システム工学科）の学生納付金を勘案したうえで、完成年度における教育研究経費比率や教育活動支出依存率を見極めつつ、大学及び学部の運営上における人件費及び教育研究や管理運営に係る経常経費等の財務予測による実質的な採算分岐点に基づく金額として設定としている。（資料17）

③　先行事例分析

ー該当なしー

④　学生確保に関するアンケート調査

宇宙・半導体工学科の設置計画を策定するにあたり、定員充足の見込みについて客観的な根拠となるデータから検証することを目的として、本学への受験実績や進学実績がある高等学校に在籍している３年生と２年生を対象とした進学需要に関するアンケート調査を実施した。（資料18）

その結果、卒業後の進路を「大学」と回答し、進学を希望する場合の大学等の設置者を「私立」と回答した者で、興味のある学問分野を「機械工学（機械宇宙学等）」、「電気通信工学（宇宙通信工学・半導体工学等）」、「航空工学（航空宇宙学等）」と回答した者のうち、千葉工業大学の工学部に宇宙・半導体工学科が設置された場合、宇宙・半導体工学科を「第一志望として受験する」と回答し、かつ「入学する」と回答した３年生は139人、２年生は116人となっている。

このような本学への受験実績や進学実績がある高等学校に在籍している３年生と２年生に限定した調査結果においても、本学の宇宙・半導体工学科への進学意向の高さがうかがえることから、学生確保の見通しがあるものと考えられる。

⑤　人材需要に関するアンケート調査

宇宙・半導体工学科の設置計画を策定するうえで、本学の宇宙・半導体工学科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が、社会的な人材需要の見通しを踏まえた計画であることを客観的根拠となるデータから検証することを目的として、本学への求人実績や卒業生の採用実績がある関連企業等を対象として、宇宙・半導体工学科で養成する人材の必要性及び卒業生に対する採用意向に関するアンケート調査を実施した。（資料19）

その結果、宇宙・半導体工学科で養成する人材の必要性については、回答件数144件の約93.8％にあたる135件が「養成する人材に必要性を感じる」と回答しており、宇宙・半導体工学科で学んだ卒業生の採用については、回答件数144件の約92.4％にあたる133件が「卒業

生を採用したいと思う」と回答している。

また、宇宙・半導体工学科で学んだ「卒業生を採用したいと思う」と回答した関連企業等のうち、単年度当りの採用人数の見込みを「１人」と回答したのが29件、採用人数「２人」と回答したのが９件、採用人数「３人以上」と回答したのが12件、「人数は未定」と回答したのが83件となっている。

なお、採用人数「３人以上」と回答した採用人数を３人、「人数は未定」と回答した採用人数を１人として、これらの採用人数を合計すると166人となり、このことからも宇宙・半導体工学科で学んだ卒業生に対する人材需要の見通しがあるものと考えられる。

このような本学への求人実績や卒業生の採用実績がある一部の関連企業等に限定した調査結果においても、本学の宇宙・半導体工学科で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえる結果となっており、このことは、本学が設置を計画している宇宙・半導体工学科における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が、社会的な人材需要の見通しを踏まえた計画であるものと考えられる。

（４）新設組織の定員設定の理由

宇宙・半導体工学科の定員設定の理由は、主な学生募集地域である千葉県の高等学校・中学校・小学校の生徒・児童数、千葉県の高等学校を卒業した者の大学進学状況、既設組織の定員充足の状況、競合校の入学志願動向等、さらには、本学への受験実績や進学実績のある高等学校の在校生に対する進学需要調査の結果に加えて、本学への求人実績や卒業生の採用実績がある関連企業等を対象とした人材需要調査の結果などを総合的に踏まえたものであり、合理性のある設定であると考えている。

宇宙基本計画の概要

令和５年６月１３日
閣議決定

- **人類の活動領域が本格的に宇宙空間に拡大**するとともに、**宇宙システムが地上システムと一体**となって、**地球上の様々な課題の解決に貢献**し、より豊かな経済・社会活動を実現。また、安全保障環境が複雑で厳しいものになる中、宇宙空間の利用が加速。
- こうした宇宙空間というフロンティアにおける活動を通じてもたらされる経済・社会の変革（**スペース・トランスフォメーション**）が世界的なうねりとなっている中、我が国の**宇宙活動の自立性を維持・強化し、世界をリード**していくことが必要。この実現のため、宇宙基本計画を改定。
- 関係省庁間・官民の連携を図りつつ、予算を含む資源を十分に確保し、これを効果的かつ効率的に活用して、政府を挙げて宇宙政策を強化。

目標と将来像

（１）宇宙安全保障の確保
- **宇宙からの安全保障**：情報収集衛星や衛星コンステレーションによる情報収集等
- **宇宙における安全保障**：宇宙領域把握（SDA）体制の構築等
- **宇宙安全保障と宇宙産業の発展の好循環**

（２）国土強靱化・地球規模課題への対応とイノベーションの実現
- 通信：**陸海空と宇宙がシームレスに繋がる**
- リモートセンシング：発災後、早期の被災状況確認による**迅速な災害対応等を実現**等
- 衛星測位：準天頂衛星のcm級測位による**自動化・無人化で労働力不足解決に貢献**

（３）宇宙科学・探査における新たな知と産業の創造
- 生命の可能性等の**人類共通の知**を創出し、**月以遠の深宇宙に人類の活動領域を拡大**
- **月面**探査・**地球低軌道**活動における産業振興を通じて、**段階的に民間商業活動を発展**
- **次世代人材育成**と**国際プレゼンス向上**

（４）宇宙活動を支える総合的基盤の強化
- 他国に依存することなく**宇宙へのアクセス**を確保し、自立的な宇宙活動を実現
- **衛星運用状況等の情報共有**が進展し、**スペースデブリの数が一定程度まで**管理される
- **技術・産業・人材基盤の確立**

宇宙産業を日本経済における成長産業とするため、その市場規模を、2020年に4.0兆円から2030年代早期に2倍の8.0兆円に。

基本的なスタンス

（１）安全保障や宇宙科学・探査等のミッションへの実装や商業化を見据えた政策
（２）宇宙技術戦略に基づく技術開発の強化
✓ 安保・民生分野横断的に検討、サプライチェーンも強化

（３）同盟国・同志国との国際連携の強化
✓ 国際的規範・ルール作り、我が国強み活かした協力等

（４）国際競争力を持つ企業の戦略的育成・支援
✓ 国際市場で勝ち残る意志と技術等有する企業を重点支援

（５）宇宙開発の中核機関たるJAXAの役割・機能の強化
✓ JAXAの戦略的かつ弾力的な資金供給機能を強化、産学官の結節点に

（６）人材・資金等の資源の効果的・効率的な活用
✓ 工程表・宇宙技術戦略で資源を効果的・効率的に活用

具体的なアプローチ

（１）宇宙安全保障の確保

(a)宇宙安全保障のための宇宙システム利用の抜本的拡大
- 衛星コンステレーションの構築や情報収集衛星の機能強化、民間衛星、同盟国・同志国との連携強化等で隙のない情報収集体制を構築
- 情報収集衛星の機能強化(10機体制が目指す能力早期達成)
- 安全保障用通信衛星の多層化(耐傍受性・耐妨害性のある防衛用通信衛星の確保等)
- 衛星コンステに必要な共通技術の確立
- 衛星測位機能の強化
- ミサイル防衛用宇宙システムに必要な技術の確立（HGVの対処能力の向上のための技術実証等）
- 海洋状況把握等

(b)宇宙空間の安全かつ安定的な利用の確保
- 宇宙システム全体の機能保証強化
- 宇宙領域把握（SDA）体制の構築
- 軌道上サービスを活用した衛星のライフサイクル管理

(c)安全保障と宇宙産業の発展の好循環の実現
- 政府の研究開発・実装能力の向上

（２）国土強靱化・地球規模課題への対応とイノベーションの実現

(a) 次世代通信サービス
- Beyond5G等次世代通信技術開発・実証
- フルデジタル化通信衛星実装へ開発・実証(2025年度ETS-9打上げ)
- 衛星量子暗号通信の早期実現へ開発・実証

(b)リモートセンシング
- 防災・減災、国土強靱化・地球規模課題への衛星開発・運用とデータ利活用促進(2029年度ひまわり10号運用開始、2024年度GOSAT-GW打上げ　ALOS-3喪失に対して再開発の要否を含め検討、降水レーダ衛星開発等)
- 衛星関連先端技術の開発・実証支援（2025年SAR衛星コンステ構築へ実証等）

(c)準天頂衛星システム
- 7機体制の着実な構築と11機体制に向けた検討・開発着手（準天頂衛星システムの開発・整備・運用、利活用推進）

(d)衛星開発・利用基盤の拡充
- 衛星データ利用拡大とサービス調達推進
- 衛星開発・実証プラットフォームにおけるプロジェクトの戦略的推進
- 宇宙機器・ソリューション海外展開強化
- 異業種や中小・スタートアップ企業の参入促進
- 衛星データ及び地理空間データプラットフォームの充実・強化
- 宇宙天気予報の高度化・利用拡大（ひまわり10号への宇宙環境計測センサ搭載）
- 宇宙太陽光発電の研究開発

（３）宇宙科学・探査における新たな知と産業の創造

(a) 宇宙科学・探査
- 大型の海外計画参画と独創的・先鋭的技術によるユニークなミッションの創出（2024年度MMX打上げ）
- 火星本星・小天体探査計画の検討と「月面における科学」の具体化
- 獲得すべき重要技術の特定と強みである技術の高度化、強みとなる最先端技術の開発・蓄積、フロントローディングの推進

(b) 月面における持続的な有人活動
- アルテミス計画の下、 2020年代後半の日本人の月面着陸、持続的な月面活動の推進(環境制御・生命維持技術、補給機、有人与圧ローバ、測位通信技術、月輸送技術等)
- 月面開発工程の具体化に向けた構想策定と官民プラットフォームの構築
- 将来市場形成に向けた規範・ルールの形成

(c)地球低軌道活動

【ISS延長期間】
- ISSの利用促進、ニーズ拡大策の推進
- アルテミス計画等に必要な技術の実証

【ポストISSを見据えた取組】
- ポストISSの在り方の検討と、その在り方に応じた必要な技術の研究開発
- 国際的・国内的な法的枠組みの検討

（４）宇宙活動を支える総合的基盤の強化

(a)宇宙輸送
- 基幹ロケットの継続的な運用と打上げの高頻度化などによる強化
- 民間ロケットの開発・事業支援
- 新たな宇宙輸送システムの構築
- 宇宙輸送に関わる制度環境の整備

(b)宇宙交通管理及びスペースデブリ対策
- 商業デブリ除去技術の実証
- 軌道上サービス技術の開発・支援
- 国際的な規範・ルール形成への参画

(c)技術・産業・人材基盤の強化
- 宇宙技術戦略の策定・ローリング
- 先端・基盤技術開発の強化（JAXA能力強化、資金供給機能強化）
- 商業化に向けた支援の強化（定期的宇宙実証、放射線試験機会提供、開発プロセスのDX支援等）
- 異業種や中小・スタートアップ企業の宇宙産業への参入促進及び事業化支援（JAXA出資・資金供給機能、SBIR制度等）
- 契約制度の見直し(官民の開発リスク分担の必要な見直し、進捗に応じた支払手法の検討、物価・為替変動対応、民間の適正利益確保の施策等)
- JAXAの人的資源の拡充・強化
- 人材基盤の強化
- 国際宇宙協力の強化
- 国際的な規範・ルール作りの推進
- 国民理解の増進

資料１

今後の半導体戦略の全体像②

人材育成	✓地域の特性に合わせた地域単位での産学官連携による人材育成（人材育成コンソ等） ✓次世代半導体の設計・製造を担うプロフェッショナル・グローバル人材の育成
国際連携	✓日米関係では、日米半導体協力基本原則に基づき、共同タスクフォース等の枠組みを活用し、米NSTCとLSTCを起点に連携を深め、次世代半導体の開発等に取り組む ✓EU・ベルギー・オランダ・英国・韓国・台湾等の諸外国・地域と、次世代半導体のユースケース作りや研究開発の連携等に関し、相手国・地域のニーズ等に応じて進める
グリーン	✓ PFAS規制への対応 ✓ 半導体の高集積化・アーキテクチャの最適化・次世代素材開発により、半導体の高性能化・グリーン化を実現

【調査結果概要】

＜人材需要全般に関する質問事項＞

２．人材の採用見込み

千葉工業大学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等に対して、人材の採用見込みについて質問したところ、回答件数144件のうち、123件（85.4%）が「増加すると思う」と回答していることから、採用見込みの高さをうかがうことができる。

問２　今後の貴社における人材の採用見込について、お尋ねいたします。（１つだけ）

（上段：件、下段：%）

	n	増加すると思う	増加すると思わない
全体	144	123	21
	100.0	**85.4**	**14.6**

【調査結果概要】

＜千葉工業大学に関する質問事項＞

３．宇宙・半導体工学科で養成する人材の必要性

千葉工業大学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等に対して、宇宙・半導体工学科で養成する人材の必要性について質問したところ、回答件数144件のうち、135件（93.8%）が「必要性を感じる」と回答していることから、千葉工業大学の工学部宇宙・半導体工学科で養成する人材の必要性の高さをうかがうことができる。

問３　千葉工業大学の工学部　宇宙・半導体工学科で養成する人材について、どのようにお考えになりますか。（１つだけ）

（上段：件、下段：%）

	n	養成する人材に必要性を感じる	養成する人材に必要性を感じない
全体	144	135	9
	100.0	**93.8**	**6.3**

【調査結果概要】

＜千葉工業大学に関する質問事項＞

４．宇宙・半導体工学科で学んだ卒業生の採用

千葉工業大学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等に対して、宇宙・半導体工学科で学んだ卒業生の採用について質問したところ、回答件数144件のうち、133件（92.4%）が「採用したいと思う」と回答しており、千葉工業大学工学部宇宙・半導体工学科で学んだ卒業生への採用に積極的な意向を示している。

問４　千葉工業大学工学部　宇宙・半導体工学科で学んだ卒業生の採用について、どのようにお考えになりますか。（１つだけ）

（上段：件、下段：%）

	n	卒業生を採用したいと思う	卒業生を採用したいと思わない
全体	144	133	11
	100.0	**92.4**	**7.6**

【調査結果概要】

＜千葉工業大学に関する質問事項＞

５．宇宙・半導工体学科で学んだ卒業生の採用人数

問４で、宇宙・半導工体学科で学んだ卒業生を「採用したいと思う」と回答した民間企業等133件のうち、単年度当りの卒業生の採用人数を「１人」と回答したのは29件（21.8%）、「２人」と回答したのは9件（6.8%）、「３人以上」と回答したのは12件（9.0%）、「人数は未定」と回答したのは83件（62.4%）となっている。

なお、「採用人数３人以上」と回答した採用人数を「３人」とし、「人数は未定」と回答した採用人数を「１人」として採用人数を合計すると166人となり、これらの採用人数からも千葉工業大学工学部宇宙・半導工体学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

このような千葉工業大学への求人実績や卒業生の採用実績がある一部の民間企業等に限定した調査結果においても、千葉工業大学工学部宇宙・半導工体学科で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえることから、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。

問５　千葉工業大学工学部　宇宙・半導工体学科で学んだ卒業生を採用する場合の単年度当りの採用人数の見込みについて、どのようにお考えになりますか。（１つだけ）
回答者条件:問4で「1.卒業生を採用したいと思う」と回答した方

（上段：件、下段：%）

	n	１人	２人	３人以上	人数は未定
全体	133 **100.0**	29 **21.8**	9 **6.8**	12 **9.0**	83 **62.4**

問４×問５ 卒業生の採用×卒業生の採用人数

	件数／件	全体／人
採用したいと思う×採用人数	29	29
採用したいと思う×採用人数２人	9	18
採用したいと思う×採用人数３人以上	12	36
採用したいと思う×採用人数数は未定	83	83
合計	133	166

千葉県内の高等学校・中学校・小学校の在籍者数

【高等学校 学年別生徒数】令和５年度

区　分	本科								
	１学年			２学年			３学年		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
千葉県	46,788	23,924	22,864	45,913	23,499	22,414	43,580	22,267	21,313

千葉県学校基本調査結果より抜粋

【中学校 学年別生徒数】令和５年度

区　分	１学年			２学年			３学年		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
千葉県	51,275	26,287	24,988	51,814	26,802	25,012	52,902	27,056	25,846

千葉県学校基本調査結果より抜粋

【小学校 学年別生徒数】令和５年度

区　分	１学年			２学年			３学年		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
千葉県	47,808	24,412	23,396	49,778	25,324	24,454	50,150	25,766	24,384

区　分	４学年			５学年			６学年		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
千葉県	49,963	25,651	24,312	50,574	25,932	24,642	51,546	26,448	25,098

千葉県学校基本調査結果より抜粋

年度別千葉県内の中学校を卒業した者の高等学校への進学率等

【中学校 高等学校進学者】令和元年度～令和５年度

区　分	計			高等学校進学者			高等学校進学率
	計	男	女	計	男	女	（%）
令和元年度	53,790	27,509	26,281	53,162	27,153	26,009	98.8
令和２年度	53,336	27,443	25,893	52,730	27,093	25,637	98.9
令和３年度	51,297	26,296	25,001	50,788	26,013	24,775	99.0
令和４年度	52,736	27,015	25,721	52,166	26,694	25,472	98.9
令和５年度	52,897	27,081	25,816	52,257	26,733	25,524	98.8
５年間平均	52,811	27,068	25,742	52,220	26,737	25,483	98.9

千葉県学校基本調査結果より抜粋

資料６

年度別千葉県内の高等学校を卒業した者の大学進学率等

【高等学校　大学等進学者】令和元年度～令和５年度

区　分	計			大学等進学者			大学等進学率
	計	男	女	計	男	女	（%）
令和元年度	48,998	25,000	23,998	26,975	13,507	13,468	55.1
令和２年度	48,289	24,567	23,722	27,030	13,433	13,597	56.0
令和３年度	48,202	24,461	23,741	28,068	14,142	13,926	58.2
令和４年度	46,852	23,804	23,048	28,763	14,628	14,135	61.4
令和５年度	45,820	23,403	22,417	28,642	14,705	13,937	62.5

千葉県学校基本調査結果より抜粋

別紙１

新設組織が置かれる都道府県への入学状況

〇出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位５都道府県）※直近年度

	都道府県名	人　　数	構成比
1	千葉県	10,566人	38.9%
2	東京都	4,517人	16.6%
3	茨城県	2,168人	8.0%
4	埼玉県	1,974人	7.3%
5	神奈川県	900人	3.3%
	全　　体	27,174人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

〇新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地（都道府県）	充足率		
		令和３年度	令和４年度	令和５年度
1	千葉県	101.09%	98.90%	97.41%
2				

※２校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

〇新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和３年度	令和４年度	令和５年度
1	理・工系学部（大学）	100.90%	104.35%	101.88%
2				

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

資料８

工学部における都道府県別入学者状況

令和５年(2023年)　・工学部入学者総数：930名　・年度入学者総数：2,474名

	機械	機電	材料	電電	通信	応化	合計	比率※1	比率※2
茨城	14	15	8	19	12	11	79	8.5%	3.2%
千葉	80	52	67	49	54	63	365	39.2%	14.8%
東京	34	16	27	31	25	27	160	17.2%	6.5%

※1：工学部入学者総数に対する比率
※2：年度入学者総数に対する比率

令和４年(2022年)　・工学部入学者総数：843名　・年度入学者総数：2,365名

	機械	機電	材料	電電	通信	応化	合計	比率※1	比率※2
茨城	18	12	13	23	11	16	93	11.0%	3.9%
千葉	65	49	45	68	46	46	319	37.8%	13.5%
東京	20	15	15	28	16	23	117	13.9%	4.9%

※1：工学部入学者総数に対する比率
※2：年度入学者総数に対する比率

令和３年(2021年)　・工学部入学者総数：850名　・年度入学者総数：2,302名

	機械	機電	材料	電電	通信	応化	合計	比率※1	比率※2
茨城	24	12	17	11	9	5	78	9.2%	3.4%
千葉	62	38	59	57	44	58	318	37.4%	13.8%
東京	32	22	12	18	24	20	128	15.1%	5.6%

※1：工学部入学者総数に対する比率
※2：年度入学者総数に対する比率

令和２年(2020年)　・工学部入学者総数：843名　・年度入学者総数：2,309名

	機械	機電	材料	電電	通信	応化	合計	比率※1	比率※2
茨城	12	12	11	21	11	10	77	9.1%	3.4%
千葉	57	50	50	61	39	55	312	37.0%	13.6%
東京	28	23	19	17	21	19	127	15.1%	5.5%

※1：工学部入学者総数に対する比率
※2：年度入学者総数に対する比率

平成31年(2019年)　・工学部入学者総数：823名　・年度入学者総数：2,284名

	機械	機電	材料	電電	通信	応化	合計	比率※1	比率※2
茨城	14	8	7	14	14	19	76	9.2%	3.3%
千葉	57	41	48	49	47	46	288	35.0%	12.6%
東京	30	21	18	25	19	18	131	15.9%	5.7%

※1：工学部入学者総数に対する比率
※2：年度入学者総数に対する比率

【5年間総数】　・工学部入学者総数：4,289名　・年度入学者総数：11,734名

	県別総数	比率※1	比率※2
茨城	403	9.4%	3.4%
千葉	1,602	37.4%	13.7%
東京	663	15.5%	5.7%

※1：工学部入学者総数に対する比率
※2：年度入学者総数に対する比率

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２

大学学部学科等名：千葉工業大学工学部機械工学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			2019	2020	2021	2022	2023	
			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		13人	13人	13人	13人	13人	13人
	延べ人数	志願者数	38人	34人	33人	27人	37人	34人
		受験者数	38人	33人	33人	26人	37人	33人
		合格者数	15人	16人	20人	20人	25人	19人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	3人	1人	2人	1人
	実人数	志願者数	38人	34人	33人	27人	37人	34人
		受験者数	38人	33人	33人	26人	37人	33人
		合格者数	15人	16人	20人	20人	25人	19人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	3人	1人	2人	1人
	入学者数		12人	14人	17人	19人	18人	16人
学校推薦型選抜	募集人数		27人	27人	27人	26人	26人	27人
	延べ人数	志願者数	59人	51人	62人	81人	68人	63人
		受験者数	59人	50人	61人	80人	67人	63人
		合格者数	53人	47人	57人	76人	66人	58.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	1人	1人	1人	0人	0.6
	実人数	志願者数	59人	51人	62人	81人	68人	64.2
		受験者数	59人	50人	61人	80人	67人	62.5
		合格者数	53人	47人	57人	76人	66人	58.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	1人	1人	1人	0人	0.6
	入学者数		52人	45人	54人	73人	64人	56
一般選抜	募集人数		57人	58人	59人	61人	61人	58.75
	延べ人数	志願者数	3615人	4459人	3972人	5265人	5367人	4327.75
		受験者数	3488人	4283人	3776人	4934人	5062人	4120.25
		合格者数	549人	697人	888人	1023人	1049人	789.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	3人	11人	4人	6人	1人	6
	実人数	志願者数	2284人	2528人	2091人	2005人	1914人	2227
		受験者数	2227人	2466人	2027人	1928人	1848人	2162
		合格者数	511人	632人	755人	731人	685人	657.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	3人	11人	4人	6人	1人	6
	入学者数		44人	62人	73人	48人	67人	56.75
共通テスト利用入試	募集人数		42人	41人	40人	39人	39人	40.5
	延べ人数	志願者数	2367人	3125人	3960人	4735人	4693人	3546.75
		受験者数	2358人	3104人	3877人	4616人	4576人	3488.75
		合格者数	674人	923人	1276人	1711人	1983人	1146
		うち追加合格者数	1人	0人	0人	0人	0人	0.2
		辞退者数	5人	4人	3人	6人	4人	4.5
	実人数	志願者数	1736人	1879人	2641人	2662人	2618人	2229.5
		受験者数	1729人	1871人	2593人	2612人	2574人	2201.25
		合格者数	569人	647人	973人	1108人	1231人	824.25
		うち追加合格者数	1人	0人	0人	0人	0人	0.2
		辞退者数	5人	4人	3人	6人	4人	4.5
	入学者数		46人	44人	23人	26人	31人	34.75
その他の特別選抜	募集人数		1人	1人	1人	1人	1人	1
	延べ人数	志願者数	5人	4人	2人	2人	4人	3.25
		受験者数	5人	3人	2人	2人	3人	3
		合格者数	3人	2人	2人	1人	2人	2
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	2人	0人	0人	0.5
	実人数	志願者数	5人	4人	2人	2人	4人	3.25
		受験者数	5人	3人	2人	2人	3人	3
		合格者数	3人	2人	2人	1人	2人	2
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	2人	0人	0人	0.5
	入学者数		2人	1人	0人	0人	1人	0.75
合計	募集人数		140人	140人	140人	140人	140人	112人
	延べ人数	志願者数	6084人	7673人	8029人	10110人	10169人	6379人
		受験者数	5948人	7473人	7749人	9658人	9745人	6166人
		合格者数	1294人	1685人	2243人	2831人	3125人	1611人
		うち追加合格者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	9人	16人	13人	14人	7人	10人
	実人数	志願者数	4122人	4496人	4829人	4777人	4641人	3645人
		受験者数	4058人	4423人	4716人	4648人	4529人	3569人
		合格者数	1151人	1344人	1807人	1936人	2009人	1248人
		うち追加合格者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	9人	16人	13人	14人	7人	10人
	入学者数		156人	166人	167人	166人	181人	131人

３．入学定員充足率

	H 31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	140人	140人	140人	140人	140人	140人
入学定員充足率	1.11	1.19	1.19	1.19	1.29	1.19
歩留率	0.14	0.12	0.09	0.09	0.09	0.11

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 別紙２

大学学部学科等名：千葉工業大学工学部機械電子創成工学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			2019	2020	2021	2022	2023	
			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	23人	16人	19人	22人	19人	20人
		受験者数	22人	15人	18人	22人	19人	19人
		合格者数	11人	10人	14人	16人	15人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	0人	0人	0人	1人
	実人数	志願者数	23人	16人	19人	22人	19人	20人
		受験者数	22人	15人	18人	22人	19人	19人
		合格者数	11人	10人	14人	16人	15人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	0人	0人	0人	1人
	入学者数		9人	8人	13人	16人	14人	12人
学校推薦型選抜	募集人数		23人	23人	23人	22人	22人	23人
	延べ人数	志願者数	75人	56人	59人	60人	53人	63人
		受験者数	75人	56人	58人	60人	53人	62人
		合格者数	70人	54人	58人	57人	52人	59.75
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0.2
	実人数	志願者数	75人	56人	59人	60人	53人	60.6
		受験者数	75人	56人	58人	60人	53人	60.4
		合格者数	70人	54人	58人	57人	52人	58.2
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0.2
	入学者数		67人	54人	58人	56人	51人	58.75
一般選抜	募集人数		43人	43人	44人	46人	46人	44
	延べ人数	志願者数	2910人	3626人	3271人	4260人	4539人	3516.75
		受験者数	2797人	3481人	3114人	3991人	4269人	3345.75
		合格者数	507人	458人	666人	905人	935人	634
		うち追加合格者数	0人	0人	1人	0人	0人	0.2
		辞退者数	1人	2人	1人	4人	3人	2
	実人数	志願者数	1773人	2026人	1641人	1524人	1529人	1741
		受験者数	1735人	1978人	1592人	1464人	1481人	1692.25
		合格者数	422人	412人	572人	595人	590人	500.25
		うち追加合格者数	0人	0人	1人	0人	0人	0.2
		辞退者数	1人	2人	1人	4人	3人	2
	入学者数		37人	21人	36人	52人	39人	36.5
共通テスト利用入試	募集人数		33人	33人	32人	31人	31人	32.25
	延べ人数	志願者数	1766人	2452人	3179人	3856人	3887人	2813.25
		受験者数	1760人	2434人	3108人	3754人	3783人	2764
		合格者数	407人	771人	1115人	1377人	1885人	917.5
		うち追加合格者数	1人	0人	0人	0人	0人	0.2
		辞退者数	3人	4人	4人	3人	2人	3.5
	実人数	志願者数	1285人	1419人	2086人	2095人	2100人	1721.25
		受験者数	1280人	1413人	2045人	2056人	2064人	1698.5
		合格者数	374人	528人	817人	868人	1131人	646.75
		うち追加合格者数	1人	0人	0人	0人	0人	0.2
		辞退者数	3人	4人	4人	3人	2人	3.5
	入学者数		10人	48人	23人	14人	40人	23.75
その他の特別選抜	募集人数		1人	1人	1人	1人	1人	1
	延べ人数	志願者数	0人	1人	2人	1人	1人	1
		受験者数	0人	1人	2人	0人	1人	0.75
		合格者数	0人	1人	0人	0人	0人	0.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	実人数	志願者数	0人	1人	2人	1人	1人	1
		受験者数	0人	1人	2人	0人	1人	0.75
		合格者数	0人	1人	0人	0人	0人	0.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	入学者数		0人	1人	0人	0人	0人	0.25
合計	募集人数		110人	110人	110人	110人	110人	88人
	延べ人数	志願者数	4774人	6151人	6530人	8199人	8499人	5131人
		受験者数	4654人	5987人	6300人	7827人	8125人	4954人
		合格者数	995人	1294人	1853人	2355人	2887人	1299人
		うち追加合格者数	1人	0人	1人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	8人	5人	7人	5人	5人
	実人数	志願者数	3156人	3518人	3807人	3702人	3702人	2837人
		受験者数	3112人	3463人	3715人	3602人	3618人	2778人
		合格者数	877人	1005人	1461人	1536人	1788人	976人
		うち追加合格者数	1人	0人	1人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	8人	5人	7人	5人	5人
	入学者数		123人	132人	130人	138人	144人	105人

３．入学定員充足率

	H 31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	110人	110人	110人	110人	110人	110人
入学定員充足率	1.12	1.20	1.18	1.25	1.31	1.21
歩留率	0.14	0.13	0.09	0.09	0.08	0.11

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 別紙２

大学学部学科等名：千葉工業大学工学部材料工学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			2019	2020	2021	2022	2023	
			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	21人	27人	9人	8人	19人	17人
		受験者数	20人	27人	9人	8人	18人	16人
		合格者数	15人	18人	8人	7人	15人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	5人	0人	0人	0人	1人
	実人数	志願者数	21人	27人	9人	8人	19人	17人
		受験者数	20人	27人	9人	8人	18人	16人
		合格者数	15人	18人	8人	7人	15人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	5人	0人	0人	0人	1人
	入学者数		15人	13人	7人	7人	15人	11人
学校推薦型選抜	募集人数		23人	23人	23人	22人	22人	23人
	延べ人数	志願者数	24人	48人	22人	21人	48人	29人
		受験者数	24人	48人	22人	21人	48人	29人
		合格者数	24人	45人	22人	21人	48人	28
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	実人数	志願者数	24人	48人	22人	21人	48人	32.6
		受験者数	24人	48人	22人	21人	48人	32.6
		合格者数	24人	45人	22人	21人	48人	32
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	入学者数		24人	45人	22人	21人	47人	28
一般選抜	募集人数		43人	43人	44人	46人	46人	44
	延べ人数	志願者数	2649人	3555人	2933人	3794人	4196人	3232.75
		受験者数	2553人	3403人	2791人	3542人	3951人	3072.25
		合格者数	669人	644人	637人	1255人	1161人	801.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	2人	2人	3人	5人	2人	3
	実人数	志願者数	1688人	2004人	1526人	1379人	1427人	1649.25
		受験者数	1651人	1954人	1478人	1327人	1383人	1602.5
		合格者数	560人	584人	531人	769人	717人	611
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	2人	2人	3人	5人	2人	3
	入学者数		54人	30人	59人	63人	65人	51.5
共通テスト利用入試	募集人数		33人	33人	32人	31人	31人	32.25
	延べ人数	志願者数	1664人	2335人	2873人	3558人	3571人	2607.5
		受験者数	1657人	2313人	2814人	3467人	3475人	2562.75
		合格者数	786人	911人	1356人	1822人	1885人	1218.75
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	2人	7人	1人	2人	2人	3
	実人数	志願者数	1286人	1395人	1941人	1970人	1950人	1648
		受験者数	1281人	1386人	1905人	1936人	1915人	1627
		合格者数	582人	629人	978人	1136人	1138人	831.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	2人	7人	1人	2人	2人	3
	入学者数		30人	34人	56人	30人	18人	37.5
その他の特別選抜	募集人数		1人	1人	1人	1人	1人	1
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	1人	1人	0.25
		受験者数	0人	0人	0人	1人	1人	0.25
		合格者数	0人	0人	0人	1人	1人	0.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	1人	1人	0.25
		受験者数	0人	0人	0人	1人	1人	0.25
		合格者数	0人	0人	0人	1人	1人	0.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0
合計	募集人数		110人	110人	110人	110人	110人	88人
	延べ人数	志願者数	4358人	5965人	5837人	7382人	7835人	4708人
		受験者数	4254人	5791人	5636人	7039人	7493人	4544人
		合格者数	1494人	1618人	2023人	3106人	3110人	1648人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	14人	4人	7人	4人	6人
	実人数	志願者数	3019人	3474人	3498人	3379人	3445人	2674人
		受験者数	2976人	3415人	3414人	3293人	3365人	2620人
		合格者数	1181人	1276人	1539人	1934人	1919人	1186人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	14人	4人	7人	4人	6人
	入学者数		123人	122人	144人	121人	145人	102人

３．入学定員充足率

	H 31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	110人	110人	110人	110人	110人	110人
入学定員充足率	1.12	1.11	1.31	1.10	1.32	1.19
歩留率	0.10	0.10	0.09	0.06	0.08	0.09

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 別紙２

大学学部学科等名：千葉工業大学工学部電気電子工学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			2019	2020	2021	2022	2023	
			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		13人	13人	13人	13人	13人	13人
	延べ人数	志願者数	25人	25人	22人	14人	22人	22人
		受験者数	22人	22人	22人	14人	22人	20人
		合格者数	13人	13人	16人	13人	18人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	2人	0人	3人	1人
	実人数	志願者数	25人	25人	22人	14人	22人	22人
		受験者数	22人	22人	22人	14人	22人	20人
		合格者数	13人	13人	16人	13人	18人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	2人	0人	3人	1人
	入学者数		10人	13人	14人	13人	13人	13人
学校推薦型選抜	募集人数		27人	27人	27人	26人	26人	27人
	延べ人数	志願者数	63人	59人	59人	71人	71人	63人
		受験者数	63人	59人	58人	70人	71人	63人
		合格者数	60人	55人	58人	67人	69人	60
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	実人数	志願者数	63人	59人	59人	71人	71人	64.6
		受験者数	63人	59人	58人	70人	71人	64.2
		合格者数	60人	55人	58人	67人	69人	61.8
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	入学者数		59人	55人	55人	67人	66人	59
一般選抜	募集人数		57人	58人	59人	61人	61人	58.75
	延べ人数	志願者数	3250人	4160人	3735人	4957人	5192人	4025.5
		受験者数	3128人	3990人	3545人	4651人	4887人	3828.5
		合格者数	657人	643人	899人	1138人	1269人	834.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	1人	5人	4人	7人	7人	4.25
	実人数	志願者数	2034人	2376人	1943人	1862人	1836人	2053.75
		受験者数	1985人	2316人	1881人	1795人	1770人	1994.25
		合格者数	566人	592人	741人	739人	814人	659.5
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	1人	5人	4人	7人	7人	4.25
	入学者数		32人	53人	48人	71人	79人	51
共通テスト利用入試	募集人数		42人	41人	40人	39人	39人	40.5
	延べ人数	志願者数	2134人	2832人	3686人	4490人	4470人	3285.5
		受験者数	2125人	2810人	3608人	4380人	4350人	3230.75
		合格者数	681人	904人	1303人	1688人	2124人	1144
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	1人	5人	3人	3人	2人	3
	実人数	志願者数	1505人	1662人	2467人	2508人	2474人	2035.5
		受験者数	1498人	1654人	2419人	2464人	2426人	2008.75
		合格者数	650人	618人	989人	1083人	1288人	835
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	1人	5人	3人	3人	2人	3
	入学者数		62人	41人	38人	27人	17人	42
その他の特別選抜	募集人数		1人	1人	1人	1人	1人	1
	延べ人数	志願者数	4人	4人	1人	2人	0人	2.75
		受験者数	4人	4人	0人	1人	0人	2.25
		合格者数	2人	2人	0人	1人	0人	1.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	実人数	志願者数	4人	4人	1人	2人	0人	2.75
		受験者数	4人	4人	0人	1人	0人	2.25
		合格者数	2人	2人	0人	1人	0人	1.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	入学者数		2人	2人	0人	0人	0人	1
合計	募集人数		140人	140人	140人	140人	140人	112人
	延べ人数	志願者数	5476人	7080人	7503人	9534人	9755人	5919人
		受験者数	5342人	6885人	7233人	9116人	9330人	5715人
		合格者数	1413人	1617人	2276人	2907人	3480人	1643人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	10人	9人	10人	12人	6人
	実人数	志願者数	3631人	4126人	4492人	4457人	4403人	3341人
		受験者数	3572人	4055人	4380人	4344人	4289人	3270人
		合格者数	1291人	1280人	1804人	1903人	2189人	1256人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	10人	9人	10人	12人	6人
	入学者数		165人	164人	155人	178人	175人	132人

３．入学定員充足率

	H 31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	140人	140人	140人	140人	140人	140
入学定員充足率	1.18	1.17	1.11	1.27	1.25	1.20
歩留率	0.13	0.13	0.09	0.09	0.08	0.10

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 別紙２

大学学部学科等名：千葉工業大学工学部情報通信システム工学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			2019	2020	2021	2022	2023	
			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	18人	16人	10人	9人	11人	13人
		受験者数	16人	16人	10人	9人	11人	12人
		合格者数	12人	10人	9人	8人	10人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	1人	1人	0人	1人
	実人数	志願者数	18人	16人	10人	9人	11人	13人
		受験者数	16人	16人	10人	9人	11人	12人
		合格者数	12人	10人	9人	8人	10人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	1人	1人	0人	1人
	入学者数		11人	9人	8人	7人	10人	9人
学校推薦型選抜	募集人数		23人	23人	23人	22人	22人	23人
	延べ人数	志願者数	56人	73人	71人	97人	60人	74人
		受験者数	56人	73人	71人	95人	60人	74人
		合格者数	53人	70人	68人	90人	58人	70.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	2人	0人	1人	0.6
	実人数	志願者数	56人	73人	71人	97人	60人	74.25
		受験者数	56人	73人	71人	95人	60人	73.75
		合格者数	53人	70人	68人	90人	58人	70.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	2人	0人	1人	0.6
	入学者数		52人	69人	65人	88人	55人	68.5
一般選抜	募集人数		43人	43人	44人	46人	46人	44
	延べ人数	志願者数	3257人	4310人	4008人	5435人	5556人	4252.5
		受験者数	3123人	4127人	3799人	5090人	5205人	4034.75
		合格者数	730人	415人	610人	489人	833人	561
		うち追加合格者数	6人	0人	0人	0人	0人	1.2
		辞退者数	1人	2人	1人	3人	5人	1.75
	実人数	志願者数	2117人	2452人	2068人	1987人	1880人	2156
		受験者数	2057人	2380人	2006人	1903人	1814人	2086.5
		合格者数	575人	385人	535人	349人	556人	461
		うち追加合格者数	6人	0人	0人	0人	0人	1.2
		辞退者数	1人	2人	1人	3人	5人	1.75
	入学者数		37人	37人	35人	25人	46人	33.5
共通テスト利用入試	募集人数		33人	33人	32人	31人	31人	32.25
	延べ人数	志願者数	2120人	2927人	3924人	4870人	4784人	3460.25
		受験者数	2108人	2904人	3853人	4738人	4647人	3400.75
		合格者数	661人	566人	938人	961人	1905人	781.5
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	1人	1人	1人	3人	3人	1.5
	実人数	志願者数	1557人	1708人	2586人	2672人	2601人	2130.75
		受験者数	1550人	1698人	2544人	2619人	2550人	2102.75
		合格者数	522人	389人	725人	638人	1162人	568.5
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	1人	1人	1人	3人	3人	1.5
	入学者数		28人	9人	19人	7人	32人	15.75
その他の特別選抜	募集人数		1人	1人	1人	1人	1人	1
	延べ人数	志願者数	1人	0人	0人	0人	2人	0.25
		受験者数	1人	0人	0人	0人	1人	0.25
		合格者数	0人	0人	0人	0人	1人	0
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	実人数	志願者数	1人	0人	0人	0人	2人	0.25
		受験者数	1人	0人	0人	0人	1人	0.25
		合格者数	0人	0人	0人	0人	1人	0
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0
合計	募集人数		110人	110人	110人	110人	110人	88人
	延べ人数	志願者数	5452人	7326人	8013人	10411人	10413人	6240人
		受験者数	5304人	7120人	7733人	9932人	9924人	6018人
		合格者数	1456人	1061人	1625人	1548人	2807人	1138人
		うち追加合格者数	6人	0人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	3人	3人	5人	7人	9人	4人
	実人数	志願者数	3749人	4249人	4735人	4765人	4554人	3500人
		受験者数	3680人	4167人	4631人	4626人	4436人	3421人
		合格者数	1162人	854人	1337人	1085人	1787人	888人
		うち追加合格者数	6人	0人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	3人	3人	5人	7人	9人	4人
	入学者数		128人	124人	127人	127人	143人	101人

３．入学定員充足率

	H 31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	110人	110人	110人	110人	110人	110
入学定員充足率	1.16	1.13	1.15	1.15	1.30	1.18
歩留率	0.11	0.15	0.09	0.12	0.08	0.11

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 別紙２

大学学部学科等名：千葉工業大学工学部応用化学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			2019	2020	2021	2022	2023	
			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	15人	26人	10人	12人	16人	16人
		受験者数	13人	23人	10人	11人	16人	15人
		合格者数	10人	15人	9人	8人	12人	11人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	2人	0人	1人
	実人数	志願者数	15人	26人	10人	12人	16人	16人
		受験者数	13人	23人	10人	11人	16人	15人
		合格者数	10人	15人	9人	8人	12人	11人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	2人	0人	1人
	入学者数		10人	15人	8人	6人	12人	10人
学校推薦型選抜	募集人数		23人	23人	23人	22人	22人	23人
	延べ人数	志願者数	41人	59人	46人	55人	48人	50人
		受験者数	41人	59人	44人	55人	48人	50人
		合格者数	40人	57人	44人	54人	46人	48.75
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	1人	1人	0.4
	実人数	志願者数	41人	59人	46人	55人	48人	50.25
		受験者数	41人	59人	44人	55人	48人	49.4
		合格者数	40人	57人	44人	54人	46人	48.2
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	1人	1人	0.4
	入学者数		37人	56人	42人	53人	43人	47
一般選抜	募集人数		43人	43人	44人	46人	46人	44
	延べ人数	志願者数	2215人	2837人	2482人	3382人	3629人	2729
		受験者数	2127人	2713人	2356人	3153人	3389人	2587.25
		合格者数	501人	442人	652人	827人	976人	605.5
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	3人	3人	3人	5人	5人	3.5
	実人数	志願者数	1426人	1686人	1346人	1283人	1300人	1435.25
		受験者数	1390人	1636人	1304人	1227人	1247人	1389.25
		合格者数	444人	408人	507人	557人	634人	479
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	3人	3人	3人	5人	5人	3.5
	入学者数		40人	27人	48人	39人	65人	38.5
共通テスト利用入試	募集人数		33人	33人	32人	31人	31人	32.25
	延べ人数	志願者数	1502人	2011人	2704人	3513人	3476人	2432.5
		受験者数	1497人	1999人	2645人	3421人	3373人	2390.5
		合格者数	576人	720人	1142人	1517人	1889人	988.75
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	4人	3人	4人	5人	3人	4
	実人数	志願者数	1163人	1209人	1852人	1989人	1911人	1553.25
		受験者数	1160人	1204人	1818人	1951人	1874人	1533.25
		合格者数	514人	506人	859人	963人	1142人	710.5
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	4人	3人	4人	5人	3人	4
	入学者数		41人	31人	29人	15人	22人	29
その他の特別選抜	募集人数		1人	1人	1人	1人	1人	1
	延べ人数	志願者数	1人	0人	0人	1人	3人	0.5
		受験者数	1人	0人	0人	0人	3人	0.25
		合格者数	0人	0人	0人	0人	2人	0
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1人	0
	実人数	志願者数	1人	0人	0人	1人	3人	0.5
		受験者数	1人	0人	0人	0人	3人	0.25
		合格者数	0人	0人	0人	0人	2人	0
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1人	0
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0
合計	募集人数		110人	110人	110人	110人	110人	88人
	延べ人数	志願者数	3774人	4933人	5242人	6963人	7172人	4182人
		受験者数	3679人	4794人	5055人	6640人	6829人	4034人
		合格者数	1127人	1234人	1847人	2406人	2925人	1323人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	7人	6人	8人	13人	10人	7人
	実人数	志願者数	2646人	2980人	3254人	3340人	3278人	2444人
		受験者数	2605人	2922人	3176人	3244人	3188人	2389人
		合格者数	1008人	986人	1419人	1582人	1836人	999人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	7人	6人	8人	13人	10人	7人
	入学者数		128人	129人	127人	113人	142人	99人

３．入学定員充足率

	H 31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	110人	110人	110人	110人	110人	110
入学定員充足率	1.16	1.17	1.15	1.03	1.29	1.16
歩留率	0.13	0.13	0.09	0.07	0.08	0.10

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 別紙２

大学学部学科等名：千葉工業大学創造工学部建築学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			2019	2020	2021	2022	2023	
			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		13人	13人	13人	13人	13人	13人
	延べ人数	志願者数	48人	87人	60人	50人	54人	60人
		受験者数	47人	85人	57人	47人	52人	58人
		合格者数	13人	13人	16人	16人	15人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	2人	1人	1人
	実人数	志願者数	48人	87人	60人	50人	54人	60人
		受験者数	47人	85人	57人	47人	52人	58人
		合格者数	13人	13人	16人	16人	15人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	2人	1人	1人
	入学者数		12人	11人	14人	12人	12人	12人
学校推薦型選抜	募集人数		27人	27人	27人	26人	26人	27人
	延べ人数	志願者数	110人	119人	122人	96人	87人	112人
		受験者数	110人	119人	122人	95人	86人	112人
		合格者数	95人	97人	94人	76人	73人	90.5
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	2人	0人	0人	0.4
	実人数	志願者数	110人	97人	122人	96人	87人	106.25
		受験者数	110人	119人	122人	95人	86人	111.5
		合格者数	95人	97人	94人	76人	73人	90.5
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	2人	0人	0人	0.4
	入学者数		94人	97人	92人	73人	72人	89
一般選抜	募集人数		57人	58人	59人	61人	61人	58.75
	延べ人数	志願者数	3040人	3709人	3294人	4172人	4513人	3553.75
		受験者数	2944人	3566人	3139人	3914人	4236人	3390.75
		合格者数	198人	135人	275人	474人	505人	270.5
		うち追加合格者数	1人	0人	0人	0人	2人	0.25
		辞退者数	2人	1人	2人	1人	4人	1.5
	実人数	志願者数	1911人	2113人	1708人	1566人	1560人	1824.5
		受験者数	1868人	2059人	1655人	1510人	1509人	1773
		合格者数	151人	131人	255人	357人	362人	223.5
		うち追加合格者数	1人	0人	0人	0人	2人	0.25
		辞退者数	2人	1人	2人	1人	4人	1.5
	入学者数		30人	23人	37人	65人	67人	38.75
共通テスト利用入試	募集人数		42人	41人	40人	39人	39人	40.5
	延べ人数	志願者数	2049人	2641人	3285人	4091人	4098人	3016.5
		受験者数	2043人	2621人	3227人	3986人	3992人	2969.25
		合格者数	305人	372人	554人	962人	922人	548.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	2人	5人	3人	1.75
	実人数	志願者数	1516人	1581人	2201人	2264人	2207人	1890.5
		受験者数	1511人	1571人	2165人	2223人	2167人	1867.5
		合格者数	213人	264人	438人	629人	563人	386
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	2人	5人	3人	1.75
	入学者数		21人	30人	21人	29人	14人	25.25
その他の特別選抜	募集人数		1人	1人	1人	1人	1人	1
	延べ人数	志願者数	8人	2人	2人	0人	1人	3
		受験者数	8人	2人	2人	0人	0人	3
		合格者数	3人	1人	0人	0人	0人	1
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0.25
	実人数	志願者数	8人	2人	2人	0人	1人	3
		受験者数	8人	2人	2人	0人	0人	3
		合格者数	3人	1人	0人	0人	0人	1
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0.25
	入学者数		1人	1人	0人	0人	0人	0.5
合計	募集人数		140人	140人	140人	140人	140人	112人
	延べ人数	志願者数	5255人	6558人	6763人	8409人	8753人	5397人
		受験者数	5152人	6393人	6547人	8042人	8366人	5227人
		合格者数	614人	618人	939人	1528人	1515人	740人
		うち追加合格者数	1人	0人	0人	0人	2人	0人
		辞退者数	3人	1人	6人	8人	8人	4人
	実人数	志願者数	3593人	3880人	4093人	3976人	3909人	3108人
		受験者数	3544人	3836人	4001人	3875人	3814人	3051人
		合格者数	475人	506人	803人	1078人	1013人	572人
		うち追加合格者数	1人	0人	0人	0人	2人	0人
		辞退者数	3人	1人	6人	8人	8人	4人
	入学者数		158人	162人	164人	179人	165人	133人

３．入学定員充足率

	H 31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	140人	140人	140人	140人	140人	140
入学定員充足率	1.13	1.16	1.17	1.28	1.18	1.18
歩留率	0.33	0.32	0.20	0.17	0.16	0.24

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 別紙２

大学学部学科等名：千葉工業大学創造工学部都市環境工学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			2019	2020	2021	2022	2023	
			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	33人	27人	11人	13人	16人	20人
		受験者数	29人	27人	11人	13人	16人	19人
		合格者数	12人	12人	10人	12人	14人	12人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	1人	1人	2人	1人
	実人数	志願者数	33人	27人	11人	13人	16人	20人
		受験者数	29人	27人	11人	13人	16人	19人
		合格者数	12人	12人	10人	12人	14人	12人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	1人	1人	2人	1人
	入学者数		11人	10人	8人	11人	9人	10人
学校推薦型選抜	募集人数		23人	23人	23人	22人	22人	23人
	延べ人数	志願者数	55人	52人	47人	65人	53人	55人
		受験者数	55人	52人	46人	64人	53人	54人
		合格者数	46人	48人	45人	60人	53人	49.75
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	3人	0人	0人	0人	0.6
	実人数	志願者数	55人	52人	47人	65人	53人	54.75
		受験者数	55人	52人	46人	64人	53人	54.25
		合格者数	46人	48人	45人	60人	53人	49.75
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	3人	0人	0人	0人	0.6
	入学者数		44人	45人	44人	58人	53人	47.75
一般選抜	募集人数		43人	43人	44人	46人	46人	44
	延べ人数	志願者数	2777人	3463人	2898人	3837人	4122人	3243.75
		受験者数	2689人	3326人	2750人	3582人	3867人	3086.75
		合格者数	370人	367人	629人	761人	917人	531.75
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	3人	0
		辞退者数	1人	4人	3人	4人	7人	3
	実人数	志願者数	1747人	1992人	1480人	1415人	1433人	1658.5
		受験者数	1705人	1943人	1436人	1358人	1389人	1610.5
		合格者数	245人	345人	536人	520人	593人	411.5
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	3人	0
		辞退者数	1人	4人	3人	4人	7人	3
	入学者数		40人	42人	50人	41人	47人	43.25
共通テスト利用入試	募集人数		33人	33人	32人	31人	31人	32.25
	延べ人数	志願者数	1726人	2332人	2917人	3648人	3774人	2655.75
		受験者数	1720人	2317人	2870人	3549人	3669人	2614
		合格者数	400人	547人	880人	1471人	1577人	824.5
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	2人	2人	1人	4人	1.25
	実人数	志願者数	1300人	1384人	1953人	2016人	2078人	1663.25
		受験者数	1294人	1378人	1926人	1978人	2038人	1644
		合格者数	358人	386人	662人	935人	955人	585.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	2人	2人	1人	4人	1.25
	入学者数		31人	25人	14人	28人	19人	24.5
その他の特別選抜	募集人数		1人	1人	1人	1人	1人	1
	延べ人数	志願者数	0人	2人	1人	2人	1人	1.25
		受験者数	0人	2人	1人	1人	0人	1
		合格者数	0人	1人	1人	1人	0人	0.75
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	実人数	志願者数	0人	2人	1人	2人	1人	1.25
		受験者数	0人	2人	1人	1人	0人	1
		合格者数	0人	1人	1人	1人	0人	0.75
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	入学者数		0人	1人	1人	1人	0人	0.75
合計	募集人数		110人	110人	110人	110人	110人	88人
	延べ人数	志願者数	4591人	5876人	5874人	7565人	7966人	4781人
		受験者数	4493人	5724人	5678人	7209人	7605人	4621人
		合格者数	828人	975人	1565人	2305人	2561人	1135人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	3人	0人
		辞退者数	1人	10人	6人	6人	13人	5人
	実人数	志願者数	3135人	3457人	3492人	3511人	3581人	2719人
		受験者数	3083人	3402人	3420人	3414人	3496人	2664人
		合格者数	661人	792人	1254人	1528人	1615人	847人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	3人	0人
		辞退者数	1人	10人	6人	6人	13人	5人
	入学者数		126人	123人	117人	139人	128人	101人

３．入学定員充足率

	H 31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	110人	110人	110人	110人	110人	110
入学定員充足率	1.15	1.12	1.06	1.26	1.16	1.15
歩留率	0.19	0.16	0.09	0.09	0.08	0.12

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 別紙２

大学学部学科等名：千葉工業大学創造工学部デザイン科学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			2019	2020	2021	2022	2023	
			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		11人	11人	11人	11人	11人	11人
	延べ人数	志願者数	43人	58人	31人	31人	43人	41人
		受験者数	41人	57人	31人	31人	43人	41人
		合格者数	11人	13人	13人	13人	16人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	1人	2人	1人
	実人数	志願者数	43人	58人	31人	31人	43人	41人
		受験者数	41人	57人	31人	31人	43人	41人
		合格者数	11人	13人	13人	13人	16人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	1人	2人	1人
	入学者数		9人	13人	13人	12人	11人	12人
学校推薦型選抜	募集人数		24人	24人	24人	23人	23人	24人
	延べ人数	志願者数	93人	58人	69人	56人	81人	69人
		受験者数	93人	58人	68人	56人	80人	69人
		合格者数	82人	48人	59人	51人	69人	60
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	1人	0人	1人	1人	0.6
	実人数	志願者数	93人	58人	69人	56人	81人	69
		受験者数	93人	58人	68人	56人	80人	68.75
		合格者数	82人	48人	59人	51人	69人	60
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	1人	0人	1人	1人	0.6
	入学者数		82人	47人	59人	50人	68人	59.5
一般選抜	募集人数		47人	47人	48人	50人	50人	48
	延べ人数	志願者数	2811人	3387人	3180人	4080人	4395人	3364.5
		受験者数	2709人	3260人	3027人	3789人	4116人	3196.25
		合格者数	351人	397人	462人	644人	584人	463.5
		うち追加合格者数	4人	0人	0人	0人	0人	0.8
		辞退者数	0人	3人	5人	2人	6人	2.5
	実人数	志願者数	1663人	1898人	1574人	1461人	1464人	1649
		受験者数	1626人	1856人	1531人	1403人	1408人	1604
		合格者数	250人	360人	402人	444人	401人	364
		うち追加合格者数	4人	0人	0人	0人	0人	0.8
		辞退者数	0人	3人	5人	2人	6人	2.5
	入学者数		32人	40人	40人	46人	46人	39.5
共通テスト利用入試	募集人数		37人	37人	36人	35人	35人	36.25
	延べ人数	志願者数	1700人	2247人	2999人	3744人	3810人	2672.5
		受験者数	1693人	2230人	2950人	3639人	3703人	2628
		合格者数	364人	638人	867人	1291人	1128人	790
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	1人	3人	3人	2人	0人	2.25
	実人数	志願者数	1251人	1314人	1959人	2060人	2058人	1646
		受験者数	1245人	1306人	1930人	2019人	2016人	1625
		合格者数	247人	431人	645人	818人	684人	535.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	1人	3人	3人	2人	0人	2.25
	入学者数		13人	34人	21人	30人	20人	24.5
その他の特別選抜	募集人数		1人	1人	1人	1人	1人	1
	延べ人数	志願者数	1人	3人	2人	2人	1人	2
		受験者数	1人	3人	2人	2人	1人	2
		合格者数	0人	1人	1人	2人	1人	1
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	実人数	志願者数	1人	3人	2人	2人	1人	2
		受験者数	1人	3人	2人	2人	1人	2
		合格者数	0人	1人	1人	2人	1人	1
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	入学者数		0人	1人	1人	2人	1人	1
合計	募集人数		120人	120人	120人	120人	120人	96人
	延べ人数	志願者数	4648人	5753人	6281人	7913人	8330人	4919人
		受験者数	4537人	5608人	6078人	7517人	7943人	4748人
		合格者数	808人	1097人	1402人	2001人	1798人	1062人
		うち追加合格者数	4人	0人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	2人	7人	8人	6人	9人	5人
	実人数	志願者数	3051人	3331人	3635人	3610人	3647人	2725人
		受験者数	3006人	3280人	3562人	3511人	3548人	2672人
		合格者数	590人	853人	1120人	1328人	1171人	778人
		うち追加合格者数	4人	0人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	2人	7人	8人	6人	9人	5人
	入学者数		136人	135人	134人	140人	146人	109人

３．入学定員充足率

	H 31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	120人	120人	120人	120人	120人	120
入学定員充足率	1.13	1.13	1.12	1.17	1.22	1.15
歩留率	0.23	0.16	0.12	0.11	0.12	0.15

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 別紙２

大学学部学科等名：千葉工業大学先進工学部未来ロボティクス学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			2019	2020	2021	2022	2023	
			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		11人	11人	11人	11人	11人	11人
	延べ人数	志願者数	58人	62人	27人	35人	44人	45人
		受験者数	57人	61人	27人	35人	44人	45人
		合格者数	14人	12人	13人	15人	21人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	1人	1人	0人	1人
	実人数	志願者数	58人	62人	27人	35人	44人	45人
		受験者数	57人	61人	27人	35人	44人	45人
		合格者数	14人	12人	13人	15人	21人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	1人	1人	0人	1人
	入学者数		13人	12人	11人	10人	21人	13人
学校推薦型選抜	募集人数		24人	24人	24人	23人	23人	24人
	延べ人数	志願者数	54人	55人	58人	57人	38人	56人
		受験者数	54人	55人	58人	57人	37人	56人
		合格者数	34人	37人	51人	48人	35人	42.5
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	1人	0人	1人	3人	0人	1
	実人数	志願者数	54人	55人	58人	57人	38人	52.4
		受験者数	54人	55人	58人	57人	37人	52.2
		合格者数	34人	37人	51人	48人	35人	41
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	1人	0人	1人	3人	0人	1
	入学者数		31人	35人	50人	43人	35人	39.75
一般選抜	募集人数		47人	47人	48人	50人	50人	48
	延べ人数	志願者数	3055人	3864人	3441人	4425人	4811人	3696.25
		受験者数	2946人	3715人	3269人	4124人	4518人	3513.5
		合格者数	355人	440人	585人	674人	806人	513.5
		うち追加合格者数	10人	0人	0人	0人	0人	2
		辞退者数	3人	2人	5人	2人	1人	3
	実人数	志願者数	1907人	2102人	1692人	1569人	1581人	1817.5
		受験者数	1862人	2048人	1643人	1506人	1531人	1764.75
		合格者数	412人	397人	514人	448人	526人	442.75
		うち追加合格者数	10人	0人	0人	0人	0人	2
		辞退者数	3人	2人	5人	2人	1人	3
	入学者数		64人	48人	55人	55人	59人	55.5
共通テスト利用入試	募集人数		37人	37人	36人	35人	35人	36.25
	延べ人数	志願者数	1983人	2664人	3346人	4055人	4167人	3012
		受験者数	1972人	2644人	3281人	3942人	4046人	2959.75
		合格者数	368人	636人	802人	1337人	1512人	785.75
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	6人	0
		辞退者数	3人	3人	3人	2人	1人	2.75
	実人数	志願者数	1464人	1537人	2164人	2209人	2230人	1843.5
		受験者数	1457人	1528人	2128人	2164人	2188人	1819.25
		合格者数	382人	437人	609人	852人	896人	570
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	6人	0
		辞退者数	3人	3人	3人	2人	1人	2.75
	入学者数		28人	41人	20人	27人	30人	29
その他の特別選抜	募集人数		1人	1人	1人	1人	1人	1
	延べ人数	志願者数	5人	6人	3人	3人	4人	4.25
		受験者数	5人	6人	3人	3人	3人	4.25
		合格者数	1人	2人	3人	3人	3人	2.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	実人数	志願者数	5人	6人	3人	3人	4人	4.25
		受験者数	5人	6人	3人	3人	3人	4.25
		合格者数	1人	2人	3人	3人	3人	2.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	入学者数		0人	1人	2人	3人	2人	1.5
合計	募集人数		120人	120人	120人	120人	120人	96人
	延べ人数	志願者数	5155人	6651人	6875人	8575人	9064人	5451人
		受験者数	5034人	6481人	6638人	8161人	8648人	5263人
		合格者数	772人	1127人	1454人	2077人	2377人	1086人
		うち追加合格者数	10人	0人	0人	0人	6人	2人
		辞退者数	8人	5人	10人	8人	2人	6人
	実人数	志願者数	3488人	3762人	3944人	3873人	3897人	3013人
		受験者数	3435人	3698人	3859人	3765人	3803人	2951人
		合格者数	843人	885人	1190人	1366人	1481人	857人
		うち追加合格者数	10人	0人	0人	0人	6人	2人
		辞退者数	8人	5人	10人	8人	2人	6人
	入学者数		136人	137人	138人	138人	147人	110人

３．入学定員充足率

	H 31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	120人	120人	120人	120人	120人	120
入学定員充足率	1.13	1.14	1.15	1.15	1.23	1.16
歩留率	0.16	0.15	0.12	0.10	0.10	0.13

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 別紙２

大学学部学科等名：千葉工業大学先進工学部生命科学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			2019	2020	2021	2022	2023	
			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	28人	22人	20人	16人	10人	19人
		受験者数	27人	21人	20人	15人	8人	18人
		合格者数	20人	14人	15人	11人	7人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	3人	1人	0人	0人	1人
	実　人　数	志願者数	28人	22人	20人	16人	10人	19人
		受験者数	27人	21人	20人	15人	8人	18人
		合格者数	20人	14人	15人	11人	7人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	3人	1人	0人	0人	1人
	入学者数		16人	11人	14人	10人	4人	11人
学校推薦型選抜	募集人数		23人	23人	23人	22人	22人	23人
	延べ人数	志願者数	31人	42人	63人	50人	37人	47人
		受験者数	31人	42人	62人	50人	36人	46人
		合格者数	29人	39人	60人	48人	36人	44
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	1人	0人	0人	1人	0人	0.4
	実　人　数	志願者数	31人	42人	63人	50人	37人	46.5
		受験者数	31人	42人	62人	50人	36人	44.2
		合格者数	29人	39人	60人	48人	36人	42.4
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	1人	0人	0人	1人	0人	0.4
	入学者数		28人	37人	59人	45人	35人	42.25
一般選抜	募集人数		43人	43人	44人	46人	46人	44
	延べ人数	志願者数	2120人	2735人	2380人	3132人	3433人	2591.75
		受験者数	2030人	2611人	2248人	2907人	3222人	2449
		合格者数	579人	654人	654人	1079人	1359人	741.5
		うち追加合格者数	3人	0人	0人	0人	0人	0.6
		辞退者数	2人	10人	7人	4人	1人	5.75
	実　人　数	志願者数	1280人	1613人	1214人	1164人	1206人	1317.75
		受験者数	1246人	1563人	1173人	1118人	1164人	1275
		合格者数	524人	568人	504人	675人	774人	567.75
		うち追加合格者数	3人	0人	0人	0人	0人	0.6
		辞退者数	2人	10人	7人	4人	1人	5.75
	入学者数		54人	47人	38人	55人	70人	48.5
共通テスト利用入試	募集人数		33人	33人	32人	31人	31人	32.25
	延べ人数	志願者数	1397人	1874人	2473人	3129人	3336人	2218.25
		受験者数	1392人	1858人	2420人	3044人	3221人	2178.5
		合格者数	605人	810人	968人	1714人	1983人	1024.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	7人	3人	3人	1人	5人	3.5
	実　人　数	志願者数	1032人	1120人	1670人	1742人	1840人	1391
		受験者数	1028人	1113人	1642人	1710人	1797人	1373.25
		合格者数	490人	545人	731人	1055人	1178人	705.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	7人	3人	3人	1人	5人	3.5
	入学者数		26人	26人	17人	29人	27人	24.5
その他の特別選抜	募集人数		1人	1人	1人	1人	1人	1
	延べ人数	志願者数	1人	3人	4人	1人	2人	2.25
		受験者数	1人	3人	3人	1人	2人	2
		合格者数	1人	2人	3人	1人	2人	1.75
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1人	0
	実　人　数	志願者数	1人	3人	4人	1人	2人	2.25
		受験者数	1人	3人	3人	1人	2人	2
		合格者数	1人	2人	3人	1人	2人	1.75
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1人	0
	入学者数		1人	1人	1人	1人	0人	1
合計	募集人数		110人	110人	110人	110人	110人	88人
	延べ人数	志願者数	3577人	4676人	4940人	6328人	6818人	3904人
		受験者数	3481人	4535人	4753人	6017人	6489人	3757人
		合格者数	1234人	1519人	1700人	2853人	3387人	1461人
		うち追加合格者数	3人	0人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	11人	16人	11人	6人	7人	9人
	実　人　数	志願者数	2372人	2800人	2971人	2973人	3095人	2223人
		受験者数	2333人	2742人	2900人	2894人	3007人	2174人
		合格者数	1064人	1168人	1313人	1790人	1997人	1067人
		うち追加合格者数	3人	0人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	11人	16人	11人	6人	7人	9人
	入学者数		125人	122人	129人	140人	136人	103人

３．入学定員充足率

	H 31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	110人	110人	110人	110人	110人	110
入学定員充足率	1.14	1.11	1.17	1.27	1.24	1.19
歩留率	0.12	0.10	0.10	0.08	0.07	0.09

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 別紙２

大学学部学科等名：千葉工業大学先進工学部知能メディア工学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			2019	2020	2021	2022	2023	
			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	41人	41人	28人	22人	42人	35人
		受験者数	40人	40人	28人	22人	41人	34人
		合格者数	12人	12人	13人	16人	18人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	3人	1人
	実人数	志願者数	41人	41人	28人	22人	42人	35人
		受験者数	40人	40人	28人	22人	41人	34人
		合格者数	12人	12人	13人	16人	18人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	3人	1人
	入学者数		10人	12人	13人	16人	14人	13人
学校推薦型選抜	募集人数		23人	23人	23人	22人	22人	23人
	延べ人数	志願者数	52人	59人	49人	43人	61人	51人
		受験者数	52人	59人	49人	43人	61人	51人
		合格者数	43人	43人	44人	39人	47人	42.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	2人	0.6
	実人数	志願者数	52人	59人	49人	43人	61人	50.75
		受験者数	52人	59人	49人	43人	61人	50.75
		合格者数	43人	43人	44人	39人	47人	42.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	2人	0.6
	入学者数		40人	43人	43人	38人	45人	41
一般選抜	募集人数		43人	43人	44人	46人	46人	44
	延べ人数	志願者数	3085人	3826人	3383人	4516人	4860人	3702.5
		受験者数	2977人	3674人	3202人	4199人	4570人	3513
		合格者数	490人	345人	326人	493人	501人	413.5
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	9人	0
		辞退者数	2人	0人	0人	2人	2人	1
	実人数	志願者数	1850人	2146人	1707人	1591人	1593人	1823.5
		受験者数	1804人	2093人	1656人	1527人	1540人	1770
		合格者数	365人	326人	284人	343人	350人	329.5
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	9人	0
		辞退者数	2人	0人	0人	2人	2人	1
	入学者数		47人	42人	26人	43人	39人	39.5
共通テスト利用入試	募集人数		33人	33人	32人	31人	31人	32.25
	延べ人数	志願者数	2065人	2748人	3352人	4120人	4275人	3071.25
		受験者数	2054人	2726人	3289人	4007人	4143人	3019
		合格者数	515人	569人	929人	1047人	1483人	765
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	3人	5人	4人	1人	1人	3.25
	実人数	志願者数	1452人	1577人	2173人	2233人	2245人	1858.75
		受験者数	1445人	1569人	2137人	2191人	2202人	1835.5
		合格者数	409人	388人	693人	678人	881人	542
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	3人	5人	4人	1人	1人	3.25
	入学者数		33人	30人	46人	29人	30人	34.5
その他の特別選抜	募集人数		1人	1人	1人	1人	1人	1
	延べ人数	志願者数	4人	3人	2人	0人	2人	2.25
		受験者数	4人	3人	2人	0人	1人	2.25
		合格者数	3人	1人	1人	0人	0人	1.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0.25
	実人数	志願者数	4人	3人	2人	0人	2人	2.25
		受験者数	4人	3人	2人	0人	1人	2.25
		合格者数	3人	1人	1人	0人	0人	1.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0.25
	入学者数		2人	1人	1人	0人	0人	1
合計	募集人数		110人	110人	110人	110人	110人	88人
	延べ人数	志願者数	5247人	6677人	6814人	8701人	9240人	5488人
		受験者数	5127人	6502人	6570人	8271人	8816人	5294人
		合格者数	1063人	970人	1313人	1595人	2049人	988人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	9人	0人
		辞退者数	7人	5人	5人	3人	8人	4人
	実人数	志願者数	3399人	3826人	3959人	3889人	3943人	3015人
		受験者数	3345人	3764人	3872人	3783人	3845人	2953人
		合格者数	832人	770人	1035人	1076人	1296人	743人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	9人	0人
		辞退者数	7人	5人	5人	3人	8人	4人
	入学者数		132人	128人	129人	126人	128人	103人

３．入学定員充足率

	H 31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	110人	110人	110人	110人	110人	110
入学定員充足率	1.20	1.16	1.17	1.15	1.16	1.17
歩留率	0.16	0.17	0.12	0.12	0.10	0.13

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 別紙２

大学学部学科等名：千葉工業大学情報科学部情報工学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			2019	2020	2021	2022	2023	
			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	47人	39人	47人	29人	49人	42人
		受験者数	46人	39人	46人	29人	47人	41人
		合格者数	10人	10人	16人	15人	18人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	2人	3人		2人
	実人数	志願者数	47人	39人	47人	29人	49人	42人
		受験者数	46人	39人	46人	29人	47人	41人
		合格者数	10人	10人	16人	15人	18人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	2人	3人		2人
	入学者数		8人	9人	14人	10人	18人	12人
学校推薦型選抜	募集人数		28人	28人	28人	27人	27人	28人
	延べ人数	志願者数	73人	81人	101人	83人	90人	85人
		受験者数	73人	81人	101人	83人	89人	85人
		合格者数	56人	64人	74人	70人	65人	66
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	1人	0人	0人		0.25
	実人数	志願者数	73人	81人	101人	83人	90人	84.5
		受験者数	73人	81人	101人	83人	89人	84.5
		合格者数	56人	64人	74人	70人	65人	66
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	1人	0人	0人		0.25
	入学者数		55人	62人	74人	68人	64人	64.75
一般選抜	募集人数		59人	60人	61人	63人	63人	60.75
	延べ人数	志願者数	3798人	4992人	4626人	6313人	6673人	4932.25
		受験者数	3654人	4773人	4393人	5906人	6270人	4681.5
		合格者数	334人	300人	301人	401人	419人	334
		うち追加合格者数			4人		12人	4
		辞退者数	5人	1人	1人	5人	4人	3
	実人数	志願者数	2395人	2809人	2389人	2328人	2276人	2480.25
		受験者数	2332人	2723人	2321人	2230人	2187人	2401.5
		合格者数	381人	284人	282人	301人	319人	312
		うち追加合格者数			4人		12人	4
		辞退者数	5人	1人	1人	5人	4人	3
	入学者数		63人	53人	63人	54人	56人	58.25
共通テスト利用入試	募集人数		42人	41人	40人	39人	39人	40.5
	延べ人数	志願者数	2612人	3624人	4655人	5682人	5733人	4143.25
		受験者数	2599人	3600人	4580人	5528人	5583人	4076.75
		合格者数	496人	519人	471人	820人	1003人	576.5
		うち追加合格者数			0人			0
		辞退者数	1人	4人	4人	9人	1人	4.5
	実人数	志願者数	1894人	2120人	3028人	3133人	3095人	2543.75
		受験者数	1885人	2110人	2985人	3070人	3041人	2512.5
		合格者数	366人	367人	379人	557人	631人	417.25
		うち追加合格者数			0人			0
		辞退者数	1人	4人	4人	9人	1人	4.5
	入学者数		41人	35人	16人	28人	23人	30
その他の特別選抜	募集人数		1人	1人	1人	1人	1人	1
	延べ人数	志願者数	4人	5人	3人	6人	4人	4.5
		受験者数	4人	5人	3人	6人	3人	4.5
		合格者数	0人	0人	1人	2人	2人	0.75
		うち追加合格者数	0人		0人			0
		辞退者数	0人		0人	0人	0人	0
	実人数	志願者数	4人	5人	3人	6人	4人	4.5
		受験者数	4人	5人	3人	6人	3人	4.5
		合格者数	0人	0人	1人	2人	2人	0.75
		うち追加合格者数	0人		0人			0
		辞退者数	0人		0人	0人	0人	0
	入学者数		0人	0人	1人	2人	1人	0.75
合計	募集人数		140人	140人	140人	140人	140人	112人
	延べ人数	志願者数	6534人	8741人	9432人	12113人	12549人	7364人
		受験者数	6376人	8498人	9123人	11552人	11992人	7110人
		合格者数	896人	893人	863人	1308人	1507人	792人
		うち追加合格者数	0人	0人	4人	0人	12人	1人
		辞退者数	7人	6人	7人	17人	5人	7人
	実人数	志願者数	4413人	5054人	5568人	5579人	5514人	4123人
		受験者数	4340人	4958人	5456人	5418人	5367人	4034人
		合格者数	813人	725人	752人	945人	1035人	647人
		うち追加合格者数	0人	0人	4人	0人	12人	1人
		辞退者数	7人	6人	7人	17人	5人	7人
	入学者数		167人	159人	168人	162人	162人	131人

３．入学定員充足率

	H 31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	140人	140人	140人	140人	140人	140人
入学定員充足率	1.19	1.14	1.20	1.16	1.16	1.17
歩留率	0.21	0.22	0.22	0.17	0.15	0.19

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 別紙２

大学学部学科等名：千葉工業大学情報科学部情報ネットワーク学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			2019	2020	2021	2022	2023	
			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		13人	13人	13人	13人	13人	13人
	延べ人数	志願者数	40人	60人	33人	45人	57人	47人
		受験者数	40人	57人	33人	44人	56人	46人
		合格者数	13人	14人	16人	15人	18人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	2人	0人
	実　人　数	志願者数	40人	60人	33人	45人	57人	47人
		受験者数	40人	57人	33人	44人	56人	46人
		合格者数	13人	14人	16人	15人	18人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	2人	0人
	入学者数		13人	12人	15人	13人	15人	14人
学校推薦型選抜	募集人数		27人	27人	27人	26人	26人	27人
	延べ人数	志願者数	66人	93人	95人	80人	85人	84人
		受験者数	66人	93人	95人	80人	85人	84人
		合格者数	44人	77人	75人	69人	67人	66.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	1人	0人	0.2
	実　人　数	志願者数	66人	93人	95人	80人	85人	83.5
		受験者数	66人	93人	95人	80人	85人	83.5
		合格者数	44人	77人	75人	69人	67人	66.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	1人	0人	0.2
	入学者数		42人	77人	74人	68人	67人	65.25
一般選抜	募集人数		57人	58人	59人	61人	61人	58.75
	延べ人数	志願者数	3434人	4465人	4000人	5537人	5909人	4359
		受験者数	3307人	4274人	3796人	5183人	5555人	4140
		合格者数	502人	398人	518人	496人	552人	478.5
		うち追加合格者数	7人	0人	0人	0人	0人	1.4
		辞退者数	2人	0人	2人	1人	3人	1.25
	実　人　数	志願者数	2061人	2457人	2007人	1976人	1964人	2125.25
		受験者数	2010人	2390人	1952人	1895人	1896人	2061.75
		合格者数	492人	359人	462人	362人	363人	418.75
		うち追加合格者数	7人	0人	0人	0人	0人	1.4
		辞退者数	2人	0人	2人	1人	3人	1.25
	入学者数		62人	47人	61人	54人	48人	56
共通テスト利用入試	募集人数		42人	41人	40人	39人	39人	40.5
	延べ人数	志願者数	2184人	3030人	3861人	4812人	5004人	3471.75
		受験者数	2173人	3010人	3797人	4672人	4868人	3413
		合格者数	585人	486人	567人	1329人	1554人	741.75
		うち追加合格者数	3人	0人	0人	0人	0人	0.6
		辞退者数	2人	1人	4人	4人	0人	2.75
	実　人　数	志願者数	1578人	1747人	2495人	2626人	2675人	2111.5
		受験者数	1571人	1740人	2457人	2570人	2627人	2084.5
		合格者数	438人	349人	449人	849人	937人	521.25
		うち追加合格者数	3人	0人	0人	0人	0人	0.6
		辞退者数	2人	1人	4人	4人	0人	2.75
	入学者数		43人	28人	10人	34人	45人	28.75
その他の特別選抜	募集人数		1人	1人	1人	1人	1人	1
	延べ人数	志願者数	1人	3人	1人	2人	5人	1.75
		受験者数	1人	3人	1人	2人	5人	1.75
		合格者数	0人	1人	1人	1人	2人	0.75
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	実　人　数	志願者数	1人	3人	1人	2人	5人	1.75
		受験者数	1人	3人	1人	2人	5人	1.75
		合格者数	0人	1人	1人	1人	2人	0.75
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	入学者数		0人	0人	1人	1人	2人	0.5
合計	募集人数		140人	140人	140人	140人	140人	112人
	延べ人数	志願者数	5725人	7651人	7990人	10476人	11060人	6368人
		受験者数	5587人	7437人	7722人	9981人	10569人	6145人
		合格者数	1144人	976人	1177人	1910人	2193人	1041人
		うち追加合格者数	10人	0人	0人	0人	0人	2人
		辞退者数	4人	1人	6人	6人	5人	3人
	実　人　数	志願者数	3746人	4360人	4631人	4729人	4786人	3493人
		受験者数	3688人	4283人	4538人	4591人	4669人	3420人
		合格者数	987人	800人	1003人	1296人	1387人	817人
		うち追加合格者数	10人	0人	0人	0人	0人	2人
		辞退者数	4人	1人	6人	6人	5人	3人
	入学者数		160人	164人	161人	170人	177人	131人

３．入学定員充足率

	H 31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	140人	140人	140人	140人	140人	140人
入学定員充足率	1.14	1.17	1.15	1.21	1.26	1.19
歩留率	0.16	0.21	0.16	0.13	0.13	0.16

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 別紙２

大学学部学科等名：千葉工業大学社会システム科学部経営情報科学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			2019	2020	2021	2022	2023	
			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		17人	17人	17人	17人	17人	17人
	延べ人数	志願者数	38人	31人	13人	18人	26人	25人
		受験者数	36人	27人	13人	18人	25人	24人
		合格者数	17人	17人	11人	17人	20人	16人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	1人	0人	0人
	実人数	志願者数	38人	31人	13人	18人	26人	25人
		受験者数	36人	27人	13人	18人	25人	24人
		合格者数	17人	17人	11人	17人	20人	16人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	1人	0人	0人
	入学者数		16人	17人	11人	16人	20人	16人
学校推薦型選抜	募集人数		19人	19人	19人	18人	18人	19人
	延べ人数	志願者数	84人	72人	89人	56人	59人	75人
		受験者数	84人	72人	89人	56人	59人	75人
		合格者数	83人	65人	89人	55人	59人	73
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	2人	0.4
	実人数	志願者数	84人	72人	89人	56人	59人	75.25
		受験者数	84人	72人	89人	56人	59人	75.25
		合格者数	83人	65人	89人	55人	59人	73
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	2人	0.4
	入学者数		82人	65人	89人	54人	56人	72.5
一般選抜	募集人数		44人	44人	45人	47人	47人	45
	延べ人数	志願者数	2151人	2813人	2500人	3218人	3615人	2670.5
		受験者数	2075人	2698人	2368人	2977人	3389人	2529.5
		合格者数	382人	309人	239人	850人	970人	445
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	2人	2人	4人	0人	2
	実人数	志願者数	1390人	1593人	1281人	1140人	1198人	1351
		受験者数	1355人	1550人	1244人	1090人	1159人	1309.75
		合格者数	146人	281人	207人	529人	560人	290.75
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	2人	2人	4人	0人	2
	入学者数		9人	23人	9人	46人	59人	21.75
共通テスト利用入試	募集人数		29人	29人	28人	27人	27人	28.25
	延べ人数	志願者数	1307人	1882人	2566人	3081人	3177人	2209
		受験者数	1298人	1868人	2506人	2978人	3071人	2162.5
		合格者数	424人	450人	528人	1132人	1313人	633.5
		うち追加合格者数	1人	0人	0人	0人	0人	0.2
		辞退者数	0人	4人	4人	1人	2人	2.25
	実人数	志願者数	1089人	1118人	1759人	1705人	1732人	1417.75
		受験者数	1085人	1112人	1720人	1667人	1690人	1396
		合格者数	205人	333人	444人	780人	806人	440.5
		うち追加合格者数	1人	0人	0人	0人	0人	0.2
		辞退者数	0人	4人	4人	1人	2人	2.25
	入学者数		11人	17人	14人	18人	13人	15
その他の特別選抜	募集人数		1人	1人	1人	1人	1人	1
	延べ人数	志願者数	0人	2人	3人	0人	0人	1.25
		受験者数	0人	1人	3人	0人	0人	1
		合格者数	0人	0人	1人	0人	0人	0.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	実人数	志願者数	0人	2人	3人	0人	0人	1.25
		受験者数	0人	1人	3人	0人	0人	1
		合格者数	0人	0人	1人	0人	0人	0.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0
合計	募集人数		110人	110人	110人	110人	110人	88人
	延べ人数	志願者数	3580人	4800人	5171人	6373人	6877人	3985人
		受験者数	3493人	4666人	4979人	6029人	6544人	3833人
		合格者数	906人	841人	868人	2054人	2362人	934人
		うち追加合格者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	6人	6人	6人	4人	4人
	実人数	志願者数	2601人	2816人	3145人	2919人	3015人	2296人
		受験者数	2560人	2762人	3069人	2831人	2933人	2244人
		合格者数	451人	696人	752人	1381人	1445人	656人
		うち追加合格者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	6人	6人	6人	4人	4人
	入学者数		118人	122人	123人	134人	148人	99人

３．入学定員充足率

	H 31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	110人	110人	110人	110人	110人	110人
入学定員充足率	1.07	1.11	1.12	1.22	1.35	1.17
歩留率	0.26	0.18	0.16	0.10	0.10	0.16

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 別紙２

大学学部学科等名：千葉工業大学社会システム科学部プロジェクトマネジメント学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			2019	2020	2021	2022	2023	
			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		21人	21人	21人	21人	21人	21人
	延べ人数	志願者数	42人	54人	26人	24人	29人	35人
		受験者数	40人	50人	25人	24人	28人	33人
		合格者数	31人	24人	23人	22人	25人	25人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	2人	0人	1人	1人	1人
	実人数	志願者数	42人	54人	26人	24人	29人	35人
		受験者数	40人	50人	25人	24人	28人	33人
		合格者数	31人	24人	23人	22人	25人	25人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	2人	0人	1人	1人	1人
	入学者数		30人	24人	22人	19人	24人	24人
学校推薦型選抜	募集人数		19人	19人	19人	18人	18人	19人
	延べ人数	志願者数	78人	75人	52人	61人	62人	67人
		受験者数	78人	75人	52人	61人	62人	67人
		合格者数	76人	71人	52人	61人	62人	65
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	実人数	志願者数	78人	75人	52人	61人	62人	66.5
		受験者数	78人	75人	52人	61人	62人	66.5
		合格者数	76人	71人	52人	61人	62人	65
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	入学者数		76人	71人	52人	61人	60人	65
一般選抜	募集人数		41人	41人	42人	44人	44人	42
	延べ人数	志願者数	2039人	2576人	2238人	2949人	3281人	2450.5
		受験者数	1969人	2469人	2114人	2730人	3070人	2320.5
		合格者数	330人	362人	404人	830人	1157人	481.5
		うち追加合格者数	3人	0人	0人	0人	0人	0.6
		辞退者数	0人	0人	1人	1人	1人	0.5
	実人数	志願者数	1296人	1445人	1146人	1050人	1069人	1234.25
		受験者数	1265人	1400人	1108人	1002人	1037人	1193.75
		合格者数	170人	323人	322人	509人	643人	331
		うち追加合格者数	3人	0人	0人	0人	0人	0.6
		辞退者数	0人	0人	1人	1人	1人	0.5
	入学者数		8人	26人	24人	24人	43人	20.5
共通テスト利用入試	募集人数		28人	28人	27人	26人	26人	27.25
	延べ人数	志願者数	1163人	1644人	2298人	2855人	2888人	1990
		受験者数	1155人	1629人	2245人	2757人	2788人	1946.5
		合格者数	526人	440人	913人	1248人	1484人	781.75
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	1人	2人	2人	0人	1.25
	実人数	志願者数	1005人	976人	1560人	1588人	1561人	1282.25
		受験者数	1001人	969人	1527人	1551人	1521人	1262
		合格者数	200人	315人	690人	841人	881人	511.5
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	1人	2人	2人	0人	1.25
	入学者数		6人	9人	28人	24人	9人	16.75
その他の特別選抜	募集人数		1人	1人	1人	1人	1人	1
	延べ人数	志願者数	1人	1人	0人	0人	0人	0.5
		受験者数	1人	1人	0人	0人	0人	0.5
		合格者数	1人	0人	0人	0人	0人	0.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	実人数	志願者数	1人	1人	0人	0人	0人	0.5
		受験者数	1人	1人	0人	0人	0人	0.5
		合格者数	1人	0人	0人	0人	0人	0.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	入学者数		1人	0人	0人	0人	0人	0.25
合計	募集人数		110人	110人	110人	110人	110人	88人
	延べ人数	志願者数	3323人	4350人	4614人	5889人	6260人	3635人
		受験者数	3243人	4224人	4436人	5572人	5948人	3495人
		合格者数	964人	897人	1392人	2161人	2728人	1083人
		うち追加合格者数	3人	0人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	0人	3人	3人	4人	2人	2人
	実人数	志願者数	2422人	2551人	2784人	2723人	2721人	2096人
		受験者数	2385人	2495人	2712人	2638人	2648人	2046人
		合格者数	478人	733人	1087人	1433人	1611人	746人
		うち追加合格者数	3人	0人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	0人	3人	3人	4人	2人	2人
	入学者数		121人	130人	126人	128人	136人	101人

３．入学定員充足率

	H 31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	110人	110人	110人	110人	110人	110人
入学定員充足率	1.10	1.18	1.15	1.16	1.24	1.17
歩留率	0.25	0.18	0.12	0.09	0.08	0.14

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 別紙２

大学学部学科等名：千葉工業大学社会システム科学部金融・経営リスク科学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			2019	2020	2021	2022	2023	
			H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		7人	7人	7人	7人	7人	7人
	延べ人数	志願者数	11人	16人	11人	6人	8人	10人
		受験者数	10人	15人	10人	6人	8人	10人
		合格者数	7人	11人	8人	6人	8人	8人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
	実　人　数	志願者数	11人	16人	11人	6人	8人	10人
		受験者数	10人	15人	10人	6人	8人	10人
		合格者数	7人	11人	8人	6人	8人	8人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
	入学者数		7人	10人	8人	5人	8人	8人
学校推薦型選抜	募集人数		12人	12人	12人	11人	11人	12人
	延べ人数	志願者数	27人	22人	19人	18人	21人	22人
		受験者数	27人	22人	18人	18人	21人	21人
		合格者数	25人	21人	18人	18人	21人	20.5
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	実　人　数	志願者数	27人	22人	19人	18人	21人	21.5
		受験者数	27人	22人	18人	18人	21人	21.25
		合格者数	25人	21人	18人	18人	21人	20.5
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	入学者数		25人	21人	17人	18人	21人	20.25
一般選抜	募集人数		24人	24人	24人	26人	26人	24.5
	延べ人数	志願者数	1863人	2493人	2118人	2843人	3088人	2329.25
		受験者数	1797人	2388人	1997人	2628人	2886人	2202.5
		合格者数	544人	413人	511人	1041人	1212人	627.25
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	2人	3人	0人	5人	3人	2.5
	実　人　数	志願者数	1219人	1421人	1094人	1002人	1019人	1184
		受験者数	1187人	1379人	1061人	958人	988人	1146.25
		合格者数	272人	362人	386人	615人	629人	408.75
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	2人	3人	0人	5人	3人	2.5
	入学者数		20人	24人	14人	26人	36人	21
共通テスト利用入試	募集人数		16人	16人	16人	15人	15人	15.75
	延べ人数	志願者数	1097人	1631人	2170人	2720人	2806人	1904.5
		受験者数	1090人	1617人	2114人	2625人	2713人	1861.5
		合格者数	487人	547人	1028人	1417人	1515人	869.75
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	6人	0人	2人	1人	1人	2.25
	実　人　数	志願者数	955人	975人	1498人	1516人	1533人	1236
		受験者数	950人	969人	1462人	1478人	1498人	1214.75
		合格者数	375人	385人	792人	911人	911人	615.75
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	6人	0人	2人	1人	1人	2.25
	入学者数		30人	17人	24人	17人	6人	22
その他の特別選抜	募集人数		1人	1人	1人	1人	1人	1
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	実　人　数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0
合計	募集人数		60人	60人	60人	60人	60人	48人
	延べ人数	志願者数	2998人	4162人	4318人	5587人	5923人	3413人
		受験者数	2924人	4042人	4139人	5277人	5628人	3276人
		合格者数	1063人	992人	1565人	2482人	2756人	1220人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	8人	3人	2人	7人	4人	4人
	実　人　数	志願者数	2212人	2434人	2622人	2542人	2581人	1962人
		受験者数	2174人	2385人	2551人	2460人	2515人	1914人
		合格者数	679人	779人	1204人	1550人	1569人	842人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	8人	3人	2人	7人	4人	4人
	入学者数		82人	72人	63人	66人	71人	57人

３．入学定員充足率

	H 31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	60人	60人	60人	60人	60人	60人
入学定員充足率	1.37	1.20	1.05	1.10	1.18	1.18
歩留率	0.12	0.09	0.05	0.04	0.05	0.07

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

別紙３

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：千葉工業大学工学部機械電子創成工学科のオープンキャンパス

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	3732人	6318人	うち受験者数(c)、入学者数(d)は全体の数 ①受験者、保護者等を対象にオープンキャンパスを左記の通り実施した R4年度入試(R3年度開催)：7月18日（web：3260人）・12月12日（対面：472人） R5年度入試(R4年度開催)：6月19日(2,235人)、7月31日(3,488人)、12月11日(595人) ②今年度は約9,000人の参加を見込んでおり、受験対象数見込みの10%にあたる144人の入学を見込んでいる
うち受験対象者数(b)	597人	1011人	
うち受験者数(c)	2732人	2785人	
うち入学者数(d)	138人	144人	
（受験率 c/b)	457.6%	275.5%	
（入学率 d/b)	23.1%	14.2%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：千葉工業大学の大学案内の配付（郵送）

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	55565人	51499人	うち受験者数(c)、入学者数(d)は全体の数 ①全国の受験者、高等学校等を対象に、大学の学部・学科、授業料、キャンパス情報等をまとめた冊子を作成し、左記の通り郵送した ②今年度は約50,000人への配付を見込んでおり、過去の傾向から、受験対象見込みの1.6%にあたる128人の入学を見込んでいる ③受験対象者数は過去に実施したPR活動の実績から、参加者等総数(a)の16%にあたると推計
うち受験対象者数(b)	8890人	8240人	
うち受験者数(c)	2732人	2785人	
うち入学者数(d)	138人	144人	
（受験率 c/b)	30.7%	33.8%	
（入学率 d/b)	1.6%	1.7%	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：千葉工業大学の大学案内の配付（直接配付）

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	34326人	43821人	うち受験者数(c)、入学者数(d)は全体の数 ①全国の受験者、高等学校等を対象に、大学の学部・学科、授業料、キャンパス情報等をまとめた冊子を作成し、左記の通り直接配付した ②今年度は約40,000人への配付を見込んでおり、過去の傾向から、受験対象見込みの2.1%にあたる134人の入学を見込んでいる ③受験対象者数は過去に実施したPR活動の実績から、参加者等総数(a)の16%にあたると推計
うち受験対象者数(b)	5492人	7011人	
うち受験者数(c)	2732人	2785人	
うち入学者数(d)	138人	144人	
（受験率 c/b)	49.7%	39.7%	
（入学率 d/b)	2.5%	2.1%	

④募集を行った学科等名称及び取組の名称：外部リストを利用したダイレクトメール

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	38000人	38000人	うち受験者数(c)、入学者数(d)は全体の数 ①全国の受験者を対象に、入試システムやサテライト試験場をまとめたDMを先の通り発送した ②今年度は約35,000人への配付を見込んでおり、過去の傾向から、受験対象見込みの2.3%にあたる129人の入学を見込んでいる ③受験対象者数は過去に実施したPR活動の実績から、参加者等総数(a)の16%にあたると推計
うち受験対象者数(b)	6080人	6080人	
うち受験者数(c)	2732人	2785人	
うち入学者数(d)	138人	144人	
（受験率 c/b)	44.9%	45.8%	
（入学率 d/b)	2.3%	2.4%	

⑤募集を行った学科等名称及び取組の名称：資料請求者への大学案内以外の情報発信

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	30500人	30000人	うち受験者数(c)、入学者数(d)は全体の数 ①本学の資料請求者を対象に、受験ガイドや各種募集要項等の送付を行った ②今年度は約30,000人への配付を見込んでおり、過去の傾向から、受験対象見込みの2.8%にあたる134人の入学を見込んでいる ③受験対象者数は過去に実施したPR活動の実績から、参加者等総数(a)の16%にあたると推計
うち受験対象者数(b)	4880人	4800人	
うち受験者数(c)	2732人	2785人	
うち入学者数(d)	138人	144人	
（受験率 c/b)	56.0%	58.0%	
（入学率 d/b)	2.8%	3.0%	

【別紙 3 の補足説明資料】

別紙 3 に記載している、「うち受験者数(c)」、「うち入学者数(d)」は、既設学科である機械電子創成工学科の全体の数である。求められている内容は各 PR 活動が単体で受験や入学につながったことを示すものと考えるが、以下の理由により示すことが困難である。

（理由）一人の受験者及び入学者は、複数の PR 活動に参加しており、各活動が単体で受験、入学につながったことは判別ができないため
（例）オープンキャンパス参加者が、大学案内を郵送により受け取り、ダイレクトメールも受け取っている場合など

また、受験対象者数(b)に対するうち受験者数(c)の割合が高いこと、場合によっては(b)よりも(c)が高くなる理由は以下の通り。

（理由）本学の一般選抜（大学入学共通テスト利用入学試験及び本学独自試験）は、複数学科を併願しても受験料負担が増えない仕組み（下記参照：受験ガイド抜粋）であり、複数学科を併願受験する受験者が多い。それにより、ある PR 活動において、既設学科である機械電子創成工学科以外に参加していても、機械電子創成工学科を受験し入学することがあるため
（例）オープンキャンパスでは、既設学科である機械電子創成工学科以外の説明を聞いたが、入学試験では機械電子創成工学科を含めた複数学科を受験した場合など

【受験ガイド抜粋：受験料負担軽減に関する記載ページ】



A日程入学試験 SA日程入学試験	4日間のうち1日のみ受験	30,000円	●何学科併願しても1学科分（定額） （2日目以降は1日につき5,000円のみ加算） ●タイプⅠ、タイプⅡを併願した際の併願受験料は無料 ●SA日程はA日程と同時に出願した場合、 A日程の受験料のみで併願可能	0
	4日間のうち2日間受験	35,000円		5,000円
	4日間のうち3日間受験	40,000円		10,000円
	4日間のうち4日間受験	45,000円		15,000円
B日程入学試験 SB日程入学試験	2日間のうち1日のみ受験	30,000円	●何学科併願しても１学科分（定額） （2日目は5,000円のみ加算） ●タイプⅠ、タイプⅡを併願した際の併願受験料は無料 ●SB日程はB日程と同時に出願した場合、 B日程の受験料のみで併願可能	0
	2日間のうち2日間受験	35,000円		5,000円
C日程入学試験	試験日の選択はありません	30,000円	●何学科併願しても1学科分（定額） ●タイプⅠ、タイプⅡを併願した際の併願受験料は無料	0

事前予約不要・入退場自由

OPEN CAMPUS 2024

最先端技術をのぞいてみよう

詳細はコチラ

津田沼キャンパス
6/23(日)

新習志野キャンパス
8/3(土)

津田沼キャンパス
2025
3/29(土)

※オープンキャンパスの予定や内容が変更になる可能性があります。大学webサイト等、公式の情報を事前にご確認ください。



千葉工業大学
CHIBA INSTITUTE OF TECHNOLOGY
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2-17-1
TEL：047-478-0222（入試広報部）
URL https://www.it-chiba.ac.jp

OPEN CAMPUS 2024

千葉工大の学びの特長、入試情報などをのぞいてみよう！

学科の特色や大学での勉強、実験施設など、キャンパスの特徴からキャンパスライフまで、千葉工大をお見せします。
また、入試のことから、学習内容、資格取得や卒業後の進路・就職など、みなさんの疑問になんでもお答えします。


津田沼キャンパス


新習志野キャンパス

津田沼キャンパス

事前予約不要

6/23（日） 10:00-15:30（入退場自由）

〈予定イベント〉
- 学科による学び体験
- キャンパスツアー
- 進学相談会
- 在学生にきいてみよう
- 総合型選抜説明会（学科）

2025 3/29（土） 10:00-13:30（入退場自由）

〈予定イベント〉
- 学科による学科説明会
- キャンパスツアー
- 進学相談会
- 在学生にきいてみよう

新習志野キャンパス

事前予約不要

8/3（土） 10:00-15:30（入退場自由）

〈予定イベント〉
- 学科による学び体験
- キャンパスツアー
- 進学相談会
- 在学生にきいてみよう
- 入試ガイダンス



PCやスマホからも千葉工大を体験！

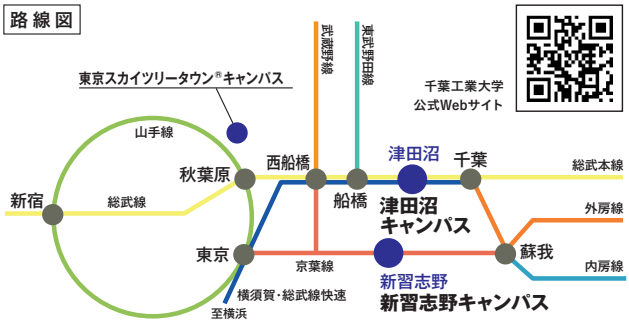
自宅にいながら千葉工大の魅力をお楽しみいただけます。
キャンパス紹介や各種ガイダンス、体験授業動画をお好きな時間にご覧いただけます。

右のQRコードからアクセスできます
https://it-chiba.com/about/movie/

千葉工業大学 CHIBA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

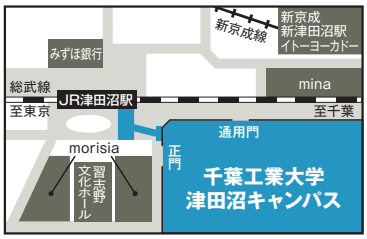
工学部	創造工学部	先進工学部	情報変革科学部	未来変革科学部
機械工学科	建築学科	未来ロボティクス学科	情報工学科	デジタル変革科学科
電気電子工学科	都市環境工学科	生命科学科	認知情報科学科	経営デザイン科学科
機械電子創成工学科	デザイン科学科	知能メディア工学科	高度応用情報科学科	
情報通信システム工学科				
先端材料工学科				
応用化学科				

路線図



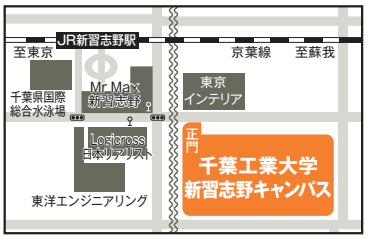
津田沼キャンパス

- JR総武線津田沼駅前（南口）［東京駅から28分］
- 新京成線新津田沼駅から徒歩3分
- 京成線京成津田沼駅から徒歩10分



新習志野キャンパス

- JR京葉線新習志野駅南口から徒歩6分［東京駅から31分］
- JR総武線津田沼駅南口バスターミナルから京成バス新習志野駅行（約15分）で、「千葉工業大学入口」下車徒歩3分



事前予約
不要

OPEN CAMPUS 2024

千葉工業大学

最先端技術を
のぞいてみよう。



千葉工業大学
公式キャラクター
チバニー

津田沼キャンパス
6/23日
10:00-15:30〈入退場自由〉

開催予定イベント

- 学科による学び体験
- 学科別総合型選抜説明会
- 進学相談会＆個別相談会
- 入試ガイダンス
- 在学生にきいてみよう
- 保護者向けガイダンス
- キャンパスツアー　ほか

お知らせ

2025年4月、誕生！　「工学部 宇宙・半導体工学科」

［機械電子創成工学科から改組予定］　※設置構想中のため、内容が変更になる場合があります

千葉工業大学
CHIBA INSTITUTE OF TECHNOLOGY
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼2-17-1
TEL:047-478-0222（入試広報部）
URL https://www.it-chiba.ac.jp

OPEN CAMPUS 2024

津田沼キャンパス

6/23(日)

10:00-15:30

〈入退場自由〉





津田沼キャンパスは、
JR「津田沼」駅から徒歩1分という駅近キャンパス!
講義棟をはじめ、最先端の設備を誇る実験室や研究室、
演習室など見どころ満載です。
千葉工業大学の魅力を体感してください。

- 当日は受付にて各種資料、プログラム等を配布いたします。
- アンケートに答えると、もれなく大学オリジナルグッズを差し上げます。
- 当日は、車でのご来場はご遠慮ください。
- 開催イベントは変更になる場合があります。
- 開催時間などの詳細については、後日、本学 Web サイトなどでご確認ください。

学食無料体験

明るく開放感あふれる学生食堂で、学生に人気の学食メニューを提供します！
一足先に千葉工大生気分を味わおう！

1 学科による学び体験

各学科のカラーを活かした学び体験で、講義や実験・実習をオモシロく体験。優しい先生や、先輩から教育課程や学習内容、研究内容などについて詳しく聞いてみよう。

2 学部学科全体説明会

専門性の高い5学部17学科それぞれの特徴について説明します。興味を持っている分野はどの学科かな?各学科どんな違いがあるのかな?など、皆さんの疑問を解消します。

3 学科別総合型選抜説明会

各学科のカリキュラムや学びの特徴を紹介するとともに、一般選抜でははかれない能力を総合的に評価する総合型選抜についてご説明します。

4 キャンパスツアー

広いキャンパス内を限られた時間内に見て回るのは大変！特徴ある施設や、キャンパス内のおススメスポットを学生スタッフが楽しく案内します（15 分程度）。

5 進学相談会＆個別相談会

入試についてはもちろん、学修内容、資格取得や卒業後の進路、就職まで皆さんの疑問を解決します。気になっていることは何でも相談してみよう。

6 高度技術者育成プログラム見学

日本の宇宙産業の基盤を支える高度技術者の育成プロジェクトを開始。人工衛星を実際に製作する現場を見てみよう !!

7 工作センター見学

先輩たちが授業などで加工実習を行っている工作センターが見学できます。

8 図書館見学

専門書が充実した図書館を開放しています。自由に見学してください。

9 アスレチックジム見学

授業の合間や放課後に利用できるアスレチックジムを見学しよう！

10 展望ラウンジ大公開

最上階ホール93メールからの眺めは絶景。天気が良ければ海ほたるや富士山が見えるかもしれません。

11 チバニー登場！

公式キャラクター「チバニー」がキャンパスのあちこちに登場します！

12 在学生にきいてみよう

イベント会場内には、千葉工大生がアドバイザーとして参加しています。学びやサークル、そして友だちづくりなど大学生活について、何でも質問してください。

千葉工業大学
CHIBA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2-17-1 TEL:047-478-0222（入試広報部）
https://www.it-chiba.ac.jp

工学部
機械工学科
宇宙・半導体工学科※
先端材料工学科
電気電子工学科
情報通信システム工学科
応用化学科

創造工学部
建築学科
都市環境工学科
デザイン科学科

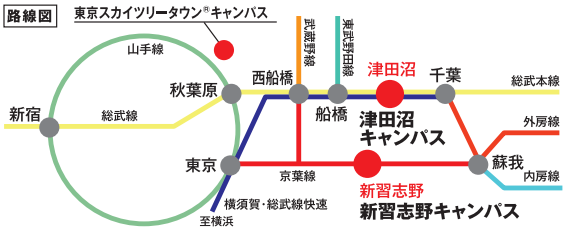
先進工学部
未来ロボティクス学科
生命科学科
知能メディア工学科

情報変革科学部
情報工学科
認知情報科学科
高度応用情報科学科

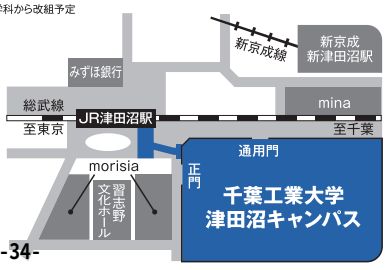
未来変革科学部
デジタル変革科学科
経営デザイン科学科

※2025年4月より機械電子創成工学科から改組予定

路線図



津田沼キャンパス
●JR総武線
津田沼駅前（南口）
［東京駅から28分］
●新京成線
新津田沼駅から徒歩3分
●京成線
京成津田沼駅から徒歩10分



来校までに事前予習
CIT MOVIE をチェック!!
右記の▶▶QRコードからアクセスできます

千葉工大の魅力を体感しよう！

OPEN CAMPUS 2024

6.23 日 オープンキャンパス（事前予約不要・入退場自由）

10:00-15:30

- 受付にて各種資料を配布いたします。
- オープンキャンパス中に気分が悪くなりましたら、お近くのスタッフに声をかけてください。
- 遺失物は、受付にてお預かりします。
- オープンキャンパス中の模様を撮影し、その画像をオープンキャンパス紹介のため本学Webサイトや冊子に掲載、または行事で放映することがあります。





「船橋のなし」出荷箱（学生デザイン）



JAいちかわ × 千葉工大

「船橋のなし」の出荷箱を本学学生がデザインしました。「なしグミ」でもそのデザインが採用されています。

お帰りの際、プレゼント受け渡し場所にお立寄りください！

来場者にもれなく「なしグミ」プレゼント！

[会場MAP]

お願い！ 混雑状況によっては、各講座等で受験生・高校生の入場を優先させていただきます。



4号館

4F
- 2 入試ガイダンス
- 4 宇宙・半導体工学科説明会
- 5 保護者向けガイダンス

1F
- 6 キャンパスツアー
- 14 在学生にきいてみよう

B1F
- 10 工作センター見学／解析センター見学

津田沼キャンパス内

- 17 チバニー登場！ ※雨天時1号館1階
  キャンパスのあちこちに登場します！

8号館

4F
- 9 音環境実験スタジオ体験

2号館

20F
- 8 展望ラウンジ大公開

3F
- 3 学部学科全体説明会

2F
- 15 進学相談会＆個別相談会

1F
- 11 人工衛星開発現場大公開
- 19 学科による学び体験・個別相談会

3号館

2F
- 16 一人暮らし相談会
  購買（10:00～15:00）

1F
- 18 学食ランチ無料体験

6号館

4F・3F・2F・1F
- 19 学科による学び体験・個別相談会

5号館

- 12 図書館見学

7号館

4F
- 1 学科別総合型選抜説明会

2・3F
- 19 学科による学び体験・個別相談会

1F
- 7 災害対応ロボット大公開！

1号館

1F
- 受付・プレゼント受け渡し・保健室

B1F
- 13 アスレチックジム見学（入口は外です）

アンケートに答えると素敵なプレゼントを差し上げます

お帰りの際、1号館1階にて回答完了画面をご提示ください。



			10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
1	学科別総合型選抜説明会	7号館4階		a 11:00～11:30 / b 11:40～12:10 / c 12:20～12:50 / a 13:00～13:30 / b 13:40～14:10 / c 14:20～14:50					
				a：・機械工学科 ・情報通信システム工学科 ・デザイン科学科 ・生命科学科 ・認知情報科学科 ・経営デザイン科学科					
				b：・電気電子工学科 ・応用化学科 ・都市環境工学科 ・知能メディア工学科 ・情報工学科 ・デジタル変革科学科					
				c：・先端材料工学科 ・建築学科 ・未来ロボティクス学科 ・高度応用情報科学科					
2	入試ガイダンス	4号館4階 431教室		【総合・推薦】11:00～11:30	【共通・一般】12:00～12:35	【総合・推薦】13:00～13:30			
3	学部学科全体説明会	2号館3階 大教室	10:00～10:30	11:00～11:30	12:00～12:30				
4	宇宙・半導体工学科説明会	4号館4階 435教室		11:00～11:30		13:00～13:30			
5	保護者向けガイダンス	4号館4階 435教室			12:00～12:30				
6	キャンパスツアー	4号館1階 ラウンジ［受付・集合場所］	30分程度［最終受付15:00］ 10:00～15:30						
7	災害対応ロボット大公開！	7号館1階			【デモ】12:30～13:00		【デモ】14:00～14:30		
18	学食ランチ無料体験	3号館1階 学生食堂	フリータイム 10:30～14:30						

※上記以外は10:00～15:30 フリータイム

イベントプログラム

1 学科別総合型選抜説明会

※混雑状況によっては、受験生・高校生の入場を優先させていただきます。
※宇宙・半導体工学科の説明会は実施しません。

一般選抜ではかれない能力を総合的に評価する総合型選抜について、学科それぞれの課題演習や面接の方法をご説明します。

a 11:00~11:30 / 13:00~13:30 / 7号館4階

・機械工学科	7402教室
・情報通信システム工学科	7403教室
・デザイン科学科	7404教室
・生命科学科	7406教室
・認知情報科学科	7410教室
・経営デザイン科学科	7408教室

b 11:40~12:10 / 13:40~14:10 / 7号館4階

・電気電子工学科	7402教室
・応用化学科	7406教室
・都市環境工学科	7404教室
・知能メディア工学科	7403教室
・情報工学科	7410教室
・デジタル変革科学科	7408教室

c 12:20~12:50 / 14:20~14:50 / 7号館4階

・先端材料工学科	7406教室
・建築学科	7404教室
・未来ロボティクス学科	7402教室
・高度応用情報科学科	7410教室

2 入試ガイダンス

令和7年度の総合型・推薦・一般選抜について傾向や特徴をご説明します。受験を考えている方は、ぜひ参加してください。

【総合・推薦】10:00~10:30 / 11:00~11:30 / 13:00~13:30
【共通・一般】12:00~12:35
4号館4階431教室

3 学部学科全体説明会

全５学部17学科の特徴について詳しく説明します。希望の学科や興味のある学科についてじっくり研究しましょう。

10:00~10:30 / 11:00~11:30 / 12:00~12:30
2号館3階大教室

4 宇宙・半導体工学科説明会 NEW

2025年4月設置予定の「宇宙・半導体工学科」について説明します。受験を考えている方は、ぜひ参加してください。

11:00~11:30 / 13:00~13:30
4号館4階435教室

5 保護者向けガイダンス

大学の概要や学費についての説明をはじめ、キャリアサポートや入学後の教育プログラムなどについてご説明します。

12:00~12:30
4号館4階435教室

6 キャンパスツアー

限られた時間内に多くのイベントに参加するのは大変！キャンパス内のオススメスポットを学生スタッフが案内します（30分程度）。

10:00~15:30（最終受付 15:00）
4号館１階ラウンジ［受付・集合場所］

7 災害対応ロボット大公開！

福島第一原発に投入した国産ロボット第一号！
改良を重ねて、あらゆる災害への対応をめざしています。デモ以外の時間帯も説明や質問に対応します。

12:30~13:00 / 14:00~14:30
7号館1階

8 展望ラウンジ大公開

最上階ホール93メートルからの眺めは絶景。天気が良ければ海ほたるや富士山が見えるかもしれません。

10:00~15:30
2号館20階 展望ラウンジ

9 音環境実験スタジオ体験

6チャンネルスピーカシステムによる3次元音場を再現！いろいろな音をその場にいるような感覚で不思議体験！

10:00~15:30
8号館4階

10 工作センター見学/解析センター見学

先輩たちが授業などで加工実習を行っている工作センターが見学できます。走査電子顕微鏡で、あんなもの、こんなものをのぞいてみよう。

10:00~15:30
4号館地下1階 工作センター・解析センター

11 人工衛星開発現場大公開

日本の宇宙産業の基盤を支える高度技術者の育成プロジェクトを開始。人工衛星を実際に製作する現場を見てみよう！！

10:00~15:30
2号館1階

12 図書館見学

専門書が充実したスケールの大きな図書館を開放しています。自由に見学してください。

10:00~15:30
5号館

13 アスレチックジム見学

授業の合間や放課後に利用できるアスレチックジムを見学しよう！

10:00~15:30
1号館地下1階

14 在学生にきいてみよう

イベント会場内には、現役の千葉工大生がアドバイザーとして参加。勉強について、クラブ・サークルについて先輩たちのナマの声を聞いてみよう！

10:00~15:30
4号館1階 ラウンジ

15 進学相談会&個別相談会

入試だけでなく、学修内容や資格取得、卒業後の進路、就職まで皆さんの疑問を解決します。気になっていることは何でも相談してみよう。

10:00~15:30
2号館2階 会議室

16 一人暮らし相談会

親元を離れて一人暮らしは不安がいっぱい。そんな疑問や質問にお答えします。キャンパス周辺のアパートの情報もご紹介します。

10:00~15:30
3号館2階

17 チバニー登場！

公式キャラクター「チバニー」がキャンパスのあちこちに登場します！

10:00~15:30
津田沼キャンパス内　※雨天時１号館１階

18 学食ランチ無料体験

明るく開放感あふれる学生食堂で、学生に人気の学食メニューを提供します！ 一足先に千葉工大生気分を味わおう！

10:30~14:30
3号館1階 学生食堂



⑧～⑲は、
フリータイムイベント！
空いている時間にいろいろ
参加してみよう！

19 学科による学び体験・個別相談会

各学科のカラーを活かした学科による学び体験・個別相談会で、講義や実験・実習をオモシロく体験。教育課程や学習内容、研究内容なども詳しくご説明します。

10:00~15:30　2・6・7号館

※時間・場所などの詳細は本プログラム「学科別タイムスケジュール」（中面）を参照してください。



10:00 / 11:00 / 12:00 / 13:00 / 14:00 / 15:00 / 16:00

先進工学部

J 未来ロボティクス学科 6号館 7号館

学科別総合型選抜説明会 12:20~12:50
学科別総合型選抜説明会 14:20~14:50
学科説明会（フリータイム） 10:00~15:30
個別相談会（フリータイム） 10:00~15:30
学び体験（フリータイム） 10:00~15:30

7号館 4階 7402教室

6号館 2階 622教室
★学科説明会
★個別相談会
★学び体験
● 2足歩行ロボットをつくろう
坂道を下りながら左右の足を振り子の原理で前に出して歩くロボットを製作します。
所要時間30分程度。ロボットは持ち帰れます。
★展示:622教室では学科のロボットたちを展示します。また、キャンパス内（屋外）で、
自分でセンシングして自分で考えて目的地まで移動するロボットを走らせます。

K 生命科学科 6号館 7号館

学科別総合型選抜説明会 11:00~11:30
学科別総合型選抜説明会 13:00~13:30
学科説明会 10:00~10:30
学科説明会 11:40~12:10
学科説明会 13:40~14:10
学科説明会 14:40~15:10
個別相談会（フリータイム） 10:00~15:30
学び体験（フリータイム） 10:00~15:30

7号館 4階 7406教室

6号館 1階 611教室
★学科説明会
★個別相談会
★学び体験
● 「ミクロの世界を見てみよう」顕微鏡で粘菌を観察してみよう！
● 実験器具に実際に触れてみよう！

L 知能メディア工学科 6号館 7号館

学科別総合型選抜説明会 11:40~12:10
学科別総合型選抜説明会 13:40~14:10
学科説明会・体験ワークショップ 10:00~11:00
体験ワークショップ 12:20~13:05
学科説明会・体験ワークショップ 14:45~15:45
個別相談会（フリータイム） 10:00~15:30
学び体験（フリータイム） 10:00~15:30

7号館 4階 7403教室

6号館 2階 625教室
★体験ワークショップ
● 『プレゼンテーション力』を身につけよう!
★個別相談会
★学び体験
● 知能メディア工学科での学びと研究成果を体験してみよう！
ー授業の成果や卒業研究の成果を紹介します

情報変革科学部

M 情報工学科 7号館

学科別総合型選抜説明会 11:40~12:10
学科別総合型選抜説明会 13:40~14:10
学科説明会 11:00~11:30
学科説明会 14:20~14:50
個別相談会（フリータイム） 10:00~15:30
学び体験（フリータイム） 10:00~15:30

7号館 4階 7410教室

7号館 3階 7302教室



7号館 3階 コンピュータ演習室3
★学び体験
● 機械の声はどれでしょう
● 人工知能を体験してみよう
● 熱の広がり方をシミュレーションしてみよう

N 認知情報科学科 7号館

学科別総合型選抜説明会 11:00~11:30
学科別総合型選抜説明会 13:00~13:30
学科説明会 12:20~12:50
学科説明会 13:40~14:10
個別相談会（フリータイム） 10:00~15:30
※学科説明会の時間を除く
学び体験（フリータイム） 10:00~15:30

7号館 4階 7410教室

7号館 3階 7301教室

7号館 3階 コンピュータ演習室3
★学び体験
● プログラミング体験
● 人の「見える」と「見えない」を活用する先端ITを体験しよう
● クイズでわかる！使いやすいWebデザイン

O 高度応用情報科学科 7号館

学科別総合型選抜説明会 12:20~12:50
学科別総合型選抜説明会 14:20~14:50
学科説明会 11:40~12:10
学科説明会 13:00~13:30
個別相談会（フリータイム） 10:00~15:30
学び体験（フリータイム） 10:00~15:30

7号館 4階 7410教室

7号館 2階 コンピュータ演習室1
★学科説明会
★個別相談会
★学び体験
● 印象に基づく楽曲検索システム（データ工学）
● データから箱の中身を推理しよう！～ベイズ統計学入門～（データサイエンス）
● ボードゲームAIと対戦しよう（データサイエンス）

未来変革科学部

P デジタル変革科学科 6号館 7号館

学科別総合型選抜説明会・学科説明会 11:40~12:10
学科別総合型選抜説明会・学科説明会 13:40~14:10
個別相談会（フリータイム） 10:00~15:30
学び体験（フリータイム） 10:00~15:30

7号館 4階 7408教室

6号館 3階 635教室
★個別相談会
★学び体験
● Web3の世界とメタバースを体験しよう
VRゴーグルによるメタバース空間の臨場感を楽しみながらWeb3の仕組みを理解できます。Web3のデジタル空間で起こせる変革を科学的な視点で体験してみましょう！（順次対応・1人5~10分）

Q 経営デザイン科学科 6号館 7号館

学科別総合型選抜説明会・学科説明会 11:00~11:30
学科別総合型選抜説明会・学科説明会 13:00~13:30
個別相談会（フリータイム） 10:00~15:30
学び体験（フリータイム） 10:00~15:30

7号館 4階 7408教室

6号館 3階 636教室
★個別相談会
★学び体験
● LEGOシリアスプレイやMESHプログラミングを体験しよう！（所要時間:20~30分）
★パネル展示・ビデオ上映

学科別 タイムスケジュール

10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00

工学部

A 機械工学科 6号館 7号館

- 学科別総合型選抜説明会 11:00~11:30
- 学科別総合型選抜説明会 13:00~13:30
- 学科説明会 10:00~10:30
- 学科説明会 14:00~14:30
- 個別相談会 (フリータイム) 10:00~15:30 ※学科説明会の時間を除く
- 学び体験、展示ブース (フリータイム) 10:00~15:30 ※学科説明会の時間を除く

7号館 4階 7402教室

6号館 2階 621教室
★学科説明会
★個別相談会
★学び体験
- NCフライス加工デモ、レーザ加工デモ、破壊シミュレーション、電動ユニット車いす
★展示ブース：電動ユニット車いすを展示します。

B 宇宙・半導体工学科 6号館 7号館

- 学科説明会 11:00~11:30
- 学科説明会 13:00~13:30
- 個別相談会 (フリータイム) 10:00~15:30
- 学び体験 (フリータイム) 10:00~15:30

4号館 4階 435教室

6号館 1階 615教室
★個別相談会
★学び体験
- LEDフラッシャの作成
- 折り紙飛行機で飛距離を競おう
- 半導体と精密加工を学ぼう



C 先端材料工学科 6号館 7号館

- 学科別総合型選抜説明会・学科説明会 12:20~12:50
- 学科別総合型選抜説明会・学科説明会 14:20~14:50
- 個別相談会 (フリータイム) 10:00~15:30
- 学び体験 (フリータイム) 10:00~15:30

7号館 4階 7406教室

6号館 1階 614教室
★個別相談会
★学び体験
- チタン製オリジナルカラーストラップを作ってみよう
- スズ鋳造によるペーパーウェイトを作ってみよう
- 形状記憶合金で遊んでみよう
- 巨大人工ダイヤモンドで遊ぼう
- 遠距離無線充電を体験してみよう

D 電気電子工学科 2号館 6号館 7号館

- 学科別総合型選抜説明会 11:40~12:10
- 学科別総合型選抜説明会 13:40~14:10
- 学科説明会※ 11:00~11:30
- 学科説明会※ 14:30~15:00
- 個別相談会 (フリータイム) 10:00~15:30 ※学科・女子学生交流プログラム説明会の時間を除く
- 学び体験 (フリータイム) 10:00~15:30 ※学科・女子学生交流プログラム説明会の時間を除く

7号館 4階 7402教室

6号館 3階 632教室
★学科説明会
※学科説明会終了後、女子学生交流プログラム説明会を開催します。
★個別相談会
★学び体験
- 無線給電のコイルについて
- センサーの仕組みに迫る！

2号館 1階 高電圧実験室
- 人工雷の発生体験

E 情報通信システム工学科 6号館 7号館

- 学科別総合型選抜説明会 11:00~11:30
- 学科別総合型選抜説明会 13:00~13:30
- 個別相談会 (フリータイム) 10:00~15:30
- 学び体験 (フリータイム) 10:00~15:30

7号館 4階 7403教室

6号館 3階 631教室
★個別相談会
★学び体験
- 可視光通話を体験しよう
- ブロックチェーンを体験しよう(チバニーNFT配布有)

F 応用化学科 1号館 6号館 7号館

- 学科別総合型選抜説明会 11:40~12:10
- 学科別総合型選抜説明会 13:40~14:10
- 学科説明会 (フリータイム) 10:00~15:30
- 個別相談会 (フリータイム) 10:00~15:30
- 学び体験 (フリータイム) 10:00~15:30

7号館 4階 7406教室

6号館1階 612教室
★学科説明会
★個別相談会
★研究や教育に関するパネル展示
★ラボツアー「化学の研究室を見てみよう」

1号館4階 応用化学科学生実験室
★学び体験
- 無機化学の魅力を体験「七宝焼でチバニーストラップを作ってみよう」

創造工学部

G 建築学科 6号館 7号館

- 学科別総合型選抜説明会・学科説明会 12:20~12:50
- 学科別総合型選抜説明会・学科説明会 14:20~14:50
- 個別相談会 (フリータイム) 10:00~15:30
- 学び体験 (フリータイム) 10:00~15:30

7号館 4階 7404教室

6号館 4階 647教室
★個別相談会
★学び体験
- 学生優秀作品展示・説明
- ペーパークラフトで模型製作体験
- 省エネルギー実践ラボ：省エネの敵「発熱源」を探せ！
- 地震に強い構造って何？



H 都市環境工学科 6号館 7号館

- 学科別総合型選抜説明会・学科説明会 11:40~12:10
- 学科別総合型選抜説明会・学科説明会 13:40~14:10
- 個別相談会 (フリータイム) 10:00~15:30
- 学び体験 (フリータイム) 10:00~15:30

7号館 4階 7404教室

6号館 4階 642教室
★個別相談会
★学び体験
- 地理情報システム入門：自分の住んでいる街の状況を地図にうつしてみよう！
- 地盤の不思議：簡単な実験を通して、弱くなったり強くなったりする地盤について学びます。
- これが渋滞原因車だ!!：精密観測データで読み解く高速道路の渋滞
- 「水の流れ方あれこれ」：開水路の実験装置を用いた演示実験
- 「マイクロプラスチック問題を解決しよう」：マイクロプラスチックの分析体験と本研究室の紹介

I デザイン科学科 6号館 7号館

- 学科別総合型選抜説明会・学科説明会 11:00~11:30
- 学科別総合型選抜説明会・学科説明会 13:00~13:30
- 個別相談会 (フリータイム) 10:00~15:30
- 学び体験 11:50~12:20
- 学び体験 13:50~14:20

7号館 4階 7404教室

6号館 2階 626教室
★個別相談会
★学び体験
- 身近なモノの観察とスケッチ体験ワークショップ

★展示コーナー：演習授業・卒業制作の作品を展示しています。

事前予約
不要

OPEN CAMPUS 2024

千葉工業大学

最先端技術を
のぞいてみよう。



千葉工業大学
公式キャラクター
チバニー

新習志野キャンパス

8/3(土)

10:00-15:30〈入退場自由〉

開催予定イベント

- 学科による学び体験
- 学科別総合型選抜説明会
- 進学相談会＆個別相談会
- 入試ガイダンス
- 在学生にきいてみよう
- 保護者向けガイダンス
- キャンパスツアー　ほか

お知らせ

2025年4月、誕生！「工学部 宇宙・半導体工学科」

［機械電子創成工学科から改組予定］　※設置構想中のため、内容が変更になる場合があります

千葉工業大学
CHIBA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼2-17-1
TEL:047-478-0222（入試広報部）
URL https://www.it-chiba.ac.jp

OPEN CAMPUS 2024

新習志野キャンパス

8/3(土)

10:00-15:30
〈入退場自由〉





東京湾を目の前に臨む新習志野キャンパス。
洗練されたデザインの建物と自然に囲まれたアカデミックな
キャンパスは充実した学生生活を過ごせる環境です。
全学部・学科の1・2年次の学生が通うキャンパスで
様々なプログラムを用意してお待ちしております。

- 当日は受付にて各種資料、プログラム等を配布いたします。
- アンケートに答えると、もれなく大学オリジナルグッズを差し上げます。
- 当日は、車でのご来場はご遠慮ください。
- 開催イベントは変更になる場合があります。
- 開催時間などの詳細については、後日、本学 Web サイトなどでご確認ください。

学食無料体験

明るく開放感あふれる学生食堂で、学生に人気の学食メニューを提供します！
一足先に千葉工大生気分を味わおう！

1 学科による学び体験

各学科のカラーを活かした学び体験で、講義や実験・実習をオモシロく体験。優しい先生や、先輩から教育課程や学習内容、研究内容などについて詳しく聞いてみよう。

2 学部学科全体説明会

専門性の高い5学部17学科それぞれの特徴について説明します。興味を持っている分野はどの学科かな？各学科どんな違いがあるのかな?など、皆さんの疑問を解決します。

3 学科別総合型選抜説明会

各学科のカリキュラムや学びの特徴を紹介するとともに、一般選抜でははかれない能力を多面的に評価する総合型選抜についてご説明します。

4 キャンパスツアー

広いキャンパス内を限られた時間内に見て回るのは大変！特徴ある施設や、キャンパス内のおススメスポットを学生スタッフが楽しく案内します（15分程度）。

5 進学相談会＆個別相談会

入試についてはもちろん、学修内容、資格取得や卒業後の進路、就職まで皆さんの疑問を解決します。気になっていることは何でも相談してみよう。

6 新習志野からはじめよう！（千葉工業大学の基礎・教養教育）

基礎をかため、教養を高め、知的好奇心を伸ばし、不安を解消するためのカリキュラムとサポート体制を体験しよう!

7 学生寮見学ツアー

学生寮ってどんな生活をしているの？ 食堂やリラックススペースなど寮生がご案内します。
（所要時間：30分程度）

8 図書館見学

専門書が充実した図書館を開放しています。自由に見学してください。

9 アスレチックジム見学

授業の合間や放課後に利用できるアスレチックジムを見学しよう！

10 チバテクコの部屋（女子高校生相談コーナー）

理工系をめざす女子高校生の皆さんに、本学女子学生が千葉工大の魅力を教えます。直接いろいろな質問ができる絶好のチャンスです!

11 チバニー登場！

公式キャラクター「チバニー」がキャンパスのあちこちに登場します！

12 在学生にきいてみよう

イベント会場内には、千葉工大生がアドバイザーとして参加しています。学びやサークル、そして友だちづくりなど大学生活について、何でも質問してください。

千葉工業大学
CHIBA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2-17-1 TEL:047-478-0222（入試広報部）
https://www.it-chiba.ac.jp

工学部
機械工学科
宇宙・半導体工学科※
先端材料工学科
電気電子工学科
情報通信システム工学科
応用化学科

創造工学部
建築学科
都市環境工学科
デザイン科学科

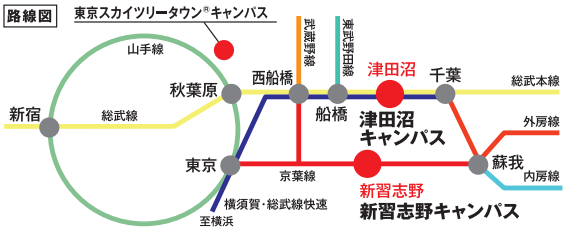
先進工学部
未来ロボティクス学科
生命科学科
知能メディア工学科

情報変革科学部
情報工学科
認知情報科学科
高度応用情報科学科

未来変革科学部
デジタル変革科学科
経営デザイン科学科

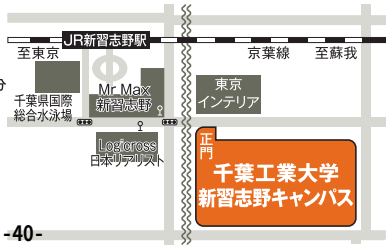
※2025年4月より機械電子創成工学科から改組予定

路線図



新習志野キャンパス

●JR京葉線
新習志野駅南口から徒歩6分
［東京駅から31分］
●JR総武線津田沼駅
南口バスターミナルから
京成バス新習志野駅行
（約15分）で、
「千葉工業大学入口」
下車徒歩3分



来校までに事前予習
CIT MOVIE をチェック!!
右記の▶▶QRコードからアクセスできます

進学相談会・高等学校説明会の具体的計画

月日	曜日	都道府県	高校名／会場名	オンライン	時間	形式	対象学年
4/5	金	静岡県	浜松学芸		15:40～17:10	学校別	3学年
4/6	土	埼玉県	大宮ソニックシティ		10:30～16:00	相談会	
4/9	火	千葉県	秀明八千代			講演会	
4/10	水	埼玉県	叡明		12:30～15:30	入試説明会	3学年
4/10	水	福島県	磐城			講演会	
4/11	木	東京都	新宿NSビル		13:00～17:30(一般開放15:00～17:30)	相談会	
4/11	木	愛知県	名古屋市中小企業会館		16:00～18:30	相談会	
4/15	月	北海道	函館ラ・サール		14:30～17:00	学校別	3学年
4/15	月	茨城県	ホテルレイクビュー水戸		14:00～18:00	相談会	
4/15	月	群馬県	ビエント高崎		14:00～18:30(一般開放14:30～18:30)	相談会	
4/15	月	千葉県	志学館			講演会	
4/16	火	東京都	正則		13:40～16:40	入試説明会	2・3学年
4/16	火	北海道	札幌創成		13:50～17:00	学校別	3学年
4/16	火	千葉県	中央学院/柏の葉カンファレンスセンター		10:10～12:25	学校別	3学年
4/16	火	埼玉県	さいたまスーパーアリーナ		10:00～17:00	相談会	
4/16	火	秋田県	秋田市民交流プラザアルヴェ			資料参加	
4/16	火	熊本県	熊本城ホール			資料参加	
4/16	火	千葉県	成田北			講演会	
4/17	水	京都府	みやこめっせ			資料参加	
4/17	水	兵庫県	アクリエひめじ			資料参加	
4/17	水	福岡県	エルガーラホール			資料参加	
4/17	水	茨城県	水戸 *高大接続			講演会	
4/18	木	千葉県	柏中央		13:55～16:15	学校別	3学年
4/18	木	福島県	いわき産業創造館		14:00～17:00	高大接続研究会	
4/18	木	大阪府	梅田スカイビル		10:00～18:30(一般開放17:00～18:30)	相談会	
4/18	木	宮城県	ゲストハウス気仙沼アーバン			資料参加	
4/18	木	山形県	山形テルサ			資料参加	
4/18	木	静岡県	アクトシティ浜松			資料参加	
4/18	木	福岡県	アジア太平洋インポートマート(AIMビル)			資料参加	
4/19	金	大阪府	OMM/大阪		10:30～18:00(一般開放16:00～181:00)	相談会	
4/19	金	福島県	LATOV/いわき		15:30～18:30	相談会	
4/19	金	鹿児島県	西原商会アリーナ/鹿児島		13:30～18:00(一般開放16:00～18:00)	相談会	
4/19	金	宮城県	古川商工会議所			資料参加	
4/19	金	大分県	コンパルホール			資料参加	
4/20	土	千葉県	二松学舎大学附属柏		9:40～12:30	学校別	3学年
4/20	土	千葉県	志学館			講演会	
4/22	月	福井県	福井県繊協ビル		16:00～18:30	相談会	
4/22	月	長崎県	佐世保市体育文化館		15:30～18:30	相談会	
4/22	月	長野県	キッセイ文化ホール			資料参加	
4/22	月	新潟県	新潟市産業振興センター			資料参加	
4/22	月	山梨県	やまなしプラザ			資料参加	
4/22	月	岩手県	アイーナいわて県民情報交流センター			資料参加	
4/22	月	佐賀県	佐賀市文化会館			資料参加	
4/23	火	埼玉県	草加東		14:00～15:20	系統別	1学年
4/23	火	福島県	郡山ビューホテルアネックス		16:00～19:00	相談会	
4/23	火	千葉県	幕張メッセ		14:30～18:30	相談会	
4/23	火	石川県	金沢駅もてなしドーム		16:00～18:30	相談会	
4/23	火	長崎県	長崎県立総合体育館		16:00～18:30	相談会	
4/23	火	神奈川県	パシフィコ横浜			資料参加	
4/23	火	長野県	ビッグハット			資料参加	
4/23	火	滋賀県	ピアザ淡海			資料参加	
4/23	火	栃木県	ライトキューブ宇都宮			資料参加	
4/24	水	東京都	昭和第一/御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター		12:00～14:45	学校別	3学年
4/24	水	千葉県	千葉黎明		9:45～11:45	学校別	3学年
4/24	水	福島県	コラッセふくしま		16:00～19:00	相談会	
4/24	水	東京都	東京都立産業貿易センター台東館			資料参加	
4/24	水	長崎県	出島メッセ長崎			資料参加	
4/24	水	宮崎県	宮交シティ			資料参加	
4/24	水	静岡県	プラサヴェルデ			資料参加	
4/24	水	北海道	グランドメルキュール札幌大通公園			資料参加	
4/25	木	千葉県	八千代東		13:00～15:15	学校別	3学年
4/25	木	千葉県	君津		14:00～16:20	学校別	3学年
4/25	木	千葉県	船橋啓明		12:50～15:10	学校別	3学年
4/25	木	愛媛県	松山市総合コミュニティセンター		16:00～18:30	相談会	

月日	曜日	都道府県	高校名／会場名	オンライン	時間	形式	対象学年
4/25	木	北海道	旭川地場産業振興センター			資料参加	
4/25	木	青森県	東奥日報新町ビル			資料参加	
4/25	木	宮城県	アエル(AER)中小企業活性化センター			資料参加	
4/25	木	静岡県	ツインメッセ静岡			資料参加	
4/25	木	鹿児島県	城山ホテル鹿児島			資料参加	
4/25	木	埼玉県	大宮ソニックシティ			資料参加	
4/25	木	栃木県	サンプラザ/栃木			資料参加	
4/26	金	宮城県	仙台育英		14:30～17:00	学校別	2・3学年
4/26	金	香川県	高松商工会議所		16:00～18:30	相談会	
4/26	金	福島県	会津若松ワシントンホテル		15:30～18:00	相談会	
4/26	金	岐阜県	じゅうろくプラザ/岐阜			資料参加	
4/26	金	青森県	八戸グランドホテル			資料参加	
4/26	金	群馬県	高崎			講演会	
4/26	金	栃木県	総合文化センター		16:00～18:40	高大接続研究会	
4/30	火	千葉県	成田北			講演会	
5/1	水	沖縄県	沖縄コンベンションセンター			資料参加	
5/8	水	東京都	紅葉川		12:50～15:05	学校別	3学年
5/9	木	千葉県	市川昴		13:00～15:15	学校別	3学年
5/9	木	埼玉県	草加南		13:00～15:20	学校別	3学年
5/9	木	栃木県	作新学院 *情報		9:30～12:10	学校別	3学年
5/9	木	北海道	札幌パークホテル		15:00～18:00	相談会	
5/9	木	岡山県	岡山コンベンションセンター		14:20～19:00(一般開放15:30～19:00)	相談会	
5/9	木	広島県	広島県立広島産業会館			資料参加	
5/9	木	埼玉県	浦和東		12:50～14:20	大学見学	2学年
5/10	金	北海道	札幌創成	●	16:15～17:05	学校別	3学年
5/10	金	千葉県	若松		14:00～16:20	学校別	3学年
5/10	金	青森県	ねぶたの家ワ・ラッセ交流学習室		15:00～18:00	高大接続研究会	
5/10	金	東京都	新宿NSビル(高校教諭対象)		16:00～18:00	相談会	
5/13	月	千葉県	市川東		14:00～16:20	学校別	3学年
5/13	月	千葉県	成田国際		13:55～16:15	学校別	2学年
5/13	月	北海道	アートホテル旭川		15:00～18:00	相談会	
5/14	火	東京都	豊南		10:00～13:00	学校別	3学年
5/15	水	山形県	ホテルメトロポリタン山形		11:45～18:00(一般開放15:00～18:00)	相談会	
5/16	木	千葉県	柏陵		13:00～15:20	学校別	3学年
5/16	木	千葉県	船橋芝山		12:55～15:15	学校別	3学年
5/16	木	福島県	福島 *高大接続			講演会	
5/17	金	栃木県	作新学院		12:50～15:10	学校別	3学年
5/17	金	秋田県	アルヴェ/秋田		15:00～18:00	相談会	
5/17	金	宮城県	仙台 *高大接続			講演会	
5/18	土	静岡県	静岡学園		9:30～13:00	学校別	全学年
5/18	土	茨城県	明秀日立			講演会	
5/19	日	新潟県	朱鷺メッセ/新潟		11:00～16:00	相談会	
5/20	月	埼玉県	春日部共栄/ふれあいキューブ		9:00～12:00	入試説明会	3学年
5/20	月	埼玉県	春日部共栄/ふれあいキューブ		13:00～16:00	入試説明会	2学年
5/20	月	千葉県	松戸(県立)		13:00～15:20	学校別	3学年
5/21	火	青森県	アートホテル弘前シティ		14:00～18:00(一般開放15:00～18:00)	相談会	
5/22	水	千葉県	京葉工業		9:30～11:30	大学見学	3学年
5/22	水	千葉県	印旛明誠		11:30～13:50	学校別	3学年
5/22	水	埼玉県	大宮南		12:55～15:15	学校別	3学年
5/22	水	青森県	アラスカ会館/青森		15:00～18:00	相談会	
5/23	木	東京都	関東第一		12:40～14:30	入試説明会	3学年
5/23	木	千葉県	千葉南		12:00～14:20	系統別	2学年
5/23	木	千葉県	千葉経済大学附属		10:40～12:55	学校別	3学年
5/24	金	神奈川県	横浜清風		12:55～15:40	学校別	2・3学年
5/24	金	北海道	北海学園札幌		8:45～12:15	学校別	2・3学年
5/24	金	北海道	札幌パークホテル		15:00～18:00	相談会	
5/24	金	東京都	東京ドームシティ プリズムホール		13:00～18:00	相談会	
5/24	金	茨城県	水海道第二		12:30～14:00	大学見学	1学年
5/24	金	茨城県	茨城キリスト教学園			講演会	
5/25	土	神奈川県	新都心ホール/横浜		11:30～18:00	相談会	
5/25	土	大阪府	マイドームおおさか			資料参加	
5/25	土	千葉県	佐原白楊			講演会	
5/26	日	静岡県	ツインメッセ静岡		11:00～16:00	相談会	
5/27	月	栃木県	小山西		14:15～16:35	学校別	3学年
5/27	月	千葉県	松戸六実		14:20～16:20	学校別	3学年
5/27	月	沖縄県	琉球新報社・首都圏私立大学進学座談会			座談会	教員

月日	曜日	都道府県	高校名／会場名	ｵﾝﾗｲﾝ	時間	形式	対象学年
5/27	月	長野県	ロジテックアリーナ/伊那			資料参加	
5/28	火	千葉県	習志野(市立)		12:10～15:10	学校別	3学年
5/28	火	東京都	秋葉原		12:00～18:00	高大接続	
5/28	火	埼玉県	ソニックシティ			資料参加	
5/29	水	千葉県	津田沼		13:50～16:10	系統別	1学年
5/29	水	栃木県	コンセーレ		16:00～18:30	相談会	
5/29	水	茨城県	波崎 ~~*昼あり~~		10:15～12:05	大学見学	2学年
5/30	木	千葉県	船橋啓明		12:50～15:10	系統別	2学年
5/30	木	東京都	東京実業		15:10～16:20	学校別	3学年
5/30	木	千葉県	我孫子		12:55～15:15	学校別	2学年
5/30	木	千葉県	東総工業		14:00～15:15	学校別	3学年
5/31	金	千葉県	土気		10:00～11:40	学校別	3学年
5/31	金	愛知県	ウインクあいち		12:30～18:00	相談会	
5/31	金	茨城県	日立シビックセンター			資料参加	
5/31	金	東京都	神田女学園		12:00～15:30	大学見学	全学年
5/31	金	千葉県	柏陵		10:30～12:00	大学見学	2学年
6/1	土	神奈川県	横浜新都心ホール			資料参加	
6/1	土	千葉県	佐倉			講演会	
6/3	月	千葉県	津田沼		13:50～16:10	学校別	3学年
6/3	月	埼玉県	大宮工業		13:00～16:00	分科会	全学年
6/3	月	茨城県	水戸プラザホテル		10:25～17:30(一般開放13:30～17:30)	相談会	
6/5	水	東京都	聖学院		13:00～15:20	入試説明会	3学年
6/5	水	栃木県	マロニエプラザ/宇都宮		14:00～18:30	相談会	
6/5	水	長野県	ビッグハット/長野		14:30～18:30	相談会	
6/5	水	大分県	トキハ会館		14:00～18:30	相談会	
6/5	水	宮崎県	宮崎市総合体育館			資料参加	
6/5	水	愛知県	瑞陵			模擬授業	3学年
6/6	木	千葉県	浦安		13:00～15:20	系統別	2学年
6/6	木	長野県	やまびこドーム/松本		13:45～18:00	相談会	
6/6	木	福岡県	エルガーラホール		14:00～18:30	相談会	
6/6	木	北海道	エルガーラホール		14:00～18:30	相談会	
6/6	木	愛知県	名鉄小牧ホテル			資料参加	
6/6	木	岐阜県	じゅうろくプラザ			資料参加	
6/6	木	青森県	三本木			講演会	
6/7	金	鹿児島県	西原商会アリーナ/鹿児島			資料参加	
6/7	金	三重県	三重県営サンアリーナ			資料参加	
6/7	金	埼玉県	越谷サンシティホール			資料参加	
6/9	日	千葉県	東京ベイ幕張ホール		11:00～16:00	相談会	
6/10	月	沖縄県	昭和薬科大学附属			資料参加	
6/10	水	千葉県	東葉		10:00～12:00	大学見学	2学年
6/10	月	青森県	八戸プラザアーバンホール		15:00～18:00	相談会	
6/10	月	宮崎県	ホテルニューウェルシティ宮崎		14:00～18:30	相談会	
6/10	月	千葉県	四街道北			資料参加	
6/10	月	千葉県	佐倉東			資料参加	
6/11	火	沖縄県	沖縄尚学			資料参加	
6/11	火	千葉県	船橋二和		12:30～14:10	学校別	3学年
6/11	火	福島県	平工業		10:10～12:20	学校別	3学年
6/11	火	千葉県	習志野(市立)		11:15～12:35	分野別	2学年
6/11	火	群馬県	Gメッセ群馬		14:00～18:30	相談会	
6/11	火	静岡県	ツインメッセ静岡		13:00～18:30	相談会	
6/11	火	徳島県	あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)		15:30～18:30	相談会	
6/11	火	神奈川県	相模女子大学グリーンホール			資料参加	
6/12	水	千葉県	松戸南		10:10～16:00	学校別	全学年
6/12	水	埼玉県	浦和学院		15:30～17:25	学校別	全学年
6/12	水	沖縄県	興南			資料参加	
6/12	水	高知県	ザ クラウンパレス新阪急高知		15:30～18:30	相談会	
6/12	水	静岡県	えんてつホール/浜松		14:30～18:30	相談会	
6/12	水	鹿児島県	鹿児島県医師会館		15:00～18:30	相談会	
6/12	水	千葉県	中央学院		10:30～12:00	大学見学	2学年
6/13	木	千葉県	市川工業		10:00～12:20	学校別	3学年
6/13	木	千葉県	京葉工業		14:00～16:00	学校別	2学年
6/13	木	東京都	正則学園		13:00～15:00	学校別	3学年
6/13	木	新潟県	アオーレ長岡			資料参加	
6/14	金	新潟県	新潟市産業復興センター		14:00～18:30	相談会	
6/15	土	静岡県	アクトシティ浜松		13:00～17:00	相談会	
6/16	日	東京都	サンシャインシティ		11:00～16:00	相談会	

月日	曜日	都道府県	高校名／会場名	オンライン	時間	形式	対象学年
6/17	月	静岡県	藤枝明誠		12:00～14:00	入試説明会	2・3学年
6/17	月	静岡県	藤枝明誠		13:50～15:30	系統別	2・3学年
6/17	月	埼玉県	ふれあいキューブコンベンションホール/春日部			資料参加	
6/18	火	静岡県	沼津（市立）		12:50～15:10	学校別	3学年
6/18	火	宮城県	仙台プラザホール		14:00～18:00（一般開放15:00～18:00）	相談会	
6/18	火	富山県	富山県民会館		15:30～18:30	相談会	
6/18	火	千葉県	光英VERITAS		15:30～17:00	講演会	全学年
6/19	水	埼玉県	埼玉栄		15:20～17:00	学校別	全学年
6/19	水	東京都	昭和第一		11:45～14:05	系統別	2学年
6/19	水	北海道	札幌第一		9:55～15:40	学校別	2学年
6/19	水	静岡県	加藤学園		13:50～15:20	学校別	3学年
6/19	水	岩手県	ホテルメトロポリタン盛岡本館		14:45～18:00（一般開放15:00～18:00）	相談会	
6/20	木	埼玉県	越谷西		13:05～15:25	系統別	2学年
6/20	木	福島県	いわき光洋		13:50～16:00	学校別	2・3学年
6/20	木	千葉県	柏井		12:55～15:15	系統別	2学年
6/20	木	北海道	北海		9:50～15:10	学校別	2・3学年
6/20	木	埼玉県	草加東		9:40～11:40	大学見学	2学年
6/20	木	千葉県	茂原北陵		13:30～14:50	大学見学	2学年
6/21	金	北海道	札幌光星		9:00～13:15	学校別	2学年
6/21	金	新潟県	新潟日報社・首都圏私立大学進学座談会		13:30～16:30	座談会	教員
6/21	金	千葉県	ペリエホール		15:00～18:00	相談会	
6/21	金	東京都	新宿山吹		13:10～14:10	模擬授業	全学年
6/22	土	千葉県	つくば開成学園柏校		10:30～12:40	系統別	3学年
6/24	月	神奈川県	横浜隼人		13:10～14:10	系統別	2学年
6/24	月	栃木県	文星芸術大学附属		13:25～15:35	系統別	2学年
6/25	火	東京都	駒込		14:10～16:00	系統別	2学年
6/26	水	静岡県	吉原		14:50～16:10	学校別	2学年
6/27	木	静岡県	城南静岡		12:30～15:00	学校別	全学年
6/27	木	千葉県	船橋（市立）		12:50～15:10	学校別	3学年
6/27	木	茨城県	土浦第三		12:30～14:30	入試説明会	3学年
6/27	木	千葉県	市川昴		13:00～15:15	分野別	2学年
6/27	木	福島県	ビックパレットふくしま／郡山		14:30～18:00	相談会	
6/28	金	北海道	函館講演会・高大接続		12:30～20:00	講演会	
6/28	金	群馬県	ティアラグリーンパレス			資料参加	
6/28	金	茨城県	日立第一			講演会	
6/29	土	茨城県	清真学園			講演会	
7/2	火	千葉県	芝浦工業大学柏		13:10～15:50	分野別	全学年
7/2	火	神奈川県	横浜産貿ホール マリネリア（高校教諭対象）		14:45～17:30	相談会	
7/2	火	沖縄県	沖縄コンベンションセンター		14:00～19:00	相談会	
7/2	火	富山県	ウイング・ウイング高岡			資料参加	
7/3	水	千葉県	八千代松陰		13:00～14:30	学校別	3学年
7/3	水	千葉県	稲毛		14:55～17:10	学校別	2・3学年
7/3	水	沖縄県	沖縄コンベンションセンター		14:00～19:00	相談会	
7/3	水	千葉県	佐原		11:45～14:45	模擬授業	2学年
7/4	木	東京都	関東第一		12:40～14:30	系統別	1学年
7/4	木	東京都	東洋大学京北		12:30～14:30	入試説明会	3学年
7/4	木	東京都	墨田川		12:40～15:30	学校別	1・2学年
7/4	木	茨城県	藤代紫水		15:40～16:30	学校別	全学年
7/4	木	茨城県	水戸市民会館			資料参加	
7/5	金	福岡県	東福岡		12:40～13:55	入試説明会	3学年
7/5	金	大阪府	早稲田摂陵		10:30～12:30	学校別	3学年
7/5	金	埼玉県	昌平	●	13:00～15:00	学校別	3学年
7/5	金	福岡県	西日本新聞社・首都圏私立大学進学座談会			座談会	教員
7/5	金	東京都	新宿NSビル			資料参加	
7/5	金	山梨県	アピオグランドステージ			資料参加	
7/5	金	茨城県	取手第一		14:40～16:00	大学見学	2学年
7/6	土	千葉県	二松学舎大学附属柏		9:40～12:00	系統別	1学年
7/6	土	福岡県	九州産業大学付属九州		8:55～10:25	講演会	2学年
7/6	土	千葉県	木更津高専		12:30～17:00	模擬授業	2学年
7/8	月	埼玉県	獨協埼玉		9:30～11:10	学校別	3学年
7/8	月	群馬県	東京農業大学第二		15:00～17:20	学校別	3学年
7/8	月	山梨県	ベルクラシック甲府		15:30～18:30	相談会	
7/9	火	千葉県	志学館		13:00～15:30	学校別	全学年
7/9	火	東京都	足立		10:15～12:35	学校別	3学年
7/9	火	栃木県	烏山		9:30～11:40	学校別	3学年
7/9	火	栃木県	烏山		13:10～15:20	系統別	2学年

月日	曜日	都道府県	高校名／会場名	オンライン	時間	形式	対象学年
7/9	火	茨城県	水戸第三		13:10～15:40	系統別	1・2学年
7/10	水	東京都	芝浦工業大学附属		12:50～15:20	学校別	3学年
7/10	水	静岡県	御殿場南		13:50～15:40	学校別	2・3学年
7/10	水	鹿児島県	国分		14:30～16:30	学校別	2・3学年
7/10	水	埼玉県	西武学園文理		9:25～11:45	模擬授業	1・2学年
7/10	水	兵庫県	アクリエひめじ			資料参加	
7/11	木	埼玉県	越谷南		12:00～13:20	学校別	3学年
7/11	木	静岡県	常葉大学附属菊川		13:30～15:50	学校別	全学年
7/11	木	群馬県	伊勢崎市文化会館		15:15～18:30	相談会	
7/11	木	奈良県	奈良県コンベンションセンター			資料参加	
7/12	金	千葉県	西武台千葉		9:00～10:10	系統別	1学年
7/12	金	静岡県	伊豆中央		8:30～11:10	系統別	1学年
7/12	金	東京都	新宿山吹		15:00～16:20	学校別	全学年
7/12	金	群馬県	太田女子／太田市民会館		10:55～12:55	入試説明会	3学年
7/12	金	埼玉県	浦和南		9:05～12:10	入試説明会	3学年
7/12	金	千葉県	日体大柏		10:50～11:40	入試説明会	3学年
7/12	金	千葉県	植草学園大学附属		8:30～11:00	学校別	2・3学年
7/12	金	東京都	上野学園		9:00～12:00	入試説明会	全学年
7/13	土	東京都	宝仙学園		11:00～12:40	学校別	3学年
7/13	土	東京都	サンシャインシティ 展示ホールD/池袋			資料参加	
7/14	日	大阪府	グランフロント大阪		11:00～16:00	相談会	
7/16	火	埼玉県	さいたまスーパーアリーナ		10:00～17:00	相談会	
7/16	火	宮城県	仙台国際センター		13:15～18:00	相談会	
7/16	火	東京都	雪谷		10:25～11:35	分野別	2学年
7/16	火	茨城県	つくば国際大学東風 *昼あり		11:00～13:30	大学見学	1・2学年
7/16	火	千葉県	松戸（市立）		10:00～11:30	大学見学	2学年
7/16	火	千葉県	実籾		9:30～10:20	模擬授業	2学年
7/16	火	千葉県	成東		12:30～15:40	模擬授業	2学年
7/16	火	茨城県	霞ヶ浦		13:30～15:00	模擬授業	2学年
7/16	火	千葉県	国府台		8:15～10:35	模擬授業	2学年
7/16	火	埼玉県	叡明		9:00～11:30	模擬授業	1学年
7/17	水	山梨県	富士河口湖		13:55～16:15	学校別	3学年
7/17	水	北海道	帯広大谷		13:15～15:05	学校別	1・2学年
7/17	水	神奈川県	橘学苑		9:00～11:00	分野別	1学年
7/17	水	神奈川県	橘学苑		13:30～16:20	学校別	2学年
7/17	水	東京都	東京実業		8:30～10:40	系統別	2学年
7/17	水	東京都	新宿エルタワー		11:15～16:00	相談会	
7/18	木	東京都	篠崎		9:20～11:40	学校別	3学年
7/18	木	東京都	大江戸		13:00～15:10	分野別	1・2学年
7/18	木	北海道	帯広柏葉		9:45～15:30	学校別	全学年
7/18	木	千葉県	つくば開成 柏 *昼あり		午後	大学見学	1・2学年
7/18	木	愛知県	尾張旭市文化会館			資料参加	
7/19	金	北海道	帯広緑陽		11:00～15:00	学校別	全学年
7/19	金	千葉県	千葉南		11:30～13:30	学校別	3学年
7/19	金	北海道	札幌新陽		15:00～16:20	大学見学	先生2名
7/19	金	東京都	関東第一			大学見学	全学年
7/19	金	東京都	CLARK NEXT Tokyo		午後	大学見学	全学年
7/21	日	宮城県	アエル（仙台市中小企業活性化センター）		13:30～17:00	相談会	
7/22	月	埼玉県	春日部工業		10:00～12:10	大学見学	全学年
7/23	火	静岡県	富士宮北		10:15～11:35	学校別	2学年
7/23	火	千葉県	市原八幡		11:10～12:10	学校別	1学年
7/24	水	神奈川県	STEP予備校 藤沢本部校		13:00～18:00	相談会	
7/24	水	青森県	青森産業会館		10:00～16:00	相談会	
7/29	月	千葉県	大多喜		13:30～14:45	系統別	3学年
7/30	火	鹿児島県	鹿児島第一		13:30～16:00	入試説明会	3学年
7/31	水	鹿児島県	鹿児島第一		13:30～16:00	入試説明会	2学年
7/未定		北海道	札幌			相談会	
7/未定		北海道	旭川			相談会	
8/1	木	千葉県	佐原			講演会	
8/2	金	茨城県	勝田工業		13:00～14:20	模擬授業	全学年
8/8	木	埼玉県	大宮ソニックシティ		午後	高大接続研究会	
8/9	金	新潟県	NINNO		午後	高大接続研究会	
8/21	水	神奈川県	大和		10:10～11:15	模擬授業	全学年
8/23	金	北海道	さっぽろテレビ塔		17:30～20:00	高大接続研究会	
8/24	土	熊本県	壺渓塾 坪井本校		12:00～17:00	相談会	
8/28	水	北海道	帯広北		14:00～15:10	講演会	2学年

月日	曜日	都道府県	高校名／会場名	ｵﾝﾗｲﾝ	時間	形式	対象学年
8/29	木	茨城県	茗渓学園		10:00～10:30	大学見学	中3
8/30	金	北海道	釧路湖陵		9:00～15:10	学校別	全学年
8/30	金	兵庫県	三田市ウッディタウン市民センター			資料参加	
9/6	金	長野県	信濃毎日新聞社・首都圏私立大学進学座談会			座談会	教員
9/10	火	熊本県	熊本城ホール		15:30～18:30	相談会	
9/11	水	青森県	八戸プラザアーバンホール		15:00～18:00	相談会	
9/11	水	長野県	ホテルメトロポリタン長野		14:00～18:30	相談会	
9/11	水	福岡県	ソラリア西鉄ホテル		13:45～18:30	相談会	
9/11	水	岩手県	都南体育館/			資料参加	
9/12	木	長野県	ホテルブエナビスタ/松本		13:55～18:30	相談会	
9/13	金	山形県	山形テルサ		15:00～18:00	相談会	
9/14	土	千葉県	佐倉			講演会	
9/18	水	栃木県	宇都宮北		13:55～16:05	入試説明会	3学年
9/18	水	茨城県	麻生		10:30～12:30	大学見学	2学年
9/20	金	北海道	北海道新聞社・首都圏私立大学進学座談会			座談会	教員
9/20	金	長野県	松本蟻ケ崎			講演会	
9/21	土	宮城県	未定		午後	相談会	
9/23	月	千葉県	東京ベイ幕張ホール		10:00～16:30	相談会	
9/24	火	千葉県	市原中央		13:30～15:50	学校別	3学年
9/24	火	福島県	ホテルハマツ/郡山		15:00～18:00	相談会	
9/25	水	兵庫県	仁川学院		15:45～18:30	学校別	
9/27	金	千葉県	銚子(県立)		13:00～14:30	大学見学	2学年
10/2	水	茨城県	牛久		10:00～12:00(昼あり)	大学見学	1学年
10/4	金	東京都	東洋大学京北		9:30～11:40	入試説明会	2学年
10/5	土	宮城県	宮城野		10:00～11:20	講演会	保護者
10/5	土	北海道	札幌:アスティ45(予定)		午後	相談会	
10/6	日	神奈川県	パシフィコ横浜　展示ホールA		10:00～16:30	相談会	
10/11	金	千葉県	君津		10:00～11:30	PTA	
10/17	土	千葉県	東京学館浦安		15:10～16:55	入試説明会	1・2学年
10/18	金	福岡県	TKPガーデンシティPREMIUM		午後	高大接続研究会	
10/19	土	茨城県	清真学園			講演会	
10/19	土	福岡県	福岡ファッションビル　FFBホール		午後	相談会	
10/20	日	鹿児島県	TKPガーデンシティ鹿児島中央		午後	相談会	
10/22	火	神奈川県	鎌倉プリンスホテル			資料参加	
10/22	火	埼玉県	川口(県立)		10:00～12:15	大学見学	1学年
10/23	水	茨城県	リリーアリーナMITO		14:00～17:00	相談会	
10/24	木	宮崎県	宮崎西		14:10～16:30	大学別	全学年
10/29	火	千葉県	市川東		10:00～11:30	大学見学	1学年
10/31	木	千葉県	匝瑳			講演会	1・2学年
10/31	木	千葉県	船橋二和		14:30～15:45	大学見学	1学年
11/5	火	千葉県	成田北			講演会	
11/8	金	栃木県	佐野			講演会	
11/8	金	千葉県	流山おおたかの森		10:00～12:00	大学見学	1学年
11/8	金	沖縄県	沖縄コンベンションセンター		午後	高大接続研究会	
11/20	水	東京都	共栄学園		12:30～14:40	入試説明会	3学年
11/27	水	群馬県	高崎工業		午後	大学見学	1学年
11/28	木	千葉県	多古		13:25～15:15	大学別	全学年
11/28	木	千葉県	習志野市立習志野第一中学校(本学開催)		9:30～11:00	講演会	中学3年生
12/4	水	富山県	入善　*仮予約		午後から	大学見学	1学年
12/5	木	富山県	桜井		未定	大学見学	2学年
12/8	日	神奈川県	平塚プレジール			資料参加	
12/9	月	大阪府	新大阪丸ビル新館		午後	高大接続研究会	
1/1	水	青森県	八戸グランドホテル			資料参加	
1/25	土	群馬県	東京農業大学第二			講演会	
2/1	土	千葉県	成東			講演会	
3/11	火	神奈川県	横浜新都心ホール		13:00～17:00	相談会	

資料13

2024 年4月吉日

学校長様
進学指導ご担当者様

千葉工業大学
学長　伊藤　穣一

千葉工業大学　令和 7 年度入試説明会のご案内（高校教諭対象）

謹啓　皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
この度、令和 7 年度入学者選抜の実施内容が決定し、本年も入試説明会を開催する運びとなりました。本学の取り組みについてご報告するほか、令和 7 年度入学試験の詳細についてご説明いたしますので、ご多忙の折とは存じますが、ご参加いただければ幸いです。

謹白

記

【日時／会場】

①　6 月 4 日（火）	千葉工業大学　津田沼キャンパス 2 号館 3 階 千葉県習志野市津田沼 2-17-1 （JR津田沼駅南口　徒歩 1 分）
②　6 月 7 日（金） **来場定員：80 名**	千葉工業大学　東京スカイツリータウン®キャンパス 東京都墨田区押上 1-1-2　東京スカイツリータウン 8 階（押上駅B3 出口徒歩 1 分）

＊①・②とも同内容にて開催いたします。
＊当日の内容は後日、動画で限定公開いたします。
　動画の視聴をご希望の場合は6月下旬頃、配信用サイトをお知らせいたします。
＊②のスカイツリータウン会場は、座席数に限りがあるため定員を設けております。
　定員になり次第締め切りとさせていただきますので、ご了承ください。
＊①・②とも、駐車場のご用意はございません。公共交通機関をご利用いただきますようお願いいたします。
＊クールビズを実施しておりますので軽装でお越しください。
＊本説明会は高校教諭対象になります。
**　生徒様のご参加はご遠慮いただきますようお願いいたします。**

【スケジュール】入退場は自由です。ご都合の宜しいお時間にご出席いただければ幸いです。

13:45～	**受付開始**
14:00～15:00	1.個別相談 2.学内見学（津田沼のみ）　（1.2 とも事前予約制）
15:00～17:00	**① 本学の取り組みについて** **② 在学生からみた千葉工業大学** **③ 令和 7 年度入学者選抜について　（適宜休憩が入ります）**
17:00～17:30	1.個別相談 2.学内見学（津田沼のみ）　（1.2 とも事前予約制）

【出欠について】
誠に勝手ながら **5 月 20 日（月）まで**に下記の QR コードもしくはURLよりご回答をお願いいたします。

https://req.qubo.jp/cit/form/nyushisetsumei2024

お問い合せ先：入試広報部（電話 047-478-0222／E-mail cit@it-chiba.ac.jp）　以上

2024年度　宇宙・半導体工学科PR訪問

■目的：①宇宙・半導体工学科の説明
②ニーズ調査依頼
③入試結果、在学生の成績、卒業生の進路の報告
④その他、大学の取り組みや入試計画など（高校の特性による）

■主対象エリア：千葉、東京、茨城、埼玉、神奈川、栃木、その他

■期間（目安）：5月上旬 ～ 5月中旬　※ 宇宙・半導体工学科のパンフレットが5月7日（火）納品
高校からのアンケート返却は5月31日（金）をリミット（発送・集計は栄美通信）

■訪問対象校：シンパ校、実績多数校

■持参物：①宇宙・半導体工学科パンフレット、②アンケート見本

③2024年度入試結果【1部】、④高校別在学生成績順位【1部】、⑤高校別卒業生進路状況【1部】、
⑥大学案内2024【1部】、⑦受験ガイド【1部】、⑧OCチラシ【数部】
※③～⑧は自分のスタイルと高校の状況に合わせて

■訪問校数

	日下部	大橋	高松	目良	海老根	久森	文弥	齋藤	田中	吉田	出水	計
千葉	2			7		7	9	3	1	20	9	58
東京・茨城	1	7			8			4		5		25
栃木・埼玉・神奈川	6		9			5						20
その他												0
計	9	7	9	7	8	12	9	7	1	25	9	103

※栃木担当は高松、埼玉担当は日下部・久森、神奈川担当は久森

2024年度　第1回高校営業実施計画

■目的：①指定校の案内（対象学科、人数枠、指定値など、昨年からの変更点を中心に説明）
指定校の条件（全体枠人数、対象学科、学科別基準指定値）について、高校から要望を受けた場合は即答せず、後日回答する旨伝えてください。事前に指定校細則は昨年との違いを確認してください。
②在学生の成績、卒業生の進路の報告
③学科改編の説明（ニーズ調査に協力してくれた高校にはお礼）
④総合型選抜説明・学校推薦型選抜（公募制）の出願促進（高校の特性によっては控える高校もあり）
⑤その他、大学の取り組みや入試の変更点など（高校の特性による）

■主対象エリア：千葉、東京、埼玉、神奈川、茨城、その他

■期間（目安）：6月下旬 ～ 7月末
※ メールセンターからの発送状況（指定校6月中下旬発送済み）を確認してください
※ 訪問対象校を含む全ての指定校に指定校関連資料を発送します

■訪問対象校：指定校重要校（指定校実績多数校、シンパ校など）

■持参物：①指定校出願資格細則【今年度分、必要あれば昨年度分も】、②指定校募集要項（一般・専門）1部【説明用】
③2024年度入試結果【1部】、④高校別在学生成績順位【1部】、⑤高校別卒業生進路状況【1部】、
⑥新学科パンフレット（時期によってはver2を持っていける？）
⑦大学案内2025【1部】、⑧受験ガイド【1部】、⑨総合型選抜募集要項【数部】 、⑩ＯＣチラシ【数部】、
⑪高校教諭説明会のプレゼン資料　　※⑦～⑪は自分のスタイルと高校の状況に合わせて

«メールセンターから発送する資料»
全対象校：指定校推薦概要、出願資格細則【令和7年度分のみ】、8月ＯＣチラシ、
指定校募集要項の送付に関するアンケート
※募集要項は高校の回答に応じて、郵送またはメールで必要部数をスクールパートナーズから送付

■訪問校数

	日下部	大橋	高松	目良	海老根	久森	文弥	齋藤	田中	山口	吉田	出水	計
千葉			6	16		2	17	5	8		16	16	86
東京・茨城	1	8	5		10	1		9			21	1	56
埼玉・神奈川	16		11			13							40
その他													0
計	17	8	22	16	10	16	17	14	8	0	37	17	182

※埼玉：日下部・久森、神奈川：久森、栃木：高松、静岡：海老根。担当校以外も出張等の機会を活かして営業する

2024年度第2回高校営業実施計画

■目的：①一般選抜出願促進　②年内入試(指定校・総合・学校推薦等)報告　③宇宙・半導体工学科の説明
④一般選抜の展望(模試動向、年内入試の結果を受けて)　⑤在学生の成績状況報告

■対象エリア：千葉、東京、茨城、埼玉、栃木、神奈川、群馬

■期間：11月～12月中旬

■対象校：①過去の入試実績結果から一般選抜出願者が一定数以上いると思われる高校
・R6年度or過去3年間の平均で、一般選抜入学実績が5名以上
・R6年度or過去3年間の平均で、一般選抜実合格実績が20名以上
②今後志願者を増やしたい高校

■持参物：①一般選抜募集要項(部数は高校の状況に応じて)、②大学案内【必要に応じて】、③受験ガイド【必要に応じて】、
④入学試験結果【R7&R6年度】、⑤在学生成績順位、⑥卒業生進路状況【必要に応じて】、⑦入試問題集、⑧赤本、⑨一般選抜難易予測
※その他のものは自分の訪問スタイルに応じて持参。赤本は数に限りがあるので優先順位をつけて。

■訪問校数(予定)：計150校(昨年は159校)

■訪問校数　※現段階では昨年の校数を記載

	日下部	大橋	高松	目良	海老根	岡野	文弥	後関	齋藤	吉田	出水	計
千葉			5	7			13	8	2	13	11	59
東京・茨城		6	2		9				11	21	3	52
栃木・埼玉・神奈川	16		10			10						36
その他					6					6		12
計	16	6	17	7	15	10	13	8	13	40	14	159

※栃木担当は高松、埼玉担当は日下部・海老根、神奈川担当は岡野。担当校以外も出張等の機会を活かして営業する

新設学科等の学生募集のためのPR活動

1. 資料請求者への DM 発送
   大学の最新情報、イベント案内、入試情報などを定期的に配信
   資料 A　DM 送付状参考
2. 大学案内の制作
   資料　大学案内　https://it-chiba.org//catalog/cit_2025annai/#page=1
3. オープンキャンパスの開催
   資料参照
   https://it-chiba.com/event/oc/
4. ウェブサイトの強化
   大学公式本サイトと受験生サイトを構築
   大学公式サイト　https://www.it-chiba.ac.jp/
   受験生サイト　https://it-chiba.com/
5. SNS を利用した広報展開
   Instagram、X、Facebook、TikTok など
   資料 B　X、Facebook
6. 動画コンテンツ作成 学生生活、キャンパスツアー、教授インタビュー、イベント告知などの動画
   https://www.youtube.com/channel/UCtbRLkBNAda9Y3A1767KIAA
7. 高校訪問
8. 進学フェアや教育展への参加 全国の進学フェアや教育展にブースを出展し、直接学生と対話
   https://it-chiba.com/event/soudan/
9. 他

料金後納

ゆうメール

194-0022
東京都町田市森野1-34-10
大学太郎　様

送付元・返送先
UMC　千葉工業大学資料請求係
〒252-0216
神奈川県相模原市中央区清新8-17-44



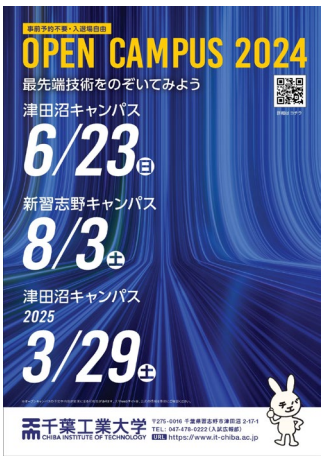
新しい大学案内とオープンキャンパスチラシが完成しましたのでお届けします。



【大学案内】

2025年度入学者向けの大学案内です。

この一冊に千葉工業大学の全てを集約しています！



【OCチラシ】

今年度オープンキャンパスのチラシです。

全日程で予約不要、入退場自由となっています。

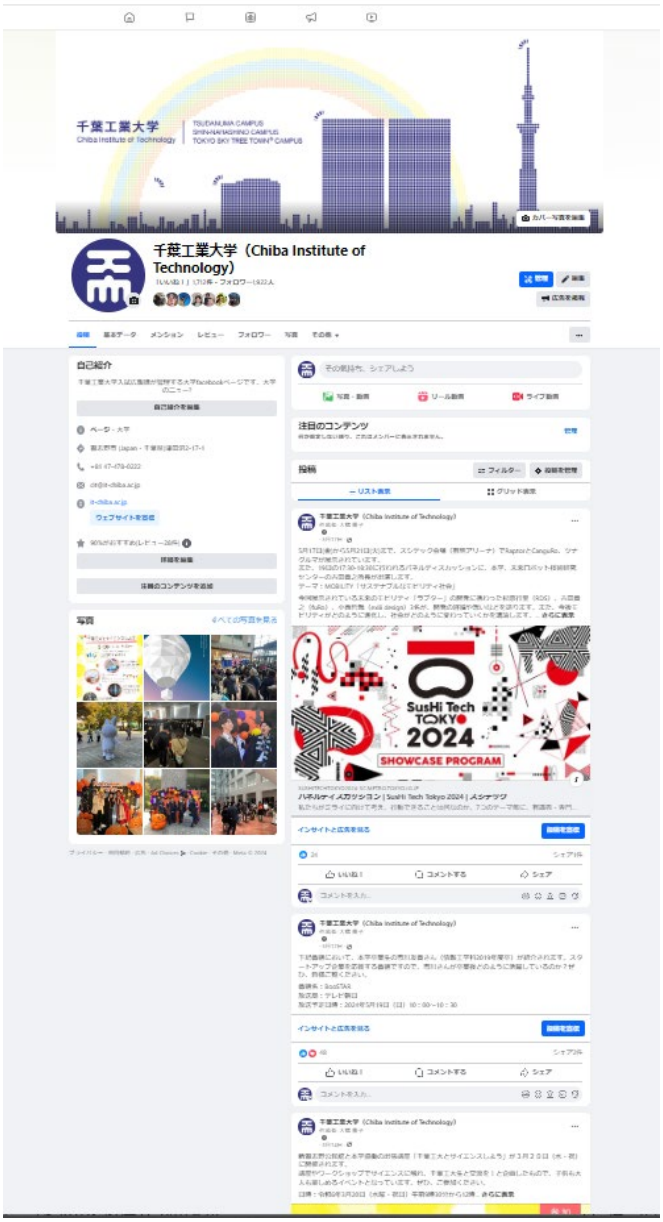
千葉工業大学　入試広報部
〒275-0016　千葉県習志野市津田沼2-17-1
TEL：047-478-0222（直通）　FAX：047-478-3344
E-mail：cit@it-chiba.ac.jp
【WEBサイト】https://www.it-chiba.ac.jp/

Twitterはこちら

千葉工業大学
@chibakoudai_cit
で検索！

※この資料は、電話、インターネット、進学情報誌などから千葉工業大学の資料を請求された方、または進学相談会、高校での説明会などで千葉工業大学の説明を聞いた方にお送りしています。みなさんの個人情報は他に漏れることのないよう厳重に管理し、本学からみなさんへの情報提供およびアンケート以外の目的では使用いたしません。（個人情報を特定しない統計処理に使用する場合があります）
※資料発送の業務は、千葉工業大学より委託を受けた発送会社にて行っています。
※今後、本学の最新情報や入試関連の資料を無料でお届けする予定です。送付を希望されない方、またはお名前、ご住所などに訂正のある方は、お手数ですが入試広報部までご連


twitter.com/chibakoudai_cit
千葉工業大学
990 posts
Home
Explore
Notifications
Messages
Grok
Bookmarks
Communities
Premium
Verified Orgs
Profile
More
Post
Follow
千葉工業大学
@chibakoudai_cit
千葉工業大学公式Xです。大学のイベントやニュースなど、様々な情報を発信していきます。公式キャラクター 【チバニー】【1942年創立】 現存最古の私立工業大学 【5学部17学科】津田沼キャンパス/ 新習志野キャンパス/ 東京スカイツリータウン®キャンパス #千葉工業大学 #千葉工大 #香から千葉工大
Translate bio
千葉 習志野市
it-chiba.ac.jp
Joined May 2018
61 Following
6,892 Followers
Followed by 伊藤穣一 | 千葉工大学長 and henkaku | 変革センター
Posts
Replies
Media
千葉工業大学 @chibakoudai_cit · Jun 23
オープンキャンパス無事に終了しました！
雨の中ありがとうございました！
次回、8月のオープンキャンパスもお待ちしております✨
（スタッフTシャツと今日大活躍のてるてる坊主チバニーを添えて）
大橋麻子
@LBjsrtN7UhwuWTf


千葉工業大学
Chiba Institute of Technology
TSUDANUMA CAMPUS
SHIN-NARASHINO CAMPUS
TOKYO SKY TREE TOWN® CAMPUS
千葉工業大学（Chiba Institute of Technology）
自己紹介
注目のコンテンツ
写真
SusHi Tech TOKYO 2024
SHOWCASE PROGRAM

※2023/9/18時点

令和6年度他大学入試日程比較

日	千葉工大	東京理科	東京電機	芝浦工大	日大理工
1/1(月)					
1/2(火)					
1/3(水)					
1/4(木)					
1/5(金)		A方式(共テ)・B方式・S方式・C方式・グローバル方式出願	共通・一般(前)出願		共通(C1、2期)・N1、2期・A日程出願
1/6(土)				共通・一般(前)出願	
1/7(日)					
1/8(月)					
1/9(火)					
1/10(水)					
1/11(木)			共通(前期)出願締切		
1/12(金)	共通(前期)出願締切	A方式(共テ)出願締切		共通(前期)出願締切	共通(C1期)出願締切
1/13(土)	大学入学共通テスト				
1/14(日)	大学入学共通テスト				
1/15(月)					
1/16(火)					
1/17(水)					
1/18(木)					
1/19(金)		B方式・S方式・グローバル方式出願締切	一般(前)出願締切	一般(前)出願締切	N1期日程出願締切
1/20(土)					
1/21(日)					
1/22(月)					
1/23(火)					
1/24(水)					
1/25(木)					
1/26(金)					
1/27(土)					
1/28(日)					
1/29(月)					
1/30(火)					
1/31(水)	A・SA日程出願締切				
2/1(木)	A・SA日程		一般(前)	一般(前)	N1期日程、A日程出願締切
2/2(金)	A・SA日程	B方式(経営学部)	一般(前)	一般(前)	
2/3(土)	A・SA日程	B方式(総域理工学部) S方式(総域理工学部)	一般(前)	一般(前)	
2/4(日)	A・SA日程	B方式(先進工学部)	一般(前)	全学統一	
2/5(月)		B方式(理学部)	一般(前)	共通・一般(後)出願	
2/6(火)	B・SB・共通(中期)出願開始	B方式(総域理工学部) S方式(総域理工学部)			
2/7(水)		B方式(薬学部)			
2/8(木)		B方式(工学部)			
2/9(金)	A日程・SA・共通(前期)合格発表	C方式出願締切	一般(後)出願開始		
2/10(土)					
2/11(日)					A日程
2/12(月)			共通(前)・一般(前)合格発表		
2/13(火)					N1期日程合格発表
2/14(水)		A方式(共テ)合格発表		一般・共通(前)・全学統一合格発表	
2/15(木)				共通・一般(後)出願締切	
2/16(金)	A・SA・共通(前)入学金締切 B・SB・共通(中期)出願締切		共通(後)出願		共通(C1期)合格発表
2/17(土)	B・SB日程入試				
2/18(日)	B・SB日程入試	C方式・グローバル方式			
2/19(月)		A方式(共テ)入学締切(1次)			
2/20(火)	C・共通(後期)出願開始		共・一般(前)入学金手続締切 一般(後)出願締切	共通・一般(前)入学金手続締切	A日程合格発表、N1期日程手続締切
2/21(水)		B方式(経営学部・先進工学部) 合格発表		一般(後)入試	
2/22(木)	B・SB・共通(中期)合格発表	B方式(創域理工)・S方式合格発表			
2/23(金)		B方式(理学部・薬学部)合格発表			N2期日程出願締切
2/24(土)		B方式(工学部)合格発表			
2/25(日)					
2/26(月)					
2/27(火)					
2/28(水)		B方式(経営・総域理工・先進工学)・S方式入学締切(1次)	一般(後)		共通(C1期)、A日程手続締切
2/29(木)		B方式(理学・薬学・工学部) 入学締切(1次)	一般(後)		
3/1(金)	B・SB・共通(中期)入学金締切	C方式・グローバル方式合格発表		共通・一般(後)合格発表	
3/2(土)					
3/3(日)					
3/4(月)	C・共通(後期)出願締切				N2期日程
3/5(火)	C日程	C方式・グローバル方式 入学締切(1次)			
3/6(水)					共通(C2期)出願締切
3/7(木)			共・一般(前)手続最終 一般(後)合格発表 共(後)出願締切	共通・一般(後)入学金手続締切	
3/8(金)	C・共通(後期)合格発表				
3/9(土)					
3/10(日)					
3/11(月)		全方式入学締切(2次)			
3/12(火)					
3/13(水)					
3/14(木)	共通・一般最終手続締切		一般(後)入学金手続締切	共通・一般(前)手続締切	N2期日程合格発表
3/15(金)					
3/16(土)					
3/17(日)					
3/18(月)			共(後)合格発表		
3/19(火)					共通(C2期)合格発表
3/20(水)					
3/21(木)					N2期日程手続締切
3/22(金)				共通・一般(後)手続締切	
3/23(土)					
3/24(日)					
3/25(月)	共通・一般延納手続締切	延納締切	手続最終締切		手続最終
3/26(火)					
3/27(水)					
3/28(木)					
3/29(金)					
3/30(土)					

大学／学部／学科	入学定員	所在地	偏差値	学生納付金	取得できる主な資格	主な奨学制度	就職支援
千葉工業大学 工学部 宇宙・半導体工学科	110 人	千葉県	－	1,674,500 円	－	千葉工業大学の奨学金 日本学生支援機構奨学金 高等教育の修学支援新制度 各種団体奨学金 など	実社会で役立つ能力を養う「キャリア形成支援」と就職活動の現状に即した「就職活動支援」を実施
東京理科大学 創域理工学部 機械航空宇宙工学科	130 人	千葉県	60.0	1,802,740 円	－	東京理科大学の独自奨学金 東京理科大学維持会等冠奨学金 高等教育の修学支援新制度 日本学生支援機構奨学金 など	キャリアセンターによる入学直後から卒業までの多彩なキャリア形成プログラムを実施
日本大学 理工学部 航空宇宙工学科	120 人	千葉県	45.0	1,770,000 円	技術士・技術士補 航空整備士 航空特殊無線技士 陸上特殊無線技士 など	日本大学独自の奨学金制度 日本学生支援機構奨学金 各種団体奨学金 など	低学年に対するキャリア形成支援と高学年に対する様々な就職支援により学生の就職をサポート
芝浦工業大学 システム理工学部 電子情報システム工学科	115 人	埼玉県	55.0	1,795,020 円	高等学校教諭（情報）一種	芝浦工業大学独自の奨学金 日本学生支援機構奨学金 高等教育の修学支援新制度 各種団体奨学金 など	入学時から将来を見据え、学生一人ひとりの仕事観を育成し、学びの指針となるように支援
東京電機大学 工学部 電子システム工学科	90 人	東京都	45.0	1,672,160 円	陸上無線技術士 第一級陸上特殊無線技士 第三級海上特殊無線技士 電気通信主任技術者 など	東京電機大学独自奨学金 日本学生支援機構奨学金 各種団体奨学金 など	入学後からキャリアガイダンスを実施し、早い段階から自分の未来を考えるための支援を実施

※各大学のホームページ等を参照（偏差値は河合塾発行のガイドライン（2023 年 12 月号）から募集人員が最大である試験種について記載）

大学／学部／学科	教育内容等
千葉工業大学 工学部 宇宙・半導体工学科	先進的な宇宙機、半導体デバイス、メカトロニクス機器の開発製造に必要となる機械・電子技術に関する基本原理、基本構造と基盤技術及び機械・電気電子関連の工業製品を実際に開発する能力の習得を目的とした教育内容
東京理科大学 創域理工学部 機械航空宇宙工学科	機械・航空・宇宙の技術に関わるあらゆる問題に対し、その本質を把握、解決する道筋を自分で考え出すことのでき、機械力学・材料力学・流体力学・熱力学に関する十分な基礎力に加え、産業界のあらゆる分野で活躍できる応用力を身に付ける教育内容
日本大学 理工学部 航空宇宙工学科	航空宇宙工学を学ぶ上で重要となる工業力学、材料力学、流体力学、熱力学を中心に、さまざまな専門科目と実技を活用した多用な実験・実習を通じて航空宇宙工学を総合的に学ぶ教育内容
芝浦工業大学 システム理工学部 電子情報システム工学科	グローバルな高度情報社会をつくるために必要なシステムとイノベーションを発想できる技術者を目指して、ソフトウェア、メディア・ネットワーク、ハードウェアなどの幅広い分野を学ぶ教育内容
東京電機大学 工学部 電子システム工学科	スマートフォン、パソコン、LED 照明など、身近な製品の基礎となる電子・光・情報に関する技術を身につけた人材の育成を目的として、製品を企画立案し、開発のリーダーとして活躍できる基礎から応用までの幅広い知識・技術、調査能力や国際感覚を養成する教育内容

※各大学のホームページ等を参照

競合校の志願者数等の状況

【宇宙・半導体工学科との競合】

大学／学部・学科	年度	入学定員	志願者数 ※1	合格者数 ※1	入学者数 ※2	定員充足率 ※3
東京理科大学	令和4年度 ※4	120	2,392	739	125	104.17%
創域理工学部	令和5年度	130	1,957	727	121	93.08%
機械航空宇宙工学科 ※4	令和6年度	130	1,862	692	118 ※2	90.77%
3年間平均		127	2,070	719	121	95.28%
日本大学	令和4年度	120	805	413	117	97.50%
理工学部	令和5年度	120	1,138	494	119	99.17%
航空宇宙工学科	令和6年度	120	818	415	127 ※2	105.83%
3年間平均		120	920	441	121	100.83%
芝浦工業大学	令和4年度	115	2,502	564	110	95.65%
システム理工学部	令和5年度	115	2,055	424	120	104.35%
電子情報システム学科	令和6年度	115	1,975	450	110 ※2	95.65%
3年間平均		115	2,177	479	113	98.26%
東京電機大学	令和4年度	90	1,377 ※5	300 ※5	107	118.89%
工学部	令和5年度	90	1,347 ※5	348 ※5	98	108.89%
電子システム工学科	令和6年度	90	2,088 ※5	377 ※5	99	110.00%
3年間平均		90	1,604 ※5	342	101	112.22%

原則、各大学のwebサイトにて公表されている情報を参照

※1 志願者数、合格者数は一般選抜・大学入学共通テスト利用入試の集計値。但し、日本大学の令和4年度及び5年度の志願者数、合格者数、東京電機大学の令和4年度の志願者数、合格者数はwebサイトに公表されていなかったため、代々木ゼミナールの入試情報ページを参照

※2 東京理科大学、日本大学、芝浦工業大学の令和6年度の入学者数はwebサイトに公表されていなかったため、担当者にヒアリング

※3 定員充足率は少数点第三位を四捨五入

※4 令和4年度までは理工学部機械工学科

※5 大学入学共通テスト利用選抜（後期）は学部単位で募集

競合が想定される私立大学の学生納付金

大学／学部・学科	入学金	授業料等	合計
千葉工業大学 工学部 宇宙・半導体工学科	250,000 円	1,424,500 円	1,674,500 円
東京理科大学 創域理工学部 機械航空宇宙工学科	300,000 円	1,502,740 円	1,802,740 円
日本大学 理工学部 航空宇宙工学科	260,000 円	1,510,000 円	1,770,000 円
芝浦工業大学 システム理工学部 電子情報システム工学科	280,000 円	1,515,020 円	1,795,020 円
東京電機大学 工学部 電子システム工学科	250,000 円	1,422,160 円	1,672,160 円

【調査結果概要】

＜千葉工業大学に関する質問事項＞

７．クロス集計

【高等学校３年生】

「調査対象者に関する質問事項」の「学年」で「３年生」と回答した回答者数6,361人のうち、Q2で高校卒業後の進路を「大学」、Q３で志望する大学等の種類を「私立」、Q４で高校卒業後に学びたい学問分野を「機械工学・電気通信工学・航空工学」、Q５で「宇宙・半導体工学科の受験を第一志望として受験する」と回答し、Q６で「宇宙・半導体工学科へ入学する」と回答した者は139人となっている。

【高等学校２年生】

「調査対象者に関する質問事項」の「学年」で「２年生」と回答した回答者数6,901人のうち、Q2で高校卒業後の進路を「大学」、Q３で志望する大学等の種類を「私立」、Q４で高校卒業後に学びたい学問分野を「機械工学・電気通信工学・航空工学」、Q５で「宇宙・半導体工学科の受験を第一志望として受験する」と回答し、Q６で「宇宙・半導体工学科へ入学する」と回答した者は116人となっている。

【高等学校３年生】

宇宙･半導体工学科への入学希望 －クロス集計－

Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	件数/人
②３年生	①大学	③私立	①機械工学 ②電気通信工学 ③航空工学	①第一志望として受験する	①1 入学する	139
②３年生	①大学	③私立	①機械工学 ②電気通信工学 ③航空工学	②第二志望として受験する	①1 入学する	27
②３年生	①大学	③私立	①機械工学 ②電気通信工学 ③航空工学	③第三志望以降として受験する	①1 入学する	19
②３年生	①大学	③私立	①機械工学 ②電気通信工学 ③航空工学	①第一志望として受験する ②第二志望として受験する ③第三志望以降として受験する	①1 入学する	185

【高等学校２年生】

宇宙･半導体工学科への入学希望 －クロス集計－

Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	件数/人
①２年生	①大学	③私立	①機械工学 ②電気通信工学 ③航空工学	①第一志望として受験する	①1 入学する	116
①２年生	①大学	③私立	①機械工学 ②電気通信工学 ③航空工学	②第二志望として受験する	①1 入学する	27
①２年生	①大学	③私立	①機械工学 ②電気通信工学 ③航空工学	③第三志望以降として受験する	①1 入学する	19
①２年生	①大学	③私立	①機械工学 ②電気通信工学 ③航空工学	①第一志望として受験する ②第二志望として受験する ③第三志望以降として受験する	①1 入学する	162

【調査結果概要】

＜千葉工業大学に関する質問事項＞

３．宇宙・半導体工学科で養成する人材の必要性

千葉工業大学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等に対して、宇宙・半導体工学科で養成する人材の必要性について質問したところ、回答件数144件のうち、135件（93.8%）が「必要性を感じる」と回答していることから、千葉工業大学の工学部宇宙・半導体工学科で養成する人材の必要性の高さをうかがうことができる。

問３　千葉工業大学の工学部　宇宙・半導体工学科で養成する人材について、どのようにお考えになりますか。（１つだけ）

（上段：件、下段：%）

	n	養成する人材に必要性を感じる	養成する人材に必要性を感じない
全体	144	135	9
	100.0	**93.8**	**6.3**

【調査結果概要】

＜千葉工業大学に関する質問事項＞

４．宇宙・半導体工学科で学んだ卒業生の採用

千葉工業大学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等に対して、宇宙・半導体工学科で学んだ卒業生の採用について質問したところ、回答件数144件のうち、133件（92.4%）が「採用したいと思う」と回答しており、千葉工業大学工学部宇宙・半導体工学科で学んだ卒業生への採用に積極的な意向を示している。

問４　千葉工業大学工学部　宇宙・半導体工学科で学んだ卒業生の採用について、どのようにお考えになりますか。（１つだけ）

（上段：件、下段：%）

	n	卒業生を採用したいと思う	卒業生を採用したいと思わない
全体	144	133	11
	100.0	**92.4**	**7.6**

【調査結果概要】

＜千葉工業大学に関する質問事項＞

５．宇宙・半導工体学科で学んだ卒業生の採用人数

問４で、宇宙・半導工体学科で学んだ卒業生を「採用したいと思う」と回答した民間企業等133件のうち、単年度当りの卒業生の採用人数を「１人」と回答したのは29件（21.8%）、「２人」と回答したのは9件（6.8%）、「３人以上」と回答したのは12件（9.0%）、「人数は未定」と回答したのは83件（62.4%）となっている。

なお、「採用人数３人以上」と回答した採用人数を「３人」とし、「人数は未定」と回答した採用人数を「１人」として採用人数を合計すると166人となり、これらの採用人数からも千葉工業大学工学部宇宙・半導工体学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

このような千葉工業大学への求人実績や卒業生の採用実績がある一部の民間企業等に限定した調査結果においても、千葉工業大学工学部宇宙・半導工体学科で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえることから、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。

問５　千葉工業大学工学部　宇宙・半導工体学科で学んだ卒業生を採用する場合の単年度当りの採用人数の見込みについて、どのようにお考えになりますか。（１つだけ）

回答者条件:問4で「1.卒業生を採用したいと思う」と回答した方

（上段：件、下段：%）

	n	１人	２人	３人以上	人数は未定
全体	133	29	9	12	83
	100.0	**21.8**	**6.8**	**9.0**	**62.4**

問４×問５ 卒業生の採用×卒業生の採用人数

	件数／件	全体／人
採用したいと思う×採用人数	29	29
採用したいと思う×採用人数２人	9	18
採用したいと思う×採用人数３人以上	12	36
採用したいと思う×採用人数数は未定	83	83
合計	133	166

日本リサーチセンター
Member of WIN and Gallup International Association

千葉工業大学工学部
宇宙・半導体工学科（仮称）
進学需要等に関するアンケート調査
結果報告書

2024年6月

株式会社日本リサーチセンター

【調査結果概要】

＜調査対象＞

千葉工業大学では、2025年4月より、宇宙・半導体工学科の設置を計画しており、この宇宙・半導体工学科の設置計画を策定するにあたり、学生確保の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、千葉工業大学への受験実績や進学実績がある高等学校の在校生を対象とした進学需要等に関するアンケート調査を実施した。

１．調査対象

依頼件数：78校

２．調査方法

高等学校単位での一括配布、一括回収

３．調査実施

2024年5～6月

４．調査件数

回答件数： 13,262件 （高等学校３年生：6,361件、高等学校２年生：6,901件）

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

＜調査対象者に関する質問事項＞

１．学年

千葉工業大学への受験実績や進学実績がある高等学校に在校している２～３年生に、学年について質問したところ、回答者数13,262 人のうち、6,361人（48.0%）が「3年生」と回答しており、6,901人（52.0%）が「2年生」と回答している。

【高等学校２～３年生】

Q1. ご回答にあたり、あなたの学年を次の中から、１つだけ選んでください。（１つだけ）

（上段：人、下段：%）

	n	２年生	３年生	無回答
全体	13,262	6,901	6,361	0
	100.0	**52.0**	**48.0**	**-**

【調査結果概要】

＜大学進学全般に関する質問事項＞

２．高校卒業後の進路

【高等学校３年生】

千葉工業大学への受験実績や進学実績がある高等学校に在校している３年生に、高校卒業後の進路について質問したところ、回答者数6,361人のうち、5,551人（87.3%）が「大学」と回答している。

【高等学校２年生】

千葉工業大学への受験実績や進学実績がある高等学校に在校している２年生に、高校卒業後の進路について質問したところ、回答者数6,901人のうち、6,150人（89.1%）が「大学」と回答している。

【高等学校３年生】

Q2. あなたは、高校卒業後、どのような進路をお考えですか。（いくつでも）

（上段：人、下段：%）

	n	大学	短期大学	専門職大学	専門職短期大学	専門学校	就職	その他	無回答
全体	6,361	5,551	94	129	24	692	285	35	12
	100.0	**87.3**	**1.5**	**2.0**	**0.4**	**10.9**	**4.5**	**0.6**	**0.2**

【高等学校２年生】

Q2. あなたは、高校卒業後、どのような進路をお考えですか。（いくつでも）

（上段：人、下段：%）

	n	大学	短期大学	専門職大学	専門職短期大学	専門学校	就職	その他	無回答
全体	6,901	6,150	249	255	40	1,011	406	84	8
	100.0	**89.1**	**3.6**	**3.7**	**0.6**	**14.7**	**5.9**	**1.2**	**0.1**

【調査結果概要】

＜大学進学全般に関する質問事項＞

３．志望する大学等の種類

【高等学校３年生】

千葉工業大学への受験実績や進学実績がある高等学校に在校している３年生に、進学を志望する大学等の種類について質問したところ、回答者数5,651人のうち、4,203人（74.4%）が「私立」と回答している。

【高等学校２年生】

千葉工業大学への受験実績や進学実績がある高等学校に在校している２年生に、進学を志望する大学等の種類について質問したところ、回答者数6,251人のうち、4,314人（69.0%）が「私立」と回答している。

【高等学校３年生】

Q3. あなたが進学を志望する大学等の種類をお選びください。（いくつでも）

回答者条件:Q2で「1～4.高校卒業後に大学等に進学希望の方」

（上段：人、下段：%）

	n	国立	公立	私立	無回答
全体	5,651	1,923	1,037	4,203	38
	100.0	**34.0**	**18.4**	**74.4**	**0.7**

【高等学校２年生】

Q3. あなたが進学を志望する大学等の種類をお選びください。（いくつでも）

回答者条件:Q2で「1～4.高校卒業後に大学等に進学希望の方」

（上段：人、下段：%）

	n	国立	公立	私立	無回答
全体	6,251	3,131	2,337	4,314	43
	100.0	**50.1**	**37.4**	**69.0**	**0.7**

【調査結果概要】

＜大学進学全般に関する質問事項＞

４．高校卒業後に学びたい学問分野

【高等学校３年生】

千葉工業大学への受験実績や進学実績がある高等学校に在校している３年生に、高等学校卒業後に進学をする場合、どの分野を希望するかについて質問したところ、大学進学を希望している5,551人のうち、1,488人（26.8%）が「機械工学」、1,401人（25.2%）が「電気通信工学」、543人（9.8%）が「航空工学」と回答している。

【高等学校２年生】

千葉工業大学への受験実績や進学実績がある高等学校に在校している２年生に、高等学校卒業後に進学をする場合、どの分野を希望するかについて質問したところ、大学進学を希望している6,150人のうち、1,340人（21.8%）が「機械工学」、1,250人（20.3%）が「電気通信工学」、461人（7.5%）が「航空工学」と回答している。

【高等学校３年生】

Q4. 高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。現時点で進学を考えていない方も、進学する場合を想定してお答えください。（３つ選択）

（上段：人、下段：%）

	n	機械工学（機械宇宙学等）	電気通信工学（宇宙通信工学・半導体工学等）	航空工学（航空宇宙学等）	土木建築工学	理学（数学・物理学・化学等）	農学（農芸化学等）	文学・史学・哲学	法学・政治学	商学・経済学	社会学	医学・歯学・薬学	看護学	家政学（食物・住居等）	教育学（小学校・幼稚園等）	美術・音楽等	その他	わからない／特になし	無回答
全体	6,361	1,622	1,500	599	735	1,635	598	420	365	847	353	1,193	805	332	755	503	946	221	45
	100.0	**25.5**	**23.6**	**9.4**	**11.6**	**25.7**	**9.4**	**6.6**	**5.7**	**13.3**	**5.5**	**18.8**	**12.7**	**5.2**	**11.9**	**7.9**	**14.9**	**3.5**	**0.7**
大学進学希望者	5,551	1,488	1,401	543	670	1,582	555	377	319	768	327	1,083	670	264	664	378	747	141	11
	100.0	**26.8**	**25.2**	**9.8**	**12.1**	**28.5**	**10.0**	**6.8**	**5.7**	**13.8**	**5.9**	**19.5**	**12.1**	**4.8**	**12.0**	**6.8**	**13.5**	**2.5**	**0.2**

【高等学校２年生】

Q4. 高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。現時点で進学を考えていない方も、進学する場合を想定してお答えください。（３つ選択）

（上段：人、下段：%）

	n	機械工学（機械宇宙学等）	電気通信工学（宇宙通信工学・半導体工学等）	航空工学（航空宇宙学等）	土木建築工学	理学（数学・物理学・化学等）	農学（農芸化学等）	文学・史学・哲学	法学・政治学	商学・経済学	社会学	医学・歯学・薬学	看護学	家政学（食物・住居等）	教育学（小学校・幼稚園等）	美術・音楽等	その他	わからない／特になし	無回答
全体	6,901	1,459	1,354	508	681	1,913	549	805	661	1,152	593	1,586	1,043	394	1,081	699	892	426	25
	100.0	**21.1**	**19.6**	**7.4**	**9.9**	**27.7**	**8.0**	**11.7**	**9.6**	**16.7**	**8.6**	**23.0**	**15.1**	**5.7**	**15.7**	**10.1**	**12.9**	**6.2**	**0.4**
大学進学希望者	6,150	1,340	1,250	461	610	1,859	509	744	618	1,072	555	1,487	923	332	980	543	705	335	8
	100.0	**21.8**	**20.3**	**7.5**	**9.9**	**30.2**	**8.3**	**12.1**	**10.0**	**17.4**	**9.0**	**24.2**	**15.0**	**5.4**	**15.9**	**8.8**	**11.5**	**5.4**	**0.1**

【調査結果概要】

＜千葉工業大学に関する質問事項＞

５．宇宙・半導体工学科の受験希望

【高等学校３年生】

千葉工業大学への受験実績や進学実績がある高等学校に在校している３年生に、宇宙・半導体工学科が設置された場合の受験希望について質問したところ、回答者数6,361人のうち、877人（13.8%）が「受験する」と回答している。第一志望として受験すると回答したのは180人（2.8%）、第二志望として受験すると回答したのは107人（1.7%）、第三志望以降として受験すると回答したのは590人（9.3%）である。

また、私立大学進学希望者で「機械工学」「電気通信工学」「航空工学」に興味のある回答者1,374人に限定すると、537人（39.1%）が「受験する」と回答している。

【高等学校２年生】

千葉工業大学への受験実績や進学実績がある高等学校に在校している２年生に、宇宙・半導体工学科が設置された場合の受験希望について質問したところ、回答者数6,901人のうち、1,057人（15.3%）が「受験する」と回答している。第一志望として受験すると回答したのは140人（2.0%）、第二志望として受験すると回答したのは156人（2.3%）、第三志望以降として受験すると回答したのは761人（11.0%）である。

また、私立大学進学希望者で「機械工学」「電気通信工学」「航空工学」に興味のある回答者1,168人に限定すると、504人（43.2%）が「受験する」と回答している。

【高等学校３年生】

Q5. 千葉工業大学工学部「宇宙・半導体工学科(仮称)」が開設された場合、あなたは受験を希望しますか。（１つだけ）

（上段：人、下段：%）

		n	第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望以降として受験する	受験しない	無回答	受験する・計
全体		6,361	180	107	590	5,484	0	877
		100.0	**2.8**	**1.7**	**9.3**	**86.2**	**-**	**13.8**
進路志望別	大学進学希望者	5,551	169	102	580	4,700	0	851
		100.0	**3.0**	**1.8**	**10.4**	**84.7**	**-**	**15.3**
	大学進学希望者で「私立」を志望	4,137	151	79	421	3,486	0	651
		100.0	**3.6**	**1.9**	**10.2**	**84.3**	**-**	**15.7**
	私立大学進学希望者で「機械工学」「電気通信工学」「航空工学」に興味	1,374	144	73	320	837	0	537
		100.0	**10.5**	**5.3**	**23.3**	**60.9**	**-**	**39.1**

【高等学校２年生】

Q5. 千葉工業大学工学部「宇宙・半導体工学科(仮称)」が開設された場合、あなたは受験を希望しますか。（１つだけ）

（上段：人、下段：%）

		n	第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望以降として受験する	受験しない	無回答	受験する・計
全体		6,901	140	156	761	5,844	0	1,057
		100.0	**2.0**	**2.3**	**11.0**	**84.7**	**-**	**15.3**
進路志望別	大学進学希望者	6,150	133	150	740	5,127	0	1,023
		100.0	**2.2**	**2.4**	**12.0**	**83.4**	**-**	**16.6**
	大学進学希望者で「私立」を志望	4,246	128	101	464	3,553	0	693
		100.0	**3.0**	**2.4**	**10.9**	**83.7**	**-**	**16.3**
	私立大学進学希望者で「機械工学」「電気通信工学」「航空工学」に興味	1,168	120	75	309	664	0	504
		100.0	**10.3**	**6.4**	**26.5**	**56.8**	**-**	**43.2**

【調査結果概要】

＜千葉工業大学に関する質問事項＞

６．宇宙･半導体工学科への入学希望

【高等学校３年生】

千葉工業大学への受験実績や進学実績がある高等学校に在校している３年生に、宇宙･半導体工学科に合格した場合の入学希望について質問したところ、宇宙･半導体工学科を受験希望のある回答者数877人のうち、816人（93.0%）が「入学する」と回答している。また、私立大学の機械工学･電気通信工学･航空工学に興味者で「宇宙･半導体工学科」を受験希望のある回答者537人に限定すると、515人（95.9%）が「入学する」と回答している。

【高等学校２年生】

千葉工業大学への受験実績や進学実績がある高等学校に在校している２年生に、宇宙･半導体工学科に合格した場合の入学希望について質問したところ、宇宙･半導体工学科を受験希望のある回答者数1,057人のうち、997人（94.3%）が「入学する」と回答している。また、私立大学の機械工学･電気通信工学･航空工学に興味者で「宇宙･半導体工学科」を受験希望のある回答者504人に限定すると、485人（96.2%）が「入学する」と回答している。

【高等学校３年生】

Q6. 千葉工業大学工学部「宇宙･半導体工学科(仮称)」を受験して合格した場合、あなたは入学を希望しますか。（１つだけ）
回答者条件:Q5で「1～3.宇宙･半導体工学科を受験したい方」

（上段：人、下段：%）

		n	入学する	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	入学しない	無回答	入学する･計
全体		877	247	569	61	0	816
		100.0	**28.2**	**64.9**	**7.0**	**0.0**	**93.0**
進路志望別	私立大学の機械工学･電気通信工学･航空工学に興味者で「宇宙･半導体工学科」を受験希望	537	185	330	22	0	515
		100.0	**34.5**	**61.5**	**4.1**	**0.0**	**95.9**

【高等学校２年生】

Q6. 千葉工業大学工学部「宇宙･半導体工学科(仮称)」を受験して合格した場合、あなたは入学を希望しますか。（１つだけ）
回答者条件:Q5で「1～3.宇宙･半導体工学科を受験したい方」

（上段：人、下段：%）

		n	入学する	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	入学しない	無回答	入学する･計
全体		1,057	210	787	60	0	997
		100.0	**19.9**	**74.5**	**5.7**	**-**	**94.3**
進路志望別	私立大学の機械工学･電気通信工学･航空工学に興味者で「宇宙･半導体工学科」を受験希望	504	162	323	19	0	485
		100.0	**32.1**	**64.1**	**3.8**	**-**	**96.2**

【調査結果概要】

＜千葉工業大学に関する質問事項＞

７．クロス集計

【高等学校３年生】

「調査対象者に関する質問事項」の「学年」で「３年生」と回答した回答者数6,361人のうち、Q2で高校卒業後の進路を「大学」、Q３で志望する大学等の種類を「私立」、Q４で高校卒業後に学びたい学問分野を「機械工学・電気通信工学・航空工学」、Q５で「宇宙・半導体工学科の受験を第一志望として受験する」と回答し、Q６で「宇宙・半導体工学科へ入学する」と回答した者は139人となっている。

【高等学校２年生】

「調査対象者に関する質問事項」の「学年」で「２年生」と回答した回答者数6,901人のうち、Q2で高校卒業後の進路を「大学」、Q３で志望する大学等の種類を「私立」、Q４で高校卒業後に学びたい学問分野を「機械工学・電気通信工学・航空工学」、Q５で「宇宙・半導体工学科の受験を第一志望として受験する」と回答し、Q６で「宇宙・半導体工学科へ入学する」と回答した者は116人となっている。

【高等学校３年生】

宇宙･半導体工学科への入学希望 －クロス集計－

Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	件数/人
②３年生	①大学	③私立	①機械工学 ②電気通信工学 ③航空工学	①第一志望として受験する	①1 入学する	139
②３年生	①大学	③私立	①機械工学 ②電気通信工学 ③航空工学	②第二志望として受験する	①1 入学する	27
②３年生	①大学	③私立	①機械工学 ②電気通信工学 ③航空工学	③第三志望以降として受験する	①1 入学する	19
②３年生	①大学	③私立	①機械工学 ②電気通信工学 ③航空工学	①第一志望として受験する ②第二志望として受験する ③第三志望以降として受験する	①1 入学する	185

【高等学校２年生】

宇宙･半導体工学科への入学希望 －クロス集計－

Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	件数/人
①２年生	①大学	③私立	①機械工学 ②電気通信工学 ③航空工学	①第一志望として受験する	①1 入学する	116
①２年生	①大学	③私立	①機械工学 ②電気通信工学 ③航空工学	②第二志望として受験する	①1 入学する	27
①２年生	①大学	③私立	①機械工学 ②電気通信工学 ③航空工学	③第三志望以降として受験する	①1 入学する	19
①２年生	①大学	③私立	①機械工学 ②電気通信工学 ③航空工学	①第一志望として受験する ②第二志望として受験する ③第三志望以降として受験する	①1 入学する	162

千葉工業大学 学科新設受容性調査協力高校一覧

所在地	校名	所在地	校名
北海道	旭川実業高等学校	千葉県	佐原白楊高等学校
北海道	北海高等学校	千葉県	国分高等学校
北海道	札幌光星高等学校	千葉県	敬愛学園高等学校
宮城県	仙台東高等学校	千葉県	千葉英和高等学校
福島県	福島成蹊高等学校	千葉県	千葉明徳高等学校
福島県	平工業高等学校	千葉県	長生高等学校
栃木県	宇都宮北高等学校	千葉県	茂原樟陽高等学校
栃木県	宇都宮工業高等学校	千葉県	津田沼高等学校
栃木県	鹿沼高等学校	千葉県	東京学館高等学校
栃木県	鹿沼東高等学校	千葉県	八千代松陰高等学校
栃木県	作新学院高等学校	千葉県	千葉黎明高等学校
栃木県	真岡高等学校	千葉県	実籾高等学校
栃木県	茂木高等学校	千葉県	西武台千葉高等学校
群馬県	東京農業大学第二高等学校	千葉県	千葉敬愛高等学校
群馬県	舘林高等学校	千葉県	千葉西高等学校
埼玉県	浦和学院高等学校	千葉県	東京学館浦安高等学校
埼玉県	浦和麗明高等学校	千葉県	幕張総合高等学校
埼玉県	叡明高等学校	千葉県	安房高等学校
埼玉県	春日部工業高等学校	千葉県	磯辺高等学校
埼玉県	越谷総合技術高等学校	千葉県	大多喜高等学校
千葉県	柏市立柏高等学校	千葉県	千葉工業高等学校
千葉県	千葉県立柏高等学校	千葉県	千葉南高等学校
千葉県	小金高等学校	千葉県	千葉経済大学附属高等学校
千葉県	中央学院高等学校	千葉県	光英ＶＥＲＩＴＡＳ高等学校
千葉県	二松学舎大学附属柏高等学校	千葉県	松戸市立松戸高等学校
千葉県	柏陵高等学校	千葉県	市原八幡高等学校
千葉県	千葉商科大学付属高等学校	千葉県	柏井高等学校
千葉県	印旛明誠高等学校	千葉県	京葉工業高等学校
千葉県	柏南高等学校	千葉県	習志野高等学校
千葉県	君津高等学校	東京都	駒込高等学校
千葉県	佐倉高等学校	東京都	東京実業高等学校
千葉県	佐原高等学校	東京都	成立学園高等学校
千葉県	志学館高等部高等学校	東京都	小岩高等学校
千葉県	日本体育大学柏高等学校	東京都	関東第一高等学校
千葉県	成田高等学校	東京都	江戸川高等学校
千葉県	成田北高等学校	神奈川県	関東学院六浦高等学校
千葉県	成田国際高等学校	神奈川県	横浜創学館高等学校
千葉県	成東高等学校	神奈川県	横浜隼人高等学校
千葉県	船橋啓明高等学校	神奈川県	橘学苑高等学校

令和6年5月吉日

○○○○高等学校　学校長殿

千葉工業大学
学長　伊藤　穣一

「千葉工業大学の学部/学科に関する進学需要調査」ご協力のお願い

拝啓　時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は本学の教育にご理解・ご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、本学では現在、新しい時代ニーズに対応しうる人材育成を目的とし、既設の工学部機械電子創成工学科を宇宙・半導体工学科（仮称）へ改組する計画をしております。

そこで、このたびの検討をより充実させるために、 大学進学を考えている貴校生徒の皆様にご協力をお願いしてアンケート調査を実施し、 新しい構想を練りあげる基礎資料としたいと考えております。

ご回答内容については回答結果のみを処理し、 個人情報が使用されることはございません。

進路・受験ご指導等、公務ご多用の折と存じますが、下記実施要領にて、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

■調査内容

・高校卒業後の進路について
・構想中の新学科「宇宙・半導体工学科（仮称）」への興味・関心、 進学の意向

■調査対象

・進学を希望されている高校2・3年生

■実施方法

同封しております「宇宙・半導体工学科（仮称）の説明リーフレット」と「アンケート用紙」を対象者へ配布いただき、ご回収をお願いします。
調査実施後は、 同封の返送用封筒にアンケート用紙を入れ、 ご返送願います。

※本調査の実施は、所定の契約を結んだ上、 下記会社に発送および集計を業務委託しております。
株式会社栄美通信
〒104-8189　東京都中央区銀座1-15-6 銀座東洋ビル
電話：03-3561-0472　　FAX：03-3561-5347

■回答返送期限

誠に勝手ながら、<u>令和6年5月31日（金）</u>必着となりますよう、ご投函をお願い申し上げます。

■本件に関するお問い合わせ

千葉工業大学　入試広報部：日下部(クサカベ)・出水(デミズ)・齋藤(サイトウ)　（TEL：047-478-0222）
〒275-0016千葉県習志野市津田沼2-17-1

以上

未来を切り拓くのは、
いつだって
人間だ。

ニッポンから世界へ。

宇宙、半導体分野の
未来を切り拓け！

千葉工業大学
Chiba Institute of Technology

工学部
宇宙・半導体工学科

2025年4月、誕生

［機械電子創成工学科から改組予定］

※設置構想中のため、内容が変更になる場合があります

工学部

宇宙・半導体工学科

入学定員
110名

［機械電子創成工学科から改組予定］

※設置構想中のため、内容が変更になる場合があります

日進月歩で加速する宇宙＆半導体ビジネス
いま、求められるスペシャリストの養成

なぜ、いま宇宙分野、半導体分野なのか？

ロケットや人工衛星の打ち上げ、衛星を通じたサービス、さらには民間人による宇宙旅行など宇宙空間を活用するビジネスが、いま大きな広がりを見せています。また、宇宙産業とも関連が深く、急速にデジタル化が進展する現代において必要不可欠となるのが半導体技術です。国も今後の成長が期待される分野として、これらの産業をバックアップしていますが、さらなる成長にはそれぞれの分野をリードする専門家の育成が急務となっています。

宇宙・半導体分野の発展に貢献できる人材を養成

「宇宙･半導体工学科」では、まず機械工学･電子工学の基礎的な知識と技術を習得することからスタートします。さらに、機械･電子技術に関する基本原理、機械･電気電子関連の工業製品を実際に開発する能力など、実践的な能力を身につけていきます。先進的な宇宙機、半導体デバイス、メカトロニクス機器の開発製造に関わる技術職や研究開発職として、宇宙･半導体分野の発展に貢献できる人材の養成を目指します。

《宇宙・半導体工学科》の学びの特色とアドミッションポリシー

学びの特色

- 機械工学と電子工学の両方の知識･技術を身につけます
- 最先端のものづくりに必要な設計センスを養います
- 航空宇宙産業、半導体産業、医療福祉産業、自動車産業など将来の可能性が広がります

アドミッションポリシー

先進的な宇宙機、半導体デバイス、メカトロニクス機器に関連する機械・電気電子工学技術及び両者の融合技術に強い関心を持つ人

求める学生像

- 機械・電気電子工学の基礎となる理数系科目の基礎学力を身に付けている人
- 未来を創造する新しい科学技術の学習を通して、社会貢献を目指す人

《宇宙・半導体工学科》の
4年間の学びのステップ

1年次

機械工学、電子工学のそれぞれの基本である「力学」「電気学磁気学」を学ぶとともに、両分野に必要となる数学、物理学を学修します。

2年次

宇宙工学や半導体工学、先進メカトロニクスに必須となる基礎を、実験を通じて学び、ものづくりの楽しさや奥深さを体感します。

3年次

システム制御やセンサー技術など高度な理論を学ぶとともに、実習を通して3次元CADを使った設計・製図などの技術をより深く養います。

4年次

研究室では、ロケット、人工衛星などの宇宙機、次世代半導体デバイスなどの先進的なメカトロニクス開発に取り組みます。

活躍できる業界・職種

半導体製造業／宇宙用機器の開発技術者／家電メーカーの開発技術者／産業用ロボットの開発技術者／自動車メーカーの開発技術者／医療・福祉機器の開発技術者／生産設備の設計開発エンジニア／航空機関連のメンテナンス・生産管理・開発技術者／専門性を備えた教員　他

同じような学問分野を有する大学・学部学科等

大学名	学部・学科名	入学定員（前年度）	初年度納付金（前年度）
東京理科大学	創域理工学部 機械航空宇宙工学科	130名	180.2万円
日本大学	理工学部 航空宇宙工学科	120名	177.0万円
芝浦工業大学	システム理工学部 電子情報システム学科	115名	179.5万円
東京電機大学	工学部 電子システム工学科	90名	167.2万円

学生納付金

（単位：円）

納入年度	1年目		2年目		3年目		4年目	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
入学金	250,000							
授業料	695,000	695,000	720,000	720,000	745,000	745,000	770,000	770,000
PPA会費	15,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
同窓会終身会費分納金	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
学生共済会会費	3,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250
合計	968,250	706,250	731,250	731,250	756,250	756,250	781,250	781,250
年額	1,674,500		1,462,500		1,512,500		1,562,500	

設置場所／アクセス

1年次、2年次
新習志野キャンパス

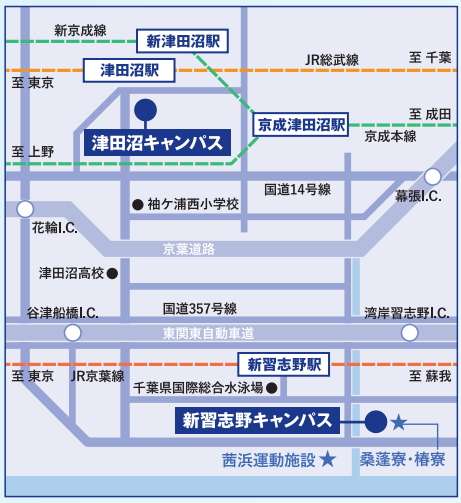
〒275-0023
千葉県習志野市芝園2-1-1
●JR京葉線/新習志野駅南口から徒歩6分
〈東京駅-新習志野駅（31分）〉

3年次、4年次
津田沼キャンパス

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼2-17-1
●JR総武線/津田沼駅前（南口）
〈東京駅-津田沼駅（28分）〉
●新京成線/新津田沼駅から徒歩3分
●京成本線/京成津田沼駅から徒歩10分
〈京成上野駅-京成津田沼駅（38分）〉


新習志野キャンパス


津田沼キャンパス



千葉工業大学
CHIBA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

〒275-0016
千葉県習志野市津田沼2-17-1
TEL：047-478-0222（入試広報部）
https://www.it-chiba.ac.jp

千葉工業大学
公式Webサイト

千葉工業大学工学部　宇宙・半導体工学科(仮称)に関するアンケート

対象：2024 年度現在、高校 2 年生・3 年生のみなさん

千葉工業大学工学部は 2025 年 4 月から新しい学科として「宇宙・半導体工学科(仮称)」の設置を予定しています。
このアンケートを通じて、高校生のみなさんからご意見をお聞きして、新しい学科をより充実させたいと考えております。
ぜひご協力をお願いいたします。
なお、このアンケートにご回答いただいた情報は、千葉工業大学工学部「宇宙・半導体工学科(仮称)」の設置構想に係る統計資料としてのみ使用し、個人を特定するようなことはありません。
このアンケート調査は、千葉工業大学から委託された第三者機関（株式会社栄美通信、株式会社日本リサーチセンター）が実施いたします。

Q1. ご回答にあたり、あなたの学年を次の中から、1 つだけ選んでください。（○は 1 つだけ）

1 2 年生　　**2** 3 年生

Q2. あなたは、高校卒業後、どのような進路をお考えですか。（○はいくつでも）

1 大学　　**3** 専門職大学　　**5** 専門学校　　**7** その他
2 短期大学　　**4** 専門職短期大学　　**6** 就職　　（具体的に　　）

【Q2.で「1～4.大学等進学を考えている」と回答した方に】
Q3. あなたが進学を志望する大学等の種類をお選びください。（○はいくつでも）

1 国立　　**2** 公立　　**3** 私立

Q4. 高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から 3 つ選択してください。現時点で進学を考えていない方も、進学する場合を想定してお答えください。（○は 3 つ選択）

1 機械工学（機械宇宙学等）
2 電気通信工学（宇宙通信工学・半導体工学等）
3 航空工学（航空宇宙学等）
4 土木建築工学
5 理学（数学・物理学・化学等）
6 農学（農芸化学等）
7 文学・史学・哲学
8 法学・政治学
9 商学・経済学
10 社会学
11 医学・歯学・薬学
12 看護学
13 家政学（食物・住居等）
14 教育学（小学校・幼稚園等）
15 美術・音楽等
16 その他（具体的に　　）
17 わからない／特になし

ここからは、**千葉工業大学工学部　宇宙・半導体工学科(仮称)に**ついてお聞きします。
別途お配りしたリーフレットをよくお読みいただき、お答えください。

Q5. 千葉工業大学工学部「宇宙・半導体工学科(仮称)」が開設された場合、あなたは受験を希望しますか。（○は 1 つだけ）

1 第一志望として受験する
2 第二志望として受験する
3 第三志望以降として受験する
4 受験しない

【Q5 で「1～3.受験する」と回答した方に】
Q6. 千葉工業大学工学部「宇宙・半導体工学科(仮称)」を受験して合格した場合、あなたは入学を希望しますか。（○は 1 つだけ）

1 入学する　　**2** 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する　　**3** 入学しない

アンケートはこれで終了です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

日本リサーチセンター
Member of WIN and Gallup International Association

千葉工業大学工学部
宇宙・半導体工学科（仮称）
人材需要等に関するアンケート調査
結果報告書

2024年6月

株式会社日本リサーチセンター

【調査結果概要】

＜調査対象＞

千葉工業大学では、2025年4月より、宇宙・半導体工学科の設置を計画しており、この宇宙・半導体工学科の設置計画を策定するにあたり、人材需要の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、設置を計画している分野に関連する企業に対し、アンケート調査を実施した。

１．調査対象

千葉工業大学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等

２．調査方法

民間企業等への直接依頼、回収

３．調査実施

2024年5月

４．調査件数

回答件数： 144件

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

＜調査対象に関する質問事項＞

１．所在地

千葉工業大学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等に対して、所在地について質問したところ、回答件数144件のうち、88件（61.1%）が「東京都」と回答しており、次いで、32件（22.2%）が「千葉県」と回答している。

問１　貴社の所在地について、お尋ねいたします。（１つだけ）

（上段：件、下段：%）

	n	千葉県	東京都	神奈川県	その他:
全体	144	32	88	5	19
	100.0	**22.2**	**61.1**	**3.5**	**13.2**

【調査結果概要】

＜人材需要全般に関する質問事項＞

２．人材の採用見込み

千葉工業大学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等に対して、人材の採用見込みについて質問したところ、回答件数144件のうち、123件（85.4%）が「増加すると思う」と回答していることから、採用見込みの高さをうかがうことができる。

問２　今後の貴社における人材の採用見込について、お尋ねいたします。（１つだけ）

（上段：件、下段：%）

	n	増加すると思う	増加すると思わない
全体	144	123	21
	100.0	**85.4**	**14.6**

【調査結果概要】

＜千葉工業大学に関する質問事項＞

３．宇宙・半導体工学科で養成する人材の必要性

千葉工業大学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等に対して、宇宙・半導体工学科で養成する人材の必要性について質問したところ、回答件数144件のうち、135件（93.8%）が「必要性を感じる」と回答していることから、千葉工業大学の工学部宇宙・半導体工学科で養成する人材の必要性の高さをうかがうことができる。

問３　千葉工業大学の工学部　宇宙・半導体工学科で養成する人材について、どのようにお考えになりますか。（１つだけ）

（上段：件、下段：%）

	n	養成する人材に必要性を感じる	養成する人材に必要性を感じない
全体	144	135	9
	100.0	**93.8**	**6.3**

【調査結果概要】

＜千葉工業大学に関する質問事項＞

４．宇宙・半導体工学科で学んだ卒業生の採用

千葉工業大学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等に対して、宇宙・半導体工学科で学んだ卒業生の採用について質問したところ、回答件数144件のうち、133件（92.4%）が「採用したいと思う」と回答しており、千葉工業大学工学部宇宙・半導体工学科で学んだ卒業生への採用に積極的な意向を示している。

問４　千葉工業大学工学部　宇宙・半導体工学科で学んだ卒業生の採用について、どのようにお考えになりますか。（１つだけ）

（上段：件、下段：%）

	n	卒業生を採用したいと思う	卒業生を採用したいと思わない
全体	144	133	11
	100.0	**92.4**	**7.6**

【調査結果概要】

＜千葉工業大学に関する質問事項＞

５．宇宙・半導工体学科で学んだ卒業生の採用人数

問４で、宇宙・半導工体学科で学んだ卒業生を「採用したいと思う」と回答した民間企業等133件のうち、単年度当りの卒業生の採用人数を「１人」と回答したのは29件（21.8%）、「２人」と回答したのは9件（6.8%）、「３人以上」と回答したのは12件（9.0%）、「人数は未定」と回答したのは83件（62.4%）となっている。

なお、「採用人数３人以上」と回答した採用人数を「３人」とし、「人数は未定」と回答した採用人数を「１人」として採用人数を合計すると166人となり、これらの採用人数からも千葉工業大学工学部宇宙・半導工体学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

このような千葉工業大学への求人実績や卒業生の採用実績がある一部の民間企業等に限定した調査結果においても、千葉工業大学工学部宇宙・半導工体学科で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえることから、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。

問５　千葉工業大学工学部　宇宙・半導工体学科で学んだ卒業生を採用する場合の単年度当りの採用人数の見込みについて、どのようにお考えになりますか。（１つだけ）
回答者条件:問4で「1.卒業生を採用したいと思う」と回答した方

（上段：件、下段：%）

	n	１人	２人	３人以上	人数は未定
全体	133 **100.0**	29 **21.8**	9 **6.8**	12 **9.0**	83 **62.4**

問４×問５ 卒業生の採用×卒業生の採用人数

	件数／件	全体／人
採用したいと思う×採用人数	29	29
採用したいと思う×採用人数２人	9	18
採用したいと思う×採用人数３人以上	12	36
採用したいと思う×採用人数数は未定	83	83
合計	133	166

千葉工業大学 学科新設人材需要調査依頼企業一覧

NO	企業名
1	株式会社電通総研ＩＴ
2	株式会社ＩＣ
3	株式会社アイフロント
4	赤星工業株式会社
5	株式会社アクティブ・ワーク
6	アクモス株式会社
7	旭情報サービス株式会社
8	旭ダイヤモンド工業株式会社
9	朝日容器工業株式会社
10	アシザワ・ファインテック株式会社
11	アネスト岩田株式会社
12	株式会社アバールデータ
13	株式会社アプリス
14	株式会社アライパーツ
15	株式会社アルファシステムズ
16	アルプスアルパイン株式会社
17	イーデーエム株式会社
18	池上通信機株式会社
19	株式会社石井鐵工所
20	いすゞインテック株式会社
21	伊勢化学工業株式会社
22	イチカワ株式会社
23	株式会社稲葉製作所
24	株式会社イムラ
25	岩崎通信機株式会社
26	岩崎電気株式会社
27	イワツキ株式会社
28	イワブチ株式会社
29	株式会社インテックソリューションパワー
30	株式会社ヴィンクス
31	株式会社内山アドバンス
32	英弘精機株式会社
33	ＡＧＣグラスプロダクツ株式会社
34	株式会社ＨＢＡ
35	株式会社Ａ1テック
36	エクシオ・デジタルソリューションズ株式会社
37	ＳＭＣ株式会社
38	株式会社ＳＫＢ
39	株式会社エヌアイデイ
40	株式会社ＮＩＤ・ＭＩ
41	ＮＥＣフィールディング株式会社
42	株式会社ＮＳ・コンピュータサービス
43	ＮＳＷ株式会社
44	株式会社ＮＳＤ
45	株式会社ＮＴＴデータＭＨＩシステムズ
46	ＮＴＴテクノクロス株式会社
47	株式会社エフ・エム
48	エブリ株式会社
49	エリエールプロダクト株式会社
50	エリエールペーパー株式会社

NO	企業名
51	大川精螺工業株式会社
52	大木伸銅工業株式会社
53	大森機械工業株式会社
54	岡部株式会社
55	オカモト株式会社
56	ＯＫＩクロステック株式会社
57	沖電線株式会社
58	小倉クラッチ株式会社
59	長田電機工業株式会社
60	株式会社オチアイ
61	株式会社小野測器
62	オリエンタルモーター株式会社
63	株式会社オリジン
64	梶原工業株式会社
65	株式会社ガスター
66	カスヤ精工株式会社
67	株式会社加藤製作所
68	カネ美食品株式会社
69	キーウェアソリューションズ株式会社
70	菊水ホールディングス株式会社
71	株式会社岸鋼加工
72	株式会社キッツ
73	株式会社木村鋳造所
74	株式会社Ｑ’ｓｆｉｘ
75	株式会社キューブシステム
76	京三電機株式会社
77	京セラ株式会社
78	株式会社協同工芸社
79	株式会社共和電業
80	株式会社桐井製作所
81	株式会社キリウ
82	株式会社キングジム
83	グラフテック株式会社
84	クリナップ株式会社
85	株式会社クレスコ
86	株式会社クロスキャット
87	株式会社クロステック
88	株式会社コア
89	小池酸素工業株式会社
90	株式会社小出ロール鐵工所
91	鉱研工業株式会社
92	合同製鐵株式会社
93	ＫＯＡ株式会社
94	株式会社コスメル
95	コムウェア・ファイナンシャル・システムズ株式会社
96	コムコ株式会社
97	株式会社コンピュータネットワーク
98	コンピュータ・ハイテック株式会社
99	酒井重工業株式会社
100	株式会社鷺宮製作所

NO	企業名
101	株式会社サムソン
102	三協立山株式会社
103	株式会社サンコー
104	サンコーテクノ株式会社
105	三友エンジニヤリング株式会社
106	山洋電気株式会社
107	三和シヤッター工業株式会社
108	株式会社ＣＩＣ
109	株式会社シー・エス・イー
110	ＣＫＤ日機電装株式会社
111	株式会社シーネット
112	ＪＣＯＭ株式会社
113	シグマ光機株式会社
114	株式会社重松製作所
115	株式会社システムコンサルタント
116	株式会社システム情報
117	株式会社システムフロンティア
118	株式会社指月電機製作所
119	株式会社シノテスト
120	株式会社芝浦電子
121	島崎熱処理株式会社
122	株式会社ジャステック
123	株式会社シャトレーゼ
124	株式会社ジャノメ
125	信越ポリマー株式会社
126	株式会社シンク・ラボラトリー
127	新日本コンピュータマネジメント株式会社
128	Ｓｋｙ株式会社
129	スガツネ工業株式会社
130	鈴茂器工株式会社
131	鈴与シンワート株式会社
132	株式会社スノウチ
133	株式会社ＳＵＢＡＲＵ
134	住友大阪セメント株式会社
135	静甲株式会社
136	株式会社精工技研
137	積水化成品工業株式会社
138	全薬ホールディングス株式会社
139	株式会社総合車両製作所
140	総武機械株式会社
141	株式会社ソード
142	株式会社ソノコム
143	ソフトウエア情報開発株式会社
144	ソリッドコミュニケーション株式会社
145	ソリマチ株式会社
146	株式会社第一エレクトロニクス
147	大同信号株式会社
148	大平洋製鋼株式会社
149	高梨乳業株式会社
150	タカノ株式会社

NO	企業名
151	タカノフーズ株式会社
152	株式会社タキガワ・コーポレーション・ジャパン
153	田島ルーフィング株式会社
154	立川ブラインド工業株式会社
155	タニコー株式会社
156	株式会社タムラ製作所
157	株式会社チノー
158	ちばぎんコンピューターサービス株式会社
159	千葉製粉株式会社
160	千葉窯業株式会社
161	中越合金鋳工株式会社
162	中立電機株式会社
163	千代田インテグレ株式会社
164	株式会社ツールテクノ
165	株式会社ツガミ
166	ＴＩＳシステムサービス株式会社
167	ＴＤＫ株式会社
168	ＴＤＣフューテック株式会社
169	株式会社ＤＴＳ
170	株式会社テクノカルチャー
171	テックスエンジソリューションズ株式会社
172	株式会社テツゲン
173	東京インキ株式会社
174	東京鋼鐵株式会社
175	東京鐵鋼株式会社
176	株式会社東京めいらく
177	株式会社東計電算
178	東芝情報システム株式会社
179	東芝テック株式会社
180	東邦亜鉛株式会社
181	株式会社東邦システムサイエンス
182	東洋合成工業株式会社
183	ＴＯＴＯバスクリエイト株式会社
184	株式会社トーモク
185	ドコモ・データコム株式会社
186	凸版印刷株式会社
187	株式会社トラストシステム
188	中川装身具工業株式会社
189	ナカ工業株式会社
190	長野計器株式会社
191	株式会社ナカヨ
192	那須電機鉄工株式会社
193	株式会社なとり
194	日鉄ＳＧワイヤ株式会社
195	日本ケミコン株式会社
196	日本コンピュータシステム株式会社
197	日本シイエムケイ株式会社
198	日本製線株式会社
199	日本発条株式会社
200	日本ピュアフード株式会社

NO	企業名
201	ニデックエレシス株式会社
202	ニデックコンポーネンツ株式会社
203	二宮産業株式会社
204	株式会社ニフコ
205	日本アイ・エス・ケイ株式会社
206	日本エレベーター製造株式会社
207	日本クリエイティブシステム株式会社
208	日本コンピューターサイエンス株式会社
209	日本システム技術株式会社
210	日本システムワープ株式会社
211	日本電波工業株式会社
212	日本ビジネスシステムズ株式会社
213	株式会社日本マイクロニクス
214	株式会社ネクステージ
215	能美防災株式会社
216	株式会社パール技研
217	ハイテクシステム株式会社
218	ハヤシレピック株式会社
219	原田工業株式会社
220	株式会社日立インダストリアルプロダクツ
221	ビップシステムズ株式会社
222	株式会社フジキン
223	株式会社不二越
224	不二サッシ株式会社
225	富士ソフト株式会社
226	冨士ダイス株式会社
227	富士電機株式会社
228	株式会社フジマック
229	双葉電子工業株式会社
230	古林紙工株式会社
231	株式会社フルヤ金属
232	文化シヤッター株式会社
233	平和産業株式会社
234	ぺんてる株式会社
235	株式会社朋栄
236	朋和産業株式会社
237	北興化学工業株式会社
238	本多通信工業株式会社
239	マークテック株式会社
240	前澤工業株式会社
241	株式会社マルニックス
242	三島光産株式会社
243	三井Ｅ＆Ｓシステム技研株式会社
244	株式会社ミツバ
245	三菱自動車工業株式会社
246	三菱製鋼株式会社
247	ミネベアミツミ株式会社
248	株式会社ミヤコシ
249	株式会社ミライト・ワン・システムズ
250	山下電気株式会社

NO	企業名
251	ヤマトシステム開発株式会社
252	株式会社ユーエスエス
253	株式会社吉田製作所
254	株式会社吉野工業所
255	吉野石膏株式会社
256	米屋株式会社
257	株式会社ヨロズ
258	ラインハルト株式会社
259	理化工業株式会社
260	株式会社ＬＩＸＩＬ
261	株式会社リッチェル
262	レンゴー株式会社
263	株式会社ローレル
264	ロック技研工業株式会社
265	ロンシール工業株式会社
266	ＹＫＫ　ＡＰ株式会社

人材需要等に関するアンケート調査　依頼メール

送信日時	2024/05/14
送信者	就職・進路支援部　須藤
件名	「千葉工業大学工学部　宇宙・半導体工学科（仮称）人材需要等に関するアンケート調査」ご協力のお願い
本文	採用ご担当者　様 いつも大変お世話になっております。 千葉工業大学就職・進路支援部です。 平素は本学の教育にご理解・ご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。 さて、千葉工業大学は、2025年4月から新しい学科として「宇宙・半導体工学科（仮称）」の設置を予定しています。 そこで、このたびの検討をより充実させるために、本学への求人実績がある企業の新卒採用ご担当者の皆さまから率直な意見をお聞きし、新たな学部学科への改組の参考にさせていただきたいと思い、アンケートを実施することと致しました。 つきましては、以下調査内容に基づいて、新たに開設予定の「宇宙・半導体工学科（仮称）」についての興味・関心、採用意向についてお伺いさせていただきたく存じます。 業務ご多用の折、大変お手数ではございますが、本調査の主旨をご理解の上、何卒ご協力いただきたくお願い申し上げます。 ※回答は、以下URLの『宇宙・半導体工学科紹介パンフレット』をご覧いただいた上で、ご回答ください。 記 ■調査内容 構想中の新学部/学科「工学部　宇宙・半導体工学科（仮称）」の卒業生への興味・関心、採用意向 ■調査対象 本学への求人実績がある企業の新卒採用ご担当者様 ■実施方法 次のＵＲＬ（Ｗｅｂフォーム）よりご回答くださいますようお願いいたします。 【千葉工業大学工学部　宇宙・半導体工学科（仮称）人材需要等に関するアンケート調査】 https://forms.gle/uLNv8TwC668t3kQH7 ※なお、googleフォーム以外でのアンケートフォームをご用意しておりませんので、googleフォームにてご回答可能な方のみ、ご協力お願い申し上げます。 ■回答期限 令和6（2024）年5月24日（金） ■本件に関するお問い合わせ 千葉工業大学　就職・進路支援部：皆川（みながわ）・小堤（おづつみ） 住所：〒275-0016 千葉県習志野市津田沼2-17-1　　TEL：047-478-0232 https://www2.kyujin-navi.com/gakugai/mail_img.asp?k=krssaym7 ＜※有効期間は1ヶ月間です。＞

未来を切り拓くのは、
いつだって
人間だ。

ニッポンから世界へ。

宇宙、半導体分野の
未来を切り拓け！

千葉工業大学
Chiba Institute of Technology

工学部
宇宙・半導体工学科

2025年4月、誕生

［機械電子創成工学科から改組予定］

※設置構想中のため、内容が変更になる場合があります

工学部

宇宙・半導体工学科

入学定員
110名

［機械電子創成工学科から改組予定］

※設置構想中のため、内容が変更になる場合があります

日進月歩で加速する宇宙＆半導体ビジネス
いま、求められるスペシャリストの養成

なぜ、いま宇宙分野、半導体分野なのか？

ロケットや人工衛星の打ち上げ、衛星を通じたサービス、さらには民間人による宇宙旅行など宇宙空間を活用するビジネスが、いま大きな広がりを見せています。また、宇宙産業とも関連が深く、急速にデジタル化が進展する現代において必要不可欠となるのが半導体技術です。国も今後の成長が期待される分野として、これらの産業をバックアップしていますが、さらなる成長にはそれぞれの分野をリードする専門家の育成が急務となっています。

宇宙・半導体分野の発展に貢献できる人材を養成

「宇宙･半導体工学科」では、まず機械工学･電子工学の基礎的な知識と技術を習得することからスタートします。さらに、機械･電子技術に関する基本原理、機械･電気電子関連の工業製品を実際に開発する能力など、実践的な能力を身につけていきます。先進的な宇宙機、半導体デバイス、メカトロニクス機器の開発製造に関わる技術職や研究開発職として、宇宙･半導体分野の発展に貢献できる人材の養成を目指します。

《宇宙・半導体工学科》の学びの特色とアドミッションポリシー

学びの特色

- 機械工学と電子工学の両方の知識･技術を身につけます
- 最先端のものづくりに必要な設計センスを養います
- 航空宇宙産業、半導体産業、医療福祉産業、自動車産業など将来の可能性が広がります

アドミッションポリシー

先進的な宇宙機、半導体デバイス、メカトロニクス機器に関連する機械・電気電子工学技術及び両者の融合技術に強い関心を持つ人

求める学生像

- 機械・電気電子工学の基礎となる理数系科目の基礎学力を身に付けている人
- 未来を創造する新しい科学技術の学習を通して、社会貢献を目指す人

《宇宙・半導体工学科》の
4年間の学びのステップ

1年次

機械工学、電子工学のそれぞれの基本である「力学」「電気学磁気学」を学ぶとともに、両分野に必要となる数学、物理学を学修します。

2年次

宇宙工学や半導体工学、先進メカトロニクスに必須となる基礎を、実験を通じて学び、ものづくりの楽しさや奥深さを体感します。

3年次

システム制御やセンサー技術など高度な理論を学ぶとともに、実習を通して3次元CADを使った設計・製図などの技術をより深く養います。

4年次

研究室では、ロケット、人工衛星などの宇宙機、次世代半導体デバイスなどの先進的なメカトロニクス開発に取り組みます。

活躍できる業界・職種

半導体製造業／宇宙用機器の開発技術者／家電メーカーの開発技術者／産業用ロボットの開発技術者／自動車メーカーの開発技術者／医療・福祉機器の開発技術者／生産設備の設計開発エンジニア／航空機関連のメンテナンス・生産管理・開発技術者／専門性を備えた教員　他

同じような学問分野を有する大学・学部学科等

大学名	学部・学科名	入学定員（前年度）	初年度納付金（前年度）
東京理科大学	創域理工学部 機械航空宇宙工学科	130名	180.2万円
日本大学	理工学部 航空宇宙工学科	120名	177.0万円
芝浦工業大学	システム理工学部 電子情報システム学科	115名	179.5万円
東京電機大学	工学部 電子システム工学科	90名	167.2万円

学生納付金

（単位：円）

納入年度	1年目		2年目		3年目		4年目	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
入学金	250,000							
授業料	695,000	695,000	720,000	720,000	745,000	745,000	770,000	770,000
PPA会費	15,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
同窓会終身会費分納金	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
学生共済会会費	3,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250
合計	968,250	706,250	731,250	731,250	756,250	756,250	781,250	781,250
年額	1,674,500		1,462,500		1,512,500		1,562,500	

設置場所／アクセス

1年次、2年次
新習志野キャンパス

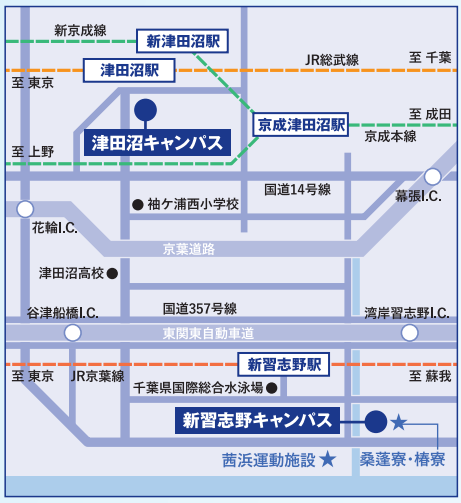
〒275-0023
千葉県習志野市芝園2-1-1
●JR京葉線/新習志野駅南口から徒歩6分
〈東京駅-新習志野駅（31分）〉

3年次、4年次
津田沼キャンパス

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼2-17-1
●JR総武線/津田沼駅前（南口）
〈東京駅-津田沼駅（28分）〉
●新京成線/新津田沼駅から徒歩3分
●京成本線/京成津田沼駅から徒歩10分
〈京成上野駅-京成津田沼駅（38分）〉


新習志野キャンパス


津田沼キャンパス



千葉工業大学
CHIBA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

〒275-0016
千葉県習志野市津田沼2-17-1
TEL：047-478-0222（入試広報部）
https://www.it-chiba.ac.jp

千葉工業大学
公式Webサイト

人材需要等に関するアンケート調査　アンケート入力フォーム画面



千葉工業大学工学部　宇宙・半導体工学科（仮称）人材需要等に関するアンケート調査

[redacted]dai.jp アカウントを切り替える

* 必須の質問です

メールアドレス *

メールアドレス

問１　貴社の所在地について、お尋ねいたします。次の中から、一つだけ選んで、回答欄にチェックしてください。 *

- ○ 千葉県
- ○ 東京都
- ○ 神奈川県
- ○ その他:

問２　今後の貴社における人材の採用見込について、お尋ねいたします。次の中から、一つだけ選んで、回答欄にチェックしてください。 *

- ○ 増加すると思う
- ○ 増加すると思わない

問３　千葉工業大学の工学部　宇宙・半導体工学科で養成する人材について、どのようにお考えになりますか。次の中から、一つだけ選んで、回答欄にチェックしてください。 *

- ◯ 養成する人材に必要性を感じる
- ◯ 養成する人材に必要性を感じない

問４　千葉工業大学工学部　宇宙・半導体工学科で学んだ卒業生の採用について、どのようにお考えになりますか。次の中から、一つだけ選んで、回答欄にチェックしてください。 *

- ◯ 卒業生を採用したいと思う
- ◯ 卒業生を採用したいと思わない

問５　千葉工業大学工学部　宇宙・半導体工学科で学んだ卒業生を採用する場合の単年度当りの採用人数の見込みについて、どのようにお考えになりますか。次の中から、一つだけ選んで、回答欄にチェックしてください。

*

- ◯ １人
- ◯ ２人
- ◯ ３人以上
- ◯ 人数は未定

別記様式第３号（その１）

教　　員　　名　　簿

学　長　又　は　校　長　の　氏　名　等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額基本給 （千円）	現　職 （就任年月）
－	学長	ｲﾄｳ ｼﾞｮｳｲﾁ 伊藤　穰一 〈令和5年7月〉		博士 （政策・メディア）		千葉工業大学 学長 （令和5年7月～令和9年6月）

別記様式第３号（その２の１）

教　員　の　氏　名　等

（工学部宇宙・半導体工学科）

調書番号	教員区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職（就任年月）	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	申請に係る学部等以外の組織（他の大学等に置かれる学部等を含む）での基幹教員としての勤務状況
													教授会	教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称		
1	基 （主専）	教授	ｱｷﾀ　ﾀｹｼ 秋田　剛 〈令和7年4月〉		博士 （工学）		機械電子工学概論 ※ 材料力学 宇宙・半導体・メカトロニクス総合講義演習２ 機械力学 アドバンストラーニング１ アドバンストラーニング２ 宇宙理工学発展講義 ゼミナール１ ゼミナール２ 卒業研究	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 2後 3前 3前 3後 4前 4前 4後 4通	0.6 2 2 2 2 2 2 2 2 5	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉工業大学 工学部 教授 （平成24年4月）	○				５日	
2	基 （主専）	教授	ｱﾗｲ　ﾋﾛｼ 新井　浩志 〈令和7年4月〉		博士 （工学）		機械電子工学概論 ※ 宇宙・半導体・メカトロニクス総合講義演習１ デジタル回路 アドバンストラーニング１ 組込みシステム アドバンストラーニング２ ゼミナール１ ゼミナール２ 卒業研究	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 2前 3前 3前 3後 3後 4前 4後 4通	0.1 2 2 2 2 2 2 2 5	1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉工業大学 工学部 教授 （平成5年4月）	○				５日	
3	基 （主専）	教授	ｻﾄｳ　ﾉﾌﾞｵ 佐藤　宣夫 〈令和7年4月〉		博士 （工学）		機械電子工学概論 ※ 電気磁気学 半導体デバイス 宇宙・半導体・メカトロニクス総合講義演習２ 情報通信工学 アドバンストラーニング１ アドバンストラーニング２ ゼミナール１ ゼミナール２ 卒業研究	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 2前 2後 3前 3前 3後 4前 4後 4通	0.1 2 2 2 2 2 2 2 2 5	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉工業大学 工学部 教授 （平成24年4月）	○		○	大学院教務委員会 入学試験委員会 大学院入試部会	５日	
4	基 （主専）	教授	ｽｶﾞ　ﾋﾛｼ 菅　洋志 〈令和7年4月〉		博士 （工学）		機械電子工学概論 ※ 半導体工学概論 電気回路 宇宙・半導体・メカトロニクス総合講義演習２ アドバンストラーニング１ 計測工学 アドバンストラーニング２ ゼミナール１ ゼミナール２ 卒業研究	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 2前 2後 3前 3後 3後 4前 4後 4通	0.1 2 2 2 2 2 2 2 2 5	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉工業大学 工学部 教授 （平成24年4月）	○		○	入学試験委員会	５日	
5	基 （主専）	教授	ｾｷ　ﾋﾛｶｽﾞ 関　弘和 〈令和7年4月〉		博士 （工学）		機械電子工学概論 ※ 宇宙・半導体・メカトロニクス総合講義演習１ アナログ回路 システム制御理論 アドバンストラーニング１ システム制御工学 アドバンストラーニング２ ゼミナール１ ゼミナール２ 卒業研究	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 2前 2後 3前 3前 3後 3後 4前 4後 4通	0.5 2 2 2 2 2 2 2 2 5	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉工業大学 工学部 教授 （平成15年4月）	○				５日	
6	基 （主専）	教授	ﾃｼﾏ　ﾖｼﾉﾘ 手嶋　吉法 〈令和7年4月〉		博士 （工学）		機械電子工学概論 ※ 力学 機械設計製図学 アドバンストラーニング１ 設計製図講義演習 アドバンストラーニング２ ゼミナール１ ゼミナール２ 卒業研究	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 2後 3前 3前 3後 4前 4後 4通	0.1 2 2 2 4 2 2 2 5	1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉工業大学 工学部 教授 （平成24年4月）	○	○			５日	
7	基 （主専）	教授	ﾋﾗﾂｶ　ｹﾝｲﾁ 平塚　健一 〈令和7年4月〉		工学博士		機械電子工学概論 ※ 宇宙・半導体・メカトロニクス総合講義演習１ トライボロジー アドバンストラーニング１ アドバンストラーニング２ ゼミナール１ ゼミナール２ 卒業研究	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 2前 3前 3前 3後 4前 4後 4通	0.1 2 2 2 2 2 2 5	1 1 1 1 1 1 1 1	千葉工業大学 工学部 教授 （平成8年4月）	○				５日	

8	基 (主専)	教授	ﾜﾀﾞ ﾕﾀｶ 和田 豊 〈令和7年4月〉		博士 (工学)		機械電子工学概論 ※ 宇宙理工学概論 工業熱力学 宇宙・半導体・メカトロニクス総合講義演習２ 流体工学 アドバンストラーニング１ アドバンストラーニング２ ゼミナール１ ゼミナール２ 卒業研究	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 2前 2後 3前 3前 3後 4前 4後 4通	0.1 2 2 2 2 2 2 2 2 5	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉工業大学 工学部 教授 (平成27年4月)	○				５日	
9	基 (主専)	准教授	ﾅｶﾔﾏ ﾉﾎﾞﾙ 中山 昇 〈令和7年4月〉		博士 (工学)		機械電子工学概論 ※ 材料加工 プログラミング言語 アドバンストラーニング１ 設計製図講義演習 アドバンストラーニング２ 技術者倫理 ゼミナール１ ゼミナール２ 卒業研究	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 2後 2後 3前 3前 3後 4前 4前 4後 4通	0.1 2 2 2 4 2 2 2 2 5	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉工業大学 工学部 准教授 (令和6年4月)	○				５日	
10	その他	教授	ｱｲﾊﾗ ﾅｵﾐ 相原 直美 〈令和7年4月〉		修士 (文学)		英語理解発展２		1後	1	1	千葉工業大学 教育センター 教授 (平成13年4月)	○		○	入学試験委員会		
11	その他	教授	ｱｶｻﾞﾜ ﾁﾌﾞｺ 赤澤 智津子 〈令和7年4月〉		博士 (学術)		スポーツアクティブラーニング		3前・後,4前・後	2	1	千葉工業大学 創造工学部 教授 (平成5年4月)	○	○				
12	その他	教授	ｱﾝﾄﾞｳ ﾏｻｶｽﾞ 安藤 雅和 〈令和7年4月〉		博士 (経営学)		ボランティア		1・2・3・4	1	1	千葉工業大学 未来変革科学部 教授 (平成22年4月)	○					
13	その他	教授	ｲｹﾀﾞ ﾏﾘ 池田 茉莉 〈令和7年4月〉		博士 (理学)		スポーツアクティブラーニング		3前・後,4前・後	2	1	千葉工業大学 教育センター 教授 (平成26年4月)	○					
14	その他	教授	ｲｽﾞﾐ ﾋﾃﾞｱｷ 泉 英明 〈令和7年4月〉		博士 (理学)		線形代数基礎 線形代数応用 基礎統計学 応用数学	○	1前 1後 2前 2後	2 2 2 2	1 1 1 1	千葉工業大学 教育センター 教授 (平成14年4月)	○					
15	その他	教授	ｲﾄｳ ﾂﾖｼ 伊藤 剛司 〈令和7年4月〉		博士 (理学)		数学基礎 微分積分	○ ○	1前 1後	2 2	1 1	千葉工業大学 教育センター 教授 (平成21年4月)	○					
16	その他	教授	ｶｻｼﾏ ﾖｼｵ 笠嶋 義夫 〈令和7年4月〉		博士 (工学)		環境科学概論 課題探究セミナー		1前・後,2前 2後	2 2	1 1	千葉工業大学 教育センター 教授 (平成15年4月)	○		○	入学試験委員会		
17	その他	教授	ｶﾄｳ ｶｽﾞﾋｺ 加藤 和彦 〈令和7年4月〉		博士 (工学)		国内インターン キャリアデザイン１ キャリアデザイン２ キャリアデザイン３	 ○ ○ ○	1・2・3・4 1後 2前 3前	1 1 1 1	1 1 1 1	千葉工業大学 未来変革科学部 教授 (平成9年4月)	○					
18	その他	教授	ｶﾈﾀﾞ ｺｳｲﾁ 金田 晃一 〈令和7年4月〉		博士 (体育科学)		スポーツ科学 身体と健康の科学 課題探究セミナー スポーツアクティブラーニング 総合科学特論	○	1前・後 1前・後,2前 2後 3前・後,4前・後 3前・後,4前・後	2 2 2 2 2	1 1 1 1 1	千葉工業大学 教育センター 教授 (平成25年4月)	○					
19	その他	教授	ｶﾜﾀ ｱｷﾋｻ 河田 明久 〈令和7年4月〉		修士 (文学)		歴史と人間 総合学際科目 総合科学特論		1前・後,2前 2後 3前・後,4前・後	2 2 2	1 1 1	千葉工業大学 教育センター 教授 (平成21年4月)	○					
20	その他	教授	ｶﾜﾆｼ ﾉﾘｱｷ 川西 範明 〈令和7年4月〉		博士 (スポーツ科学)		スポーツ科学 身体と健康の科学 スポーツアクティブラーニング 総合科学特論	○	1前・後 1前・後.2前 3前・後,4前・後 3前・後,4前・後	2 2 2 2	1 1 1 1	千葉工業大学 教育センター 教授 (平成29年4月)	○					

21	その他	教授	ｷｼﾞﾏ　ｱｲ 木島　愛 〈令和7年4月〉		博士 (言語学)		言語と文化１ 言語と文化２ スポーツアクティブラーニング	○ ○	1前・後,2前 1前・後, 2前 3前・後,4前・後	2 2 2	1 1 1	千葉工業大学 教育センター 教授 (平成29年4月)	○					
22	その他	教授	ｸﾞﾝｼﾞ　ｹｲｲﾁ 軍司　圭一 〈令和7年4月〉		博士 (数理科学)		線形代数応用		1後	2	1	千葉工業大学 教育センター 教授 (平成21年4月)	○					
23	その他	教授	ｺｶﾞ　ﾂﾖｼ 古賀　毅 〈令和7年4月〉		博士 (教育学)		現代社会論 日本語アクティブラーニング		1前・後,2前 3前・後,4前・後	2 1	1 1	千葉工業大学 教育センター 教授 (平成25年4月)	○	○				
24	その他	教授	ｺﾊﾞﾔｼ　ｹﾝｼﾞ 小林　憲司 〈令和7年4月〉		博士 (理学)		化学基礎		2前	2	1	千葉工業大学 教育センター 教授 (平成2年4月)	○					
25	その他	教授	ｺﾐﾔ　ｶｽﾞﾋﾄ 小宮　一仁 〈令和7年4月〉		博士 (工学)		総合科学特論		3前・後,4前・後	2	1	千葉工業大学 工学部 教授 (平成6年4月)	○					
26	その他	教授	ｻﾄｳ　ｹﾝｲﾁ 佐藤　憲一 〈令和7年4月〉		修士 (法学)		憲法と社会 課題探究セミナー 政治と社会		1前・後,2前 2後 3前・後,4前	2 2 2	1 1 1	千葉工業大学 教育センター 教授 (平成14年4月)	○					
27	その他	教授	ｻﾄｳ　ﾔﾏﾄ 佐藤　和 〈令和7年4月〉		博士 (学術)		スポーツ科学 身体と健康の科学 課題探究セミナー 総合科学特論 スポーツアクティブラーニング	○	1前・後 1前・後,2前 2後 3前・後,4前・後 3前・後,4前・後	2 2 2 2 2	1 1 1 1 1	千葉工業大学 教育センター 教授 (平成28年9月)	○					
28	その他	教授	ｽｶﾞﾜﾗ　ｼﾝｼﾞ 菅原　真司 〈令和7年4月〉		博士 (工学)		初年次教育 キャリアアップラーニング ソーシャルアクティブラーニング	○	1前 1・2・3・4 1・2・3・4	1 1 1	1 1 1	千葉工業大学 工学部 教授 (平成25年4月)	○	○				
29	その他	教授	ｽｽﾞｷ　ｽｽﾑ 鈴木　進 〈令和7年4月〉		博士 (工学)		物理学実験		1後	2	1	千葉工業大学 教育センター 教授 (平成6年4月)	○					
30	その他	教授	ｽﾄﾞｳ　ｲｻｵ 須藤　勲 〈令和7年4月〉		博士 (文学)		異文化理解 スポーツアクティブラーニング 総合科学特論	○	1前・後,2前 3前・後,4前・後 3前・後,4前・後	2 2 2	1 1 1	千葉工業大学 教育センター 教授 (平成24年4月)	○					
31	その他	教授	ｾｷ　ｹﾝｲﾁ 関　研一 〈令和7年4月〉		博士 (システムエンジニアリング学)		国際インターン		1・2・3・4	1	1	千葉工業大学 未来変革科学部 教授 (平成28年4月)	○					
32	その他	教授	ﾁｮｳ　ﾒﾝｳ 趙　孟佑 〈令和7年4月〉		Ph.D (Plasma Physics) (米国)		機械電子工学概論 ※ アドバンストラーニング１ アドバンストラーニング２ 電気機器学	○ ○ ○	1前 3前 3後 3後	0.1 2 2 2	1 1 1 1	千葉工業大学 工学部 教授 (令和6年4月)	○					九州工業大学　工学部 「基（専）」
33	その他	教授	ﾄﾄﾞﾛｷ　ﾉﾘｶｽﾞ 轟木　義一 〈令和7年4月〉		博士 (工学)		物理の世界と先端技術 半導体工学発展講義		3前・後,4前 4前	2 2	1 1	千葉工業大学 教育センター 教授 (平成20年4月)	○					

34	その他	教授	ﾊｼｸﾞﾁ　ﾋﾃﾞｺ 橋口　秀子 〈令和7年4月〉		博士 （数理科学）		応用数学		2後	2	1	千葉工業大学 教育センター 教授 （平成9年4月）	○					
35	その他	教授	ﾊｼﾓﾄ　ｼｭｳｲﾁ 橋本　修一 〈令和7年4月〉		文学修士		英語理解基礎１ 英語理解１ 英語表現基礎１ 英語理解基礎２ 英語表現基礎２ 英語理解基礎３ 英語表現基礎３ 英語表現３ 英語理解基礎４ 英語表現基礎４ 英語理解発展４		1前 1前 1前 1後 1後 2前 2前 2前 2後 2後 2後	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉工業大学 教育センター 教授 （平成7年4月）	○					
36	その他	教授	ﾊﾏﾉ　ｼﾎ 濱野　志保 〈令和7年4月〉		博士 （文学）		課題研究セミナー 総合科学特論		2後 3前・後,4前・後	2 2	1 1	千葉工業大学 教育センター 教授 （平成21年4月）	○					
37	その他	教授	ﾋｶﾞｼﾔﾏ　ｺｳｼﾞ 東山　幸司 〈令和7年4月〉		博士 （理学）		物理学実験 スポーツアクティブラーニング 総合科学特論		1後 3前・後,4前・後 3前・後,4前・後	2 2 2	1 1 1	千葉工業大学 教育センター 教授 （平成18年4月）	○		○	入学試験委員会		
38	その他	教授	ﾋｷﾊﾗ　ﾕｳｷ 引原　有輝 〈令和7年4月〉		博士 （体育科学）		スポーツ科学 身体と健康の科学 課題探究セミナー スポーツアクティブラーニング 総合科学特論	○	1前・後 1前・後,2前 2後 3前・後,4前・後 3前・後,4前・後	2 2 2 2 2	1 1 1 1 1	千葉工業大学 教育センター 教授 （平成20年4月）	○					
39	その他	教授	ﾐﾑﾗ　ﾀｶﾋﾛ 三村　尚央 〈令和7年4月〉		博士 （文学）		英語理解基礎１ 英語表現基礎１ 英語理解基礎２ 英語表現基礎２ 英語理解基礎３ 英語表現基礎３ 英語理解基礎４ 英語表現基礎４ 英語理解発展３ 資格試験英語Ａ イングリッシュアクティブラーニング３ スポーツアクティブラーニング 総合科学特論		1前 1前 1後 1後 2前 2前 2後 2後 2前 2前・後 3前・後,4前・後 3前・後,4前・後 3前・後,4前・後	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉工業大学 教育センター 教授 （平成20年4月）	○	○				
40	その他	教授	ﾔｽﾀｹ　ﾉﾌﾞﾄｼ 安武　伸俊 〈令和7年4月〉		博士 （理学）		物理学実験 スポーツアクティブラーニング		1後 3前・後,4前・後	2 2	1 1	千葉工業大学 教育センター 教授 （平成24年4月）	○					
41	その他	教授	ﾔﾏｳﾁ　ﾏｻｷ 山内　政樹 〈令和7年4月〉		博士 （文学）		英語理解発展１ 課題探究セミナー 総合科学特論		1前 2後 3前・後,4前・後	1 2 2	1 1 1	千葉工業大学 教育センター 教授 （平成23年4月）	○					
42	その他	教授	ﾔﾏﾀﾞ　ﾋﾛﾌﾐ 山田　宏文 〈令和7年4月〉		博士 （工学）		微分方程式		2前	2	1	千葉工業大学 教育センター 教授 （平成7年4月）	○					
43	その他	教授	ﾖｺﾔﾏ　ﾄｼｱｷ 横山　利章 〈令和7年4月〉		理学博士		数学基礎 微分積分	○ ○	1前 1後	2 2	1	千葉工業大学 教育センター 教授 （平成3年4月）	○					
44	その他	教授	ﾖｼﾀﾞ　ｱｷﾗ 吉田　聡 〈令和7年4月〉		博士 （文学）		哲学 総合学際科目 総合科学特論		1前・後，2前 2後 3前・後,4前・後	2 2 2	1 1 1	千葉工業大学 教育センター 教授 （平成22年4月）	○					

45	その他	准教授	ｲﾄｳ　ｼｭｳﾍｲ 伊藤　晋平 〈令和7年4月〉		博士 (理学)		環境科学概論		1前・後，2前	2	1	千葉工業大学 教育センター 准教授 (平成24年4月)	○					
46	その他	准教授	ｴﾝﾄﾞｳ　ｼﾝﾀﾛｳ 遠藤　伸太郎 〈令和7年4月〉		博士 (コミュニティ福祉学)		スポーツ科学 身体と健康の科学 スポーツアクティブラーニング	○	1前・後 1前・後,2前 3前・後,4前・後	2 2 2	1 1 1	千葉工業大学 教育センター 准教授 (令和3年9月)	○					
47	その他	准教授	ｵｵﾇｷ　ﾄｼﾋｺ 大貫　俊彦 〈令和7年4月〉		博士 (文学)		文学と芸術 課題探究セミナー スポーツアクティブラーニング 総合科学特論		1前・後，2前 2後 3前・後,4前・後 3前・後,4前・後	2 2 2 2	1 1 1 1	千葉工業大学 教育センター 准教授 (平成28年9月)	○					
48	その他	准教授	ｷﾔﾏ　ﾀｶｼ 木山　隆 〈令和7年4月〉		博士 (理学)		物理学実験		1後	2	1	千葉工業大学 教育センター 准教授 (平成18年4月)	○					
49	その他	准教授	ｺﾊﾞﾔｼ　ﾏﾅﾌﾞ 小林　学 〈令和7年4月〉		博士 (学術)		科学技術史 課題研究セミナー		1前・後，2前 2後	2 2	1 1	千葉工業大学 教育センター 准教授 (平成24年4月)	○					
50	その他	准教授	ｻｲ　ﾕｶﾘ 砂井　紫里 〈令和7年4月〉		博士 (文学)		言語と文化１ 課題探求セミナー 国際社会論 総合科学特論	○	1前・後，2前 2後 3前・後，4前 3前・後,4前・後	2 2 2 2	1 1 1 1	千葉工業大学 教育センター 准教授 (令和2年4月)	○					
51	その他	准教授	ﾀﾆｱｲ　ﾃﾂﾕｷ 谷合　哲行 〈令和7年4月〉		博士 (工学)		物質科学 総合科学特論		3前・後，4前 3前・後,4前・後	2 2	1 1	千葉工業大学 教育センター 准教授 (平成14年4月)	○					
52 ①	その他	准教授	ﾄｸﾅｶﾞ　ﾂﾖｼ 徳永　剛 〈令和7年4月〉		博士 (工学)		機械電子工学概論 ※ デジタルものづくり	○	1前 1前	0.1 2	1 1	千葉工業大学 工学部 准教授 (平成17年4月)	○					
52 ②	その他	講師	ﾄｸﾅｶﾞ　ﾂﾖｼ 徳永　剛 〈令和9年4月〉		博士 (工学)		機械電子工学概論 ※ デジタルものづくり センサ工学 設計製図講義演習	○ ○	1前 1前 3前 3前	0.1 2 2 4	1 1 1 1	千葉工業大学 兼任講師 (令和9年4月)						
53	その他	准教授	ﾄﾐﾔﾏ　ﾕﾀｶ 富山　豊 〈令和7年4月〉		博士 (文学)		倫理学		1前・後，2前	2	1	千葉工業大学 教育センター 准教授 (令和5年4月)	○					
54	その他	准教授	ﾌｸｼﾏ　ｼｮｳｺ 福嶋　尚子 〈令和7年4月〉		博士 (教育学)		スポーツアクティブラーニング 総合科学特論		3前・後,4前・後 3前・後,4前・後	2 2	1 1	千葉工業大学 教育センター 准教授 (平成27年4月)	○		○	入学試験委員会		
55	その他	准教授	ﾔﾏｼﾀ　ﾓﾄｲ 山下　基 〈令和7年4月〉		博士 (理学)		物理学基礎	○	1前	2	1	千葉工業大学 教育センター 准教授 (平成24年4月)	○					
56	その他	助教	ｲﾁｶﾜ　ﾖｳｺ 市川　洋子 〈令和7年4月〉		修士 (心理学)		心理学 課題探究セミナー		1前・後，2前 2後	2 2	1 1	千葉工業大学 教育センター 助教 (平成17年4月)	○					

57	その他	助教	ｶｰｸﾘﾁｬｰﾄﾞｼﾞｮﾝｿﾝ Kirk Richard Jonson 〈令和7年4月〉		M.A. (米国)		英語表現発展２ 英語表現発展３ イングリッシュアクティブラーニング１ イングリッシュアクティブラーニング２		1後 2前 3前 3後	1 1 1 1	1 1 1 1	千葉工業大学 教育センター 助教 (平成23年4月)	○					
58	その他	助教	ｶｸﾊﾞﾘ ｹﾝｲﾁ 角張 健一 〈令和7年4月〉		理学修士		数理・データサイエンス・ＡＩ入門 ＡＩ・プログラミング基礎演習	○	1前・後 1前・後，2前・後	1 1	1 1	千葉工業大学 教育センター 助教 (平成8年4月)	○					
59	その他	助教	ｺﾉｴ ｱｽｶ 近衛 飛鳥 〈令和7年4月〉		博士 (国際学)		異文化理解	○	1前・後，2前	2	1	千葉工業大学 教育センター 助教 (令和4年4月)	○					
60	その他	助教	ｼｹﾞ ｱﾕﾐ 重 歩美 〈令和7年4月〉		博士 (教育学)		現代社会論 心理学		1前・後，2前 1前・後，2前	2 2	1 1	千葉工業大学 教育センター 助教 (令和5年4月)	○					
61	その他	助教	ﾀｶﾏﾂ ﾕｳｽｹ 髙松 佑介 〈令和7年4月〉		博士 (学術)		総合学際科目		2後	2	1	千葉工業大学 教育センター 助教 (令和4年4月)	○					
62	その他	助教	ﾅｶﾏﾁ ﾁﾎ 仲町 知帆 〈令和7年4月〉		博士 (文学)		異文化理解 国際社会論	○	1前・後，2前 3前・後，4前	2 2	1 1	千葉工業大学 教育センター 助教 (平成28年4月)	○					
63	その他	助教	ﾅｶﾑﾗ ﾄｵﾙ 中村 達 〈令和7年4月〉		博士 (学術)		資格試験英語Ａ		2前・後	1	1	千葉工業大学 教育センター 助教 (令和4年4月)	○					
64	その他	助教	ﾉﾑﾗ ﾕﾐ 野村 由実 〈令和7年4月〉		博士 (スポーツ科学)		スポーツ科学 身体と健康の科学 スポーツアクティブラーニング	○	1前・後 1前・後，2前 3前・後，4前・後	2 2 2	1 1 1	千葉工業大学 教育センター 助教 (令和4年4月)	○					
65	その他	講師	ｱｵｷ ﾖｳｽｹ 青木 陽介 〈令和7年4月〉		博士 (法学)		グローバル時代の法		3前・後，4前	2	1	千葉工業大学 兼任講師 (令和6年4月)						
66	その他	講師	ｲｽﾞﾐ ﾐﾂﾖ 泉 光世 〈令和7年4月〉		Ph.D (教育学博士) (米国)		英語理解１ 英語理解３ 資格試験英語Ｂ		1前 2前 2前・後	1 1 1	1 1 1	千葉工業大学 兼任講師 (平成27年4月)						
67	その他	講師	ｲﾁｵｶ ﾉﾌﾞｵ 市岡 伸夫 〈令和7年4月〉		文学士		英語理解１ 資格試験英語Ａ		1前 2前・後	1 1	1 1	千葉工業大学 兼任講師 (平成15年4月)						
68	その他	講師	ｲﾄｳ ｼﾞｮｳｲﾁ 伊藤 穣一 〈令和7年4月〉		博士 (政策・メディア)		総合科学特論		3前・後，4前・後	2	1	千葉工業大学 兼任講師 (令和3年11月)						
69	その他	講師	ｲﾄｳ ﾖｼｴ 伊藤 令枝 〈令和7年4月〉		修士 (心理学)		心理学		1前・後，2前	2	1	千葉工業大学 兼任講師 (令和4年4月)						

70	その他	講師	ｲﾅﾀﾞﾏ ﾅｵｺ 稲玉　直子 〈令和7年4月〉		博士 (理学)		物理学実験		1後	2	1	千葉工業大学 兼任講師 (平成19年4月)						
71	その他	講師	ｲﾏｲ　ﾀｸ 今井　拓 〈令和7年4月〉		保健福祉学博士		現代社会論 総合科学特論		1前・後，2前 3前・後,4前・後	2 2	1 1	千葉工業大学 兼任講師 (平成24年4月)						
72	その他	講師	ｳｴﾑﾗ ﾖｼﾛｳ 上村　芳郎 〈令和7年4月〉		文学修士		哲学		1前・後，2前	2	1	千葉工業大学 兼任講師 (平成11年4月)						
73	その他	講師	ｳｻﾞﾜ　ﾕｶ 鵜澤　由香 〈令和7年4月〉		博士 (理学)		地球科学		3前・後，4前	2	1	千葉工業大学 兼任講師 (平成26年4月)						
74	その他	講師	ｵｲｶﾜ　ｴｲ 及川　英 〈令和7年4月〉		修士 (文学)		英語理解１ 英語表現４		1前 2後	1 1	1 1	千葉工業大学 兼任講師 (令和6年4月)						
75	その他	講師	ｵｲｶﾜ　ｸﾆﾋﾛ 及川　邦裕 〈令和7年4月〉		修士 (文学)		英語理解２		1後	1	1	千葉工業大学 兼任講師 (令和6年4月)						
76	その他	講師	ｵｵｶﾞｷ ｸﾐｺ 大柿　久美子 〈令和7年4月〉		理学博士		環境科学概論		1前・後,2前	2	1	千葉工業大学 兼任講師 (平成27年4月)						
77	その他	講師	ｵｵｻﾜ ﾀｸﾔ 大澤　拓也 〈令和7年4月〉		博士 (医学)		スポーツ科学	○	1前・後	2	1	千葉工業大学 兼任講師 (令和6年4月)						
78	その他	講師	ｵｵﾐﾔ ﾋﾛｼ 大宮　弘 〈令和7年4月〉		文学修士		英語表現２ 英語表現３		1後 2前	1 1	1 1	千葉工業大学 兼任講師 (平成13年4月)						
79	その他	講師	ｵｶﾀﾞ　ｱｷﾋﾛ 岡田　安樹浩 〈令和7年4月〉		博士 (美学)		言語と文化１	○	1前・後，2前	2	1	千葉工業大学 兼任講師 (令和4年4月)						
80	その他	講師	ｵｷ ｶｽﾞﾏ 沖　和磨 〈令和7年4月〉		博士 (教育学)		スポーツ科学	○	1前・後	2	1	千葉工業大学 兼任講師 (令和6年4月)						
81	その他	講師	ｵﾀﾞｲ ｶﾂﾋｺ 小田井　勝彦 〈令和7年4月〉		修士 (文学)		英語理解２ 資格試験英語Ｂ		1後 2前・後	1 1	1 1	千葉工業大学 兼任講師 (平成19年4月)						
82	その他	講師	ｵﾊﾞﾀ　ﾋﾛｺ 小幡　裕子 〈令和7年4月〉		修士 (教育学)		英語表現１ 英語表現２ 英語表現発展４		1前 1後 2後	1 1 1	1 1 1	千葉工業大学 兼任講師 (平成24年4月)						

83	その他	講師	ｵﾏﾀ　ﾕｷｺ 小俣　幸子 〈令和7年4月〉		博士 (学術)		経済学		3前・後，4前	2	1	千葉工業大学 兼任講師 (令和5年4月)						
84	その他	講師	ｶﾂﾍﾞ　ﾀｶﾉﾘ 勝部　孝則 〈令和7年4月〉		博士 (理学)		生命科学		3前・後，4前	2	1	千葉工業大学 兼任講師 (令和3年4月)						
85	その他	講師	ｶﾄｳ　ﾏｺﾄ 加藤　誠 〈令和7年4月〉		文学修士		英語表現１ 英語表現４		1前 2後	1 1	1 1	千葉工業大学 兼任講師 (平成9年4月)						
86	その他	講師	ｺﾞ　ｱｹﾐ 呉　明美 〈令和7年4月〉		芸術学修士		総合学際科目		2後	2	1	千葉工業大学 兼任講師 (昭和62年4月)						
87	その他	講師	ｺｼｶﾜ　ｴﾘ 越川　瑛理 〈令和7年4月〉		修士 (文学)		言語と文化２	○	1前・後，2前	2	1	千葉工業大学 兼任講師 (令和5年4月)						
88	その他	講師	ｺｼﾉ　ｶﾂﾋｻ 越野　克久 〈令和7年4月〉		博士 (理学)		線形代数基礎	○	1前	2	1	千葉工業大学 兼任講師 (令和5年4月)						
89	その他	講師	ｺﾊﾞﾔｼ　ﾏｻﾉﾘ 小林　正規 〈令和7年4月〉		博士 (理学)		宇宙理工学概論 総合科学特論		1後 3前・後,4前・後	2 2	1 1	千葉工業大学 兼任講師 (令和5年4月)						
90	その他	講師	ｺﾊﾞﾔｼ　ﾐｽｽﾞ 小林　美鈴 〈令和7年4月〉		文学士		日本語表現法	○	1前	1	1	千葉工業大学 兼任講師 (令和5年4月)						
91	その他	講師	ｺﾊﾞﾔｼ　ﾔｽﾏﾛ 小林　康麿 〈令和7年4月〉		博士 (理学)		基礎統計学		2前	2	1	千葉工業大学 兼任講師 (平成18年4月)						
92	その他	講師	ｻｶｲ　ﾘｭｳﾀﾛｳ 坂井　竜太郎 〈令和7年4月〉		修士 (文学)		英語表現３ 資格試験英語Ａ		2前 2前・後	1 1	1 1	千葉工業大学 兼任講師 (平成20年4月)						
93	その他	講師	ｻｶﾓﾄ　ﾏｻﾐ 坂本　昌巳 〈令和7年4月〉		理学博士		物質科学		3前・後，4前	2	1	千葉工業大学 兼任講師 (令和6年4月)						
94	その他	講師	ｻｸﾏ　ｼﾎ 佐久間　思帆 〈令和7年4月〉		修士 (文学)		英語表現１ 英語表現４		1前 2後	1 1	1 1	千葉工業大学 兼任講師 (令和6年4月)						
95	その他	講師	ｻｻﾉ　ﾕｳｽｹ 笹野　祐輔 〈令和7年4月〉		博士 (理学)		微分方程式		2前	2	1	千葉工業大学 兼任講師 (平成25年4月)						

96	その他	講師	ｼﾊﾞﾀ　ｱｵｲ 柴田　葵 〈令和7年4月〉		博士 (文学)		日本語表現法	○	1前	1	1	千葉工業大学 兼任講師 (平成28年4月)						
97	その他	講師	ｼﾑﾗ　ﾅｵﾋｺ 志村　尚彦 〈令和7年4月〉		博士 (工学)		物理学基礎	○	1前	2	1	千葉工業大学 兼任講師 (平成31年4月)						
98	その他	講師	ｼﾓﾀﾞ　ｱﾂｺ 霜田　敦子 〈令和7年4月〉		博士 (文学)		英語表現１		1前	1	1	千葉工業大学 兼任講師 (平成26年4月)						
99	その他	講師	ｽﾀﾞ　ﾋｻﾐ 須田　久美 〈令和7年4月〉		修士 (文学)		文学と芸術		1前・後，2前	2	1	千葉工業大学 兼任講師 (令和4年4月)						
100	その他	講師	ｾﾗｰﾀ　ﾏﾙｺｽ　ｱﾙﾍﾞﾙﾄ Serrata Marcos Alberto 〈令和7年4月〉		Master of Architecture (米国)		イングリッシュアクティブラーニング１ イングリッシュアクティブラーニング２		3前 3後	1 1	1 1	千葉工業大学 兼任講師 (令和5年4月)						
101	その他	講師	ﾀｼﾛ　ﾏｻﾕｷ 田代　雅幸 〈令和7年4月〉		博士 (言語学)		異文化理解	○	1前・後，2前	2	1	千葉工業大学 兼任講師 (令和5年4月)						
102	その他	講師	ﾀﾀﾞ　ﾖｼｺ 多田　佳子 〈令和7年4月〉		文学士		言語と文化２	○	1前・後，2前	2	1	千葉工業大学 兼任講師 (平成8年4月)						
103	その他	講師	ﾀﾑﾗ　ﾐﾂｼﾞ 田村　充司 〈令和7年4月〉		博士 (理学)		微分積分	○	1後	2	1	千葉工業大学 兼任講師 (平成31年4月)						
104	その他	講師	ﾁｮｳ　ｱｲｺ 張　愛子 〈令和7年4月〉		博士 (教育学)		心理学		1前・後，2前	2	1	千葉工業大学 兼任講師 (令和6年4月)						
105	その他	講師	ﾅｶｶﾞﾜ　ﾀﾞｲｽｹ 中川　太介 〈令和7年4月〉		博士 (文学)		歴史と人間		1前・後，2前	2	1	千葉工業大学 兼任講師 (令和2年4月)						
106	その他	講師	ﾅｶﾑﾗ　ﾅｵｷ 中村　直樹 〈令和7年4月〉		修士 (言語学)		英語理解３		2前	1	1	千葉工業大学 兼任講師 (令和6年4月)						
107	その他	講師	ﾅｶﾞﾓﾄ　ﾖｼﾋﾛ 永本　義弘 〈令和7年4月〉		英語学修士		英語表現２ 英語理解４		1後 2後	1 1	1 1	千葉工業大学 兼任講師 (平成21年4月)						
108	その他	講師	ﾅｶﾔﾏ　ﾀｶｵ 中山　隆夫 〈令和7年4月〉		文学修士		英語理解１		1前	1	1	千葉工業大学 兼任講師 (令和6年4月)						

109	その他	講師	ﾅｶﾔﾏ ﾀｶｼ 中山　隆史 〈令和7年4月〉		理学博士		物理学実験		1後	2	1	千葉工業大学 兼任講師 （令和5年4月）						
110	その他	講師	ﾇﾉｶﾜ ﾕﾐｺ 布川　由美子 〈令和7年4月〉		Ph.D. （リトアニア）		英語表現２ 英語理解３		1後 2前	1 1	1 1	千葉工業大学 兼任講師 （平成31年4月）						
111	その他	講師	ﾉﾌﾞｻﾜ ﾖｼﾕｷ 信澤　由之 〈令和7年4月〉		博士 （経済学）		経済学		3前・後，4前	2	1	千葉工業大学 兼任講師 （平成29年9月）						
112	その他	講師	ﾉﾏ ｶﾖｺ 野間　香与子 〈令和7年4月〉		M.A.（人類学） （豪州）		英語表現３ 英語理解４ 資格試験英語Ｂ		2前 2後 2前・後	1 1 1	1 1 1	千葉工業大学 兼任講師 （平成25年4月）						
113	その他	講師	ﾊｼﾓﾄ ｻﾄｺ 橋本　里子 〈令和7年4月〉		博士 （理学）		地球科学		3前・後，4前	2	1	千葉工業大学 兼任講師 （令和5年4月）						
114	その他	講師	ﾊｾｶﾞﾜ ﾐﾕｷ 長谷川　みゆき 〈令和7年4月〉		修士 （法学）		総合学際科目 グローバル時代の法 総合科学特論		2後 3前・後，4前 3前・後,4前・後	2 2 2	1 1 1	千葉工業大学 兼任講師 （令和3年4月）						
115	その他	講師	ﾊﾀｹﾔﾏ　ﾕｳｼﾞ 畠山　雄二 〈令和7年4月〉		博士 （情報科学）		英語表現発展１		1前	1	1	千葉工業大学 兼任講師 （平成26年4月）						
116	その他	講師	ﾊﾔｼ　ｼｮｳｺ 林　彰子 〈令和7年4月〉		修士 （教育学）		英語理解１ 英語理解３ 英語表現３ 英語表現４		1前 2前 2前 2後	1 1 1 1	1 1 1 1	千葉工業大学 兼任講師 （令和6年4月）						
117	その他	講師	ﾋﾞｼｬｺﾞ ｺｳｽｹ 鴻　浩介 〈令和7年4月〉		博士 （文学）		倫理学		1前・後，2前	2	1	千葉工業大学 兼任講師 （令和4年4月）						
118	その他	講師	ﾋﾗｶﾜ ｶｽﾞｱｷ 平川　和明 〈令和7年4月〉		修士 （工学）		設計製図講義演習	○	3前	4	1	千葉工業大学 兼任講師 （令和6年4月）						
119	その他	講師	ﾋﾛｾ ﾉﾌﾞﾖｼ 廣瀬　伸良 〈令和7年4月〉		医学博士		スポーツ科学	○	1前・後	2	1	千葉工業大学 兼任講師 （昭和63年4月）						
120	その他	講師	ﾋﾜﾀｼ ｵｻﾑ 樋渡　修 〈令和7年4月〉		博士 （理学）		数学基礎	○	1前	2	1	千葉工業大学 兼任講師 （平成18年4月）						
121	その他	講師	ﾌｸﾓﾄ ｷｸｺ 福本　喜久子 〈令和7年4月〉		博士 （理学）		化学基礎		2前	2	1	千葉工業大学 兼任講師 （平成25年4月）						

122	その他	講師	ﾌｼﾞﾀ ﾀｶｵ 藤田　崇夫 〈令和7年4月〉		文学修士		英語表現１ 英語表現４		1前 2後	1 1	1 1	千葉工業大学 兼任講師 （平成29年4月）						
123	その他	講師	ﾌｾ ｶｵﾙ 布施　薫 〈令和7年4月〉		修士 （文学）		日本語表現法	○	1前	1	1	千葉工業大学 兼任講師 （平成28年4月）						
124	その他	講師	ﾎﾘ ｼﾝｽｹ 堀　紳介 〈令和7年4月〉		修士 （文学）		英語理解４		2後	1	1	千葉工業大学 兼任講師 （平成26年4月）						
125	その他	講師	ﾏﾂｲ ｼﾝｽｹ 松井　伸介 〈令和7年4月〉		博士 （工学）		精密加工		3後	2	1	千葉工業大学 兼任講師 （令和7年4月）						
126	その他	講師	ﾏﾂｲ ﾋｻｼ 松井　久 〈令和7年4月〉		Doctorat Épistémologie, histoire des sciences et techniques （フランス）		科学技術史		1前・後，2前	2	1	千葉工業大学 兼任講師 （令和6年4月）						
127	その他	講師	ﾏﾂﾑﾗ ﾋﾅｺ 松村　比奈子 〈令和7年4月〉		博士 （法学）		憲法と社会 政治と社会		1前・後，2前 3前・後，4前	2 2	1 1	千葉工業大学 兼任講師 （平成17年4月）						
128	その他	講師	ﾏﾙﾔﾏ ﾄｼｷ 丸山　敏毅 〈令和7年4月〉		博士 （理学）		物理学実験		1後	2	1	千葉工業大学 兼任講師 （平成26年4月）						
129	その他	講師	ﾐｳﾗ ﾘｭｳｽｹ 三浦　龍介 〈令和7年4月〉		修士 （文学）		言語と文化２	○	1前・後，2前	2	1	千葉工業大学 兼任講師 （令和4年4月）						
130	その他	講師	ﾐﾈﾑﾗ ﾔｽﾋﾛ 峯村　康広 〈令和7年4月〉		博士 （日本文学）		文学と芸術		1前・後，2前	2	1	千葉工業大学 兼任講師 （令和3年4月）						
131	その他	講師	ﾓﾘ ｿｳﾏ 森　創摩 〈令和7年4月〉		博士 （言語学）		英語表現１		1前	1	1	千葉工業大学 兼任講師 （令和2年4月）						
132	その他	講師	ﾔｷﾞ ﾓﾅｺ 八木　茂那子 〈令和7年4月〉		文学修士		英語理解１ 英語表現２		1前 1後	1 1	1 1	千葉工業大学 兼任講師 （平成22年4月）						
133	その他	講師	ﾔｼﾞﾏ ﾋﾛﾋｺ 矢島　浩彦 〈令和7年4月〉		博士 （医学）		生命科学		3前・後，4前	2	1	千葉工業大学 兼任講師 （令和4年4月）						
134	その他	講師	ﾔｼﾞﾏ ﾙﾘ 矢嶋　瑠莉 〈令和7年4月〉		修士 （文学）		英語表現２		1後	1	1	千葉工業大学 兼任講師 （令和4年4月）						

135	その他	講師	ﾔﾏｻﾞﾜ ｹﾝｼﾞ 山澤　建二 〈令和7年4月〉		博士 （情報工学）		設計製図講義演習	○	3前	4	1	千葉工業大学 兼任講師 （平成30年4月）						
136	その他	講師	ﾔﾏﾓﾄ ｸﾐ 山本　久美 〈令和7年4月〉		文学修士		英語理解２		1後	1	1	千葉工業大学 兼任講師 （昭和63年4月）						
137	その他	講師	ﾘｸﾅ ﾕｳｲﾁ 陸名　雄一 〈令和7年4月〉		博士 （理学）		線形代数基礎	○	1前	2	1	千葉工業大学 兼任講師 （平成22年4月）						

（注）
1　教員の数に応じ，適宜枠を増やして記入すること。
2　私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は，この書類を作成する必要はない。
3　「主要授業科目」の欄は，授業科目が主要授業科目に該当する場合，欄に「○」を記入すること。
4　「教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況」の欄は，教育課程の編成等についての意思決定を行う会議体で所属予定の会議体がある場合，欄に「○」を記入すること。
5　「申請に係る大学等の職務に従事する週当たりの平均日数」及び「申請に係る学部等以外の組織（他の大学等に置かれる学部等を含む）での基幹教員としての勤務状況」の欄は，基幹教員のみ記載すること。
6　「申請に係る学部等以外の組織（他の大学等に置かれる学部等を含む）での基幹教員としての勤務状況」の欄は，申請に係る学部等以外の組織（他の大学等に置かれる学部等を含む）で基幹教員として勤務している場合，その大学及び学部等の名称及びそれらの学部等での教員区分を記載すること。

別記様式第３号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

基幹教員の年齢構成・学位保有状況										
職　位	学　位	29 歳 以 下	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 64 歳	65 ～ 69 歳	70 歳 以 上	合　　計	備　　考
教　授	博　士	人	人	1人	5人	人	2人	人	8人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准教授	博　士	人	人	人	1人	人	人	人	1人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講　師	博　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助　教	博　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合　計	博　士	人	人	1人	6人	人	2人	人	9人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	

（注）
1　この書類は，申請又は届出に係る学部等ごとに作成すること。
2　この書類は，基幹教員についてのみ作成すること。
3　この書類は，申請又は届出に係る学部等の開設後，当該学部等の修業年限に相当する期間が満了する年度における状況を記載すること。
4　「基幹教員の年齢構成・学位保有状況」欄の「基幹教員」は，大学院の研究科又は研究科の専攻の場合，「専任教員」と読み替えること。
5　専門職大学院若しくは専門職大学の前期課程を修了した者又は専門職大学又は専門職短期大学を卒業した者に対し授与された学位については，「その他」の欄にその数を記載し，「備考」の欄に，具体的な学位名称を付記すること。